

就職氷河期世代の実態調査 報告書

令和3年3月
三重県

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査結果の表示方法	2
II 設問別の調査結果	3
現在の就業形態.....	3
副業や複数就業の有無.....	5
勤務先の業種.....	7
職種.....	9
年間の収入金額.....	11
仕事の満足度（内容・やりがい）.....	13
仕事の満足度（賃金）.....	15
仕事の満足度（人事評価制度）.....	17
仕事の満足度（社員教育・研修制度）.....	19
仕事の満足度（労働時間）.....	21
仕事の満足度（休暇制度）.....	23
仕事の満足度（仕事と生活の両立）.....	25
仕事の満足度（福利厚生）.....	27
仕事の満足度（全体として）.....	29
現在の仕事が学校を卒業して最初に就いた仕事であるか否か.....	31
学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態.....	33
学校を卒業して最初に就いた仕事の職種.....	35
学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間.....	37
経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）.....	39
経験した正規の職員・従業員の仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）.....	41
学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由.....	43
現在の就業形態に就いた主な理由.....	45
正規の職員・従業員として働きたいと思うか.....	47
正規の職員・従業員として働きたい理由.....	49
希望する職種（非正規の職員・従業員）.....	51
前職を辞めてから現在までの期間.....	53
現在働いていない理由.....	55
今後の就労意向.....	57
希望する職種（働いていない方）.....	59
ふだん自宅にいるときによくしていること.....	61
最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか.....	63
ふだんの外出頻度.....	65
現在の状態になってどのくらい経つか.....	67
現在の状態になったきっかけ.....	69
現在の状態について関係機関に相談したいと思うか.....	71
どのような機関なら、相談したいと思うか.....	73
現在利用しているSNSや動画共有サービス.....	75
相談・カウンセリングを利用しやすい曜日・時間帯・形式.....	77
適職診断を利用しやすい曜日・時間帯・形式.....	79
コミュニケーション力向上講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式.....	81
資格取得訓練講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式.....	83

職場体験・職場見学を利用しやすい曜日・時間帯・形式	85
応募書類の添削・模擬面接を利用しやすい曜日・時間帯・形式	87
求人企業の紹介・マッチングを利用しやすい曜日・時間帯・形式	89
合同企業説明会を利用しやすい曜日・時間帯・形式	91
その他の就労支援メニューを利用しやすい曜日・時間帯・形式	93
将来の生活も含めて、今不安に思っていること	95
就職氷河期世代への支援に関する意見	97
属性	98
Ⅲ 支援対象者別の調査結果	100
不安定な就労状態（不本意非正規）にある方についての集計・分析	101
長期にわたり無業の状態にある方についての集計・分析	106
社会参加に向けた支援を必要とする方についての集計・分析	115
Ⅳ 調査票	125

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、県内における就職氷河期世代の実態を把握するとともに、就職氷河期世代のうち、主な支援対象者*（①不安定な就労状態(不本意非正規)にある方、②長期にわたり無業の状態にある方、③社会参加に向けた支援を必要とする方）への支援がより実効性のあるものとなるよう施策を企画・推進するうえでの基礎資料を得ることを目的とします。

*支援対象者の詳細な定義は「Ⅲ 支援対象者別の調査結果」を参照

2 調査の設計

(1) 調査対象

令和2年4月1日現在で県内各市町の選挙人名簿に記載がある満34歳以上49歳以下の県民

(2) 標本数

5,500人

(3) 抽出法

三重県月別人口調査（令和元年10月1日現在）における市町別調査対象年齢人口数（推計）をもとに、各市町の選挙人名簿（令和2年6月1日現在）から等間隔無作為抽出

(4) 調査方法

調査票を郵送により配布し、郵送または調査票に印字したQRコードからWEB上にて回答

(5) 調査期間

令和2年10月10日から同年11月2日

(6) 回収結果

実回収総数 : 1,924人（回収率 : 35.0%）

有効回答数 : 1,923人（郵送 : 1,091、WEB : 832）

有効回答率 : 35.0%

無効回答数 : 1人

(7) 調査項目

仕事の状況、生活の状況、支援に関する意見・要望、属性

(8) 調査主体

三重県雇用経済部雇用対策課

(9) 調査委託機関

株式会社百五総合研究所

3 調査結果の表示方法

- (1) 比率は、原則として各設問のサンプル数(n) (=不明を含む集計対象総数あるいは設問の該当対象数) に対する百分率を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数(n)で割った比率となっており、比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、紙幅等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) 本文中の調査名については、次のとおりです。

なお、下記の調査はいずれも不明を除いた値で集計しています。

就業構造基本調査	「平成29年就業構造基本調査」 ・実施主体：総務省統計局 ・35歳～49歳のデータを抜粋
働き方改革調査	「令和元年度 労使協働による働き方改革の意識等調査 県民調査」 ・実施主体：三重県 ・調査対象：県内に居住する18歳以上65歳未満の県民 4,000人 ・有効回答数：1,519人（有効回答率：38.0%）
生活状況に関する調査	「平成30年度 生活状況に関する調査」 ・実施主体：内閣府

- (6) 本文中の“現在働いている方”は、問1で1正規の職員・従業員～6自家営業の手伝いを選んだ方、“現在働いていない方”は問1で7専業主婦・専業主夫、8学生、9無職を選んだ方を表しています。
- (7) 属性項目間の比較で大きな変化が見られないものについては、記述を省略しています。
- (8) サンプル数(n)が10未満の属性項目については、原則として記述を省略します。

II 設問別の調査結果

すべての方を対象

【現在の就業形態】

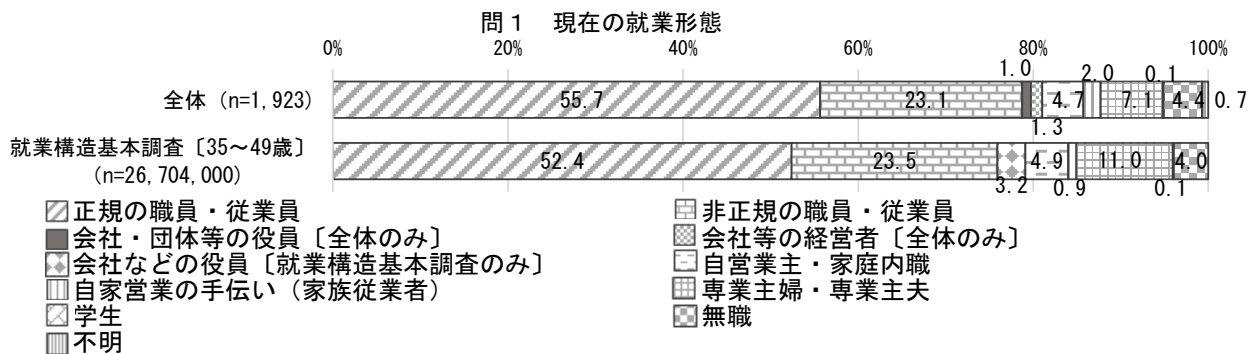
問1 あなたの現在の就業形態は何ですか。(○は1つだけ)

現在の就業形態は「正規の職員・従業員」の割合が最も高く 55.7%、次いで「非正規の職員・従業員」が 23.1%、「専業主婦・専業主夫」が 7.1%となっています。

支援対象者でみると、社会参加に向けた支援を必要とする方は、「無職」の割合が 67.5%、「専業主婦・専業主夫」が 32.5%となっています。

性別でみると、男性は「正規の職員・従業員」の割合が最も高く 78.1%、次いで「自営業主・内職」が 7.1%となっています。女性は「正規の職員・従業員」の割合が最も高く 39.3%となっています。女性は男性より、「正規の職員」が 38.8ポイント低く、「非正規の職員・従業員」が 32.2ポイント、専業主婦・専業主夫が 12.3ポイント高くなっています。

最終学歴でみると、大学院修了は「正規の職員・従業員」の割合が 73.1%、四年制大学卒業は 67.9%となっており、短大・高専卒業 (40.4%)、中学校卒業 (39.2%) より、20ポイント以上高くなっています。

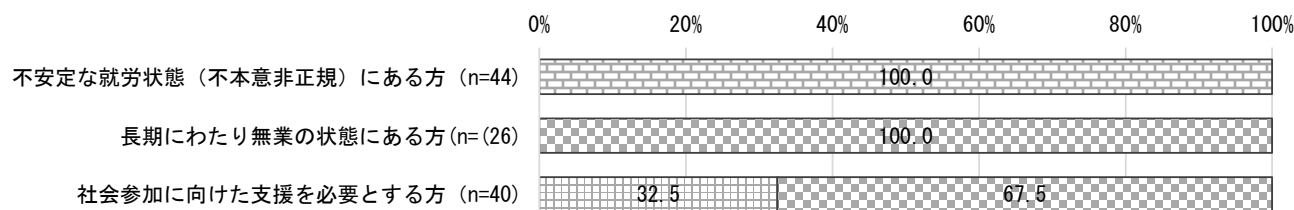


※就業構造基本調査は本事業調査の選択肢と表記が異なる。選択肢の対比は下記のとおり。

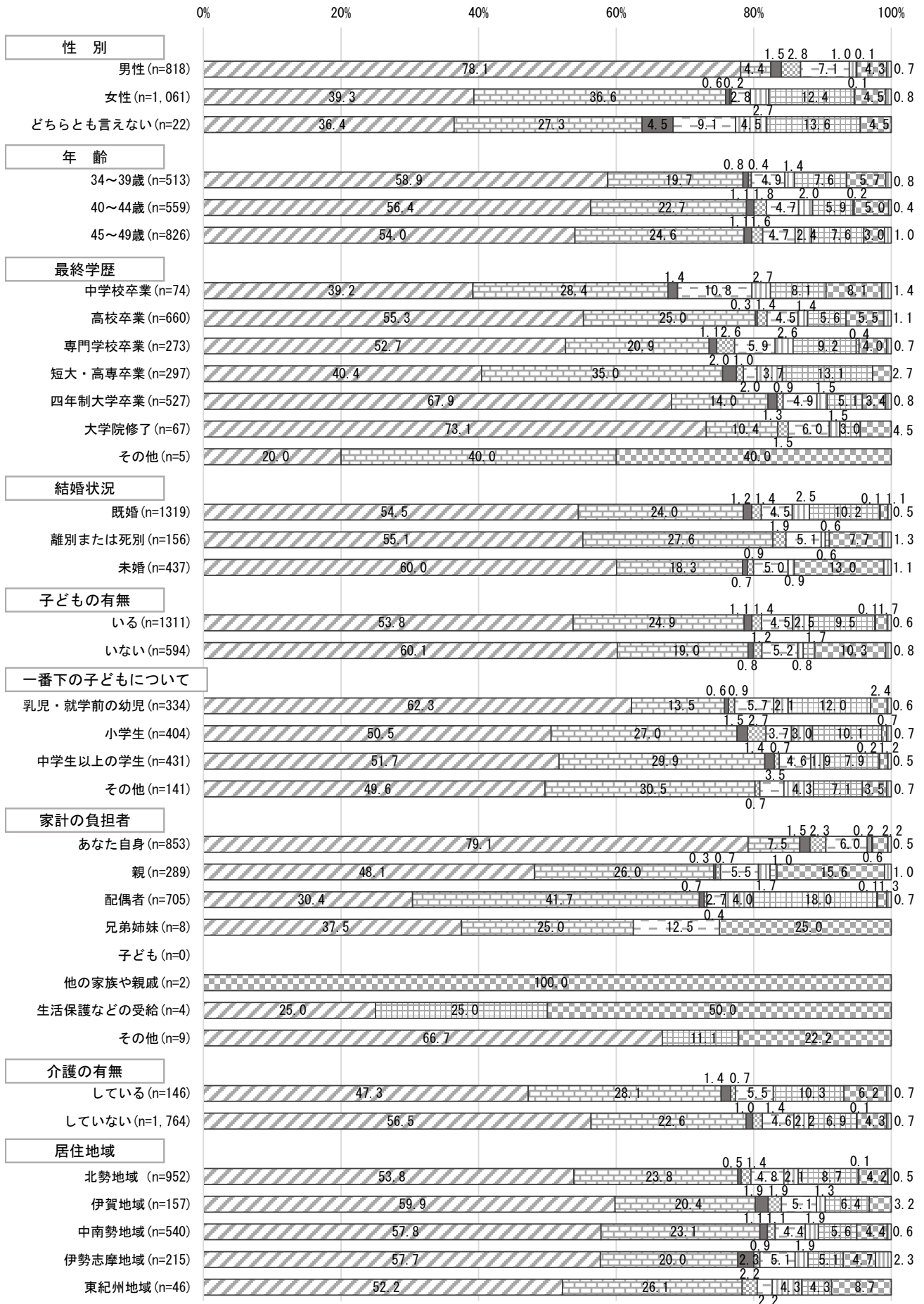
本事業	就業構造基本調査	本事業	就業構造基本調査
正規の職員・従業員	正規の職員・従業員	専業主婦・専業主夫	無業者
非正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	学生	通学している者
会社・団体等の役員	会社などの役員	無職	その他
会社等の経営者			
自営業主・家庭内職	自営業主		
自家営業の手伝い (家族従業者)	家族従業者		

支援対象者

問1 現在の就業形態



問1 現在の就業形態



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

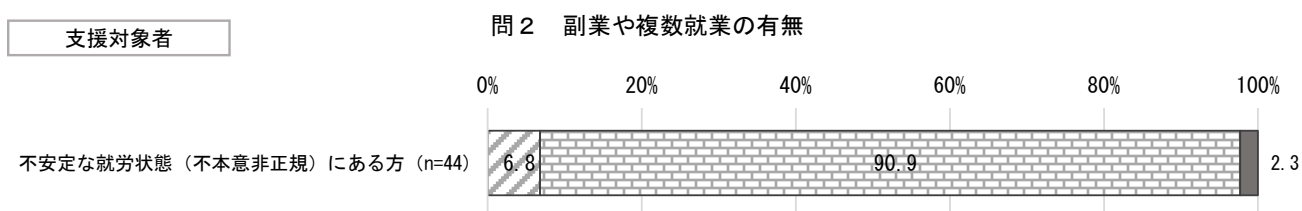
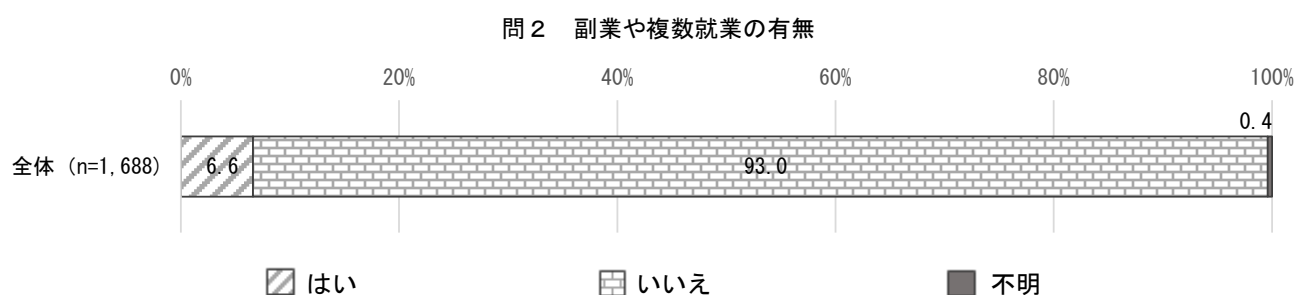
【副業や複数就業の有無】

問2 あなたは現在、副業がありますか、または複数の職業についていますか。（〇は1つだけ）

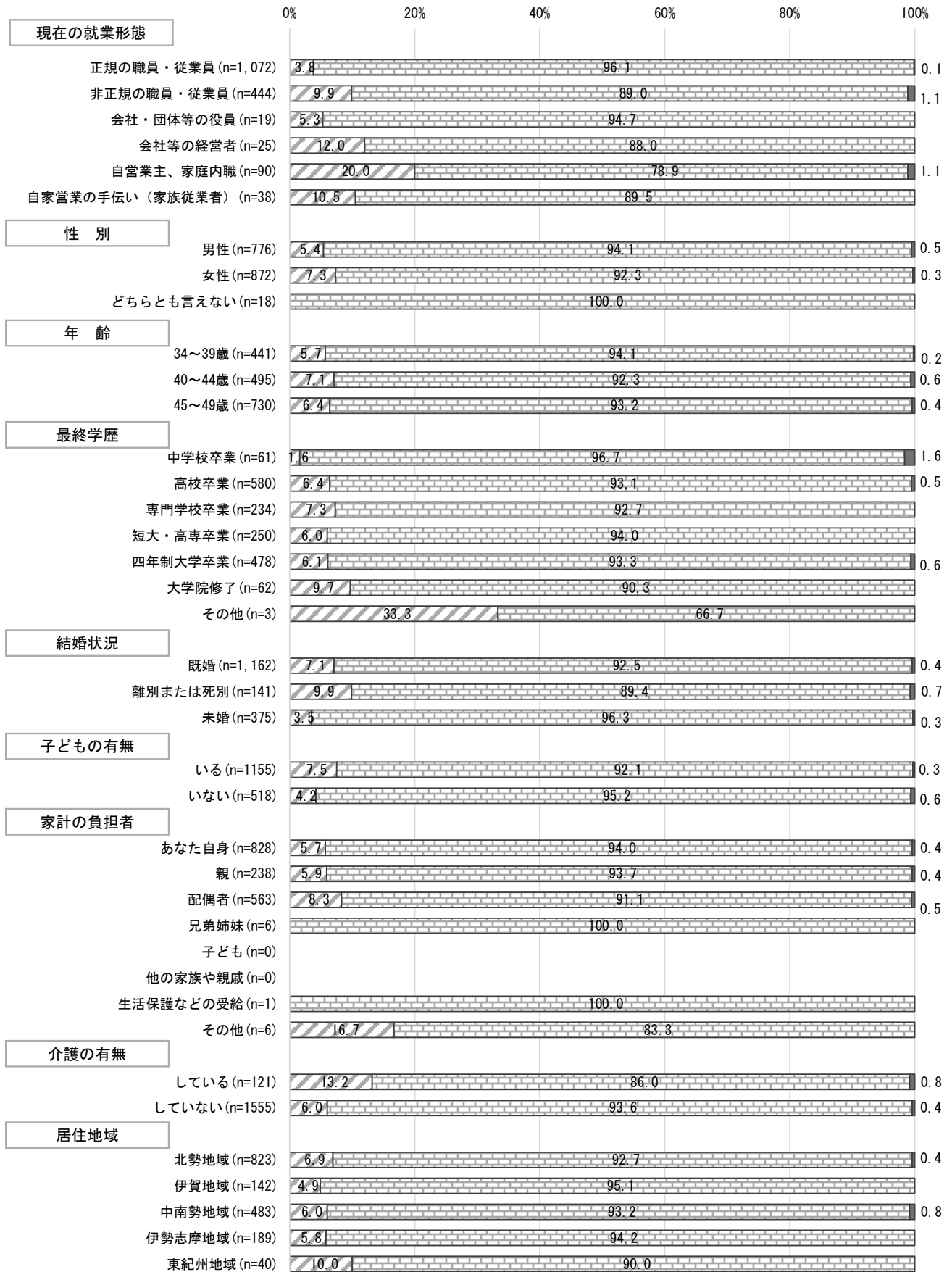
副業や複数就業の有無は「いいえ」の割合が93.0%、「はい」が6.6%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「はい」が6.8%となっています。

現在の就業形態でみると、自営業主・家庭内職は「はい」の割合が20.0%となっています。一方、正規の職員・従業員は3.8%となっています。



問2 副業や複数就業の有無



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【勤務先の業種】

問3 あなたの勤務先の業種は何ですか。（○は1つだけ）

勤務先の業種は「製造業」の割合が最も高く26.7%、次いで「医療・福祉」が15.2%、「サービス業」が10.2%となっています。

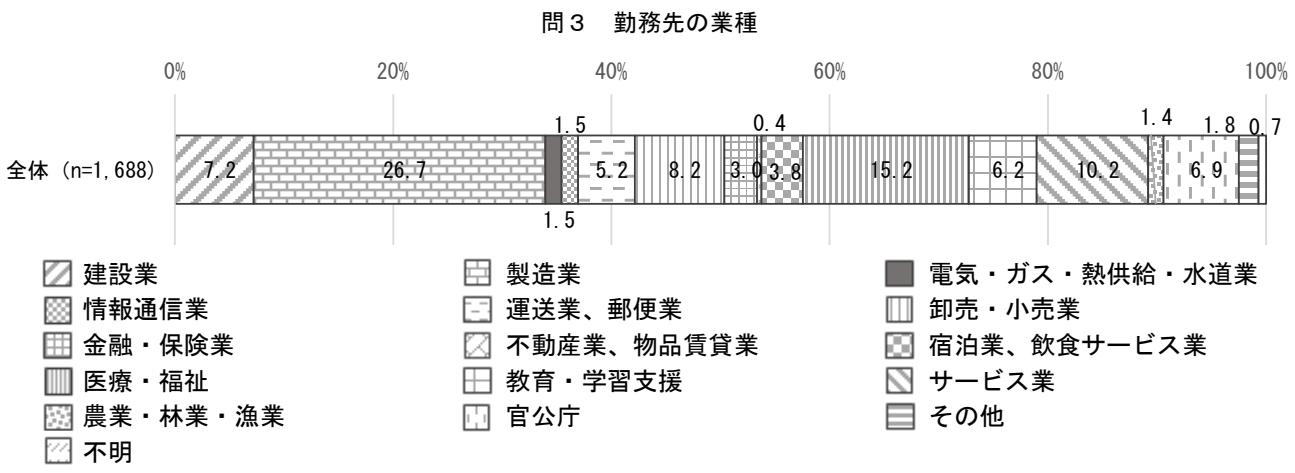
支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「製造業」の割合が最も高く34.1%、次いで「卸売・小売業」と「サービス業」が同率で13.6%となっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「製造業」、非正規の職員・従業員は「医療・福祉」、会社・団体等の役員、会社等の経営者は「建設業」、自営業主・家庭内職は「サービス業」、自家営業の手伝い（家族従業者）は「建設業」と「農業・林業・漁業」の割合が同率で最も高くなっています。

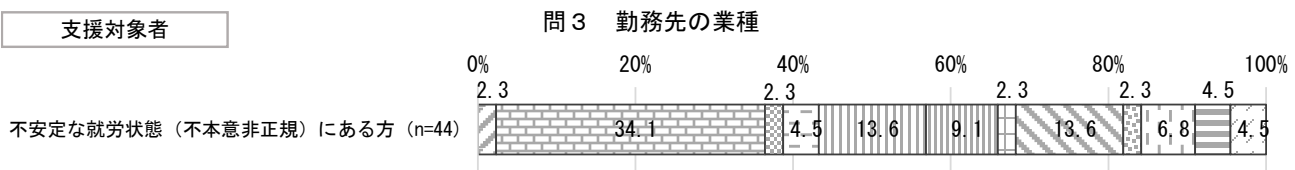
性別でみると、男性は「製造業」の割合が最も高く37.5%、次いで「建設業」が10.7%、「官公庁」が9.3%となっています。女性は「医療・福祉」が最も高く23.4%、次いで「製造業」が17.5%、「サービス業」が12.2%となっています。

最終学歴でみると、専門学校卒業は「医療・福祉」の割合が最も高く34.6%となっており、専門学校卒業以外の最終学歴より10ポイント以上高くなっています。また、専門学校卒業以外は「製造業」の割合が最も高くなっています。

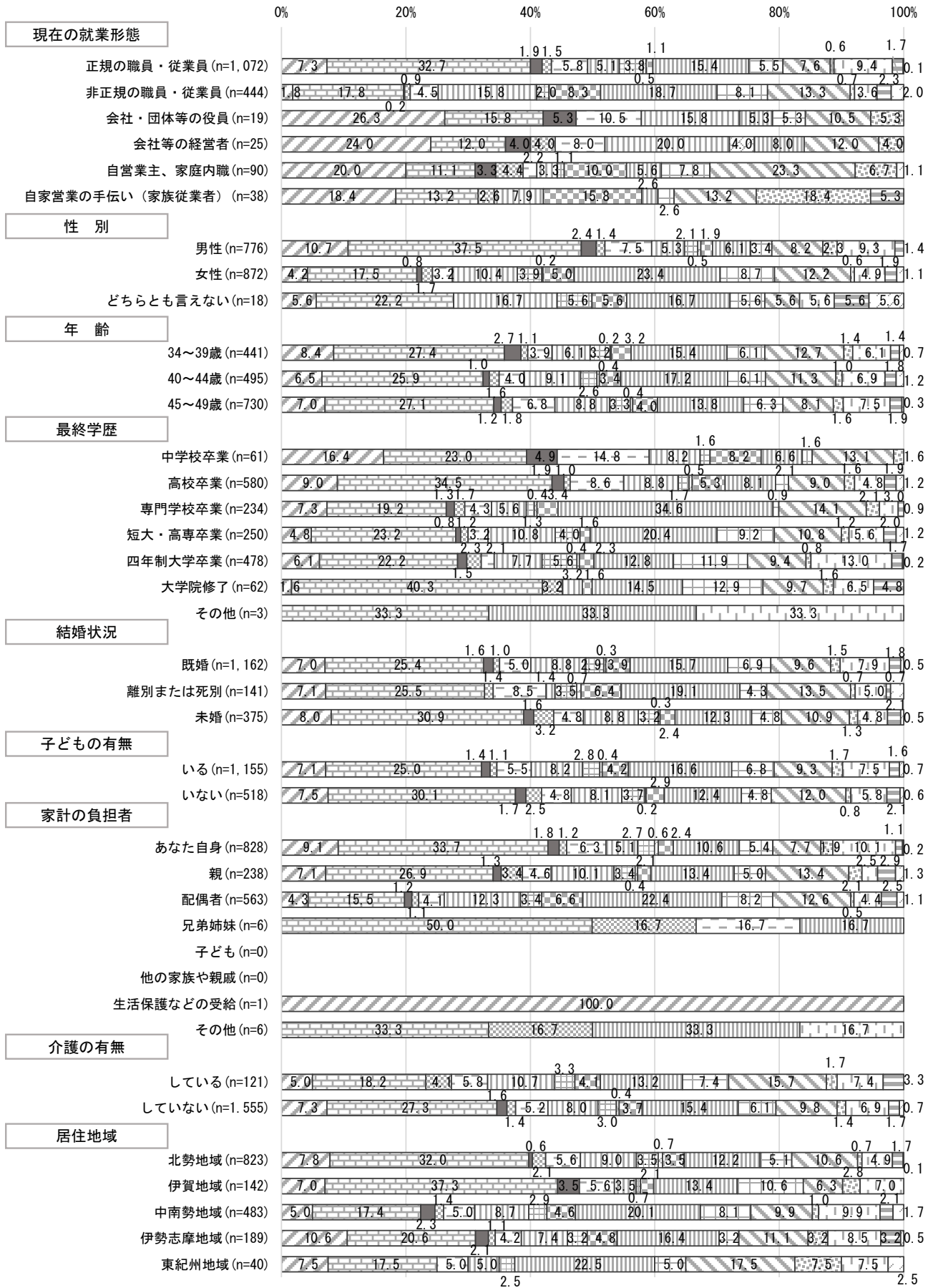
居住地域でみると、北勢地域、伊賀地域、伊勢志摩地域は「製造業」、中南勢地域、東紀州地域は「医療・福祉」が最も高くなっています。



支援対象者



問3 勤務先の業種



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【職種】

問4 あなたの職種は何ですか。（○は1つだけ）

職種は「専門的・技術的職業」の割合が最も高く21.9%、次いで「事務職」が20.4%、「製造・生産工程職」が18.2%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「事務職」の割合が最も高く38.6%となっており、全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。

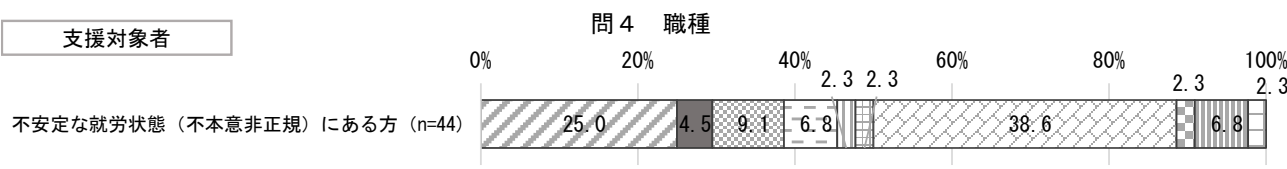
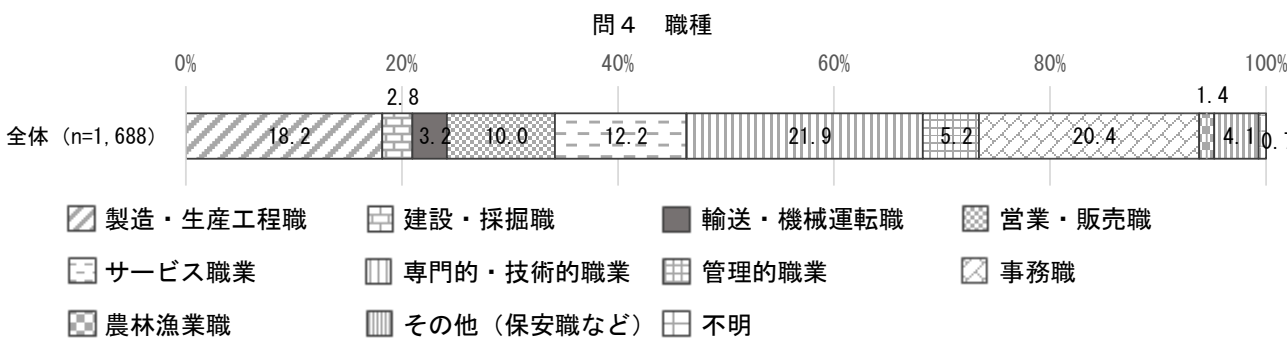
現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「専門的・技術的職業」、非正規の職員・従業員は「サービス職業」、会社・団体等の役員、会社等の経営者は「管理的職業」、自営業主・家庭内職は「専門的・技術的職業」、自家営業の手伝い（家族従業者）は「事務職」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男性は「製造・生産工程職」の割合が最も高く27.1%、次いで「専門的・技術的職業」が20.0%となっています。女性は「事務職」の割合が最も高く30.7%、次いで「専門的・技術的職業」が23.9%となっています。

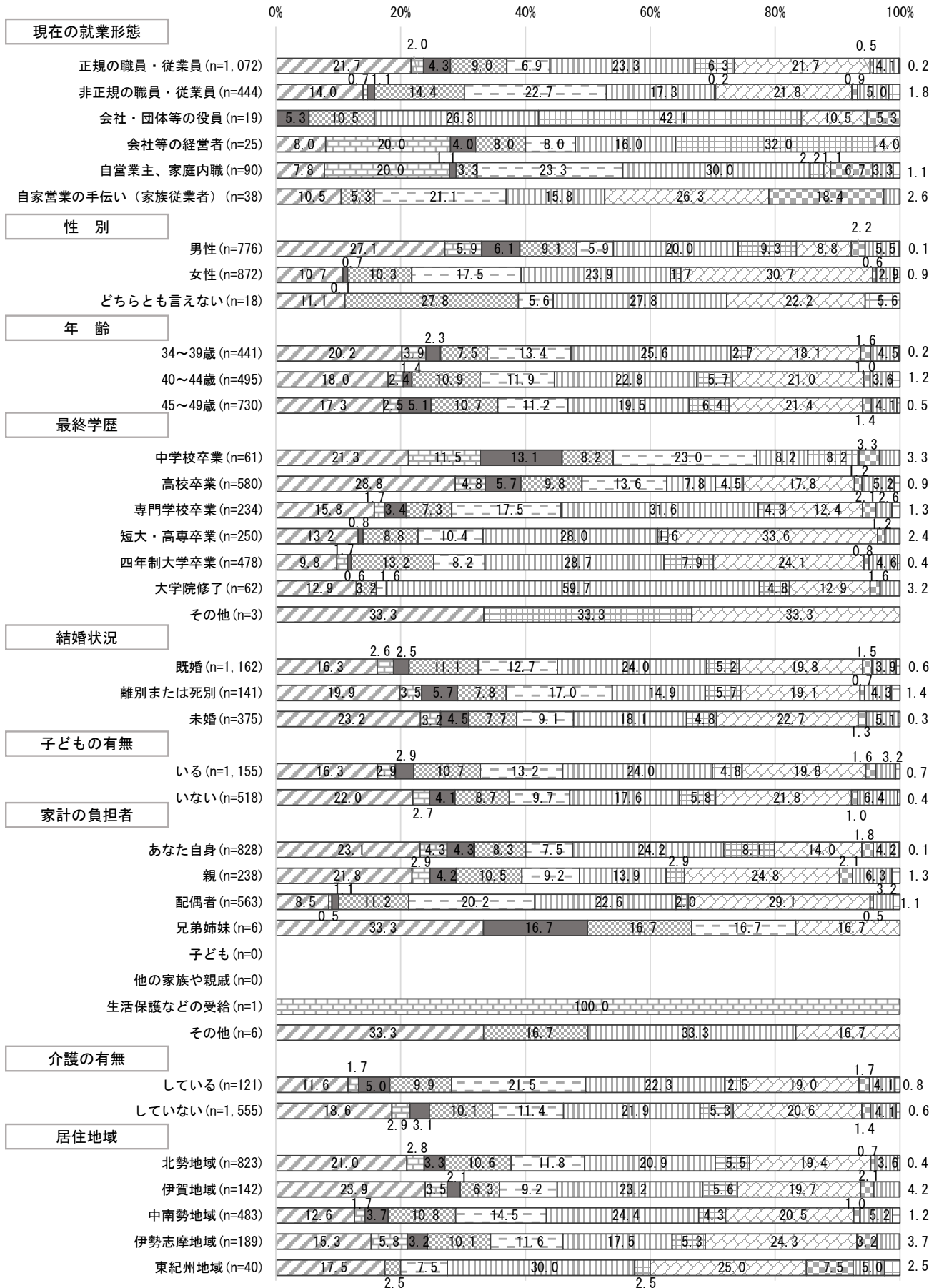
最終学歴でみると、中学校卒業は「サービス職業」、高校卒業は「建設業」、専門学校卒業、四年制大学卒業、大学院修了は「専門的・技術的職業」、短大・高専卒業は「事務職」の割合が最も高くなっています。

介護の有無でみると、している方は「サービス職業」が21.5%となっており、していない人（11.4%）より10.1ポイント高くなっています。

居住地域でみると、北勢地域、伊賀地域は「製造・生産工程職」、伊勢志摩地域は「事務職」、中南勢地域、東紀州地域は「専門的・技術的職業」が最も高くなっています。



問 4 職種



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【年間の収入金額】

問5 あなたの1年間の収入金額（ボーナスや臨時収入、副業等も含む税引き前の金額）をお答えください。
 現在の仕事に就いて1年未満の方は、1年間の見込み金額をお答えください。（○は1つだけ）

年間の収入金額は『200万円以上～300万円未満（「200万円以上～250万円未満」と「250万円以上～300万円未満」の合算）』の割合が最も高く16.0%、次いで『100万円以上～200万円未満（「100万円以上～150万円未満」と「150万円以上～200万円未満」の合算）』が13.6%、「400万円以上～500万円未満」が13.0%となっています。

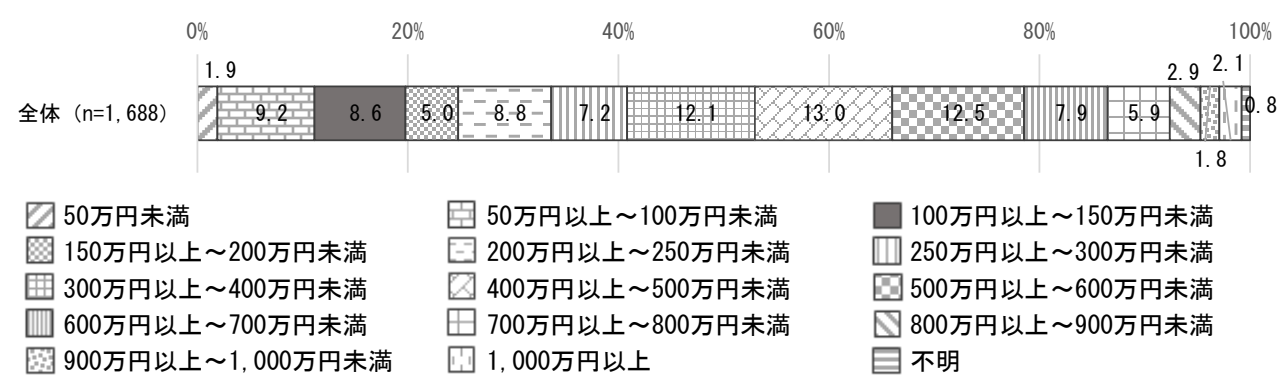
支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）は『200万円以上～300万円未満』の割合が最も高く47.7%となっています。「50万円未満」から「250万円以上～300万円未満」を合算した『300万円未満』の割合が93.2%を占めています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「400万円以上～500万円未満」、非正規の職員・従業員は『100万円以上～200万円未満』、会社・団体等の役員は『200万円以上～300万円未満』、会社等の経営者は「1,000万円以上」、自営業主・家庭内職、自家営業の手伝い（家族従業員）は『100万円未満（「50万円未満」と「50万円以上～100万円未満」の合算）』の割合が最も高くなっています。非正規の職員・従業員は『300万円未満』の割合が92.6%、自家営業の手伝い（家族従業員）は84.2%を占めています。

性別でみると、男性は「500万円以上～600万円未満」、女性は『100万円以上～200万円未満』の割合が最も高くなっています。

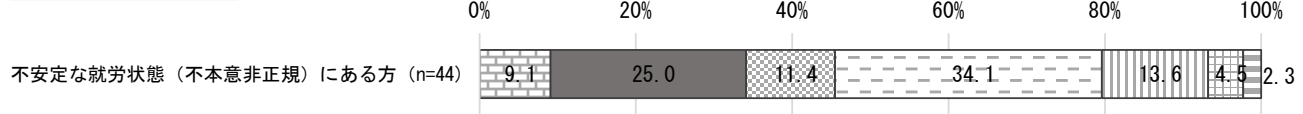
最終学歴でみると、短大・高専卒業は『300万円未満』の割合が63.6%、中学校卒業は54.2%、となっているのに対し、大学院修了は14.4%、四年制大学卒業は25.9%となっています。

問5 年間の収入金額

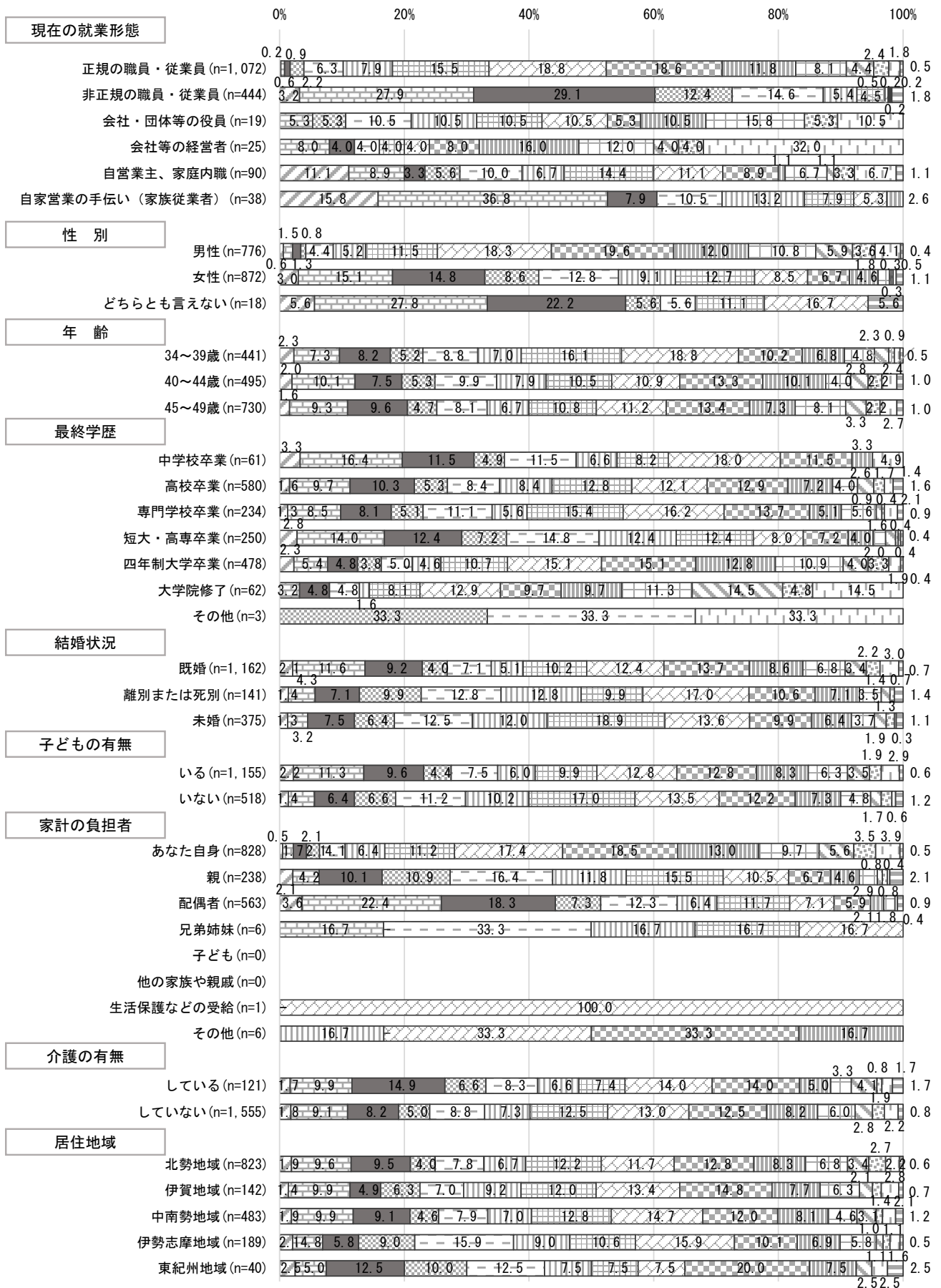


支援対象者

問5 年間の収入金額



問5 年間の収入金額



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（内容・やりがい）】

問6-A 仕事の内容・やりがいへのどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。（○は1つだけ）

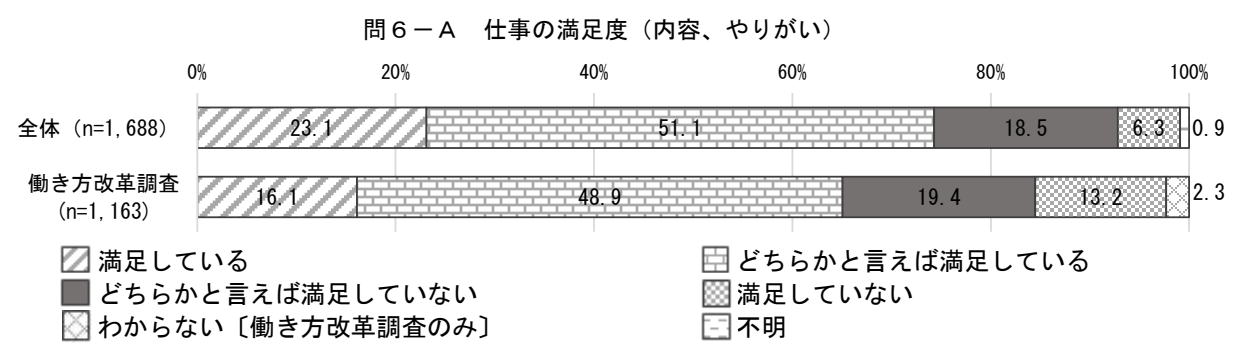
仕事の満足度（内容・やりがい）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く51.1%、次いで「満足している」が23.1%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は74.2%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が9.2ポイント高くなっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足している』の割合が54.5%となっており、全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上低くなっています。

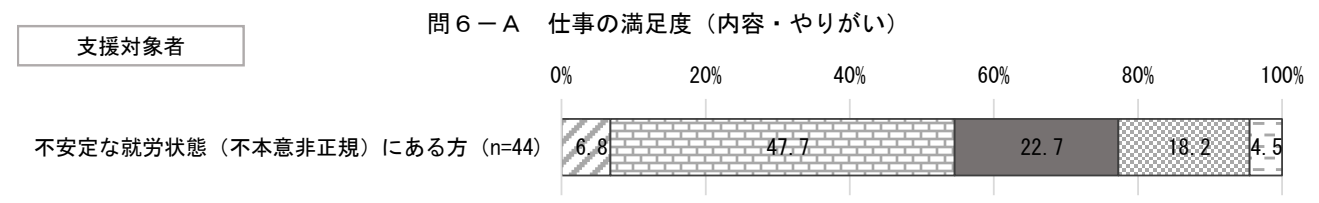
現在の就業形態でみると、会社等の経営者は『満足している』の割合が92.0%となっており、正規の職員・従業員（72.9%）、非正規の職員・従業員（73.7%）、自家営業の手伝い（家族従業者）（78.9%）より10ポイント以上高くなっています。また、会社等の経営者、自家営業の手伝い（家族従業者）、自営業主・家庭内職は「満足している」の割合が40%以上となっています。

性別でみると、女性は『満足している』の割合が78.8%となっており、男性（69.7%）より9.1ポイント高くなっています。

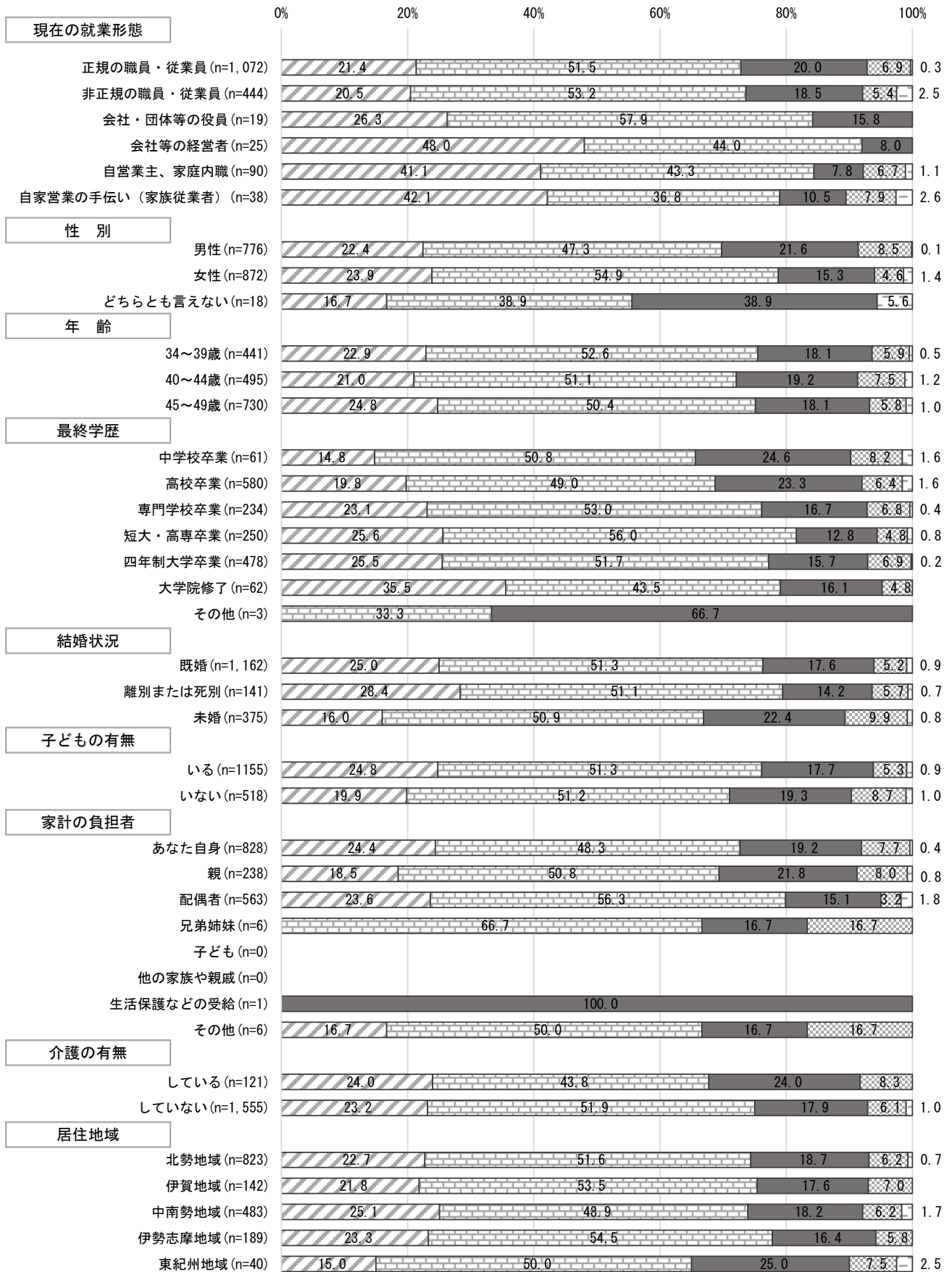
最終学歴でみると、短大・高専卒業は『満足している』の割合が81.6%となっており、中学校卒業（65.6%）、高校卒業（68.8%）より10ポイント以上高くなっています。また、最終学歴が高いほど「満足している」の割合が高くなる傾向にあります。



※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ



問6-A 仕事の満足度（内容・やりがい）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（賃金）】

問6-B 賃金にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。
（○は1つだけ）

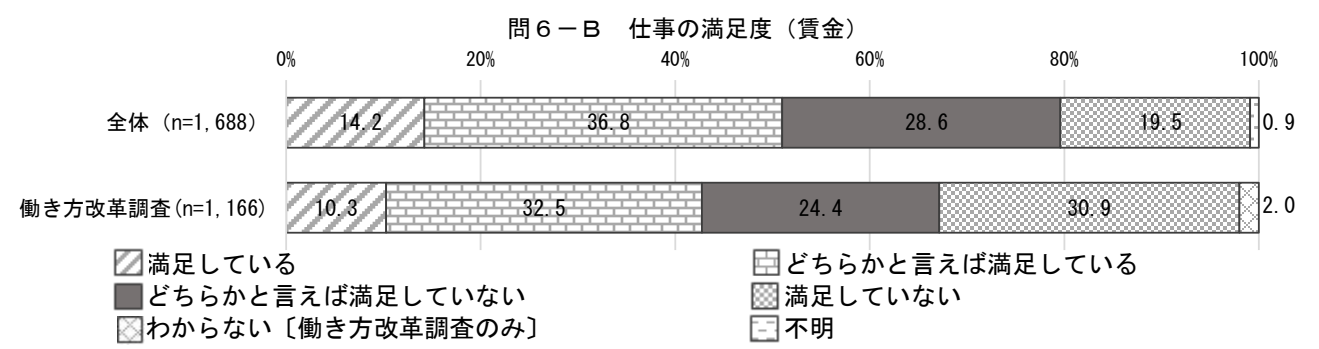
仕事の満足度（賃金）は「どちらかと言えば満足している」が最も高く 36.8%、次いで「どちらかと言えば満足していない」が 28.6%となっています。また、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は 51.0%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が 8.2 ポイント高くなっており、「満足していない」が 11.4 ポイント低くなっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が 79.5%、うち「満足していない」が 50.0%となっており、全体や非正規の職員・従業員よりそれぞれ 20 ポイント以上低くなっています。

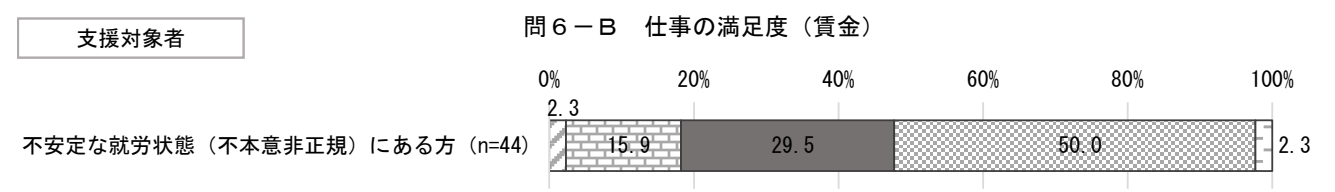
最終学歴でみると、最終学歴が高いほど『満足している』の割合が高くなっています。中学校卒業、高校卒業、専門学校卒業は『満足している』の割合が『満足していない』より低くなっており、特に中学校卒業は『満足している』が 41.0%となっており、『満足していない』（57.4%）より 16.4 ポイント低くなっています。一方、短大・高専卒業、四年制大学卒業、大学院修了は『満足している』の割合が『満足していない』より高くなっており、四年制大学卒業、大学院修了は『満足している』の割合が『満足していない』より 10 ポイント以上高くなっています。

結婚状況でみると、既婚は『満足している』の割合が 54.0%となっており、未婚（42.4%）より 11.6 ポイント高くなっています。

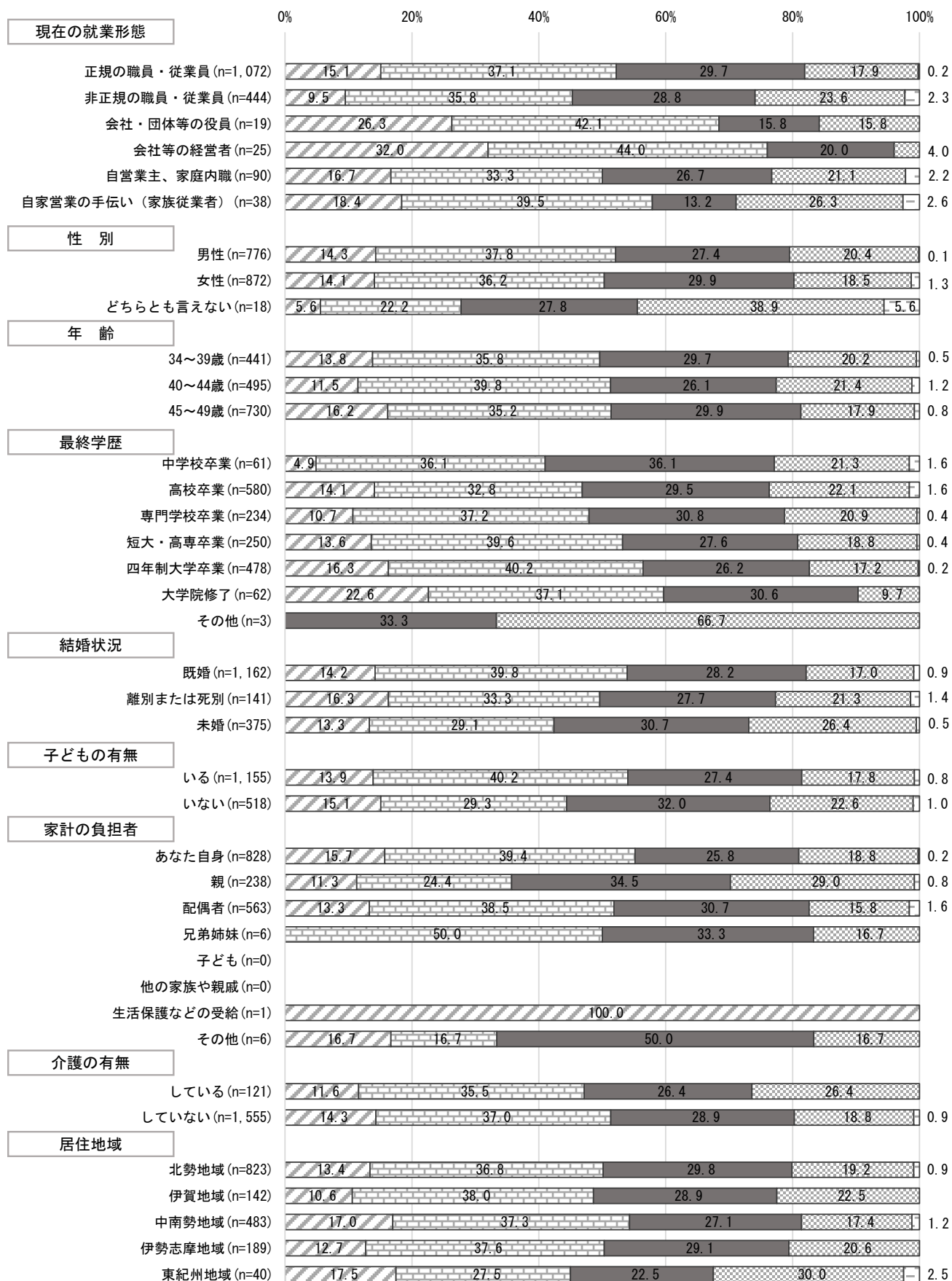
子供の有無でみると、いる方は『満足している』の割合が 54.1%となっており、いない方（44.4%）より 9.7 ポイント高くなっています。



※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ



問6-B 仕事の満足度（賃金）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

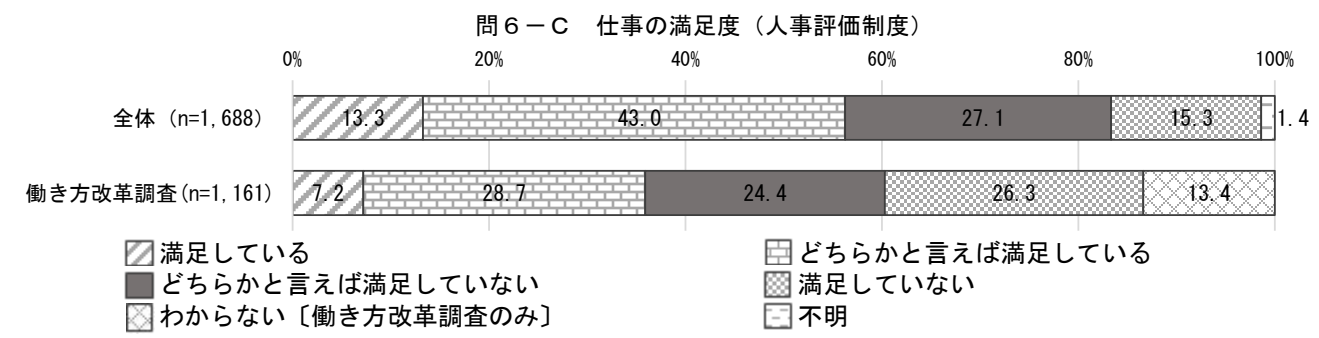
【仕事の満足度（人事評価制度）】

問6-C 人事評価制度にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。（○は1つだけ）

仕事の満足度（人事評価制度）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く43.0%、次いで「どちらかと言えば満足していない」が27.1%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は56.3%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が20.4ポイント高くなっており、「満足していない」が11.0ポイント低くなっています。

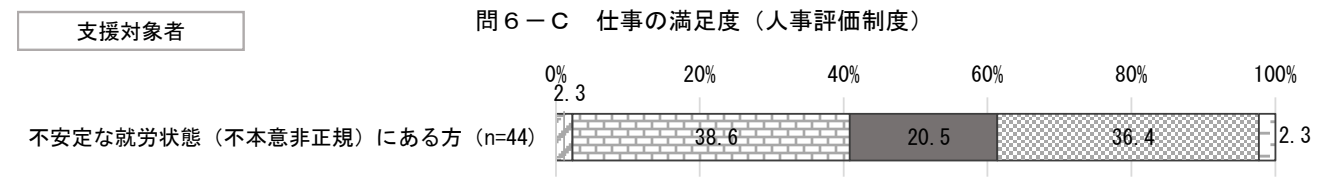
支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が56.9%となっており、全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、会社等の経営者は『満足している』の割合が84.0%となっています。また「満足している」が52.0%となっており、会社等の経営者以外の就業形態より20ポイント以上高くなっています。

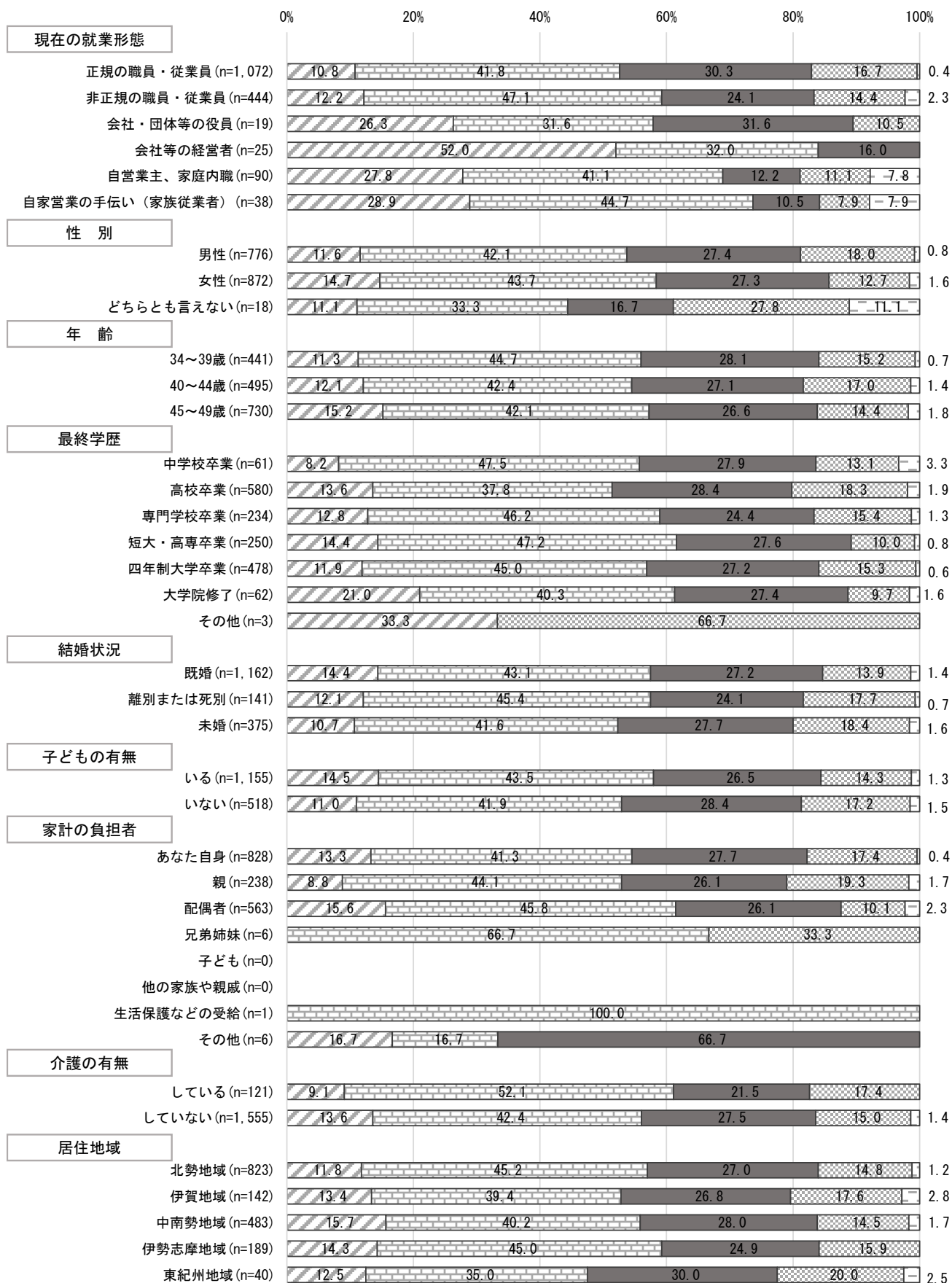


※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ

支援対象者



問6-C 仕事の満足度（人事評価制度）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（社員教育・研修制度）】

問6-D 社員教育・研修制度にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。（○は1つだけ）

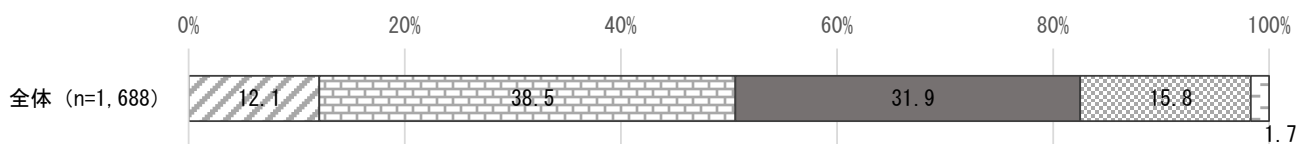
仕事の満足度（社員教育・研修制度）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く38.5%、次いで「どちらかと言えば満足していない」が31.9%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は50.6%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が70.5%となっており、全体や非正規の職員・従業員より20ポイント以上高くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業、高校卒業、四年制大学卒業は『満足している』の割合が『満足していない』より低く、特に中学校卒業は『満足している』が39.3%となっており、『満足していない』（55.7%）より16.4ポイント低くなっています。一方、専門学校卒業、短大・高専卒業、大学院修了は『満足している』の割合が『満足していない』より高くなっています。特に短大・高専卒業、大学院修了は『満足している』の割合が『満足していない』より10ポイント以上高くなっています。

居住地域でみると、東紀州地域は『満足していない』の割合が62.5%となっており、東紀州地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。

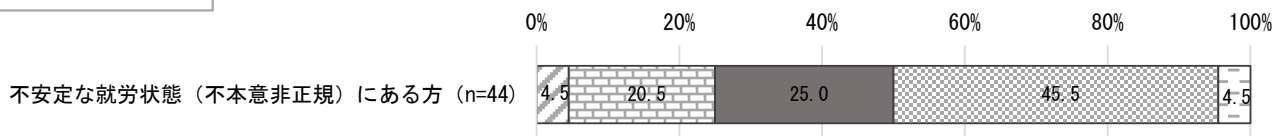
問6-D 仕事の満足度（社員教育・研修制度）



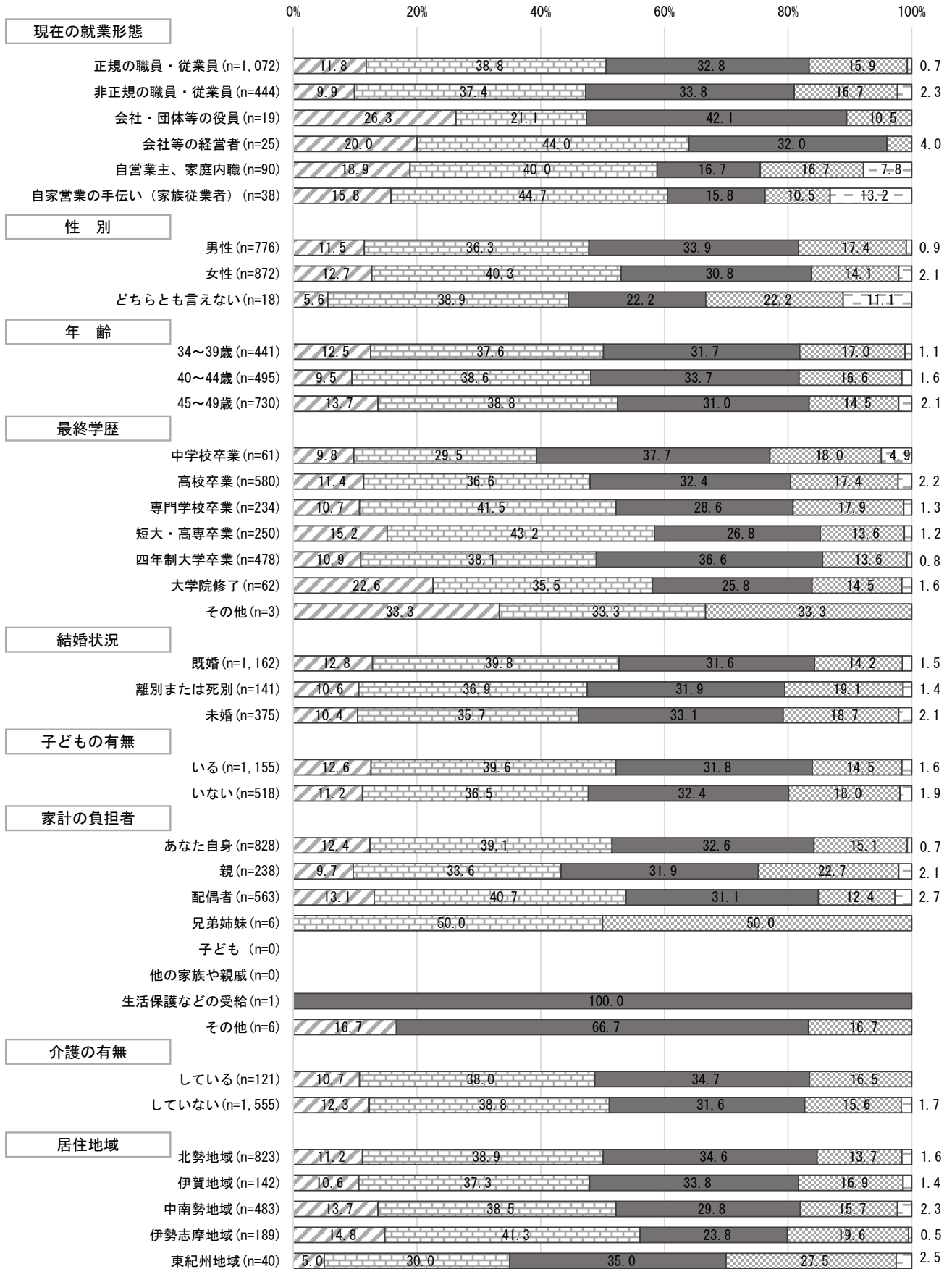
■満足している ■どちらかと言えば満足している ■どちらかと言えば満足していない ■満足していない □不明

支援対象者

問6-D 仕事の満足度（社員教育・研修制度）



問6-D 仕事の満足度（社員教育・研修制度）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（労働時間）】

問6-E 労働時間にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。
（○は1つだけ）

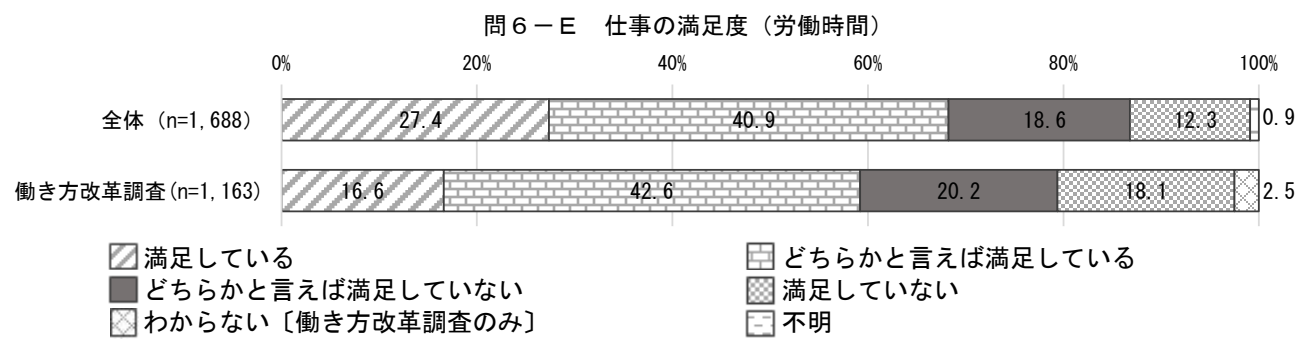
仕事の満足度（労働時間）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く40.9%、次いで「満足している」が27.4%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は68.3%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が9.1ポイント高くなっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が43.2%となっており、全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、自家営業の手伝い（家族従業者）は『満足している』の割合が76.3%、非正規の職員・従業員が73.6%となっています。一方、会社等の経営者は『満足している』の割合が56.0%、会社・団体等の役員は57.9%となっています。

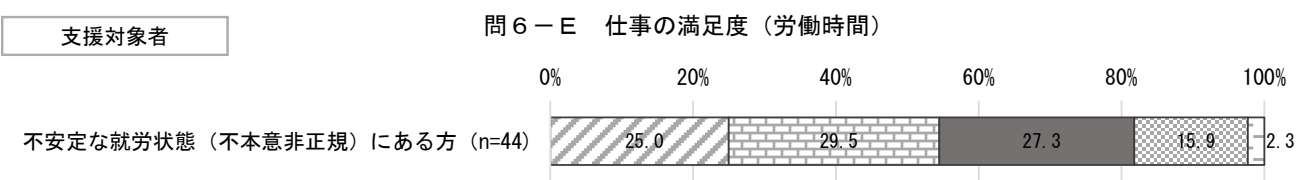
性別でみると、女性は『満足している』の割合が73.8%となっており、男性（61.9%）より、11.9ポイント高くなっています。

家計の負担者でみると、配偶者は『満足している』の割合が77.6%となっており、親（61.3%）、あなた自身（64.1%）より10ポイント以上高くなっています。

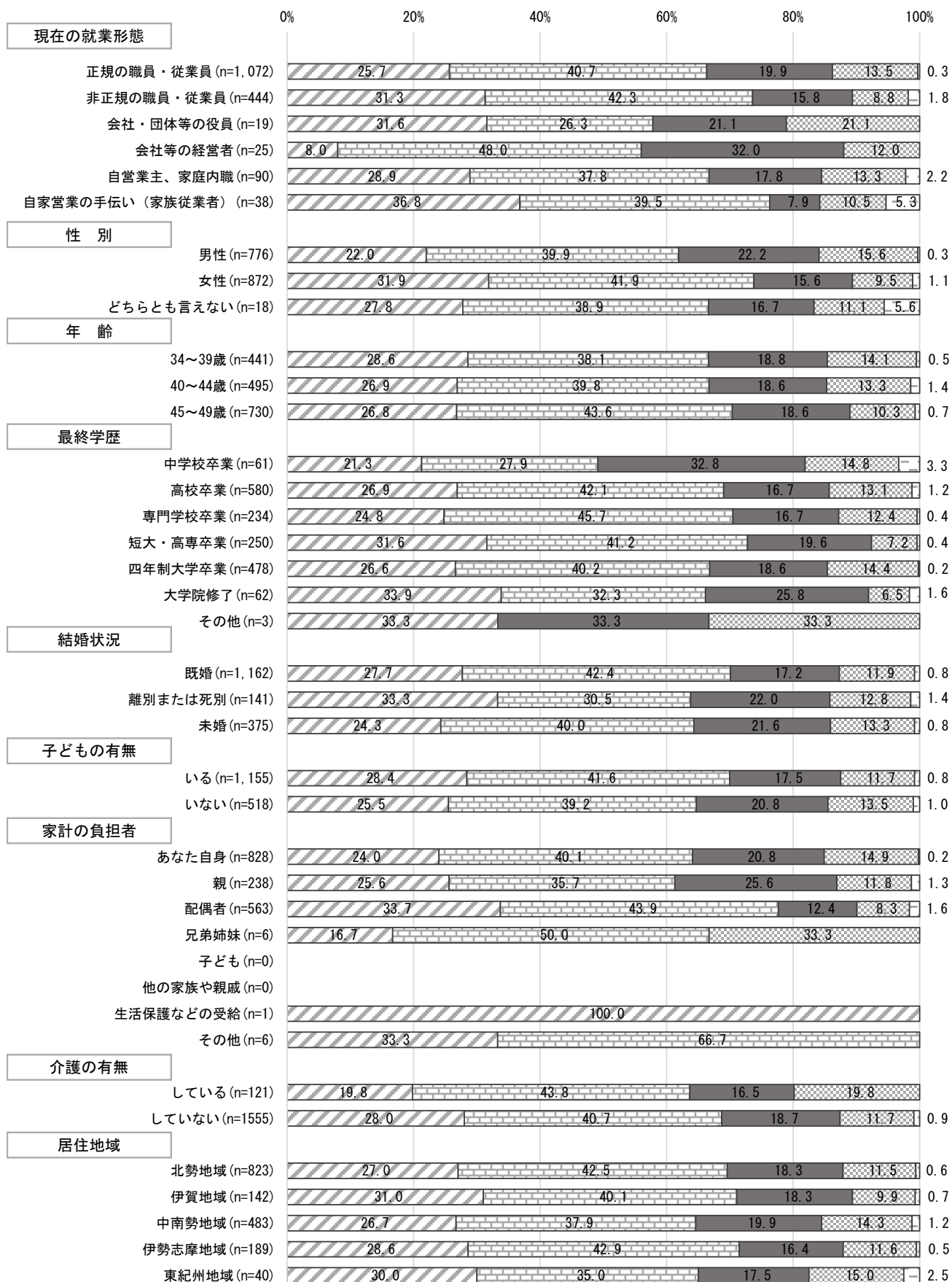


※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ

支援対象者



問6-E 仕事の満足度（労働時間）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（休暇制度）】

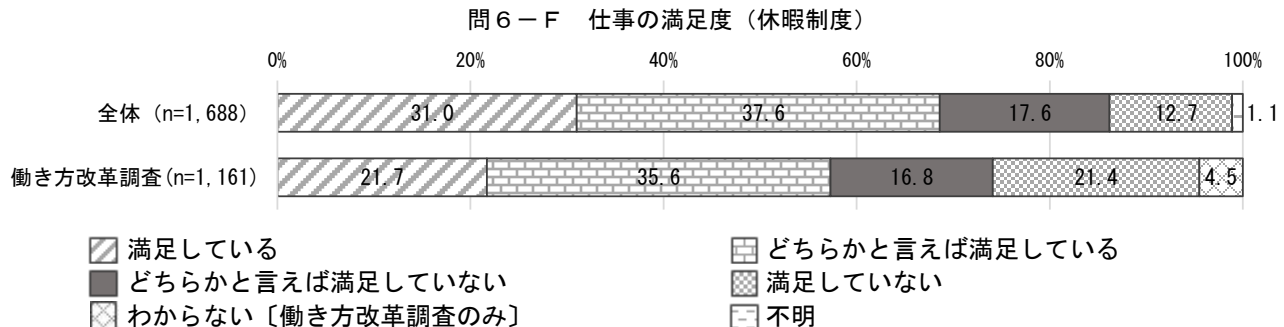
問6-F 休暇制度にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。
（○は1つだけ）

仕事の満足度（休暇制度）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く37.6%、次いで、「満足している」が31.0%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は68.6%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が11.3ポイント高くなっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が38.6%となっており、非正規の職員・従業員より13.2ポイント高くなっています。

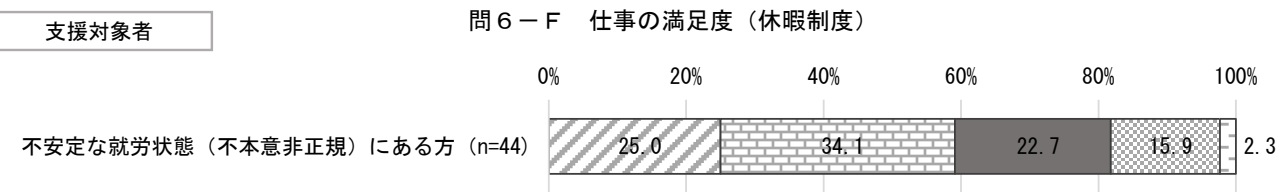
現在の就業形態でみると、非正規の職員・従業員は『満足している』の割合が72.5%となっており、会社等の経営者（52.0%）、会社・団体等の役員（57.9%）、自営業主・家庭内職（58.9%）より10ポイント以上高くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業は『満足している』の割合が50.8%となっており、中学校卒業以外の最終学歴より10ポイント以上低くなっています。

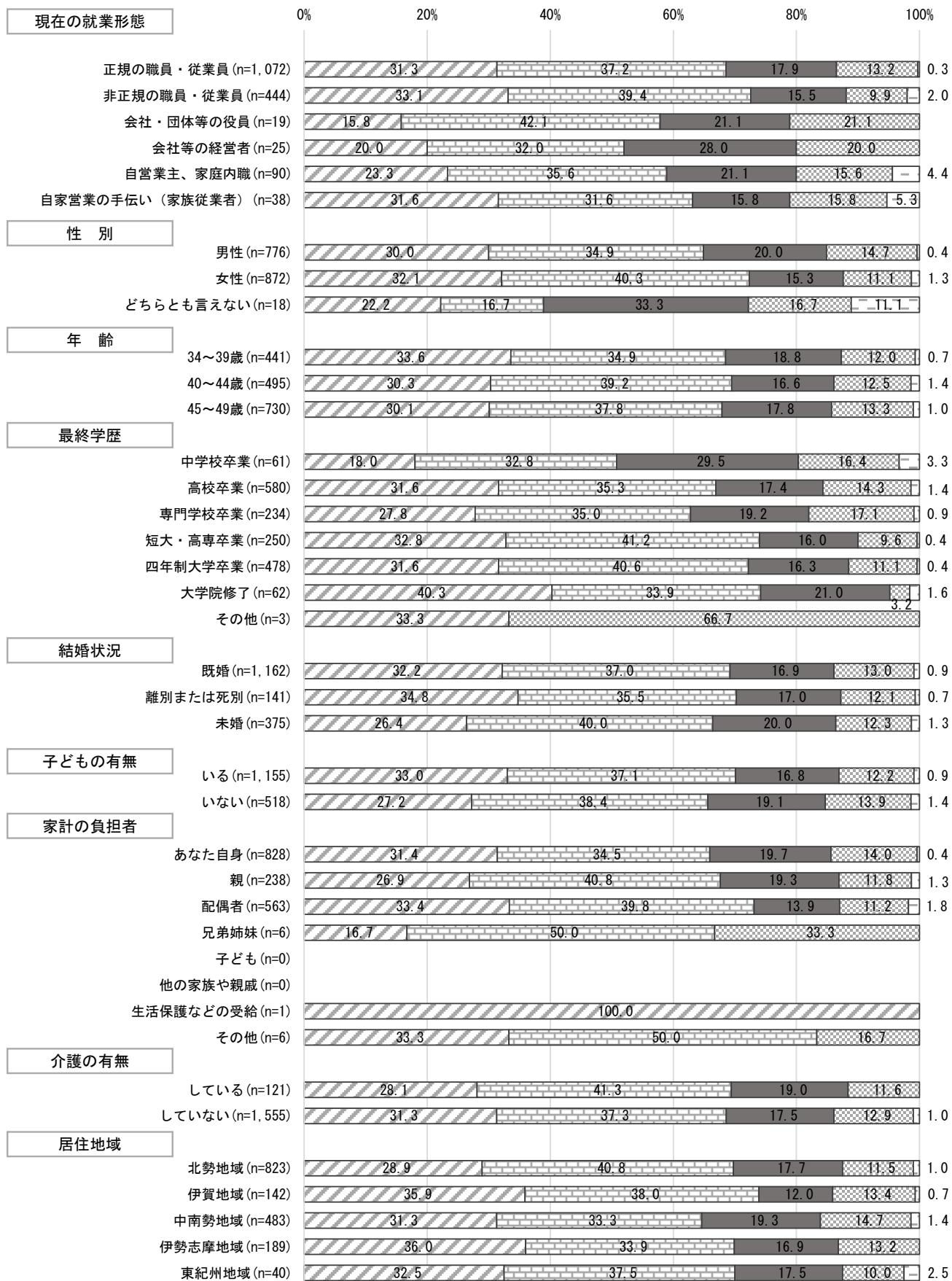


※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ

支援対象者



問6-F 仕事の満足度（休暇制度）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（仕事と生活の両立）】

問6-G 仕事と生活の両立にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。（○は1つだけ）

仕事の満足度（仕事と生活の両立）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く45.3%、次いで「満足している」が22.1%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は67.4%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が13.8ポイント高くなっています。

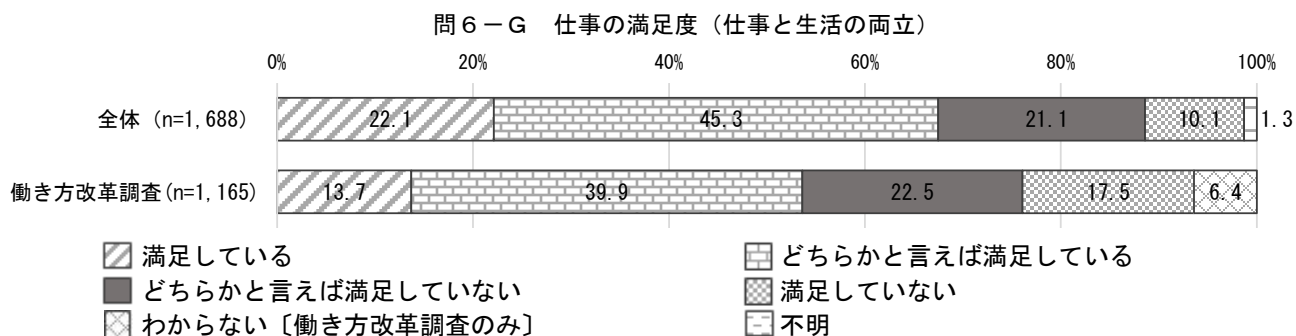
現在の就業形態でみると、自家営業の手伝い（家族従業者）は『満足している』の割合が76.3%、非正規の職員・従業員は74.3%、会社等の経営者は72.0%となっており、会社・団体等の役員（57.9%）や自営業主・家庭内職（57.8%）より10ポイント以上高くなっています。

性別でみると、女性は『満足している』の割合が71.6%となっており、男性（63.1%）より8.5ポイント高くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業は『満足している』の割合が50.9%となっており、中学校卒業以外の最終学歴より10ポイント以上低くなっています。

介護の有無でみると、している方は『満足していない』の割合が39.6%となっており、していない方より8.9ポイント低くなっています。

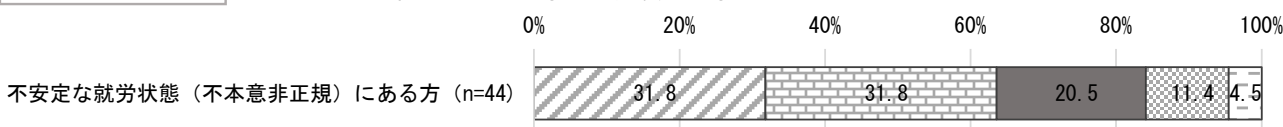
居住地域でみると、東紀州地域は『満足していない』の割合が47.5%となっており、東紀州地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。



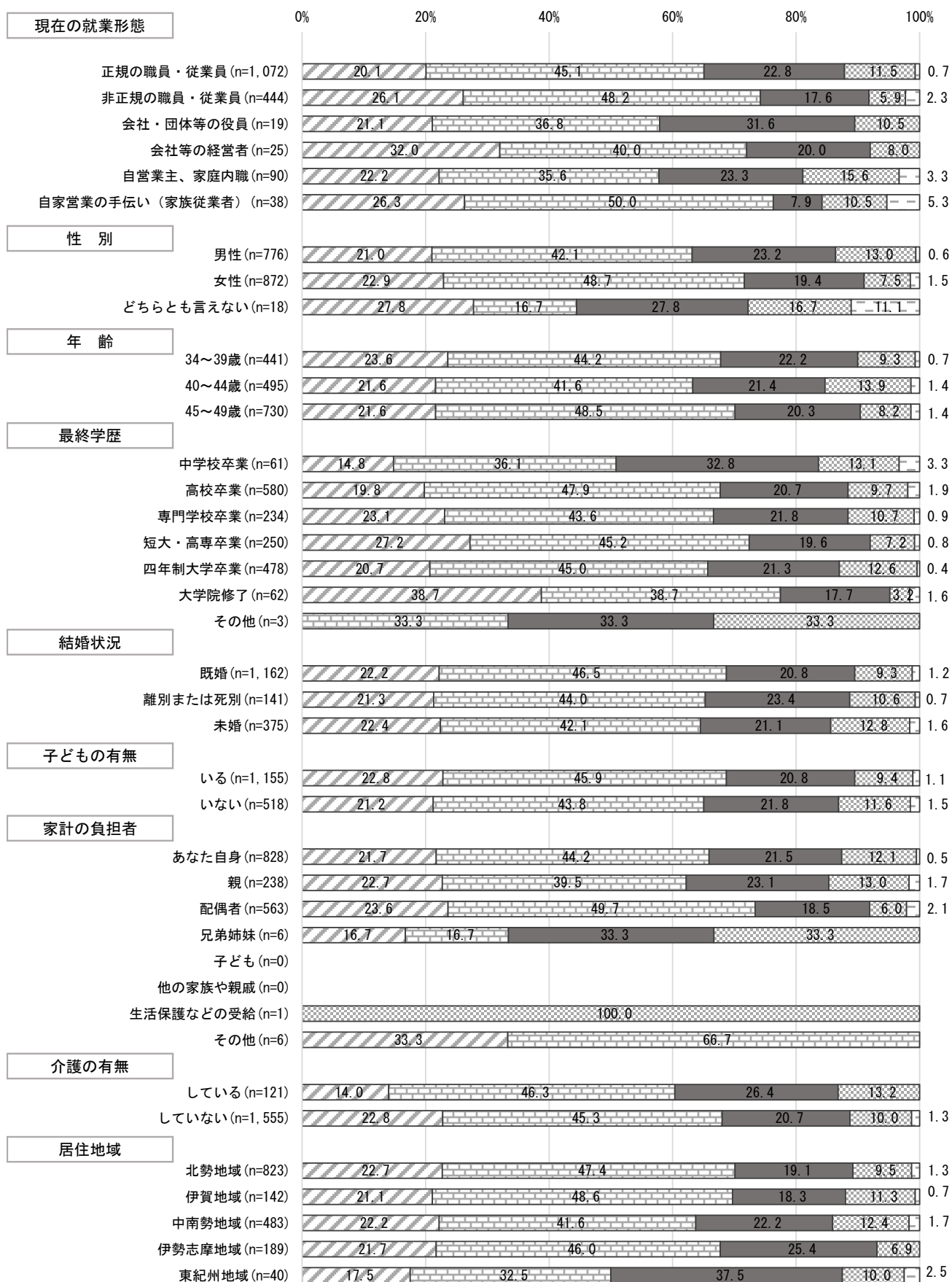
※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ

支援対象者

問6-G 仕事の満足度（仕事と生活の両立）



問6-G 仕事の満足度（仕事と生活の両立）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（福利厚生）】

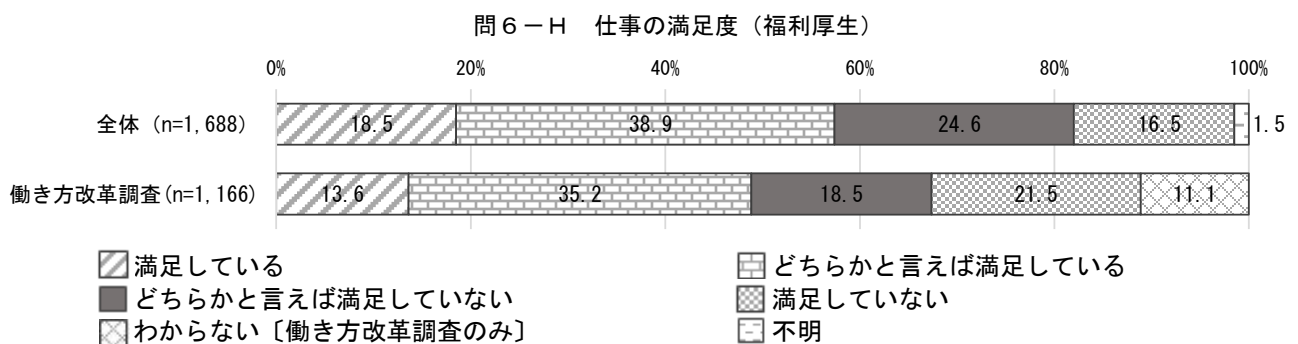
6-H 複利厚生にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。（○は1つだけ）

仕事の満足度（福利厚生）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く38.9%、次いで「どちらかと言えば満足していない」が24.6%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は57.4%となっています。働き方改革調査と比較すると、『満足している』の割合が8.6ポイント高くなっています。

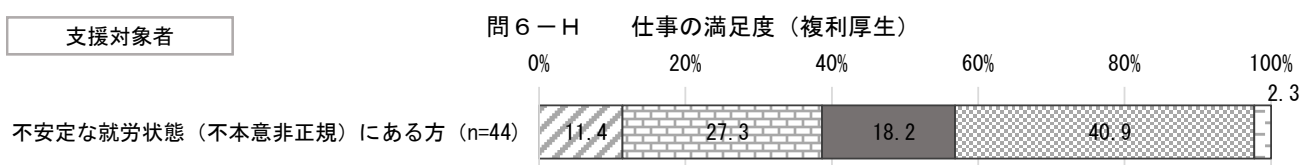
支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が59.1%となっており、全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、自営業主・家庭内職は『満足していない』が55.5%となっており、『満足している』（40.0%）より15.5ポイント高くなっています。

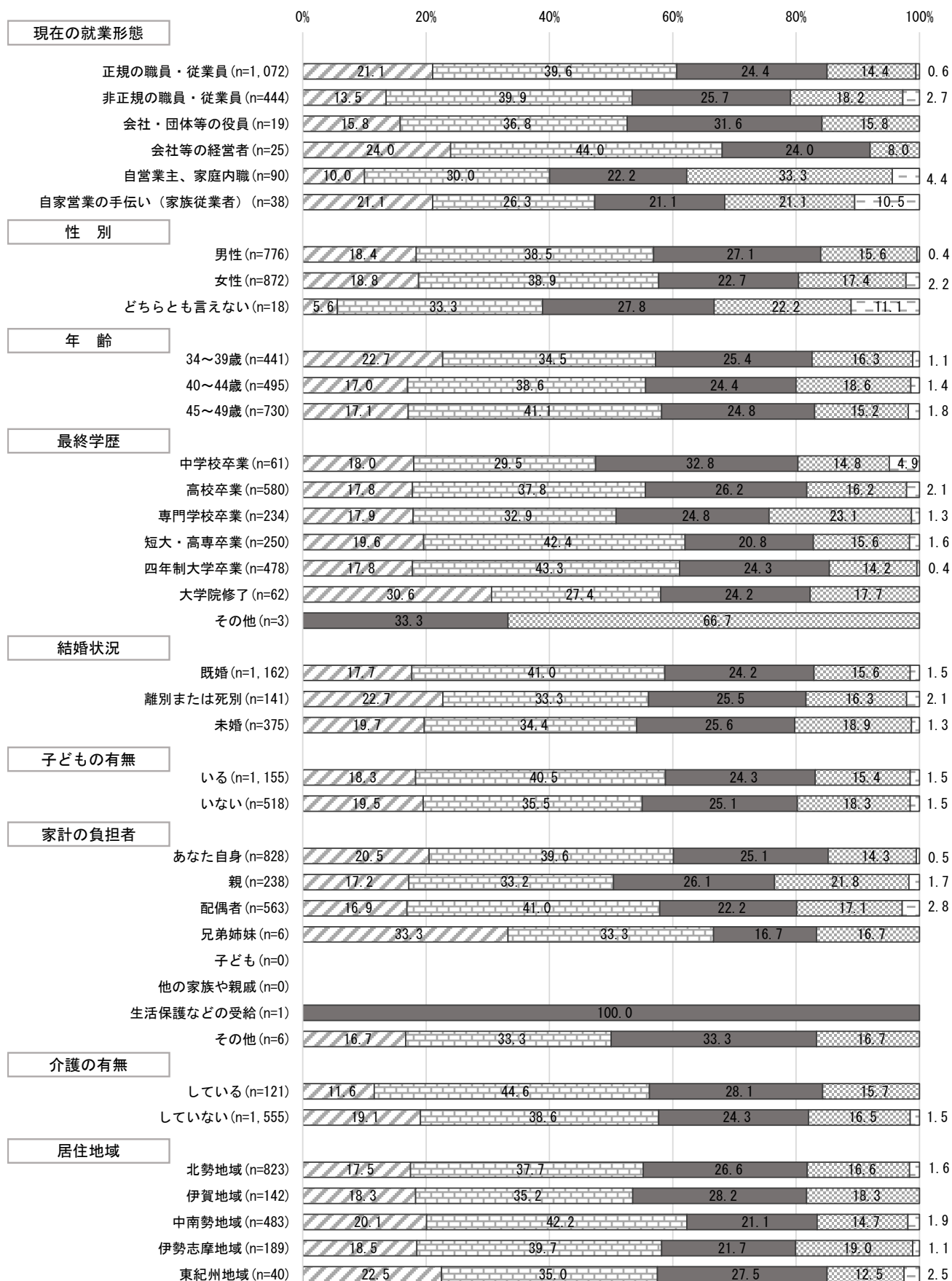
最終学歴でみると、大学院修了は「満足している」の割合が最も高く30.6%で、大学院修了以外の最終学歴より10ポイント以上高くなっています。中学校卒業は『満足していない』が47.6%となっており、『満足している』（47.5%）より0.1ポイント高くなっています。



※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ



問6-H 仕事の満足度（福利厚生）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【仕事の満足度（全体として）】

問6-I 全体として、どの程度満足していますか。あてはまる番号に○を付けてください。
（○は1つだけ）

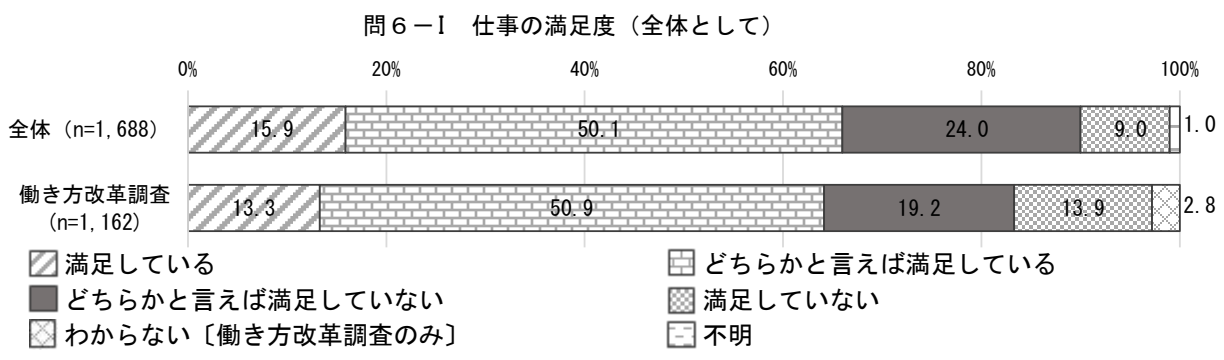
仕事の満足度（全体として）は「どちらかと言えば満足している」の割合が最も高く50.1%、次いで「どちらかと言えば満足していない」が24.0%となっています。「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合計した『満足している』の割合は66.0%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は『満足していない』の割合が61.4%となっており、全体、非正規の職員・従業員より20ポイント以上高くなっています。

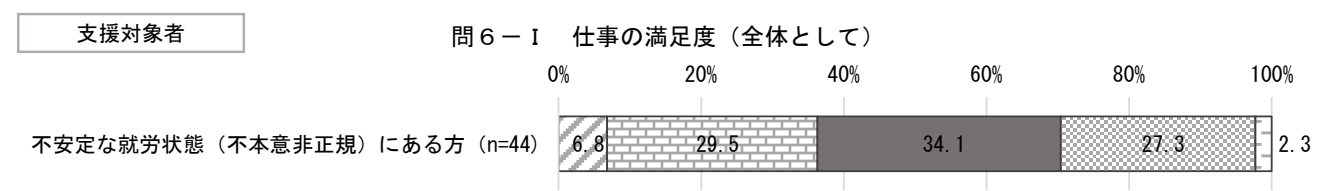
現在の就業形態でみると、会社等の経営者は『満足している』の割合が96.0%となっており、会社等の経営者以外の就業形態より20ポイント以上高くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業、高校卒業は『満足している』の割合が59.0%となっており、大学院修了（82.3%）、短大・高専卒業（74.8%）、四年制大学卒業（69.6%）より10ポイント以上低くなっています。

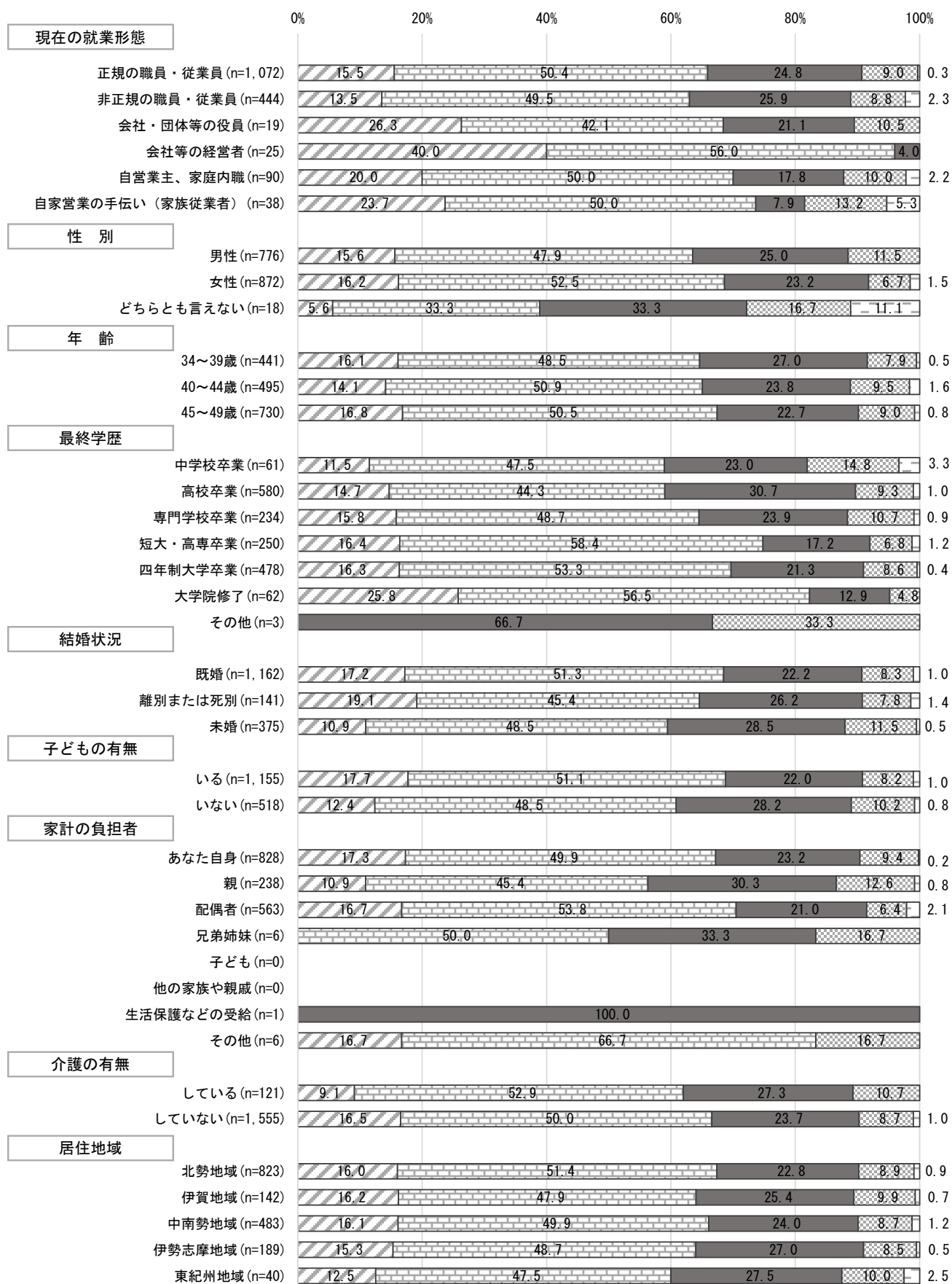
家計の負担者でみると、配偶者は『満足している』の割合が70.5%、あなた自身は67.2%となっており、親（56.3%）、兄弟姉妹（50.0%）より10ポイント以上高くなっています



※「わからない」の選択肢は働き方改革調査のみ



問6-1 仕事の満足度（全体として）



現在働いている方（問1で、1 正規の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方）を対象

【現在の仕事が学校を卒業して最初に就いた仕事であるか否か】

問7 現在の仕事は、あなたが学校を卒業（または、中退）して最初に就いた仕事ですか。
（○は1つだけ）

現在の仕事が学校を卒業して最初に就いた仕事であるか否かについては「いいえ」の割合が69.0%、「はい」が31.0%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「いいえ」の割合が95.5%となっており、全体より26.5ポイント高くなっています。

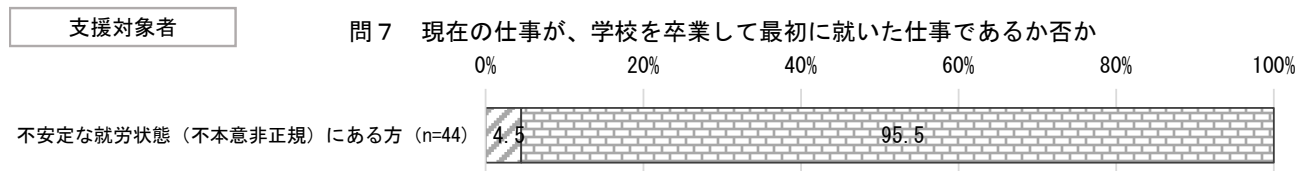
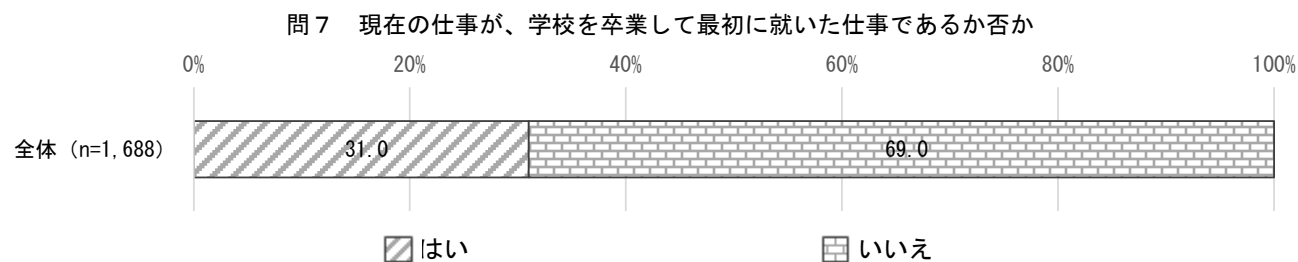
現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「はい」の割合が42.2%となっており、正規の職員・従業員以外の就業形態より10ポイント以上高くなっています。また、非正規の職員・従業員は「いいえ」の割合が92.3%、自家営業の手伝い（家族従業者）は89.5%となっており、これら以外の就業形態より10ポイント以上高くなっています。

性別でみると、男性は「はい」の割合が39.6%となっており、女性（24.2%）より15.4ポイント高くなっています。

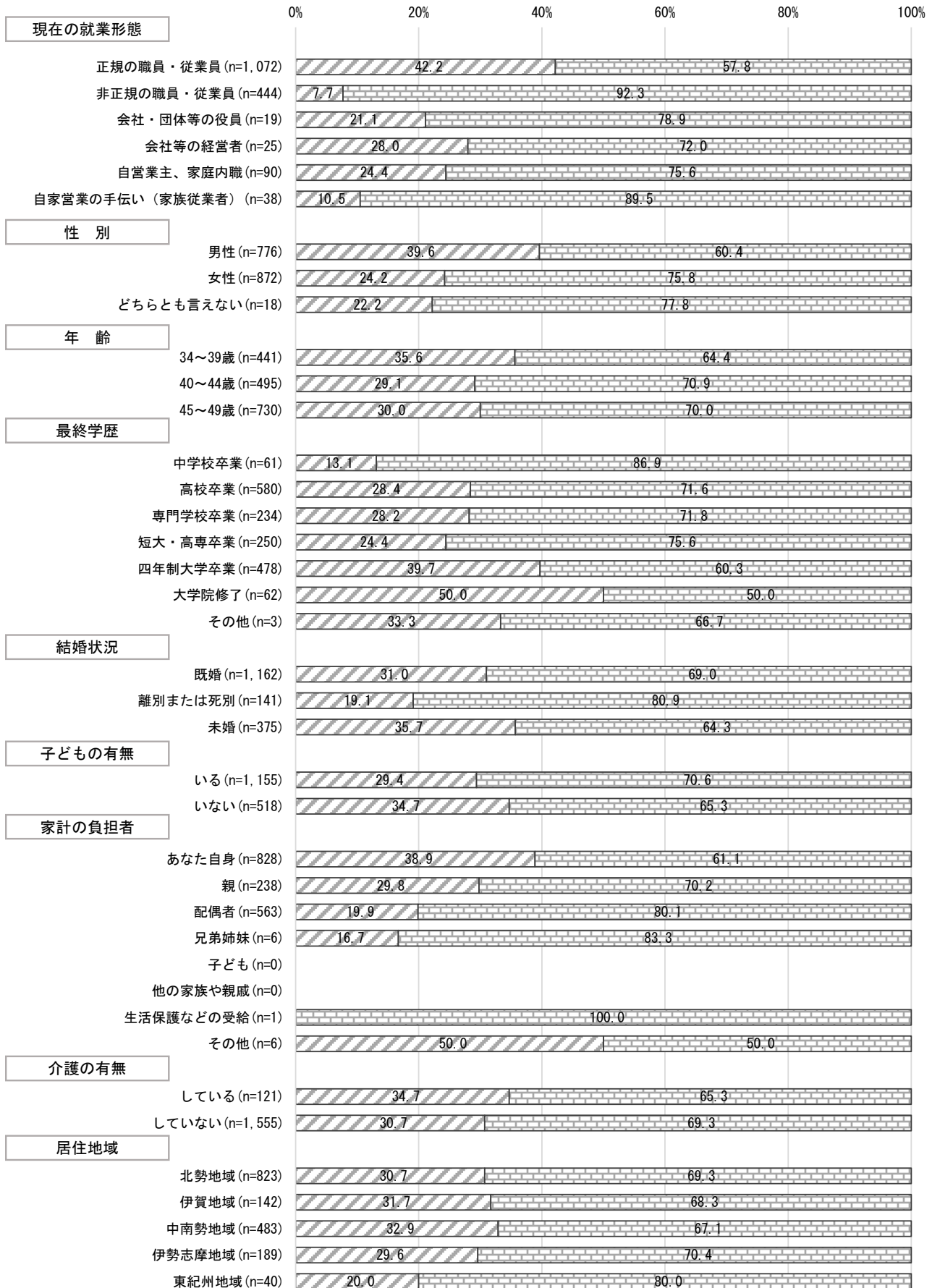
最終学歴でみると、大学院修了は「はい」の割合が50.0%となっているのに対し、中学校卒業は13.1%となっています。

結婚状況でみると、離別または死別は「はい」の割合が19.1%となっており、既婚（31.0%）、未婚（35.7%）より10ポイント以上低くなっています。

居住地域でみると、東紀州地域は「いいえ」の割合が80.0%となっており、東紀州地域以外の居住地域より高くなっています。



問7 現在の仕事が、学校を卒業して最初に就いた仕事であるか否か



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態】

問8 あなたが学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事の就業形態は何ですか。
（〇は1つだけ）

学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態は「正規の職員・従業員」の割合が最も高く76.9%、次いで「非正規の職員・従業員」が18.8%となっています。

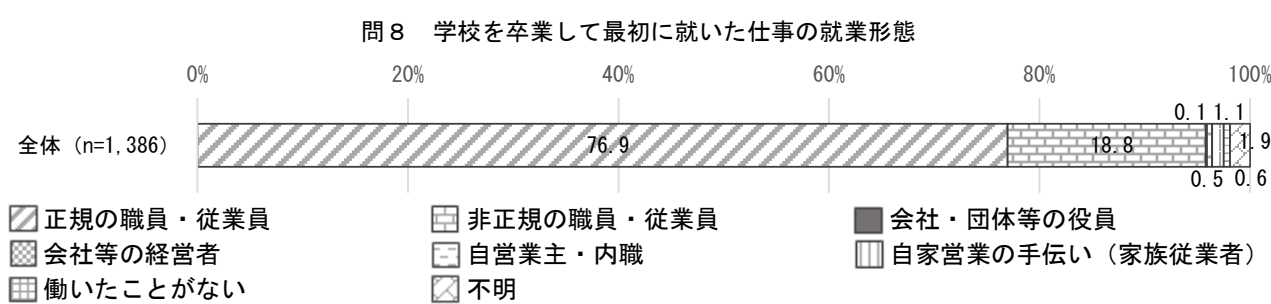
支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方は「非正規の職員・従業員」の割合が最も高くなっており、全体より20ポイント以上高くなっています。不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「非正規の職員・従業員」の割合が全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、会社等の経営者は「正規の職員・従業員」の割合が100%、正規の職員・従業員、会社・団体等の役員、自営業主・家庭内職、自家営業の手伝い（家族従業者）は80%以上となっているのに対し、無職は59.5%となっています。また、無職、専業主婦・専業主夫、非正規の職員・従業員、会社・団体等の役員は「非正規の職員・従業員」の割合が20%以上となっています。さらに、無職は「働いたことがない」の割合が10.7%となっています。

年齢でみると、年齢が若いほど「非正規の職員・従業員」の割合が高くなっており、34～39歳は27.8%となっています。

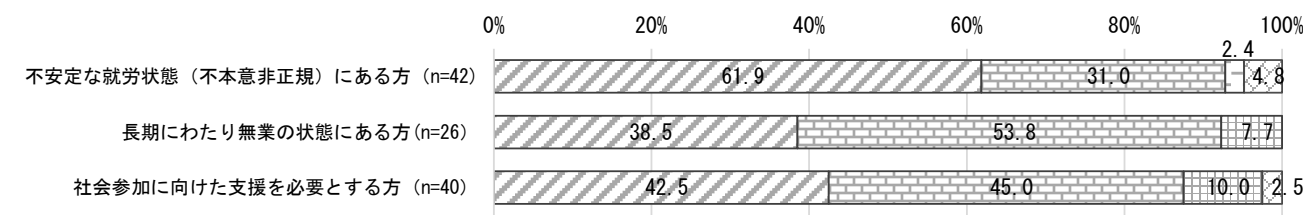
最終学歴でみると、中学校卒業以外は「正規の職員・従業員」の割合が70%以上となっています。中学校卒業は「非正規の職員・従業員」の割合が50.8%となっています。

結婚状況でみると、未婚は「正規の職員・従業員」の割合が66.1%となっており、既婚（80.2%）、離別または死別（78.0%）より10ポイント以上低くなっています。

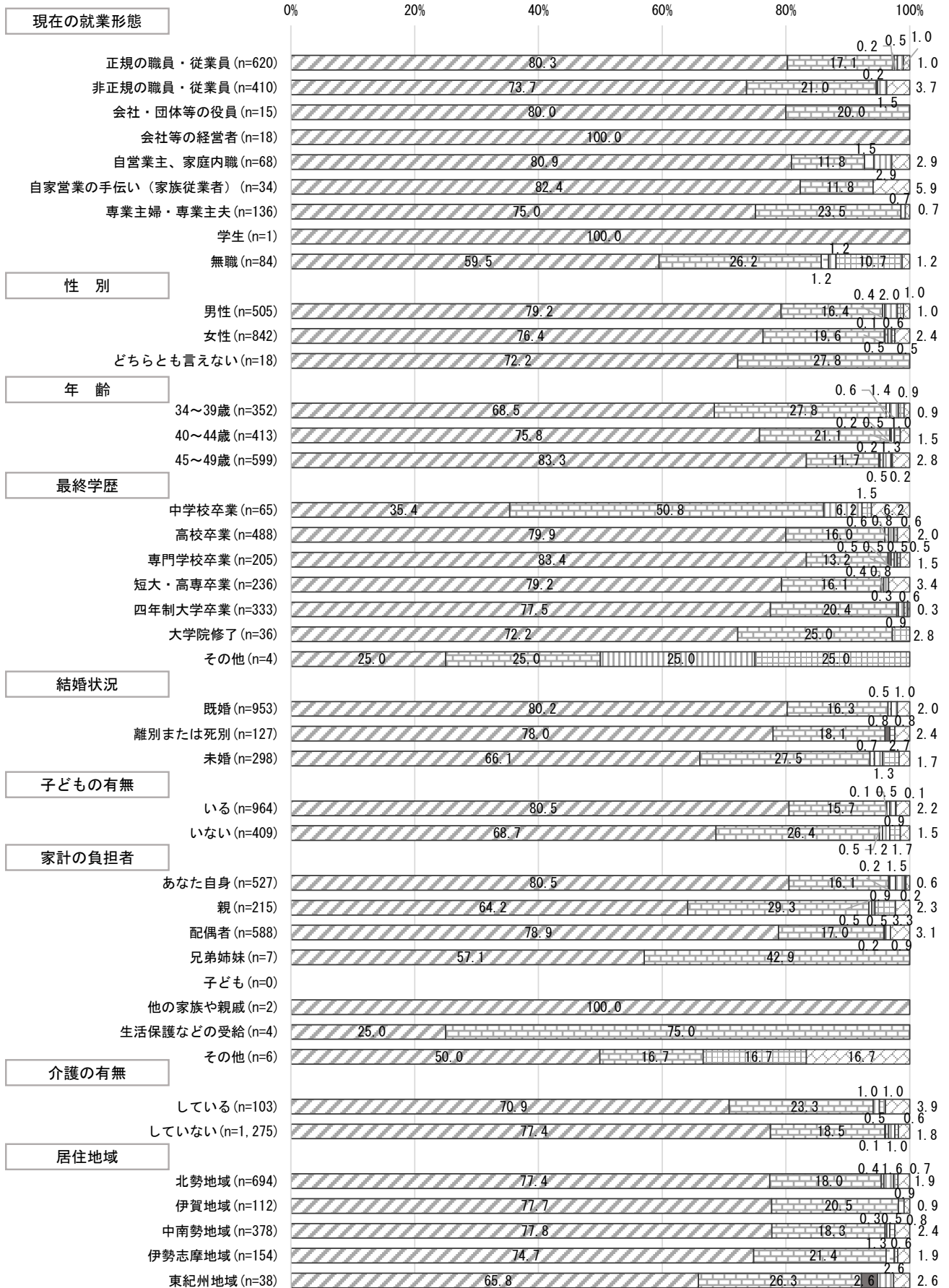


支援対象者

問8 学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態



問8 学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【学校を卒業して最初に就いた仕事の職種】

問9 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事の職種はなんですか。
（○は1つだけ）

学校を卒業して最初に就いた仕事の職種は、「事務職」の割合が最も高く 22.1%、次いでサービス職業が 20.4%、製造・生産工程職が 18.0%となっています。

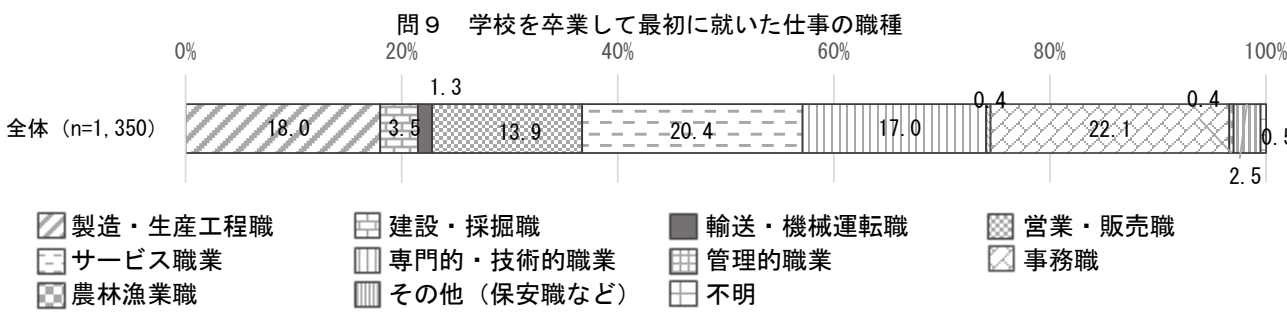
支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「事務職」、長期にわたり無業の状態にある方は「サービス職業」、社会参加に向けた支援を必要とする方は「製造・生産工程職」が最も高くなっています。

学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「事務職」、非正規の職員・従業員は「サービス職業」、自営業主・家庭内職は「専門的・技術的職業」、自家営業の手伝い（家族従業者）は「建設・採掘職」が最も高くなっています。

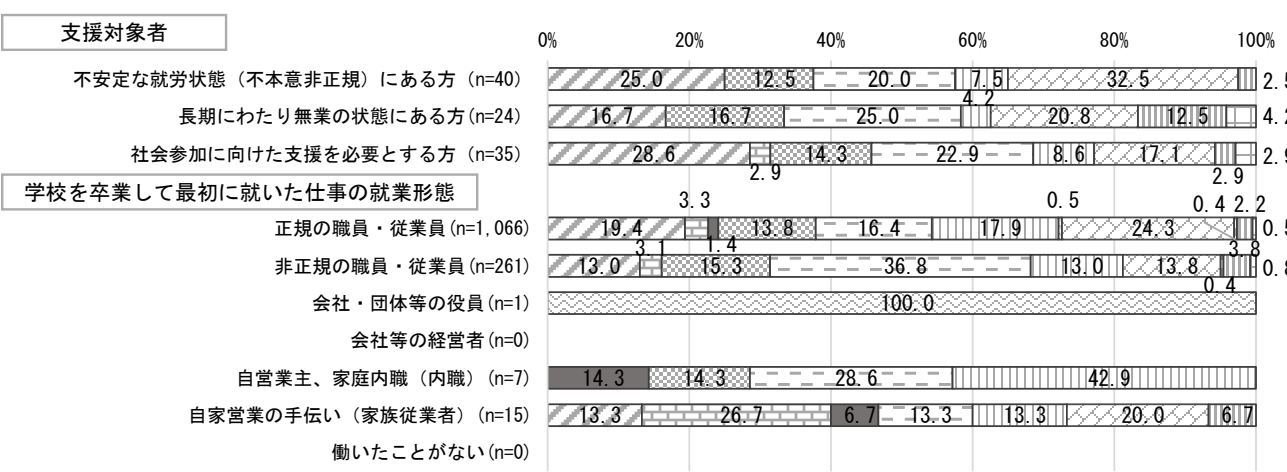
現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、自営業主・家庭内職は「製造・生産工程職」、非正規の職員・従業員、自家営業の手伝い（家族従業者）、専業主婦・専業主夫、無職は「事務職」、会社・団体等の役員は「専門的・技術的職業」、会社等の経営者は「製造・生産工程職」と「建設・採掘職」が同率で最も高くなっています。

性別でみると、男性は「製造・生産工程職」の割合が最も高く 29.1%、次いで「サービス職業」が 20.8%となっています。女性は「事務職」の割合が最も高く 32.3%、次いで「サービス職業」が 19.7%となっています。

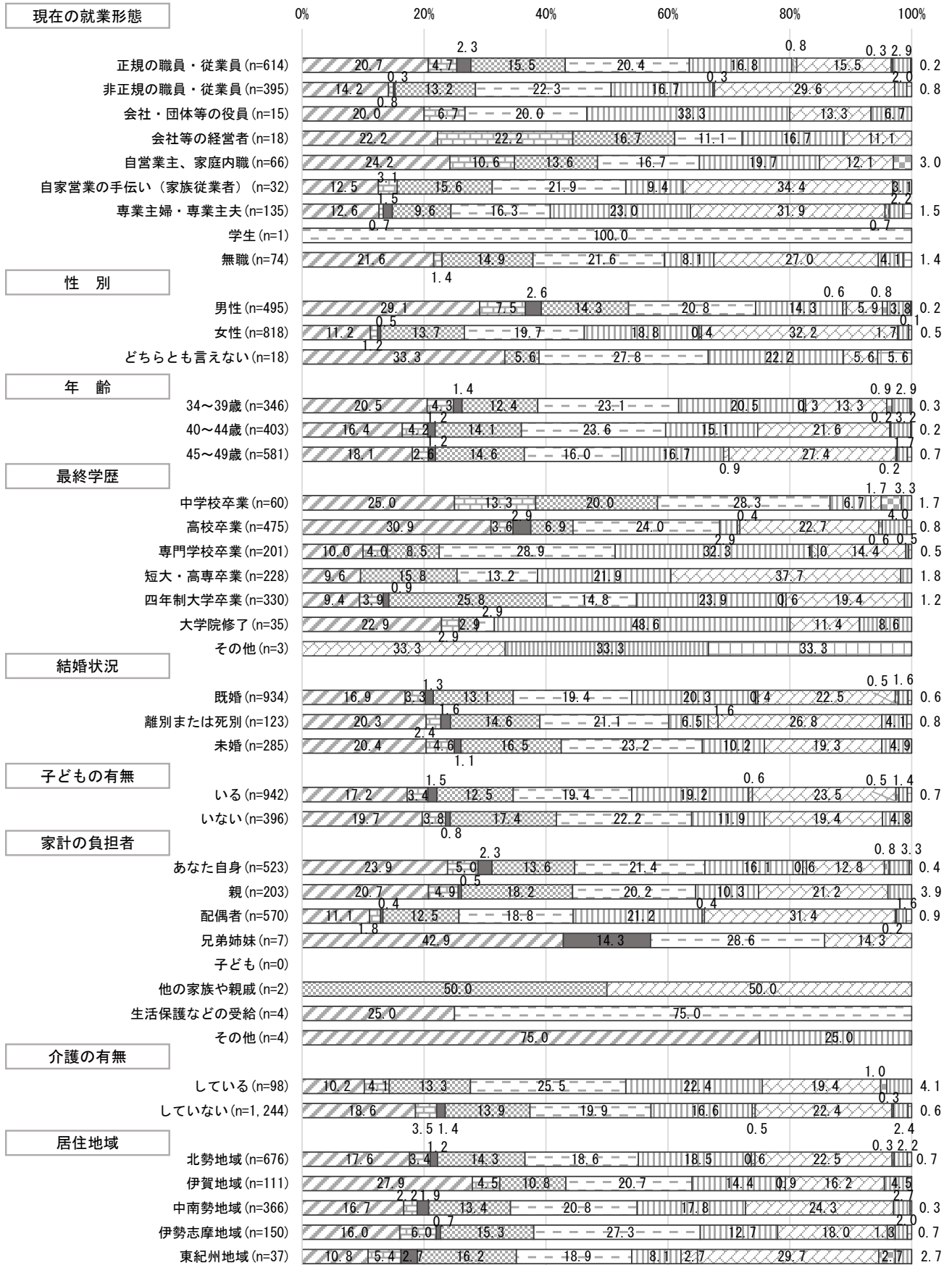
最終学歴でみると、中学校卒業は「サービス職業」、高校卒業は「製造・生産工程職」、専門学校卒業、大学院修了は「専門的・技術的職業」、短大・専門学校卒業は「事務職」、四年制大学卒業は「営業・販売職」が最も高くなっています。



問9 学校を卒業して最初に就いた仕事の職種



問9 学校を卒業して最初に就いた仕事の職種



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間】

問10 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事をされていた期間はどのくらいですか。（〇は1つだけ）

学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間は「1年～3年未満」が最も高く32.4%、次いで「5年～10年未満」が19.9%、「3年～5年未満」が19.3%となっています。また、「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』の割合は50.7%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「1年未満」の割合が最も高く58.3%、『3年未満』の割合が75.0%となっています。

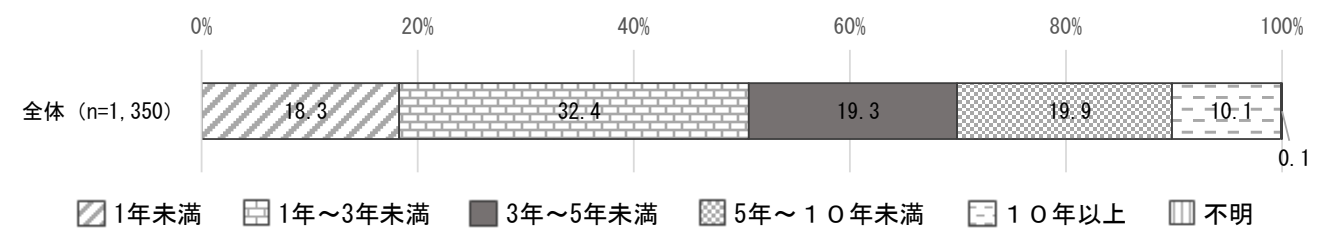
学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態でみると、正規の職員・従業員は『3年未満』の割合が45.3%、非正規の職員・従業員は72.4%となっています。

現在の就業形態でみると、会社等の経営者は「3年～5年未満」、専業主婦・専業主夫は「5年～10年未満」が最も高くなっており、これら以外の就業形態では「1年～3年未満」の割合が最も高くなっています。正規の職員・従業員、会社・団体等の役員、自営業主・家庭内職、無職は『3年未満』の割合が50%を超えています。

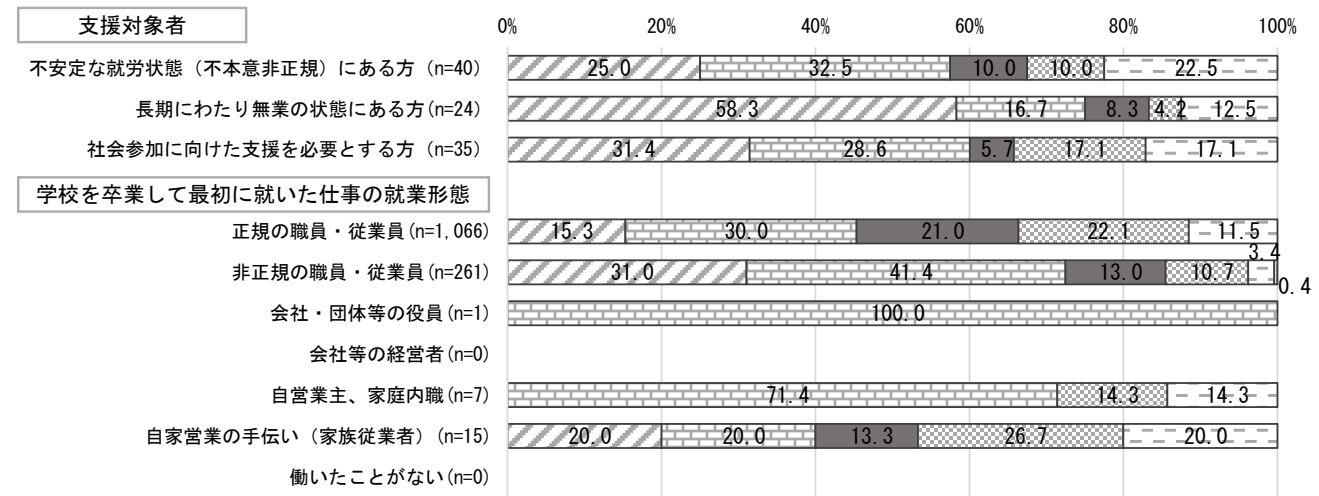
年齢でみると、年齢が高いほど『3年未満』の割合が低くなっています。45～49歳は『3年未満』の割合が44.6%となっており、34～39歳（58.4%）より13.8ポイント低くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業は『3年未満』の割合が75.0%となっており、中学校卒業以外の最終学歴より20ポイント以上高くなっています。

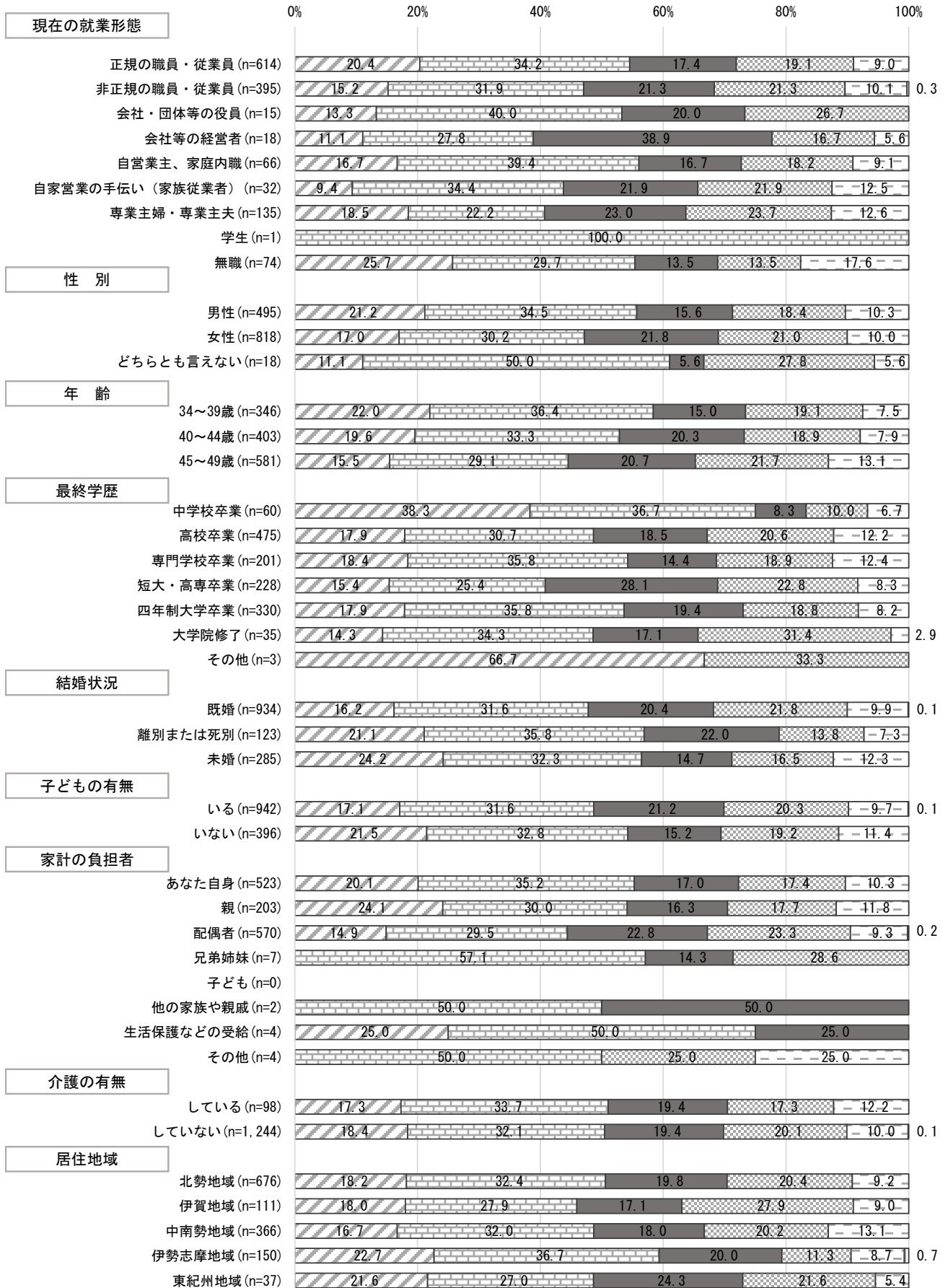
問10 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間



問10 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間



問10 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）】

問 1 1 学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事以外で、あなたはいくつの仕事を体験しましたか。（〇は1つだけ）

経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）は「2つ」の割合が最も高く21.3%、次いで「1つ」が20.1%、「3つ」が18.3%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも「6つ以上」の割合が最も高くなっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、会社・団体等の役員、会社等の経営者、自営業主・家庭内職は「1つ」、自家営業の手伝い（家族従業者）は「1つ」と「2つ」が同率、専業主婦・専業主夫は「2つ」、無職は「6つ以上」が最も高くなっています。また、非正規の職員・従業員は『4つ以上』の割合が43.8%、無職は40.6%となっています。

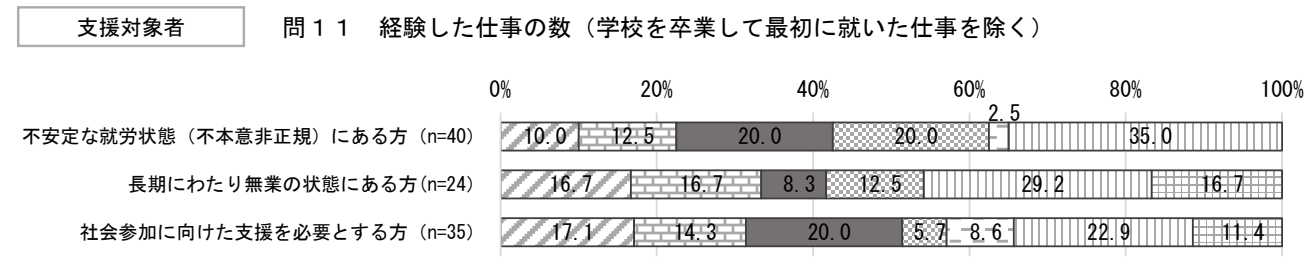
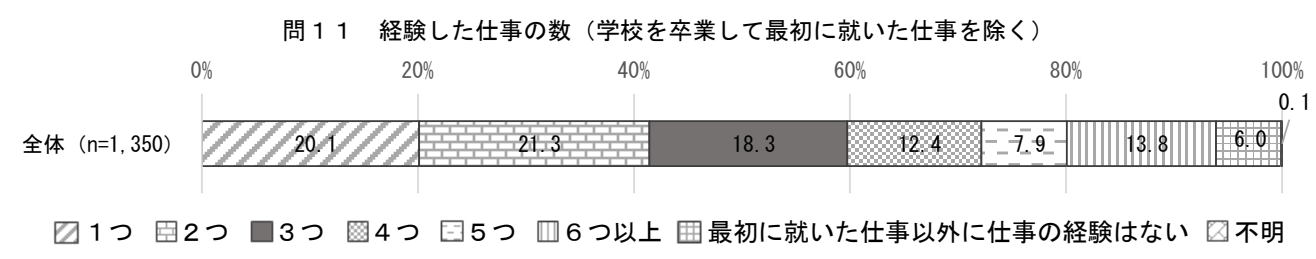
性別でみると、男性は「1つ」、女性は「2つ」の割合が最も高くなっています。また、女性は『4つ以上』の割合が38.1%で、男性（26.7%）より11.4ポイント高くなっています。

最終学歴でみると、最終学歴が高いほど『4つ以上』の割合が減少しています。

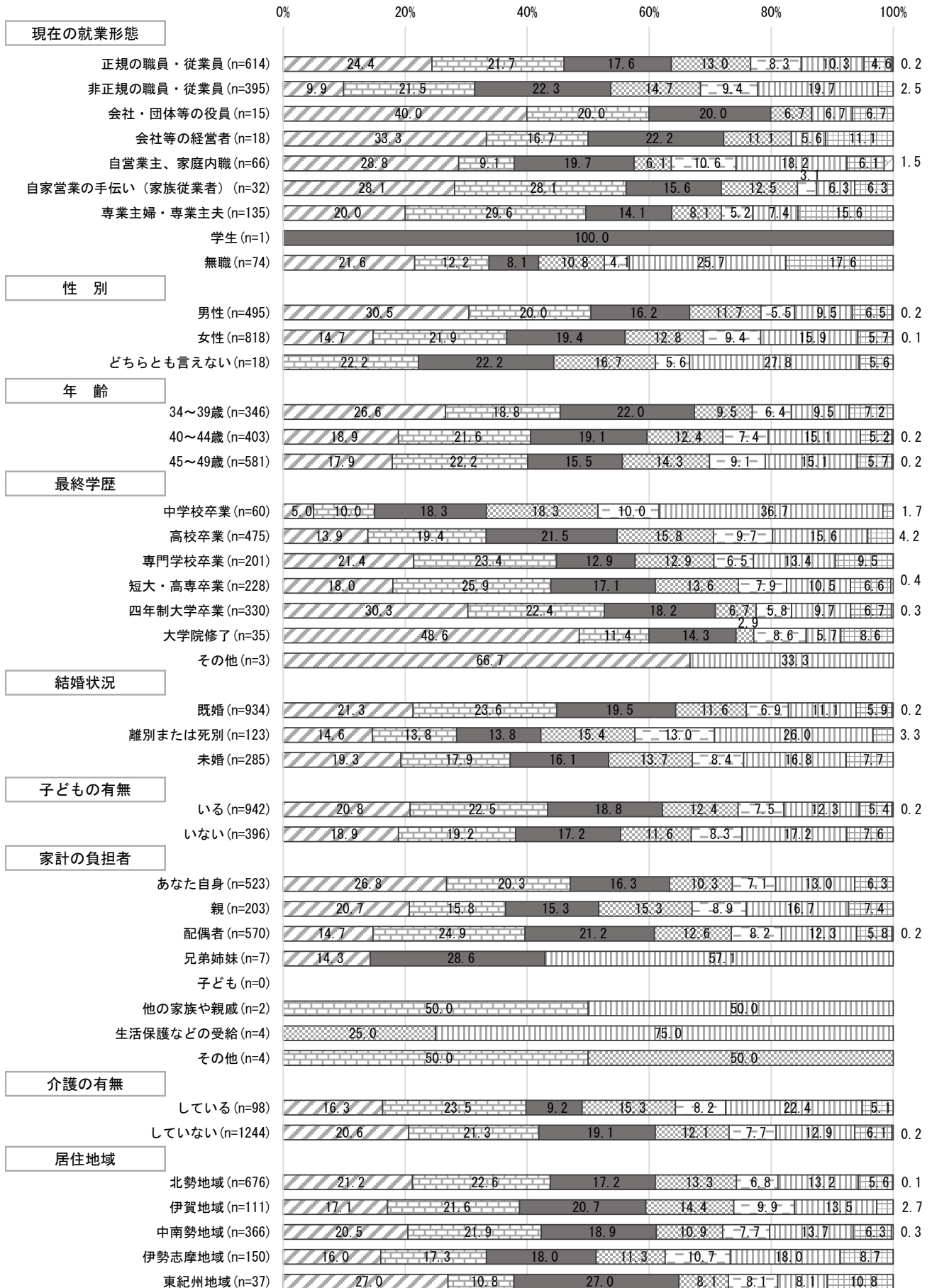
結婚状況でみると、離別または死別は『4つ以上』の割合が54.4%となっており、既婚（29.6%）より24.8ポイント、未婚（38.9%）より15.5ポイント高くなっています。

家計の負担者でみると、親は『4つ以上』の割合が40.9%となっており、あなた自身（30.4%）より10.5ポイント高くなっています。

介護の有無でみると、している方は「6つ以上」の割合が22.4%となっており、していない方（12.9%）より9.5ポイント高くなっています。



問 1 1 経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【経験した正規の職員・従業員の仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）】

問 1 2 学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事以外であなたが経験した仕事のうち、「正規の職員・従業員」の仕事の数はいくつですか。（〇は1つだけ）

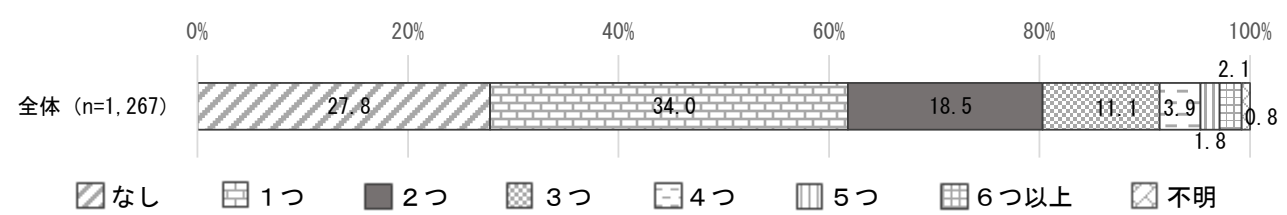
経験した正規の職員・従業員の仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）は「1つ」の割合が最も高く 34.0%、次いで「なし」が 27.8%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方は「なし」の割合が最も高く 40%以上となっています。

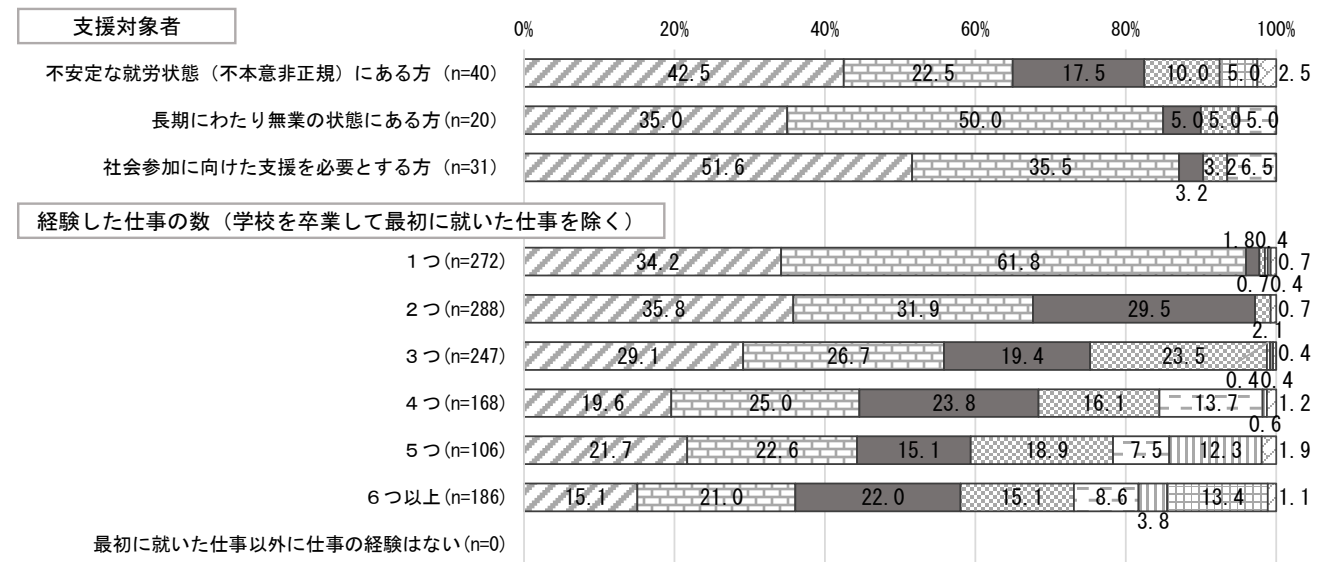
性別でみると、男性は「1つ」の割合が最も高く 37.9%、次いで「2つ」が 21.9%となっています。女性は「なし」の割合が最も高く 36.5%、次いで「1つ」が 31.7%となっています。

結婚状況でみると「なし」の割合は既婚が 31.2%となっており、離別または死別（14.3%）より 16.9 ポイント、未婚（21.7%）より 9.5 ポイント高くなっています。

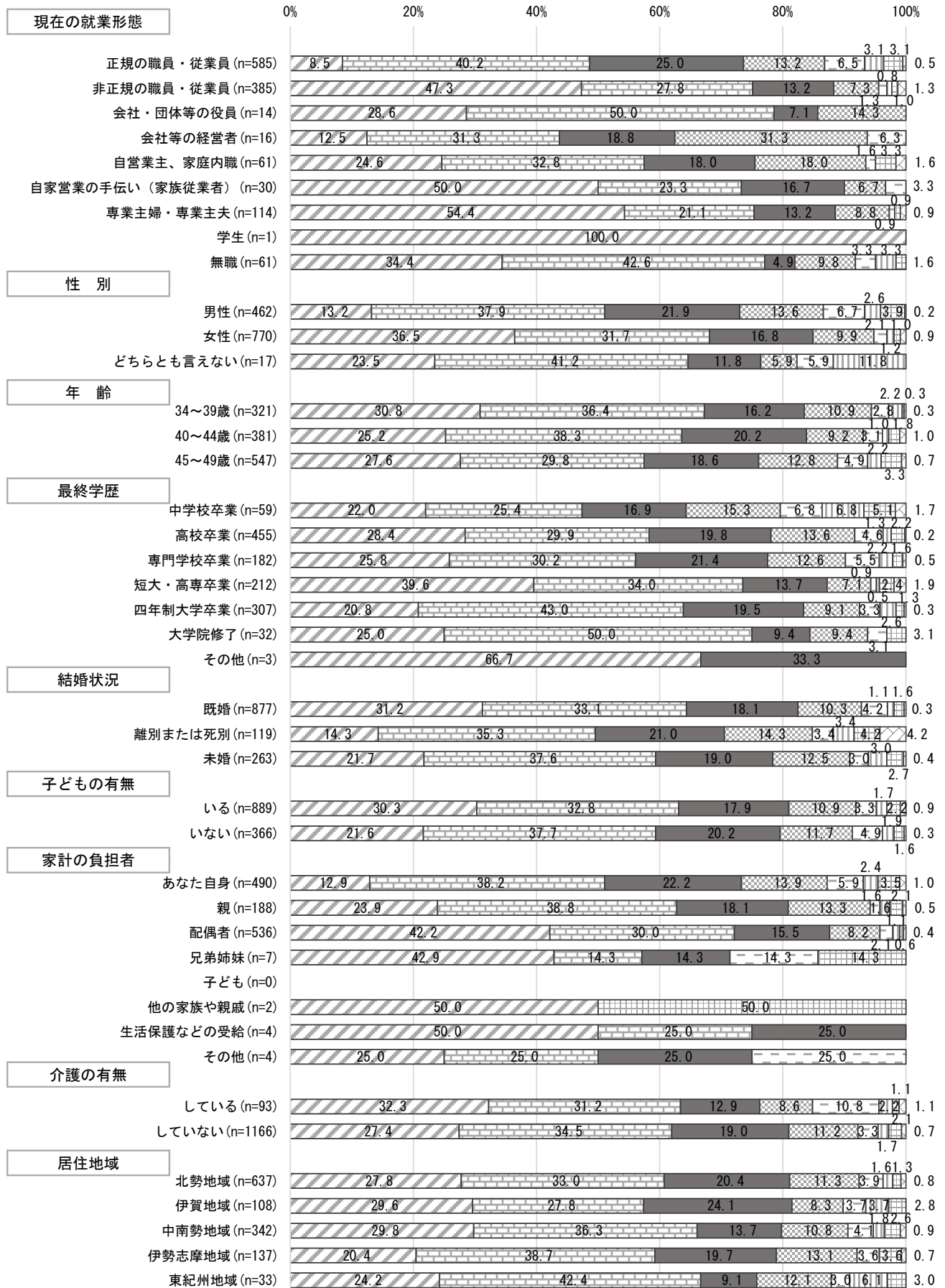
問 1 2 経験した正規の職員・従業員の仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



問 1 2 経験した正規の職員・従業員の仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



問 1 2 経験した正規の職員・従業員の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



離職・転職をしたことがある方および、現在働いていない方を対象

【学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由】

問13 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事を辞めた理由はなんですか。（〇はいくつでも）

学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由は「結婚のため」の割合が最も高く17.6%、次いで「自分に向かない仕事だったため」が17.0%、「職場の人間関係が良くなかったため」が15.4%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも「職場の人間関係が良くなかったため」の割合が最も高く、「自分に向かない仕事だったため」と「一時的についた仕事だったため」を含めて上位3項目となっています（社会参加に向けた支援を必要とする方はすべて同率）。

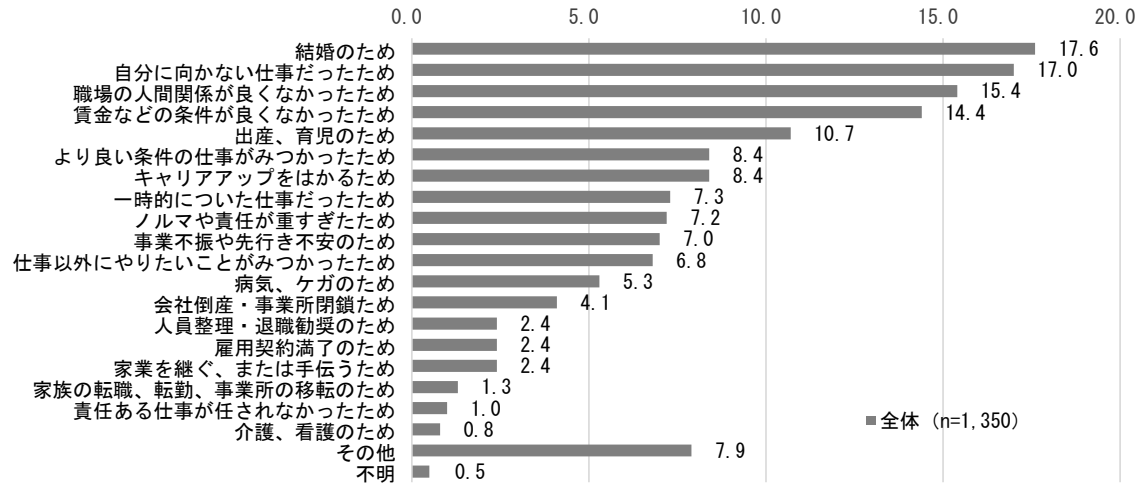
学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態でみると、正規の職員・従業員は「結婚のため」の割合が最も高く19.6%、次いで「自分に向かない仕事だったため」が17.8%となっています。非正規の職員・従業員は「一時的についた仕事だったため」の割合が最も高く24.9%、次いで「賃金などの条件が良くなかったため」が18.4%となっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、自営業主・家庭内職は「賃金などの条件が良くなかったため」、非正規の職員・従業員、会社・団体等の役員、自家営業の手伝い（家族従業者）、専業主婦・専業主夫は「結婚のため」、会社等の経営者は「家業を継ぐ、または手伝うため」、無職は「職場の人間関係が良くなかったため」が最も高くなっています（会社・団体等の役員は「家業を継ぐ、または手伝うため」と同率）。

性別でみると、男性は「賃金などの条件が良くなかったため」の割合が最も高く24.2%、次いで「自分に向かない仕事だったため」が24.0%となっています。女性は「結婚のため」の割合が最も高く26.8%、次いで「出産、育児のため」が16.7%となっています。

最終学歴でみると、専門学校卒業は「賃金などの条件が良くなかったため」、短大・高専卒業は「結婚のため」、大学院修了は「キャリアアップをはかるため」、これら以外の最終学歴は「自分に向かない仕事だったため」の割合が最も高くなっています。

問13 学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由



就業形態	合計	理由																					
		会社倒産・事業所閉鎖のため	人員整理・退職勧奨のため	事業不振や先行き不安のため	雇用契約満了のため	結婚のため	出産、育児のため	介護、看護のため	病気、ケガのため	自分に向かない仕事だったため	一時的についた仕事だったため	責任ある仕事が任せられなかったため	ノルマや責任が重すぎたため	賃金などの条件が良くなかったため	職場の人間関係が良くなかったため	家業を継ぐ、または手伝うため	家族の転職、転勤、事業所の移転のため	より良い条件の仕事が見つかったため	キャリアアップをはかるため	仕事以外にやりたいことが見つかったため	その他	不明	
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	40	12.5	7.5	12.5	2.5	12.5	10.0	-	10.0	17.5	15.0	2.5	12.5	7.5	20.0	-	-	10.0	2.5	7.5	5.0	-
	長期にわたり無業の状態にある方	24	12.5	-	4.2	4.2	-	-	-	8.3	25.0	25.0	-	8.3	8.3	37.5	-	-	16.7	4.2	4.2	4.2	-
	社会参加に向けた支援を必要とする方	35	14.3	-	2.9	2.9	5.7	2.9	-	14.3	25.7	25.7	-	11.4	8.6	25.7	-	2.9	5.7	8.6	2.9	5.7	-
学校の卒業して最初に就いた仕事	正規の職員・従業員	1,066	3.0	2.3	7.0	0.6	19.6	11.4	0.9	5.7	17.8	2.8	0.8	8.0	13.7	17.0	2.9	1.4	6.6	8.7	7.4	8.1	0.5
	非正規の職員・従業員	261	8.0	2.7	6.1	10.0	10.0	6.9	0.4	3.8	13.4	24.9	1.9	4.2	18.4	10.3	0.4	0.8	16.5	7.7	4.2	6.9	0.4
	会社・団体等の役員	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	会社等の経営者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主・内職	7	14.3	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-	42.9	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-
	自家営業の手伝い（家族従業者）	15	6.7	-	13.3	-	13.3	20.0	-	-	26.7	-	-	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	-	13.3	6.7
	働いたことがない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 1 3 学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由

	合計	会社倒産・事業所閉鎖のため	人員整理・退職勧奨のため	事業不振や先行き不安のため	雇用契約満了のため	結婚のため	出産、育児のため	介護、看護のため	病気、ケガのため	自分に向かない仕事だったため	一時的に就いた仕事だったため	責任ある仕事に就けなかったため	ノルマや責任が重すぎたため	賃金などの条件が悪くなったため	職場の間隔関係が悪くなったため	家業を継ぐ、または手伝うため	家族の転職、転勤、事業所の移転のため	より良い条件の仕事が見つかったため	キャリアアップをはかるため	仕事以外にやりたいことが見つかったため	その他	不明	
現在の就業形態	正規の職員・従業員	614	3.6	2.1	10.7	2.3	9.6	6.7	1.0	3.9	21.5	8.1	1.1	6.7	22.0	17.3	1.5	0.5	11.4	10.4	5.5	8.6	0.3
	非正規の職員・従業員	395	4.1	2.8	3.8	2.8	24.6	17.2	1.0	6.8	14.4	6.8	1.5	7.8	6.6	12.7	0.3	2.0	6.8	6.1	9.1	7.1	0.8
	会社・団体等の役員	15	6.7	-	6.7	-	33.3	-	-	6.7	-	6.7	-	-	6.7	6.7	33.3	-	6.7	-	-	-	-
	会社等の経営者	18	-	-	5.6	-	5.6	-	-	-	16.7	-	-	5.6	11.1	11.1	27.8	-	5.6	22.2	11.1	-	-
	自営業主、家庭内職	66	1.5	3.0	3.0	1.5	7.6	3.0	-	3.0	12.1	6.1	-	9.1	16.7	15.2	10.6	1.5	1.5	13.6	15.2	12.1	1.5
	自家営業の手伝い(家族従業員)	32	3.1	9.4	-	3.1	40.6	15.6	-	3.1	-	6.3	-	9.4	15.6	12.5	15.6	-	3.1	9.4	3.1	6.3	-
	専業主婦・専業主夫	135	5.2	0.7	1.5	3.7	35.6	19.3	0.7	6.7	11.1	3.0	0.7	4.4	6.7	9.6	-	3.7	5.2	3.7	4.4	8.1	-
	学生	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	74	9.5	2.7	9.5	1.4	10.8	2.7	-	10.8	18.9	13.5	-	12.2	8.1	29.7	1.4	-	8.1	5.4	4.1	6.8	1.4
	性別	男性	495	4.4	2.4	12.5	2.0	2.6	0.4	0.2	5.3	24.0	9.7	1.0	9.3	24.2	18.8	5.5	0.4	12.5	10.5	5.3	8.7
女性		818	3.9	2.3	3.9	2.6	26.8	16.7	1.2	5.4	12.6	5.7	1.1	6.0	8.6	12.5	0.7	1.7	6.1	7.2	7.8	7.1	0.4
どちらとも言いえない		18	5.6	5.6	-	5.6	5.6	16.7	-	5.6	27.8	5.6	-	11.1	16.7	55.6	-	5.6	-	5.6	5.6	16.7	-
年齢	34～39歳	346	3.8	1.2	8.4	3.2	11.8	7.8	0.9	7.2	18.8	9.2	0.3	7.8	19.4	17.3	3.5	2.3	11.0	7.8	7.2	8.7	-
	40～44歳	403	5.2	3.0	8.2	2.5	16.1	9.7	0.5	3.2	16.4	9.7	2.0	7.9	15.9	16.6	2.0	1.0	8.4	10.7	7.4	6.5	0.5
	45～49歳	581	3.6	2.8	5.5	1.9	21.9	13.1	1.0	5.7	16.4	4.3	0.9	6.5	10.8	13.3	2.2	0.9	6.9	7.2	6.2	8.4	0.7
最終学歴	中学校卒業	60	3.3	-	8.3	-	13.3	3.3	-	5.0	23.3	21.7	-	3.3	13.3	13.3	-	-	20.0	6.7	3.3	3.3	-
	高校卒業	475	5.1	2.9	5.5	2.5	16.8	11.2	0.4	5.1	19.4	6.1	0.4	4.2	13.7	16.6	1.9	1.1	6.9	5.9	6.5	7.6	1.1
	専門学校卒業	201	5.0	2.5	6.5	1.5	15.9	12.9	0.5	4.0	15.9	6.0	2.0	8.5	17.9	16.4	4.0	2.0	6.0	9.5	8.0	8.0	-
	短大・高専卒業	228	3.5	2.2	3.1	3.9	28.9	14.9	1.3	4.4	10.1	5.3	1.3	6.6	11.4	13.2	1.8	0.9	5.7	9.2	9.6	6.1	-
	四年制大学卒業	330	3.3	1.8	11.5	1.5	12.7	7.9	1.2	7.0	18.5	7.9	1.2	12.1	15.5	15.2	2.4	1.8	10.0	8.5	5.5	10.0	0.3
	大学院修了	35	-	5.7	14.3	8.6	11.4	2.9	2.9	8.6	8.6	11.4	2.9	8.6	22.9	11.4	11.4	-	22.9	34.3	5.7	8.6	2.9
	その他	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
結婚状況	既婚	934	3.0	2.1	6.7	1.9	22.5	13.5	0.4	4.2	14.8	6.0	1.0	5.9	13.3	12.2	2.1	1.7	8.6	9.0	6.2	7.0	0.5
	離別または死別	123	3.3	0.8	4.9	0.8	18.7	9.8	2.4	5.7	20.3	9.8	-	7.3	12.2	20.3	2.4	-	9.8	5.7	10.6	7.3	0.8
	未婚	285	8.1	3.9	8.8	4.9	0.7	1.4	1.4	9.1	22.1	10.5	1.8	11.2	19.6	23.9	3.5	0.4	7.7	7.7	7.4	11.2	0.4
子ども	いる	942	2.7	1.3	6.2	1.7	23.5	15.1	0.6	4.2	14.6	5.9	1.0	5.9	12.0	13.1	2.1	1.6	8.6	7.7	6.5	6.7	0.6
	いない	396	7.6	5.1	8.8	4.3	3.8	0.3	1.3	8.1	22.2	10.6	1.3	10.1	19.9	20.7	3.3	0.5	8.3	9.8	7.8	10.6	0.3
家計の負担者	あなた自身	523	3.1	2.3	11.1	1.7	7.1	2.9	1.3	3.6	20.8	8.8	1.3	7.1	23.5	17.4	4.2	0.6	11.3	11.3	6.1	9.9	0.8
	親	203	8.4	2.5	6.9	5.9	2.5	3.9	-	10.8	25.1	12.3	1.0	12.3	16.7	24.1	3.0	0.5	8.4	6.9	9.4	10.8	-
	配偶者	570	2.8	2.3	3.0	1.9	32.6	20.4	0.7	4.6	10.5	4.4	0.9	5.1	6.0	10.7	0.7	2.3	6.3	6.5	6.5	5.3	0.4
	兄弟姉妹	7	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	生活保護などの受給	4	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
介護	している	98	7.1	-	1.0	1.0	21.4	13.3	4.1	5.1	21.4	4.1	-	8.2	13.3	16.3	2.0	-	4.1	8.2	6.1	10.2	1.0
	していない	1,244	3.9	2.6	7.5	2.6	17.3	10.5	0.6	5.4	16.5	7.6	1.1	7.2	14.6	15.4	2.5	1.4	8.8	8.4	6.9	7.7	0.5
居住地域	北勢地域	676	4.4	1.9	6.7	2.4	17.0	10.7	0.6	5.3	17.9	7.0	0.7	8.6	16.1	16.0	2.5	1.2	9.3	10.5	7.2	8.0	0.4
	伊賀地域	111	3.6	5.4	7.2	3.6	16.2	10.8	-	2.7	18.0	4.5	2.7	6.3	17.1	16.2	2.7	2.7	2.7	6.3	9.0	5.4	-
	中南勢地域	366	2.7	2.5	7.4	2.5	18.3	12.8	1.1	5.5	15.6	6.8	1.1	6.6	13.4	14.5	1.6	1.6	8.5	7.4	7.1	8.7	-
	伊勢志摩地域	150	6.0	2.7	8.0	2.0	17.3	6.0	2.0	4.7	18.0	12.0	1.3	4.7	10.0	17.3	4.0	-	8.7	2.7	3.3	8.0	0.7
	東紀州地域	37	5.4	-	5.4	2.7	24.3	8.1	-	13.5	2.7	8.1	-	2.7	8.1	5.4	2.7	-	10.8	8.1	5.4	5.4	8.1

現在、非正規の職員・従業員として働いている方（問1で2を選んだ方）を対象

【現在の就業形態に就いた主な理由】

問14 あなたが、現在の就業形態についての主な理由は何ですか。（○は1つだけ）

現在の就業形態に就いた主な理由は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」の割合が最も高く29.7%、次いで「家計の補助・学費等を得たいため」が20.9%、「自分の都合の良い時間に働きたいため」が18.5%となっています。就業構造基本調査と比較すると、「家事・育児・介護等と両立しやすいため」の割合が10.2ポイント高くなっています。

性別でみると、男性は「正規の職員・従業員の仕事がないため」の割合が最も高く41.7%、女性は「家事・育児・介護と両立しやすいため」の割合が最も高く33.8%となっています。

年齢でみると、44歳以下は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」、45～49歳は「家計の補助・学費等を得たいため」が最も高くなっています。年齢が高いほど「家計の補助・学費等を得たいため」の割合が高くなっています。

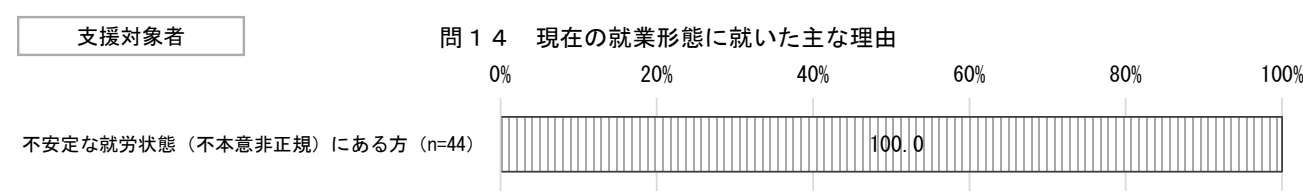
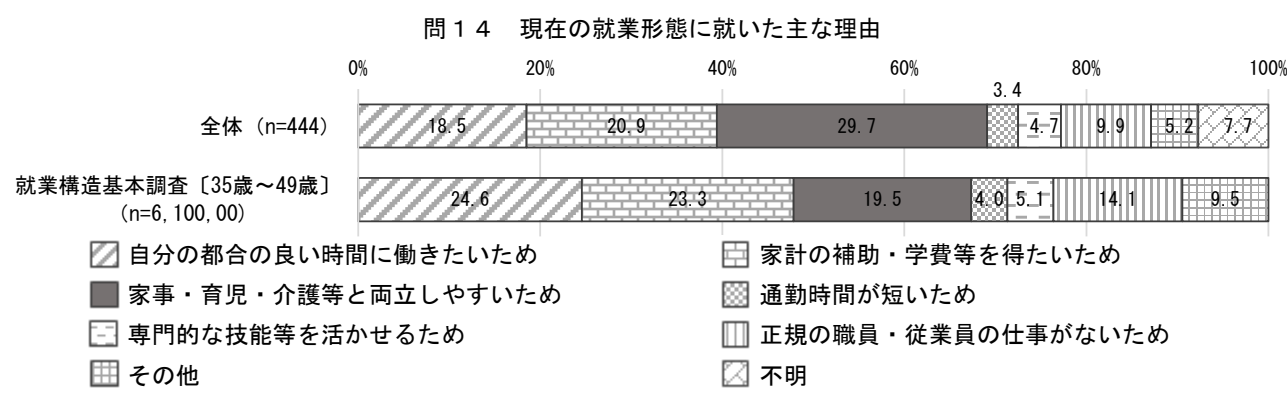
最終学歴でみると、中学校卒業は「自分の都合の良い時間に働きたいため」、高校卒業は「家計の補助・学費等を得たいため」、専門学校卒業、短大・高専卒業、四年制大学卒業は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」、大学院修了は「専門的な技能等を活かせるため」の割合が最も高くなっています。

結婚状況でみると、既婚、離別または死別は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」、未婚は「正規の職員・従業員の仕事がないため」の割合が最も高くなっています。

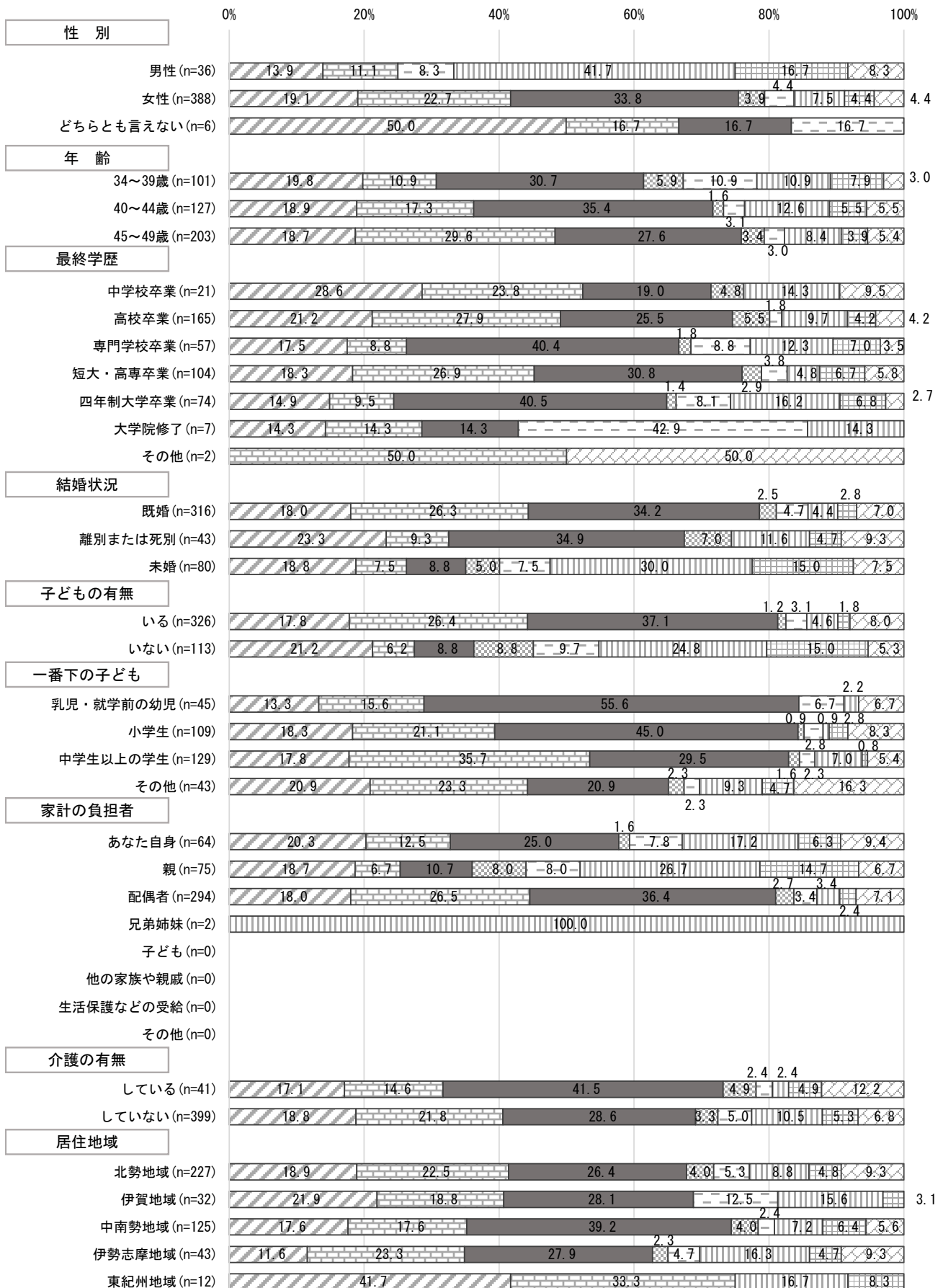
一番下の子どもでみると、小学生以下は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」、中学生以上の学生は「家計の補助・学費等を得たいため」の割合が最も高くなっています。

介護の有無でみると、している方は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」の割合が41.5%となっており、していない方（28.6%）より12.9ポイント高くなっています。

居住地域でみると、東紀州地域は「家事・育児・介護等と両立しやすいため」の割合が0%となっており、「自分の都合の良い時間に働きたいため」と「家計の補助・学費等を得たいため」が東紀州地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。



問 1 4 現在の就業形態に就いた主な理由



現在、非正規の職員・従業員として働いている方（問1で2を選んだ方）を対象

【正規の職員・従業員として働きたいと思うか】

問15 あなたは、正規の職員・従業員として働きたいと思いますか。（○は1つだけ）

正規の職員・従業員として働きたいと思うかは「いいえ」が46.6%、「はい」が45.5%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「はい」の割合が90.9%となっており、全体より45.4ポイント高くなっています。

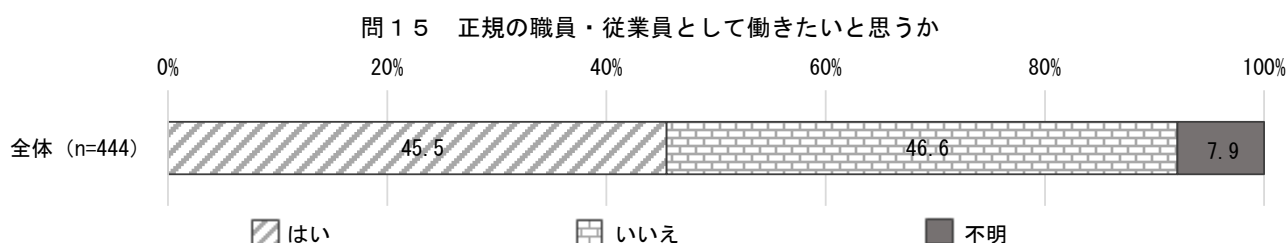
性別でみると、男性は「はい」の割合が77.8%、「いいえ」が13.9%、女性は「いいえ」の割合が50.8%、「はい」が44.6%となっています。

年齢でみると、年齢が若いほど「はい」の割合が高くなっています。34～39歳は「はい」の割合が61.4%となっており、45～49歳（38.9%）より22.5ポイント高くなっています。

結婚状況でみると、既婚は「いいえ」の割合が「はい」より高く、離別または死別、未婚は「はい」の割合が60%以上を占めています。

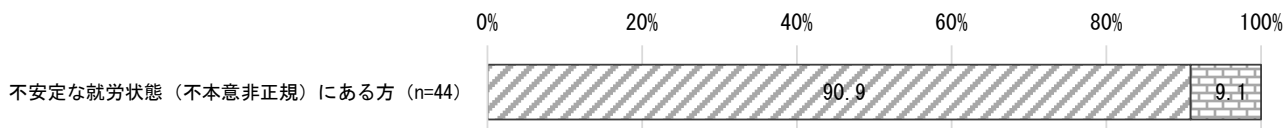
子供の有無でみると、いる方は「いいえ」の割合が「はい」より高く、いない方は「はい」の割合が「いいえ」より高くなっています。

居住地域でみると、東紀州地域は「はい」の割合が66.7%となっており、東紀州地域以外の地域より10ポイント以上高くなっています。また、伊賀地域、中南勢地域は「いいえ」の割合が「はい」より高くなっています。

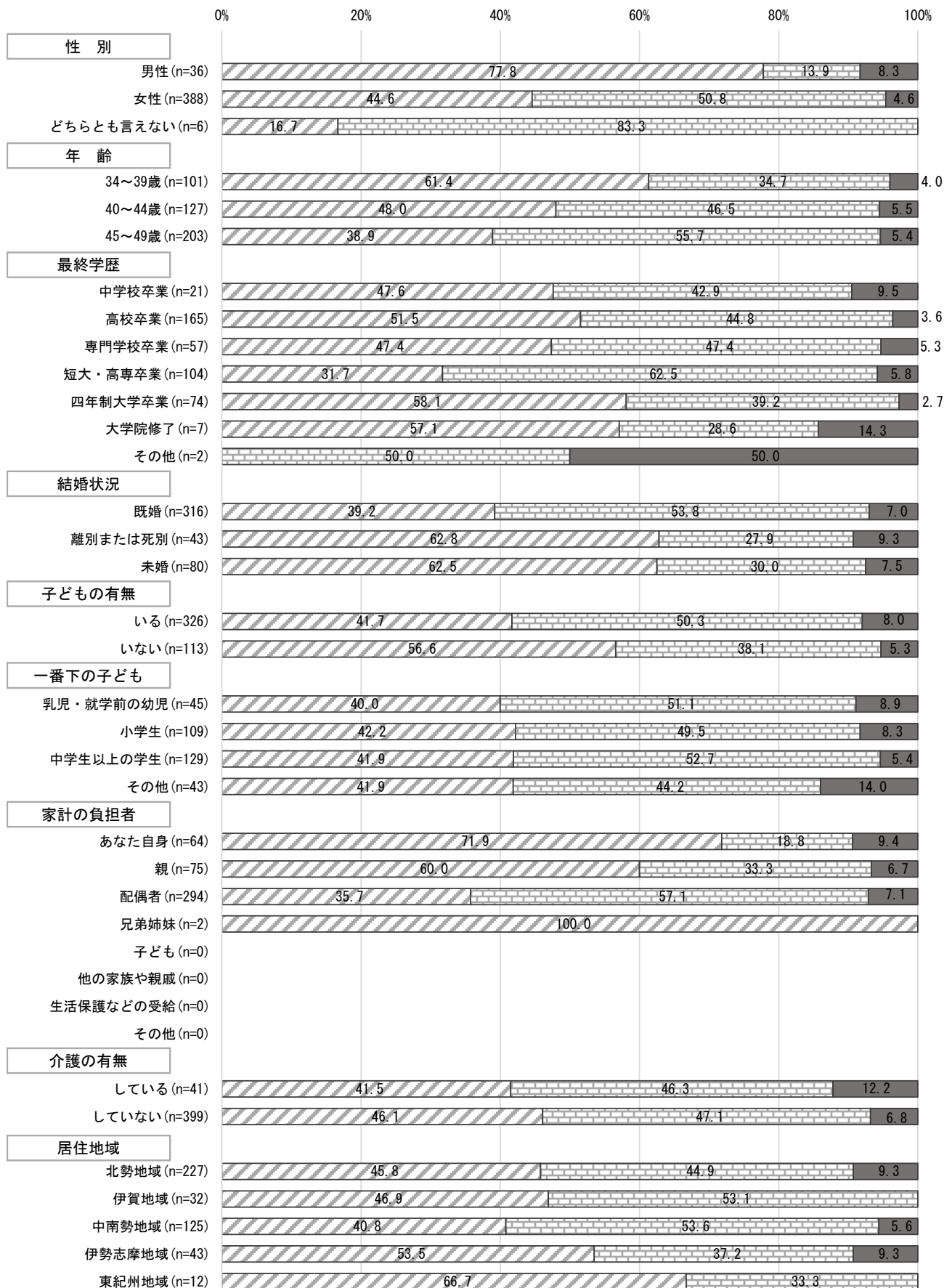


支援対象者

問15 正規の職員・従業員として働きたいと思うか



問15 正規の職員・従業員として働きたいと思うか



現在、非正規の職員・従業員として働いている方（問1で2を選んだ方）を対象

【正規の職員・従業員として働きたい理由】

問16 あなたが、正規の職員・従業員として働きたい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

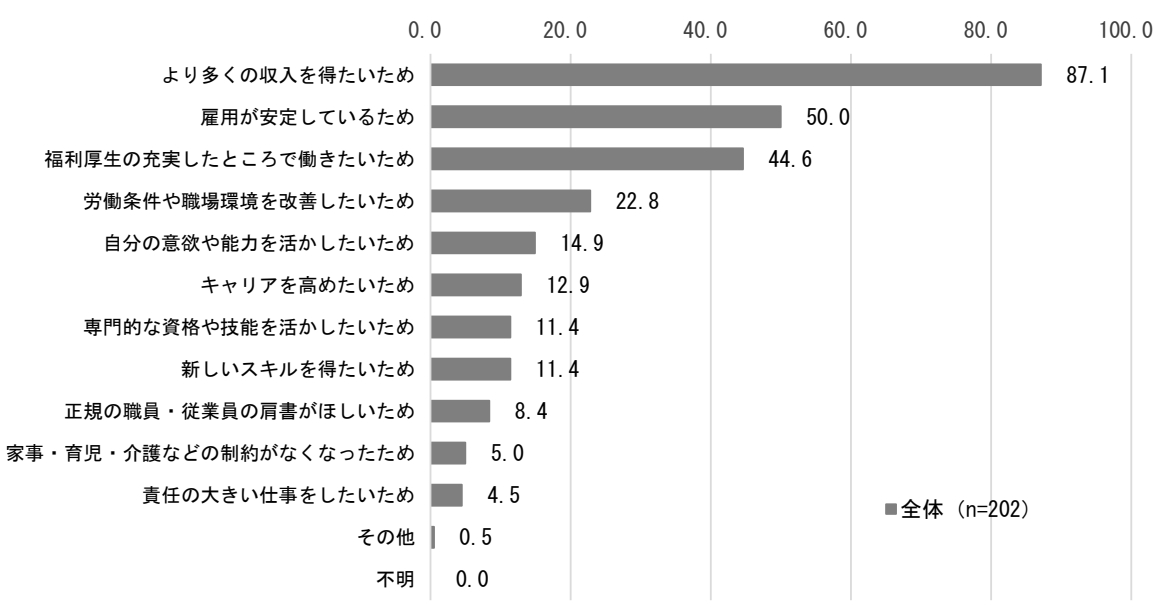
正規の職員・従業員として働きたい理由は「より多くの収入を得たいため」の割合が最も高く87.1%、次いで「雇用が安定しているため」が50.0%、「福利厚生充実したところで働きたいため」が44.6%となっています。属性に関わらず「より多くの収入を得たいため」の割合が最も高くなっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「より多くの収入を得たいため」の割合が最も高く90.0%となっています。次いで「雇用が安定しているため」が77.5%、「福利厚生充実したところで働きたいため」が62.5%、「労働条件や職場環境を改善したいため」が50.0%となっており、いずれも全体より10ポイント以上高くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業は「労働条件や職場環境を改善したいため」（60.0%）、専門学校卒業では「福利厚生充実したところで働きたいため」（63.0%）が2番目に高くなっています。

居住地域でみると、伊賀地域は「福利厚生充実したところで働きたいため」の割合が60.0%となっており、伊賀地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。

問16 正規の職員・従業員として働きたい理由



	合計	より多くの収入を得たいため	福利厚生充実したところで働きたいため	労働条件や職場環境を改善したいため	雇用が安定しているため	正規の職員・従業員の肩書がほしいため	キャリアを高めたいため	責任の大きい仕事をしたいため	自分の意欲や能力を活かしたいため	専門的な資格や技能を活かしたいため	新しいスキルを得たいため	家事・育児・介護などの制約がなくなったため	その他	不明
支援対象者 不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	40	90.0	62.5	50.0	77.5	17.5	27.5	12.5	27.5	15.0	25.0	2.5	2.5	-

問16 正規の職員・従業員として働きたい理由

		合計	より多くの収入を得たいため	福利厚生 の充実した ところで働きたい ため	労働条件 や職場環境を改善 したいため	雇用が安定している ため	正規の職員・従業員 の肩書がほしい ため	キャリアを高めたい ため	責任の大きい仕事 をしたいため	自分の意欲や能力を 活かしたいため	専門的な資格や技能を 活かしたいため	新しいスキルを得たい ため	家事・育児・介護 などの制約がなくなった ため	その他	不明
性別	男性	28	78.6	53.6	53.6	64.3	28.6	21.4	10.7	32.1	7.1	21.4	-	-	-
	女性	173	88.4	43.4	17.3	48.0	5.2	11.6	3.5	12.1	12.1	9.8	5.8	0.6	-
	どちらとも言えない	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	62	80.6	45.2	16.1	50.0	12.9	17.7	8.1	14.5	16.1	17.7	4.8	1.6	-
	40～44歳	61	85.2	36.1	23.0	49.2	6.6	11.5	3.3	14.8	6.6	13.1	3.3	-	-
	45～49歳	79	93.7	50.6	27.8	50.6	6.3	10.1	2.5	15.2	11.4	5.1	6.3	-	-
最終学歴	中学校卒業	10	80.0	50.0	60.0	30.0	-	10.0	-	10.0	-	20.0	-	-	-
	高校卒業	85	88.2	36.5	15.3	45.9	4.7	9.4	5.9	8.2	3.5	9.4	7.1	-	-
	専門学校卒業	27	85.2	63.0	29.6	55.6	18.5	7.4	-	11.1	7.4	14.8	3.7	-	-
	短大・高専卒業	33	84.8	51.5	18.2	57.6	9.1	12.1	3.0	30.3	21.2	9.1	6.1	-	-
	四年制大学卒業	43	90.7	39.5	27.9	51.2	11.6	20.9	7.0	16.3	23.3	11.6	2.3	2.3	-
	大学院修了	4	75.0	75.0	25.0	75.0	-	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
結婚状況	既婚	124	87.1	39.5	17.7	45.2	4.0	11.3	2.4	13.7	14.5	8.9	7.3	-	-
	離別または死別	27	88.9	44.4	18.5	48.1	7.4	7.4	3.7	7.4	-	3.7	-	-	-
	未婚	50	86.0	58.0	38.0	62.0	20.0	20.0	8.0	20.0	10.0	20.0	2.0	2.0	-
子ども	いる	136	88.2	41.2	18.4	45.6	5.1	10.3	2.9	12.5	13.2	6.6	6.6	-	-
	いない	64	85.9	51.6	32.8	57.8	15.6	18.8	6.3	18.8	7.8	20.3	1.6	1.6	-
一番下の子ども	全体	136	88.2	41.2	18.4	45.6	5.1	10.3	2.9	12.5	13.2	6.6	6.6	-	-
	乳児・就学前の幼児	18	88.9	38.9	11.1	22.2	-	16.7	5.6	16.7	16.7	16.7	5.6	-	-
	小学生	46	82.6	32.6	13.0	45.7	6.5	6.5	-	8.7	10.9	4.3	-	-	-
	中学生以上の学生	54	92.6	50.0	20.4	48.1	1.9	9.3	1.9	9.3	13.0	3.7	14.8	-	-
	その他	18	88.9	38.9	33.3	61.1	16.7	16.7	11.1	27.8	16.7	11.1	-	-	-
家計の負担者	あなた自身	46	82.6	58.7	37.0	60.9	13.0	13.0	6.5	13.0	10.9	10.9	-	-	-
	親	45	84.4	46.7	31.1	60.0	13.3	22.2	4.4	22.2	6.7	17.8	4.4	-	-
	配偶者	105	89.5	36.2	13.3	40.0	2.9	7.6	1.9	11.4	13.3	7.6	7.6	-	-
	兄弟姉妹	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活保護などの受給	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護	している	17	82.4	58.8	29.4	41.2	5.9	5.9	-	17.6	5.9	5.9	-	-	-
	していない	184	87.5	43.5	22.3	50.5	8.7	13.6	4.3	14.1	12.0	11.4	5.4	0.5	-
居住地域	全体	201	87.1	44.8	22.9	49.8	8.5	12.9	4.0	14.4	11.4	10.9	5.0	0.5	-
	北勢地域	104	89.4	43.3	21.2	45.2	8.7	12.5	5.8	14.4	11.5	10.6	2.9	-	-
	伊賀地域	15	93.3	60.0	33.3	40.0	-	20.0	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7	-	-
	中南勢地域	51	80.4	45.1	27.5	54.9	13.7	9.8	2.0	15.7	11.8	11.8	3.9	2.0	-
	伊勢志摩地域	23	87.0	47.8	17.4	69.6	4.3	17.4	-	13.0	8.7	8.7	8.7	-	-
	東紀州地域	8	87.5	25.0	12.5	37.5	-	12.5	-	12.5	12.5	25.0	25.0	-	-

現在、非正規の職員・従業員として働いている方（問1で2を選んだ方）を対象

【希望する職種（非正規の職員・従業員）】
 問17 あなたが希望する職種は何ですか。（〇はいくつでも）

希望する職種は「事務職」の割合が最も高く35.1%、次いで「専門的・技術的職業」が23.3%、「サービス職業」が18.8%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は「事務職」の割合が最も高く47.5%、次いで「製造・生産工程職」が30.0%となっており、いずれも全体より10ポイント以上高くなっています。

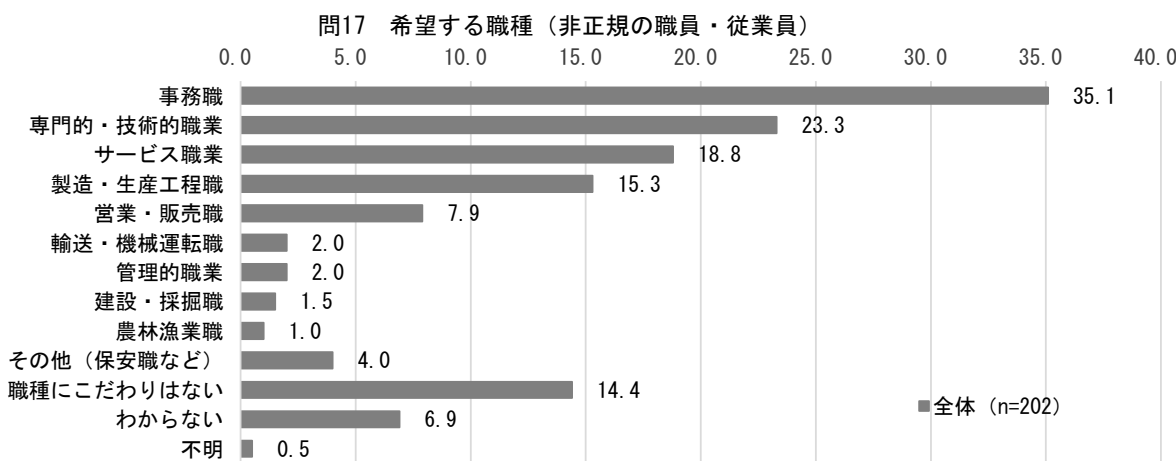
現在の職種でみると、同じ職種を希望する割合が最も高くなっており、特に専門的・技術的職業は90.9%、事務職は87.0%となっています。

性別でみると、男性は「専門的・技術的職業」の割合が最も高く32.1%、次いで「製造・生産工程職」が28.6%となっています。女性は「事務職」の割合が最も高く37.0%、「専門的・技術的職業」が22.0%となっています。

最終学歴でみると、高校卒業、短大・高専卒業、四年制大学卒業は「事務職」、専門学校卒業は「専門的・技術的職業」、中学校卒業は「製造・生産工程職」と「サービス職業」と「事務職」の割合が同率で最も高くなっています。

結婚状況でみると、既婚と未婚は「事務職」、離別または死別は「サービス職業」の割合が最も高くなっています。

居住地域でみると、伊賀地域、中南勢地域は「専門的・技術的職業」、これら以外の居住地域では「事務職」の割合が最も高くなっています。



		合計	製造・生産工程職	建設・採掘職	輸送・機械運転職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他（保安職など）	職種にこだわりはない	わからない	不明
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	40	30.0	-	5.0	2.5	12.5	15.0	5.0	47.5	-	5.0	7.5	5.0	2.5
	現在の職種														
	製造・生産工程職	32	62.5	-	6.3	-	12.5	18.8	-	15.6	3.1	-	12.5	12.5	-
	建設・採掘職	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	輸送・機械運転職	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-
	営業・販売職	26	19.2	-	-	42.3	19.2	3.8	3.8	23.1	-	3.8	23.1	19.2	-
	サービス職業	37	5.4	2.7	2.7	5.4	54.1	10.8	2.7	13.5	2.7	2.7	18.9	8.1	2.7
	専門的・技術的職業	33	3.0	-	-	-	3.0	90.9	3.0	6.1	-	-	6.1	3.0	-
	管理的職業	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	事務職	54	1.9	-	-	3.7	11.1	7.4	-	87.0	-	1.9	7.4	1.9	-
	農林漁業職	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	その他（保安職など）	10	-	-	-	-	-	20.0	-	30.0	-	40.0	50.0	-	-

問17 希望する職種（非正規の職員・従業員）

		合計	製造・生産 工程職	建設・探掘 職	輸送・機械 運転職	営業・販売 職	サービス職	専門的・技 術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他（保 安職など）	職種にこだ わりはない	わからない	不明
性別	男性	28	28.6	7.1	10.7	-	7.1	32.1	7.1	25.0	-	10.7	14.3	3.6	-
	女性	173	13.3	0.6	0.6	9.2	20.8	22.0	1.2	37.0	1.2	2.9	13.9	7.5	0.6
	どちらとも言えない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年齢	34～39歳	62	12.9	3.2	-	8.1	17.7	32.3	3.2	27.4	1.6	4.8	9.7	8.1	-
	40～44歳	61	16.4	1.6	4.9	8.2	21.3	18.0	3.3	37.7	-	6.6	9.8	11.5	-
	45～49歳	79	16.5	-	1.3	7.6	17.7	20.3	-	39.2	1.3	1.3	21.5	2.5	1.3
最終学歴	中学校卒業	10	30.0	-	10.0	20.0	30.0	10.0	-	30.0	-	-	20.0	-	-
	高校卒業	85	20.0	2.4	1.2	10.6	25.9	10.6	2.4	31.8	-	3.5	12.9	10.6	-
	専門学校卒業	27	11.1	3.7	3.7	-	7.4	40.7	-	18.5	3.7	7.4	22.2	11.1	-
	短大・高専卒業	33	12.1	-	-	9.1	21.2	27.3	-	54.5	3.0	-	12.1	-	-
	四年制大学卒業	43	7.0	-	2.3	4.7	9.3	32.6	4.7	41.9	-	4.7	14.0	4.7	2.3
	大学院修了	4	25.0	-	-	-	-	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
結婚の有無	既婚	124	10.5	1.6	1.6	8.9	16.1	24.2	1.6	35.5	1.6	2.4	17.7	4.8	0.8
	離別または死別	27	25.9	-	-	14.8	44.4	7.4	3.7	33.3	-	3.7	11.1	3.7	-
	未婚	50	20.0	2.0	4.0	2.0	12.0	28.0	2.0	36.0	-	8.0	8.0	14.0	-
子ども	いる	136	12.5	0.7	1.5	10.3	19.1	22.8	2.2	36.8	0.7	1.5	17.6	4.4	0.7
	いない	64	20.3	1.6	3.1	3.1	18.8	23.4	1.6	32.8	-	7.8	7.8	12.5	-
一番下の子ども	乳児・就学前の幼児	18	-	-	5.6	5.6	11.1	44.4	5.6	44.4	-	-	-	-	-
	小学生	46	13.0	2.2	-	10.9	21.7	28.3	2.2	34.8	2.2	4.3	15.2	4.3	-
	中学生以上の学生	54	13.0	-	-	14.8	22.2	7.4	1.9	37.0	-	-	24.1	7.4	1.9
	その他	18	22.2	-	5.6	-	11.1	33.3	-	33.3	-	-	22.2	-	-
家計の負担者	あなた自身	46	19.6	2.2	2.2	8.7	26.1	26.1	-	37.0	-	2.2	8.7	6.5	-
	親	45	22.2	2.2	6.7	2.2	15.6	24.4	4.4	28.9	-	8.9	8.9	11.1	-
	配偶者	105	8.6	1.0	-	10.5	17.1	21.0	1.9	39.0	1.9	1.9	20.0	3.8	1.0
	兄弟姉妹	2	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活保護などの受給	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護	している	17	11.8	5.9	-	5.9	17.6	29.4	-	23.5	5.9	11.8	17.6	11.8	-
	していない	184	15.2	1.1	2.2	8.2	19.0	22.3	2.2	36.4	0.5	3.3	14.1	6.5	0.5
居住地	北勢地域	104	15.4	1.9	1.0	7.7	17.3	17.3	1.0	42.3	-	3.8	13.5	10.6	1.0
	伊賀地域	15	13.3	-	6.7	-	13.3	40.0	-	26.7	-	-	20.0	6.7	-
	中南勢地域	51	9.8	-	2.0	7.8	19.6	33.3	3.9	19.6	2.0	5.9	21.6	2.0	-
	伊勢志摩地域	23	26.1	4.3	4.3	13.0	26.1	17.4	4.3	43.5	4.3	4.3	-	4.3	-
	東紀州地域	8	12.5	-	-	12.5	25.0	12.5	-	37.5	-	-	12.5	-	-

現在働いていない方（問1で7 専業主婦・専業主夫、8 学生、9 無職を選んだ方）を対象

【前職を辞めてから現在までの期間】

問18 あなたが、前職を辞めてから現在までの期間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

前職を辞めてから現在までの期間は「10年以上」が最も高く31.4%、次いで「5年～10年未満」が19.5%、「6ヶ月未満」が11.9%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「10年以上」、社会参加に向けた支援を必要とする方は「5年～10年未満」の割合が最も高くなっています。

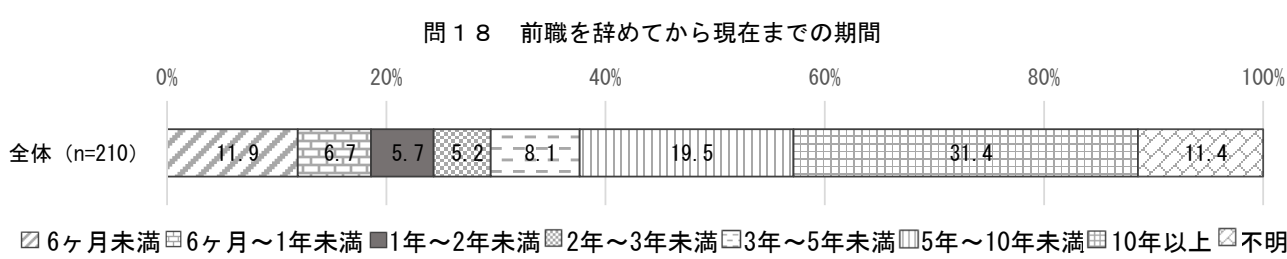
現在の就業形態でみると、専業主婦・専業主夫は「10年以上」の割合が最も高く40.0%、次いで「5年～10年未満」が23.7%となっています。無職は「6ヶ月未満」の割合が最も高く17.6%、次いで「10年以上」が14.9%となっています。

性別でみると、男性は「6ヶ月未満」と「10年以上」の割合が同率で最も高く16.7%、次いで「2年～3年未満」が10.0%となっています。女性は「10年以上」の割合が最も高く34.7%、次いで「5年～10年未満」が20.5%となっています。女性は「5年～10年未満」と「10年以上」を合計した『5年以上』の割合が55.2%となっています。

年齢でみると、40歳以上は「10年以上」、34～39歳は「5年～10年未満」の割合が最も高くなっています。

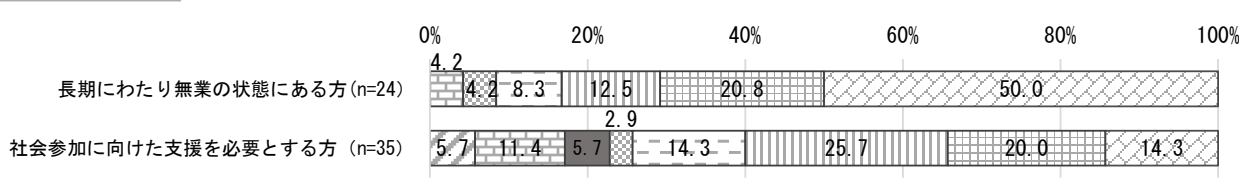
家計の負担者でみると、あなた自身は「6ヶ月未満」、親や配偶者は「10年以上」の割合が最も高くなっています。

居住地域でみると、伊賀地域は「10年以上」の割合が46.7%となっており、伊賀地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。

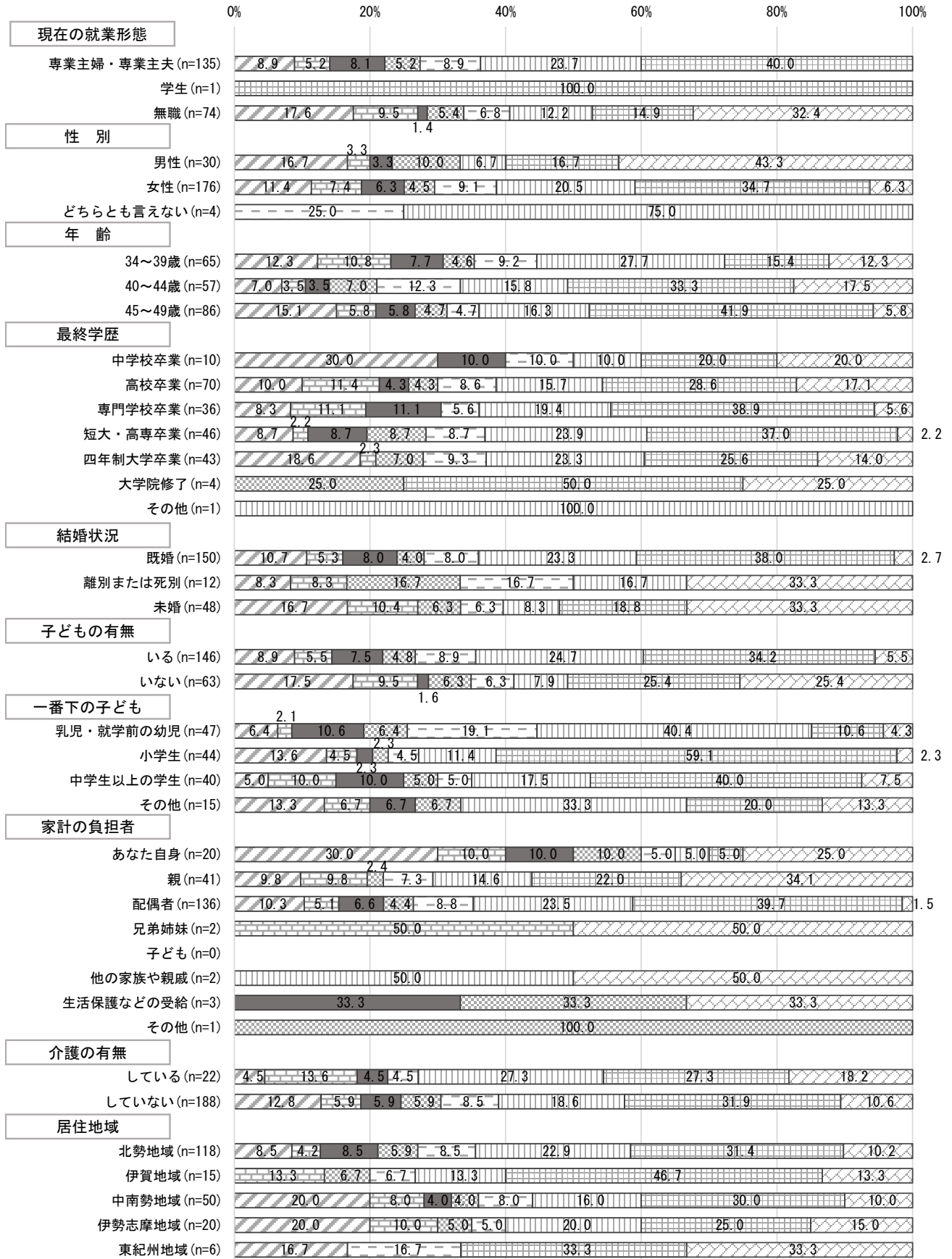


支援対象者

問18 前職を辞めてから現在までの期間



問 1 8 前職を辞めてから現在までの期間



現在働いていない方（問1で7専業主婦・専業主夫、8学生、9無職を選んだ方）を対象

【現在働いていない理由】

問19 現在、あなたが働いていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

現在働いていない理由は「出産・育児のため」が最も高く28.1%、次いで「仕事と家事の両立が困難なため」が23.5%、「病気・けがのため」が20.8%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「人間関係に不安があるため」の割合が最も高く40%以上となっており、全体より20ポイント以上高くなっています。また、次いで「病気・けがのため」、「知識・能力に自信がないため」となっており、これらの項目でも全体より10ポイント以上高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は「仕事を探したが採用されなかったため」の割合が30.8%となっており、全体や社会参加に向けた支援を必要とする方より10ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、専業主婦・専業主夫は「出産・育児のため」の割合が最も高く41.9%、次いで「仕事と家事の両立が困難なため」が33.8%となっています。また、無職は「病気・けがのため」の割合が最も高く33.3%、次いで「人間関係に不安があるため」が27.4%となっています。

性別でみると、男性は「人間関係に不安があるため」の割合が最も高く30.6%、次いで「仕事を探したが採用されなかったため」が27.8%となっています。女性は「出産・育児のため」の割合が最も高く33.1%、次いで「仕事と家事の両立が困難なため」が28.2%となっています。

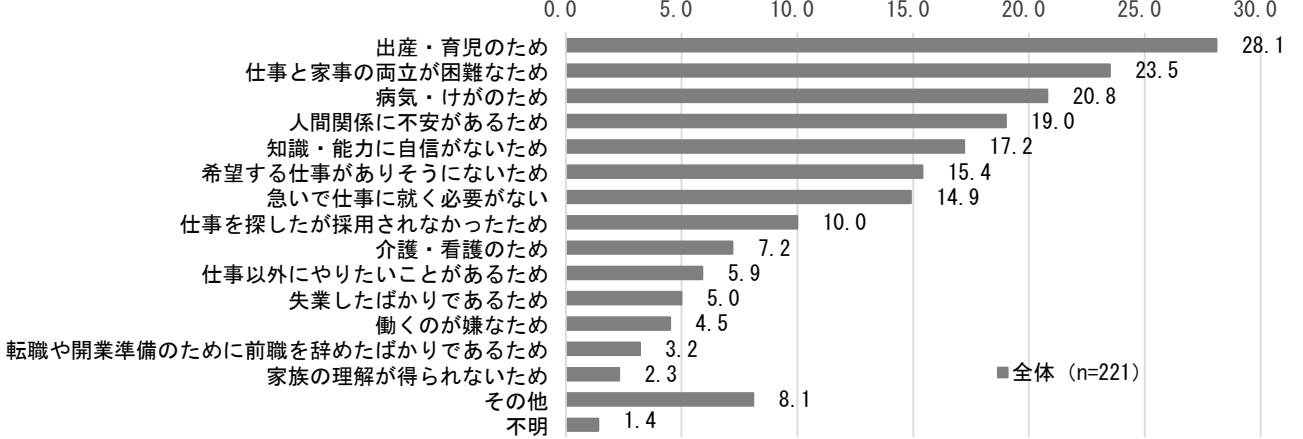
子供の有無でみると、いる方は「出産・育児のため」の割合が最も高く41.9%、次いで「仕事と家事の両立が困難なため」が31.8%となっています。また、いない方は「人間関係に不安があるため」の割合が最も高く35.2%、次いで「病気・けがのため」が31.0%となっています。

家計の負担者でみると、あなた自身は「仕事を探したが採用されなかったため」の割合が最も高く33.3%、次いで「失業したばかりであるため」が19.0%となっています。親は「知識・能力に自信がないため」と「病気・けがのため」の割合が同率で最も高く31.3%、次いで「人間関係に不安があるため」が29.2%となっています。また、配偶者は「出産・育児のため」の割合が最も高く40.1%、次いで「仕事と家事の両立が困難なため」が32.8%となっています。

介護の有無でみると、している方は「介護・看護のため」の割合が最も高く50.0%、していない方は「出産・育児のため」の割合が最も高く29.4%となっています。

居住地域でみると、北勢地域は「出産・育児のため」、伊賀地域、中南勢地域は「仕事と家事の両立が困難なため」、伊勢志摩地域は「病気・けがのため」が最も高くなっています。

問19 現在働いていない理由



	合計	仕事を探したが採用されなかったため	失業したばかりであるため	転職や開業準備のために前職を辞めたばかりであるため	希望する仕事がありそうにないため	知識・能力に自信がないため	人間関係に不安があるため	働くのが嫌なため	仕事以外にやりたいことがあるため	出産・育児のため	介護・看護のため	病気・けがのため	仕事と家事の両立が困難なため	家族の理解が得られないため	急いで仕事に就く必要がない	その他	不明
長期にわたり無業の状態にある方	26	30.8	-	3.8	23.1	34.6	46.2	7.7	7.7	-	7.7	42.3	-	-	3.8	11.5	-
社会参加に向けた支援を必要とする方	40	20.0	2.5	2.5	22.5	35.0	42.5	10.0	7.5	15.0	-	40.0	17.5	-	2.5	12.5	-

問19 現在働いていない理由

	合計	仕事を探したが採用されなかったため	失業したばかりであるため	転職や開業準備のため前職を辞めたばかりであるため	希望する仕事がありそうにないため	知識・能力に自信がないため	人間関係に不安があるため	働くのが嫌なため	仕事以外にやりたいことがあるため	出産・育児のため	介護・看護のため	病気・けがのため	仕事と家事の両立が困難なため	家族の理解が得られないため	急いで仕事に就く必要がない	その他	不明
現在の就業形態																	
専業主婦・専業主夫	136	1.5	1.5	0.7	13.2	13.2	14.0	2.2	5.1	41.9	7.4	13.2	33.8	2.9	17.6	6.6	0.7
学生	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
無職	84	23.8	10.7	7.1	19.0	23.8	27.4	8.3	7.1	6.0	7.1	33.3	7.1	1.2	9.5	10.7	2.4
性別																	
男性	36	27.8	5.6	5.6	19.4	22.2	30.6	16.7	13.9	-	5.6	22.2	-	-	8.3	11.1	5.6
女性	181	6.6	5.0	2.8	14.9	16.0	17.1	2.2	4.4	33.1	7.7	20.4	28.2	2.8	16.0	7.7	0.6
どちらとも言えない	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-
年齢																	
34～39歳	68	16.2	1.5	2.9	8.8	19.1	19.1	4.4	4.4	45.6	4.4	22.1	14.7	-	16.2	5.9	1.5
40～44歳	62	6.5	6.5	3.2	25.8	19.4	21.0	4.8	8.1	32.3	6.5	12.9	24.2	1.6	9.7	8.1	1.6
45～49歳	88	8.0	6.8	3.4	12.5	13.6	17.0	4.5	5.7	12.5	10.2	25.0	30.7	4.5	18.2	10.2	-
最終学歴																	
中学校卒業	12	-	16.7	-	25.0	16.7	8.3	-	8.3	8.3	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-
高校卒業	73	15.1	6.8	1.4	23.3	21.9	32.9	6.8	5.5	12.3	5.5	19.2	24.7	1.4	21.9	12.3	1.4
専門学校卒業	37	8.1	-	8.1	5.4	24.3	21.6	2.7	5.4	45.9	5.4	18.9	13.5	-	8.1	2.7	2.7
短大・高専卒業	47	4.3	2.1	-	10.6	10.6	10.6	-	2.1	34.0	14.9	17.0	25.5	8.5	17.0	6.4	-
四年制大学卒業	45	8.9	6.7	6.7	13.3	11.1	4.4	8.9	6.7	37.8	2.2	15.6	31.1	-	11.1	8.9	-
大学院修了	5	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	40.0	40.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0
その他	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
結婚状況																	
既婚	151	4.6	3.3	2.0	13.9	13.2	13.2	2.0	4.6	39.7	7.9	13.2	32.5	2.6	17.9	7.9	1.3
離別または死別	13	7.7	15.4	15.4	-	-	15.4	-	-	15.4	15.4	46.2	7.7	7.7	-	7.7	-
未婚	57	24.6	7.0	3.5	22.8	31.6	35.1	12.3	10.5	-	3.5	35.1	3.5	-	10.5	8.8	1.8
子ども																	
いる	148	4.1	2.7	2.0	12.8	11.5	11.5	2.0	2.0	41.9	8.8	15.5	31.8	3.4	17.6	7.4	1.4
いない	71	22.5	9.9	5.6	21.1	29.6	35.2	9.9	12.7	-	4.2	31.0	7.0	-	9.9	9.9	1.4
一番下の子ども																	
乳児・就学前の幼児	48	8.3	-	2.1	4.2	6.3	4.2	-	2.1	83.3	2.1	8.3	18.8	-	8.3	4.2	-
小学生	44	2.3	2.3	2.3	13.6	15.9	9.1	4.5	4.5	43.2	13.6	9.1	47.7	4.5	22.7	4.5	-
中学生以上の学生	40	-	5.0	2.5	20.0	12.5	17.5	2.5	-	5.0	10.0	22.5	35.0	2.5	25.0	10.0	2.5
その他	15	6.7	6.7	-	20.0	13.3	26.7	-	-	6.7	13.3	33.3	20.0	13.3	13.3	20.0	6.7
家計の負担者																	
あなた自身	21	33.3	19.0	14.3	14.3	14.3	14.3	-	4.8	4.8	4.8	14.3	4.8	4.8	14.3	14.3	4.8
親	48	25.0	6.3	4.2	25.0	31.3	29.2	12.5	10.4	4.2	8.3	31.3	4.2	2.1	8.3	8.3	2.1
配偶者	137	1.5	2.9	1.5	12.4	13.9	14.6	2.2	5.1	40.1	7.3	13.1	32.8	1.5	18.2	8.0	0.7
兄弟姉妹	2	50.0	-	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他の家族や親戚	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
生活保護などの受給	3	-	-	-	-	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	66.7	33.3	-	-	-	-
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
介護																	
している	24	12.5	4.2	-	25.0	16.7	12.5	8.3	-	16.7	50.0	12.5	33.3	16.7	12.5	4.2	-
していない	197	9.6	5.1	3.6	14.2	17.3	19.8	4.1	6.6	29.4	2.0	21.8	22.3	0.5	15.2	8.6	1.5
居住地																	
北勢地域	124	10.5	3.2	2.4	15.3	18.5	21.8	5.6	5.6	33.9	5.6	18.5	21.8	1.6	13.7	9.7	0.8
伊賀地域	15	6.7	-	-	13.3	20.0	13.3	6.7	20.0	20.0	20.0	13.3	40.0	13.3	13.3	6.7	-
中南勢地域	54	11.1	7.4	1.9	16.7	16.7	18.5	1.9	3.7	24.1	9.3	24.1	29.6	-	16.7	5.6	1.9
伊勢志摩地域	21	4.8	-	9.5	19.0	14.3	9.5	-	4.8	19.0	4.8	28.6	14.3	-	14.3	-	4.8
東紀州地域	6	16.7	50.0	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	33.3	-	16.7	33.3	33.3	-

現在働いていない方（問1で7専業主婦・専業主夫、8学生、9無職を選んだ方）を対象

【今後の就労意向】

問20 あなたの今後の就労意向を教えてください。（○は1つだけ）

今後の就労意向は「非正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く42.5%、次いで「正規の職員・従業員として働きたい」が26.7%、「働くつもりはない」が19.9%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く53.8%、次いで「非正規の職員・従業員として働きたい」が30.8%となっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く42.5%、次いで「非正規の職員・従業員として働きたい」と「働くつもりはない」が同率で22.5%となっています。また、全体より「正規の職員・従業員として働きたい」が15.8ポイント高く、「非正規の職員・従業員として働きたい」が20.0ポイント低くなっています

現在の就業形態でみると、専業主婦・専業主夫は「非正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く51.5%、次いで「働くつもりはない」が24.3%となっています。無職は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く47.6%、次いで「非正規の職員・従業員として働きたい」が27.4%となっています。

性別でみると、男性は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く47.2%、次いで「働くつもりはない」が19.4%となっています。女性は「非正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高く48.1%、次いで「正規の職員・従業員として働きたい」が22.7%となっています。

年齢でみると、年齢が高いほど「働くつもりがない」の割合が高くなっています。45～49歳は「働くつもりはない」の割合が28.4%となっており、34～39歳（8.8%）より19.6ポイント高くなっています。また、「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が17.0%となっており、44歳以下より10ポイント以上低くなっています。

最終学歴でみると、中学校卒業、大学院修了は「正規の職員・従業員として働きたい」、高校卒業、専門学校卒業、短大・高専卒業は「非正規の職員・従業員として働きたい」、四年制大学卒業は「正規の職員・従業員として働きたい」と「非正規の職員・従業員として働きたい」の割合が同率で最も高くなっています。

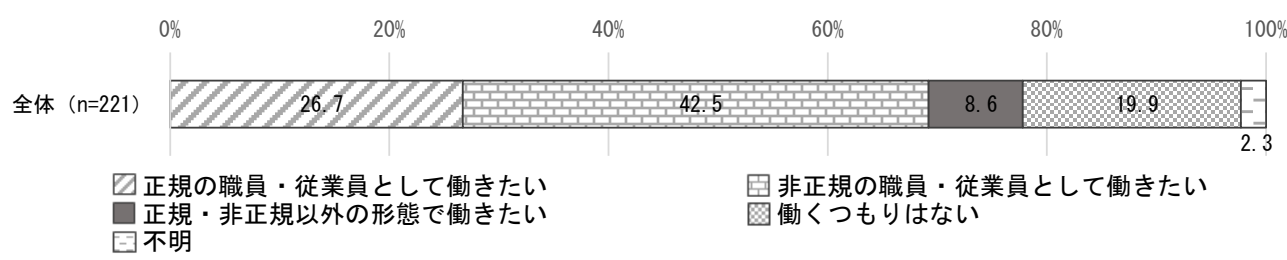
結婚状況でみると、既婚は「非正規の職員・従業員として働きたい」、離別または死別、未婚は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高くなっています。

子供の有無でみると、いる方は「非正規の職員・従業員として働きたい」、いない方は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が最も高くなっています。

一番下の子どもでみると、子どもが小さいほど「非正規の職員・従業員として働きたい」の割合が高くなり、「正規・非正規以外の形態で働きたい」が低くなっています。

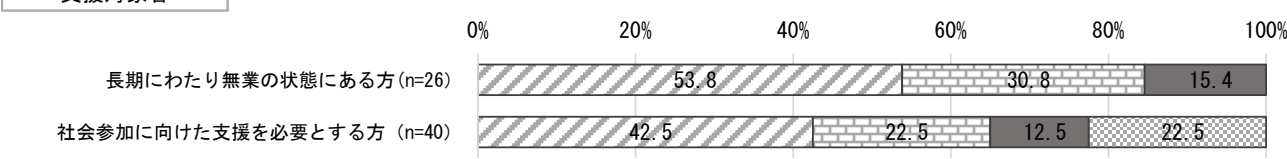
居住地域でみると、中勢志摩地域、東紀州地域は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合がこれら以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。

問20 今後の就労意向

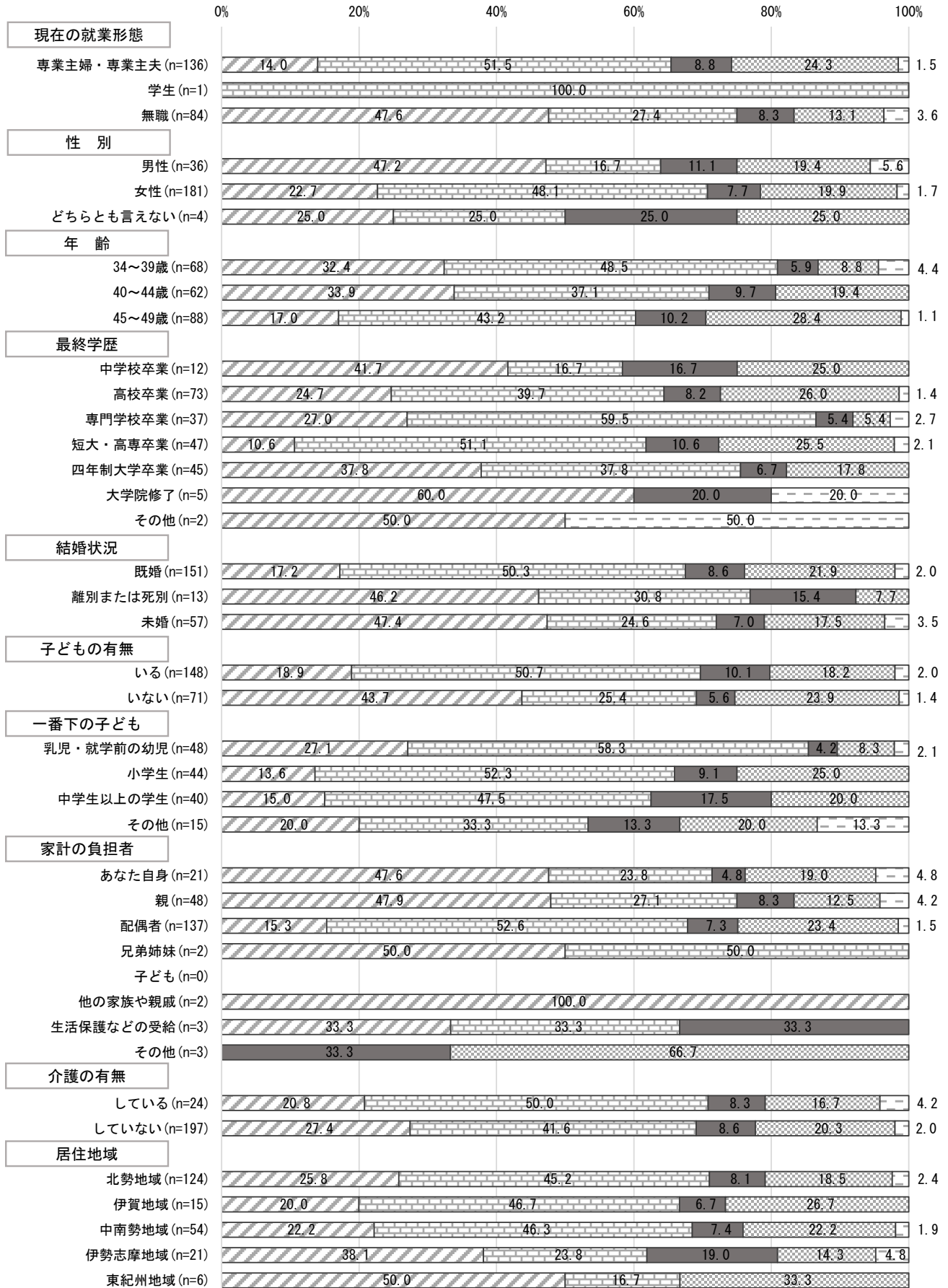


支援対象者

問20 今後の就労意向



問20 今後の就労意向



現在働いていない方（問1で7専業主婦・専業主夫、8学生、9無職を選んだ方）を対象

【希望する職種（働いていない方）】

問21 あなたが、希望する職種は何ですか。（〇はいくつでも）

希望する職種は「事務職」が最も高く38.4%、次いで「サービス職業」が27.3%、「専門的・技術的職業」が18.6%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「事務職」の割合が最も高くなっており、次いで「わからない」となっています。「わからない」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています（社会参加に向けた支援を必要とする方は「わからない」と「製造・生産工程職」が同率）。

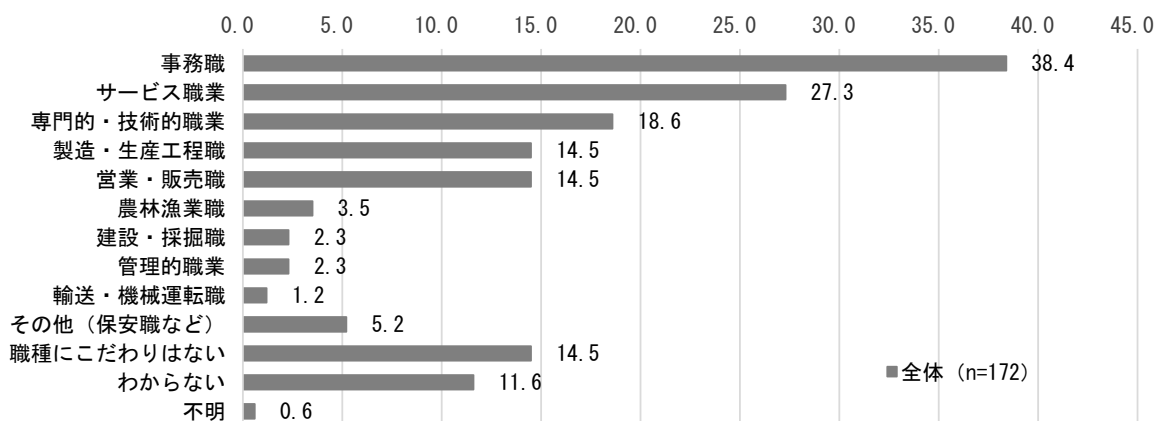
今後の就労意向でみると、正規の職員・従業員として働きたい方は「事務職」の割合が最も高く、次いで「専門的・技術的職業」となっています。非正規の職員・従業員として働きたい方は「事務職」が最も高く、次いで「サービス職業」となっています。また、正規・非正規以外の形態で働きたい方は「サービス職業」が最も高く、次いで「事務職」となっています。

現在の就業形態でみると、専業主婦・専業主夫、無職ともに「事務職」の割合が最も高くなっています。次いで、専業主婦・専業主夫は「サービス職業」、無職は「製造・生産工程職」となっています。

性別でみると、女性は「事務職」の割合が40.8%となっており、男性（29.6%）より11.2ポイント高くなっています。

居住地域でみると、伊賀地域は「サービス業」、伊賀地域以外の居住地域は「事務職」が最も高くなっています。また、中南勢地域は「職種にこだわりはない」の割合が26.8%となっており、中南勢地域以外の居住地域より10ポイント以上高くなっています。

問21 希望する職種（現在働いていない方）



		合計	製造・生産工程職	建設・採掘職	輸送・機械運転職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他（保安職など）	職種にこだわりはない	わからない	不明
支援対象者	長期にわたり無業の状態にある方	26	19.2	-	-	7.7	15.4	19.2	7.7	46.2	7.7	19.2	11.5	23.1	-
	社会参加に武方支援を必要とする方	31	25.8	3.2	-	6.5	19.4	16.1	6.5	41.9	12.9	12.9	9.7	25.8	-
今後の就労意向	正規の職員・従業員として働きたい	59	15.3	1.7	1.7	15.3	23.7	25.4	6.8	45.8	1.7	6.8	8.5	10.2	-
	非正規の職員・従業員として働きたい	94	14.9	3.2	1.1	14.9	26.6	14.9	-	36.2	4.3	5.3	17.0	12.8	-
	正規・非正規以外の形態で働きたい	19	10.5	-	-	10.5	42.1	15.8	-	26.3	5.3	-	21.1	10.5	5.3
	働くつもりはない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 2 1 希望する職種（働いていない方）

		合計	製造・生産 工程職	建設・探掘 職	輸送・機械 運転職	営業・販売 職	サービス職 業	専門的・技 術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他（保 安職など）	職種にこだ わりはない	わからない	不明
現 在 の 就 業 形 態	専業主婦・専業主夫	101	11.9	1.0	-	15.8	34.7	21.8	2.0	39.6	1.0	-	18.8	8.9	1.0
	学生	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	70	18.6	4.3	2.9	12.9	15.7	14.3	2.9	37.1	7.1	12.9	8.6	15.7	-
性 別	男性	27	22.2	7.4	3.7	3.7	22.2	22.2	7.4	29.6	11.1	18.5	14.8	7.4	-
	女性	142	13.4	1.4	0.7	16.2	28.2	18.3	1.4	40.8	2.1	2.8	14.1	12.0	0.7
	どちらとも言えない	3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-
年 齢	34～39歳	59	20.3	1.7	-	16.9	22.0	18.6	3.4	37.3	8.5	5.1	11.9	8.5	-
	40～44歳	50	8.0	-	-	16.0	32.0	16.0	2.0	38.0	-	2.0	16.0	12.0	2.0
	45～49歳	62	14.5	4.8	3.2	11.3	29.0	21.0	1.6	38.7	1.6	8.1	16.1	14.5	-
最 終 学 歴	中学校卒業	9	-	-	11.1	11.1	22.2	11.1	-	22.2	11.1	-	33.3	11.1	-
	高校卒業	53	24.5	5.7	1.9	13.2	22.6	5.7	-	30.2	5.7	9.4	13.2	22.6	-
	専門学校卒業	34	11.8	-	-	17.6	29.4	14.7	-	32.4	-	-	11.8	11.8	-
	短大・高専卒業	34	8.8	2.9	-	17.6	35.3	23.5	-	44.1	-	2.9	23.5	-	2.9
	四年制大学卒業	37	8.1	-	-	10.8	21.6	29.7	5.4	51.4	2.7	2.7	8.1	5.4	-
	大学院修了	4	50.0	-	-	25.0	75.0	100.0	50.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
結 婚 状 況	既婚	115	13.0	2.6	0.9	13.9	32.2	20.0	1.7	40.0	1.7	0.9	18.3	8.7	0.9
	離別または死別	12	16.7	-	-	50.0	33.3	16.7	-	33.3	-	8.3	-	16.7	-
	未婚	45	17.8	2.2	2.2	6.7	13.3	15.6	4.4	35.6	8.9	15.6	8.9	17.8	-
子 ど も	いる	118	12.7	1.7	1.7	16.9	32.2	20.3	0.8	39.8	1.7	0.8	16.9	9.3	0.8
	いない	53	18.9	3.8	-	9.4	15.1	15.1	5.7	35.8	7.5	15.1	9.4	17.0	-
一 番 下 の 子 ど も	乳児・就学前の幼児	43	11.6	2.3	-	20.9	27.9	25.6	2.3	37.2	2.3	-	20.9	7.0	-
	小学生	33	9.1	-	-	15.2	30.3	21.2	-	45.5	-	-	21.2	6.1	-
	中学生以上の学生	32	18.8	-	-	15.6	40.6	18.8	-	43.8	-	-	12.5	12.5	3.1
	その他	10	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	-	-	20.0	10.0	10.0	-	20.0	-
家 計 の 負 担 者	あなた自身	16	25.0	6.3	6.3	12.5	12.5	6.3	-	18.8	-	12.5	12.5	12.5	-
	親	40	15.0	2.5	-	12.5	15.0	17.5	5.0	45.0	10.0	12.5	7.5	17.5	-
	配偶者	103	11.7	1.9	1.0	14.6	34.0	22.3	1.9	42.7	1.0	1.0	16.5	7.8	1.0
	兄弟姉妹	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	-	-	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	生活保護などの受給	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	その他	1	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
介 護	している	19	21.1	5.3	-	10.5	15.8	15.8	-	31.6	10.5	10.5	21.1	10.5	-
	していない	153	13.7	2.0	1.3	15.0	28.8	19.0	2.6	39.2	2.6	4.6	13.7	11.8	0.7
居 住 地 域	北勢地域	98	14.3	1.0	-	14.3	26.5	22.4	3.1	33.7	4.1	5.1	14.3	11.2	-
	伊賀地域	11	18.2	-	-	27.3	63.6	18.2	-	45.5	-	-	-	18.2	-
	中南勢地域	41	12.2	4.9	2.4	12.2	22.0	14.6	2.4	36.6	4.9	9.8	26.8	9.8	-
	伊勢志摩地域	17	23.5	5.9	-	11.8	23.5	11.8	-	64.7	-	-	-	17.6	5.9
	東紀州地域	4	-	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

すべての方を対象

【ふだん自宅にいるときによくしていること】

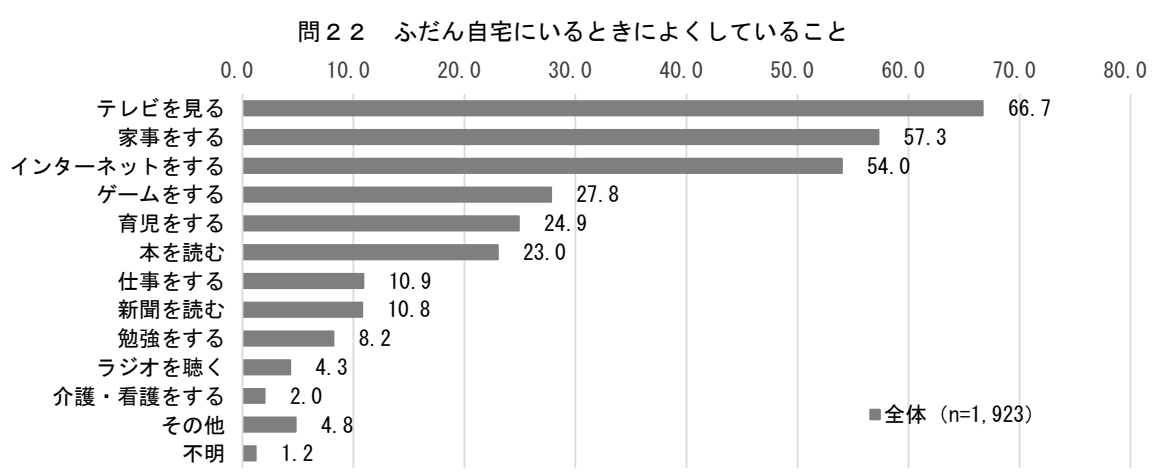
問22 あなたが、ふだんご自宅にいるときによくしていることは何ですか。(〇はいくつでも)

ふだん自宅にいるときによくしていることは「テレビを見る」の割合が最も高く66.7%、次いで「家事をする」が57.3%、「インターネットをする」が54.0%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも「インターネットをする」の割合が最も高く60%以上となっています。また、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「家事をする」の割合が40%台となっており、全体より低くなっています。不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は、「本を読む」の割合が50.0%で全体より27.0ポイント高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は「ゲームをする」の割合が42.3%となっており、全体より14.5ポイント高くなっています。

性別でみると、男性は「テレビを見る」の割合が最も高く71.5%、次いで「インターネットをする」が63.4%となっています。女性は「家事をする」の割合が最も高く79.8%、次いで「テレビを見る」が64.4%となっています。

結婚状況でみると、未婚は「インターネットをする」の割合が66.4%、「本を読む」の割合が33.0%となっており、既婚、離別または死別より10ポイント以上高くなっています。一方、「家事をする」、「育児をする」の割合が既婚、離別または死別より10ポイント以上低くなっています。



	合計	テレビを見る	ラジオを聴く	本を読む	新聞を読む	ゲームをする	勉強をする	仕事をする	家事をする	育児をする	介護・看護をする	インターネットをする	その他	不明
支援対象者														
不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	54.5	11.4	50.0	15.9	20.5	20.5	4.5	43.2	6.8	-	65.9	6.8	-
長期にわたり無業の状態にある方	26	57.7	7.7	30.8	3.8	42.3	15.4	-	-	-	11.5	61.5	3.8	-
社会参加に向けた支援を必要とする方	40	60.0	-	30.0	5.0	35.0	7.5	-	47.5	12.5	2.5	65.0	12.5	-
一番下の子ども														
乳児・就学前の幼児	334	58.7	3.3	13.8	6.0	24.6	6.3	15.0	66.2	77.2	0.3	48.2	2.4	0.6
小学生	404	61.6	3.7	21.8	11.9	27.0	7.2	12.6	67.1	41.3	1.7	50.2	4.5	2.0
中学生以上の学生	431	71.9	1.9	22.7	15.5	25.8	5.3	9.3	67.3	10.4	2.3	53.6	3.7	0.7
その他	141	70.9	2.8	18.4	10.6	22.7	2.8	10.6	63.8	2.8	4.3	43.3	6.4	1.4

問22 ふだん自宅にいるときによくしていること

	合計	テレビを見る	ラジオを聴く	本を読む	新聞を読む	ゲームをする	勉強をする	仕事をする	家事をする	育児をする	介護・看護をする	インターネットをする	その他	不明	
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	70.9	3.6	22.0	10.2	32.6	7.3	11.1	48.5	22.1	1.1	58.8	4.2	0.8
	非正規の職員・従業員	444	60.6	3.6	24.3	10.1	20.0	8.1	6.8	73.4	26.4	2.7	45.7	5.6	2.9
	会社・団体等の役員	19	63.2	15.8	15.8	15.8	15.8	10.5	21.1	42.1	15.8	-	42.1	10.5	-
	会社等の経営者	25	72.0	4.0	4.0	8.0	20.0	-	28.0	36.0	20.0	-	56.0	-	-
	自営業主、家庭内職	90	55.6	4.4	22.2	8.9	22.2	12.2	38.9	38.9	21.1	2.2	63.3	2.2	-
	自家営業の手伝い (家族従業者)	38	60.5	5.3	23.7	15.8	18.4	10.5	31.6	78.9	42.1	-	50.0	-	-
	専業主婦・専業主夫	136	64.7	7.4	24.3	16.9	19.9	5.1	1.5	91.2	51.5	5.9	44.9	6.6	0.7
	学生	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無職	84	63.1	9.5	35.7	13.1	36.9	20.2	-	51.2	9.5	6.0	50.0	9.5	1.2
	性別	男性	818	71.5	5.0	21.9	12.2	36.3	8.8	12.5	29.8	19.3	0.6	63.4	5.4
女性		1,061	64.4	3.8	24.3	9.9	21.7	7.9	9.6	79.8	29.8	3.2	48.1	4.1	0.2
どちらとも言えない		22	54.5	9.1	22.7	13.6	31.8	4.5	18.2	45.5	13.6	-	40.9	13.6	4.5
年齢	34～39歳	513	62.8	3.3	22.8	5.1	36.6	10.9	11.5	56.9	41.5	1.0	57.1	3.3	0.2
	40～44歳	559	66.9	5.2	24.2	9.8	28.8	8.2	12.2	58.3	27.7	2.1	57.8	5.2	-
	45～49歳	826	70.3	4.5	23.1	15.4	22.3	6.7	9.8	58.2	13.3	2.7	51.0	5.4	0.4
最終学歴	中学校卒業	74	64.9	6.8	20.3	5.4	36.5	6.8	8.1	50.0	18.9	4.1	50.0	5.4	-
	高校卒業	660	70.8	4.5	18.9	10.2	29.8	4.1	6.8	54.2	15.9	2.1	48.8	4.5	0.5
	専門学校卒業	273	70.3	4.4	18.7	5.9	30.4	6.2	8.4	61.2	26.7	1.1	57.1	4.8	-
	短大・高専卒業	297	68.4	4.0	23.2	12.5	21.2	6.7	11.1	76.4	32.3	4.0	54.9	4.0	-
	四年制大学卒業	527	62.4	3.2	29.2	12.7	27.9	13.1	15.6	52.0	30.7	1.3	59.0	5.5	0.4
	大学院修了	67	58.2	10.4	40.3	23.9	26.9	28.4	29.9	55.2	38.8	-	71.6	3.0	-
	その他	5	80.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-
結婚状況	既婚	1,319	66.7	2.9	19.8	11.4	26.5	6.8	12.1	66.1	33.4	1.7	50.4	3.9	1.1
	離別または死別	156	62.8	5.1	21.2	11.5	21.2	7.1	6.4	63.5	17.9	1.9	51.3	6.4	1.3
	未婚	437	67.7	8.5	33.0	9.2	34.6	12.8	8.9	28.6	1.4	3.0	66.4	6.2	1.4
子ども	いる	1,311	65.3	2.9	19.7	11.4	25.5	5.9	11.9	66.6	36.2	1.8	50.0	4.0	1.1
	いない	594	69.5	7.6	30.1	9.8	33.2	13.3	8.9	37.2	0.3	2.4	63.1	6.2	1.3
家計の負担者	あなた自身	853	70.5	4.3	21.3	11.3	30.6	9.1	13.1	42.4	22.2	0.9	59.8	4.3	0.8
	親	289	66.1	7.3	31.5	10.0	37.7	12.1	9.3	29.1	4.2	2.8	67.1	7.3	1.4
	配偶者	705	62.7	3.3	21.4	10.9	20.7	6.0	9.4	87.0	37.3	2.8	42.7	3.0	1.6
	兄弟姉妹	8	25.0	-	25.0	12.5	37.5	12.5	-	25.0	-	12.5	25.0	25.0	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	50.0	100.0	-	-
	生活保護などの受給	4	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-	50.0	25.0	-
	その他	9	66.7	11.1	44.4	22.2	33.3	-	-	55.6	11.1	-	77.8	33.3	-
介護	している	146	61.6	7.5	26.0	14.4	28.1	12.3	11.6	67.1	21.9	25.3	45.2	5.5	2.1
	していない	1,764	67.0	4.0	22.7	10.6	27.9	7.9	10.9	56.5	25.1	0.1	54.9	4.6	1.1
居住地	北勢地域	952	67.1	4.8	21.4	10.6	29.7	8.5	10.9	57.8	25.5	1.9	52.6	3.7	1.1
	伊賀地域	157	64.3	2.5	26.1	14.0	29.3	5.7	15.3	52.9	21.7	3.2	59.9	5.1	0.6
	中南勢地域	540	66.9	4.3	22.2	11.7	23.7	7.6	10.0	60.6	25.9	1.7	55.9	6.1	0.9
	伊勢志摩地域	215	63.7	2.8	27.4	7.4	28.4	9.3	10.2	50.7	21.9	2.8	52.6	4.2	3.3
	東紀州地域	46	73.9	8.7	28.3	13.0	32.6	13.0	10.9	56.5	26.1	2.2	54.3	6.5	-

すべての方を対象

【最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか】

問23 あなたは最近6ヶ月の間に、家族以外の人と話しましたか。(○は1つだけ)

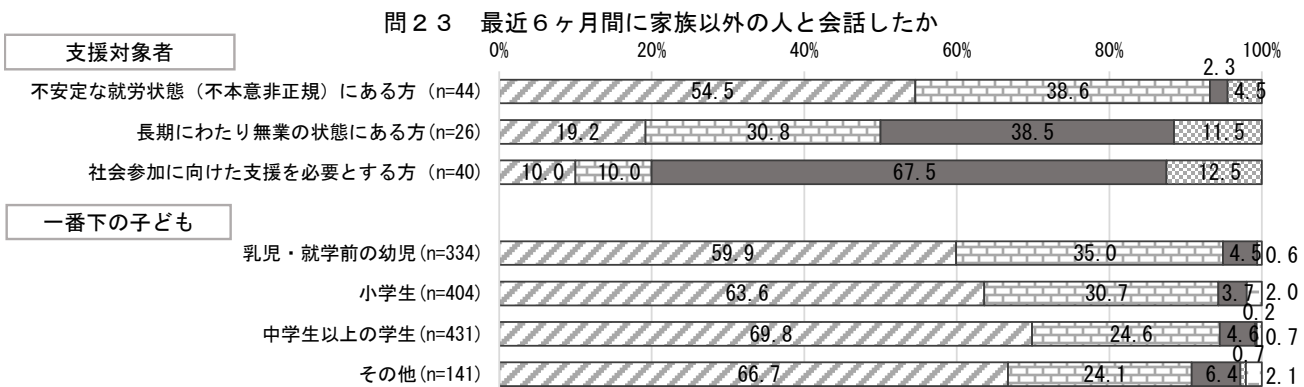
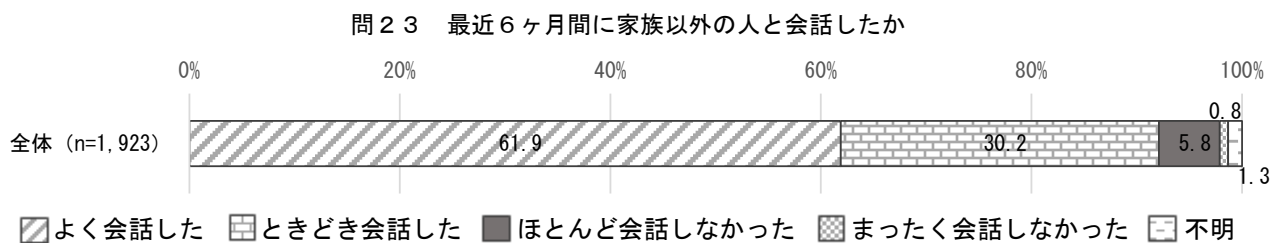
最近6ヶ月に家族以外の人と会話したかは「よく会話した」の割合が最も高く61.9%、次いで「ときどき会話した」が30.2%となっています。「よく会話した」と「ときどき会話した」を合計した『会話した』の割合が92.1%となっています。

支援対象者でみると、社会参加に向けた支援を必要とする方は、「ほとんど会話しなかった」の割合が最も高く67.5%、次いで「まったく会話しなかった」が12.5%となっています。また「まったく会話しなかった」と「ほとんど会話しなかった」を合計した『会話しなかった』の割合が80.0%となっています。長期にわたり無業の状態にある方は『会話しなかった』の割合が50.0%となっており、全体、無職より10ポイント以上高くなっています。

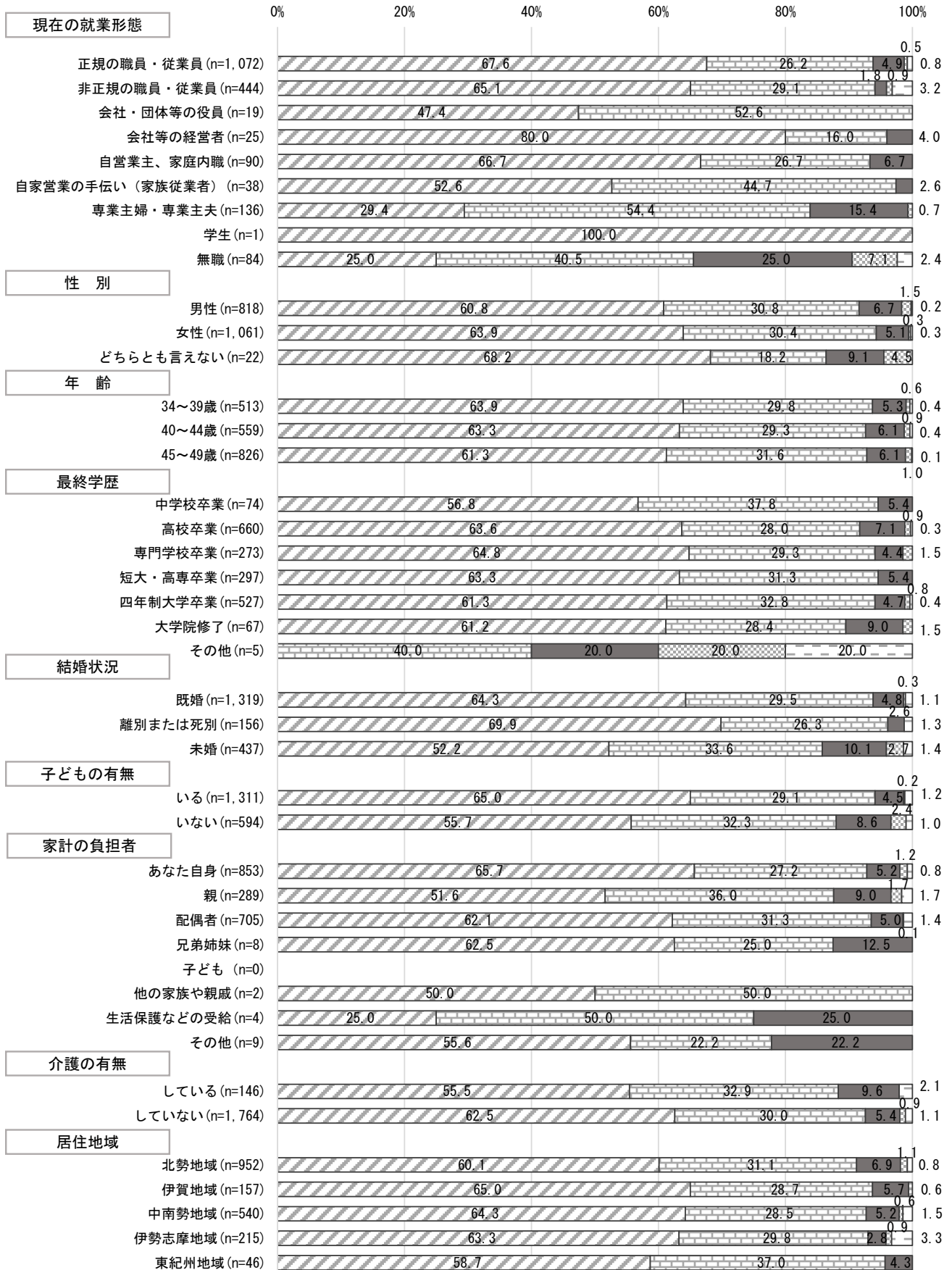
現在の就業形態でみると、“働いている方”は『会話した』の割合が90%以上となっています。一方、専業主婦・専業主夫は『会話した』の割合が83.8%、無職は65.5%となっており、また「よく会話した」の割合がこれら以外の就業形態より10ポイント以上低くなっています。

結婚状況でみると、未婚は「よく会話した」の割合が52.2%となっており、未婚以外の結婚状況より10ポイント以上低くなっています。

子供の有無でみると、いる方は「よく会話した」の割合が65.0%となっており、いない方(55.7%)より9.3ポイント高くなっています。また、一番下の子どもでみると、子どもが大きくなるほど「よく会話した」の割合が高くなる傾向にあります。



問23 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか



すべての方を対象

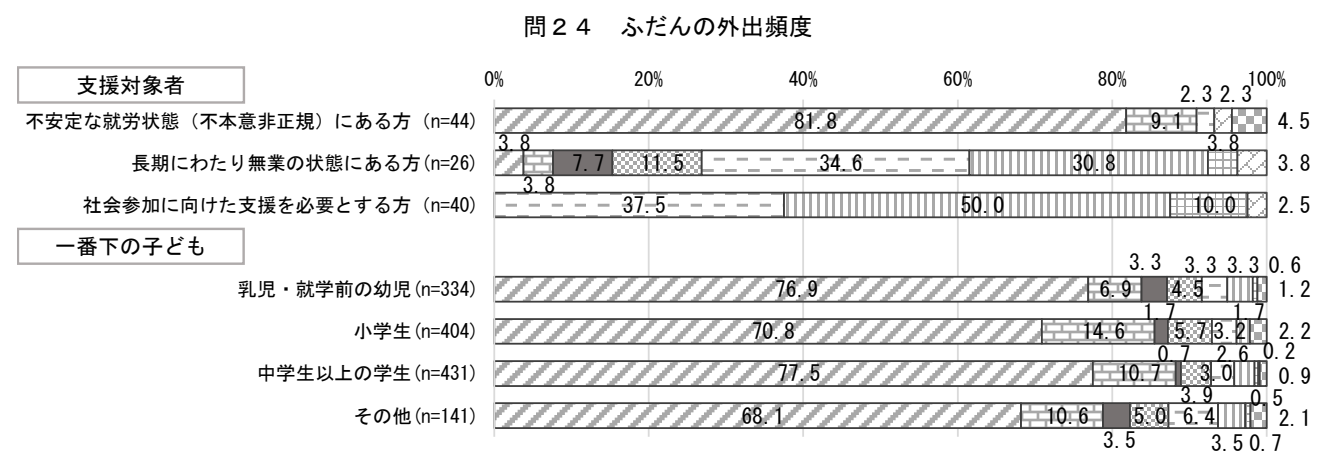
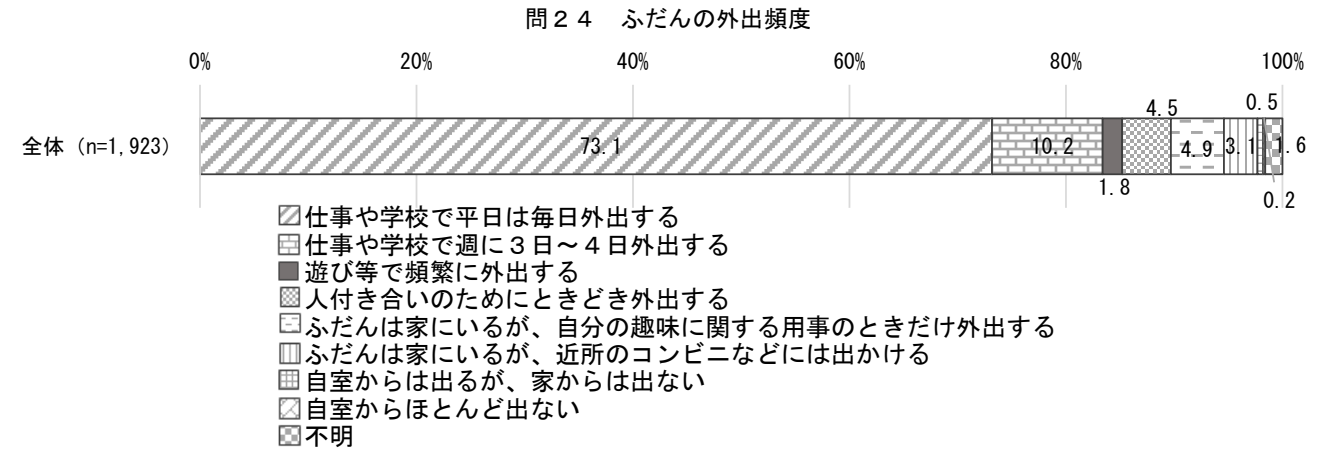
【ふだんの外出頻度】

問24 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(○は1つだけ)
 ※コロナ禍での対応については、加味せずお答えください。
 (例：コロナ禍での在宅勤務は、入社(外出)しているとみなしてご回答ください)

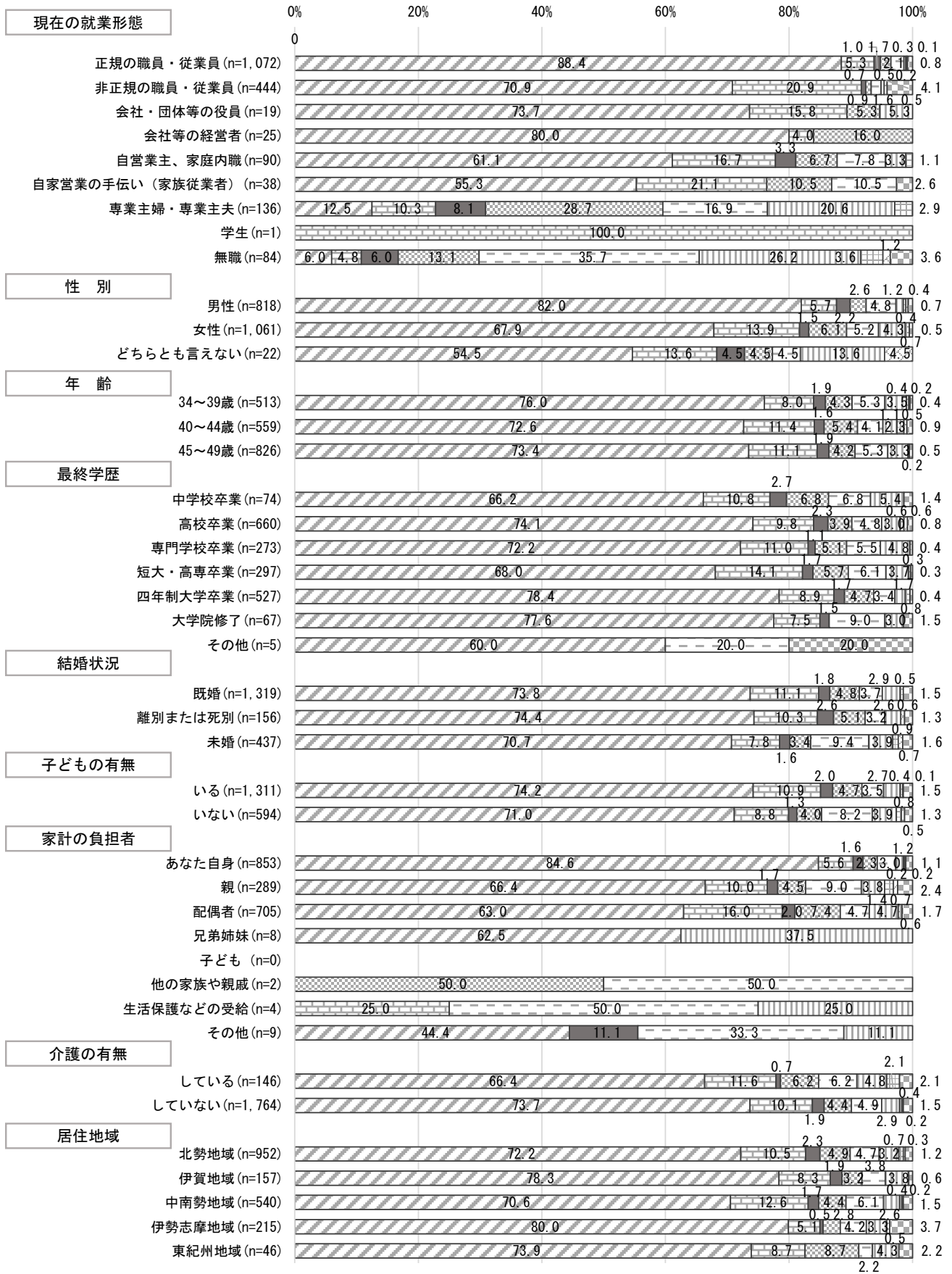
ふだんの外出頻度は「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が最も高く73.1%、次いで「仕事や学校で週に3日～4日外出する」が10.2%となっています。「仕事や学校で平日は毎日外出する」と「仕事や学校で週に3日～4日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」、「人付き合いのためにときどき外出する」の割合を合計した『外出する』の割合は89.6%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態(不本意非正規)にある方は「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が最も高く81.8%となっており、非正規の職員・従業員より10.9ポイント高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」と「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の割合がそれぞれ30%以上と高く、『外出する』の割合は26.8%にとどまっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」と「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の合計で87.5%となっており、「自室からは出るが、家からは出ない」と「自室からほとんど出ない」の合計で12.5%となっています。

現在の就業形態でみると、「働いている方」は「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が最も高く、50%以上となっています。一方、専業主婦・専業主夫は「人付き合いのためにときどき外出する」(28.7%)、無職は「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」(35.7%)の割合が最も高くなっています。



問 2 4 ふだんの外出頻度



すべての方を対象

【現在の状態になってどのくらい経つか】

問25 現在の状態になって、どのくらいが経ちますか。(〇は1つだけ)

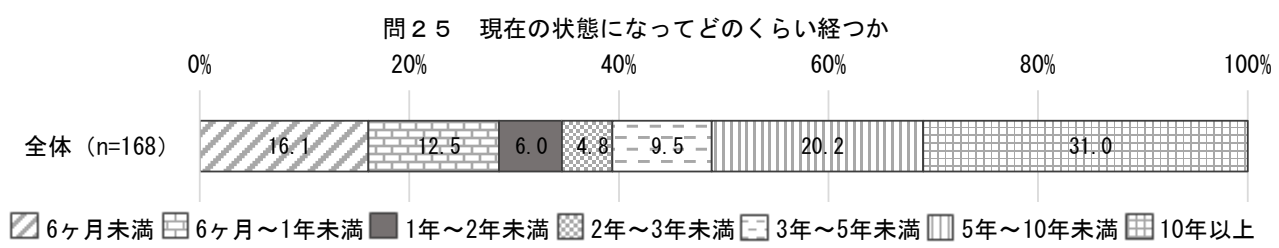
現在の状態になってからの期間は「10年以上」の割合が最も高く31.0%、次いで「5年～10年未満」が20.2%、「6ヶ月未満」が16.1%となっています。「5年～10年未満」と「10年以上」の割合を合計した『5年以上』の割合が51.2%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「5年～10年未満」の割合が最も高く、『5年以上』の割合が50%以上となっています。

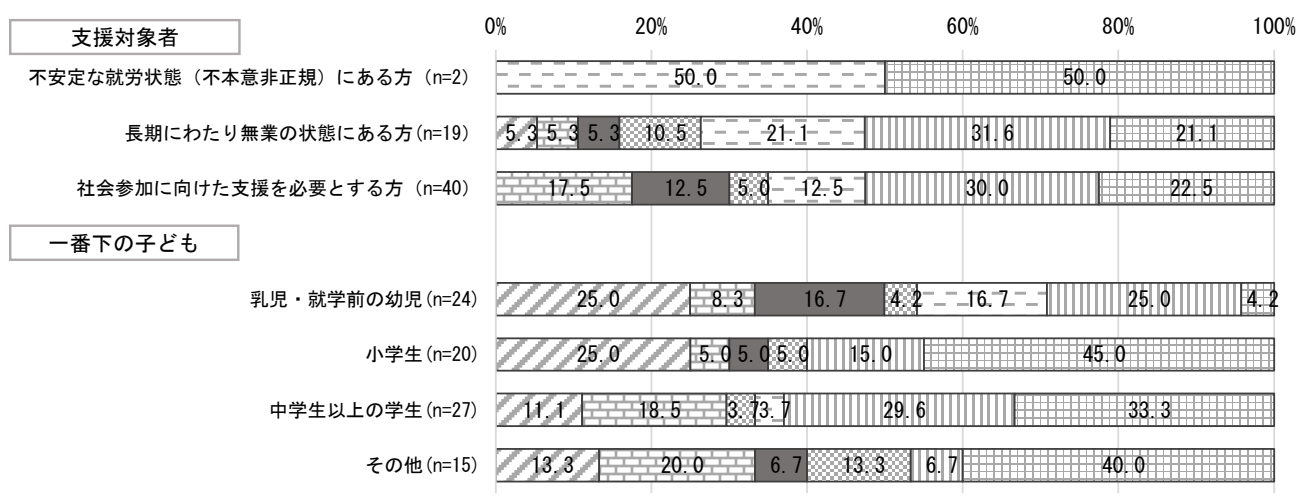
一番下の子どもでみると、小学生以上の学生は「10年以上」が最も高く、乳児・就学前の幼児(4.2%)より20ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、専業主婦・専業主夫、無職は「10年以上」、自営業主・家庭内職は「5年～10年未満」、非正規の職員・従業員は「6ヶ月～1年未満」と「3年～5年未満」と「5年～10年未満」と「10年以上」の割合が同率で最も高くなっています。

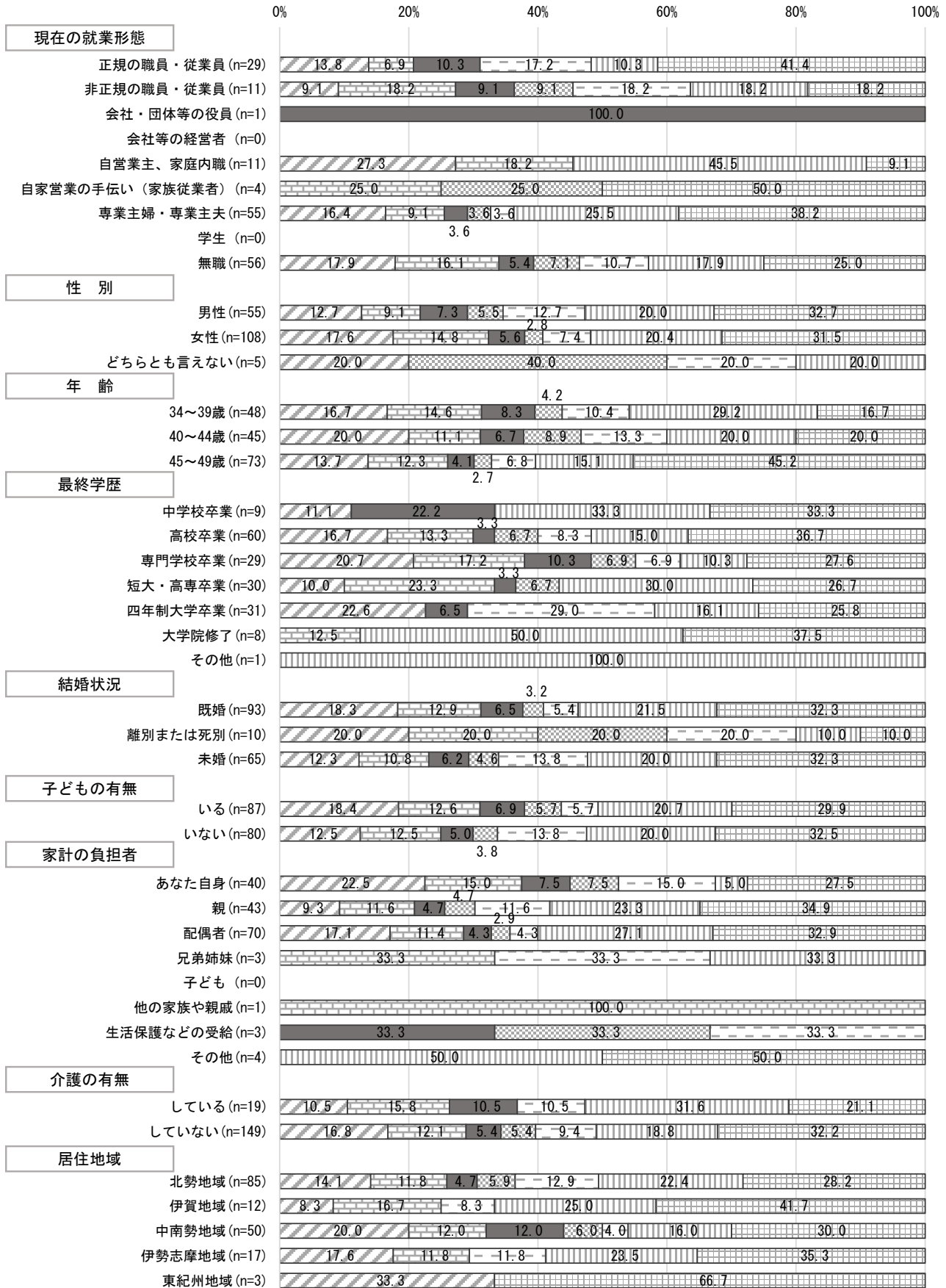
年齢でみると、34～39歳は「5年～10年未満」(29.2%)、40～44歳は「6ヶ月未満」と「5～10年未満」と「10年以上」が同率(20.0%)、45～49歳は「10年以上」(45.2%)の割合が最も高くなっています。



問25 現在の状態になってどのくらい経つか



問25 現在の状態になってどのくらい経つか



すべての方を対象

【現在の状態になったきっかけ】
問26 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

現在の状態になったきっかけは「退職したこと」の割合が最も高く22.6%、次いで「病気」と「特にない」が同率で21.4%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「人間関係がうまくいかなかったこと」の割合が最も高く57.9%となっており、全体や無職より20ポイント以上高くなっています。また、「就職活動がうまくいかなかったこと」の割合が31.6%となっており、全体より22.7ポイント高くなっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は「病気」の割合が最も高く32.5%となっており、全体より11.1ポイント高くなっています。記載があった病名では、うつ病が最も多く、身体的な病気より精神的な病気が多くみられました。

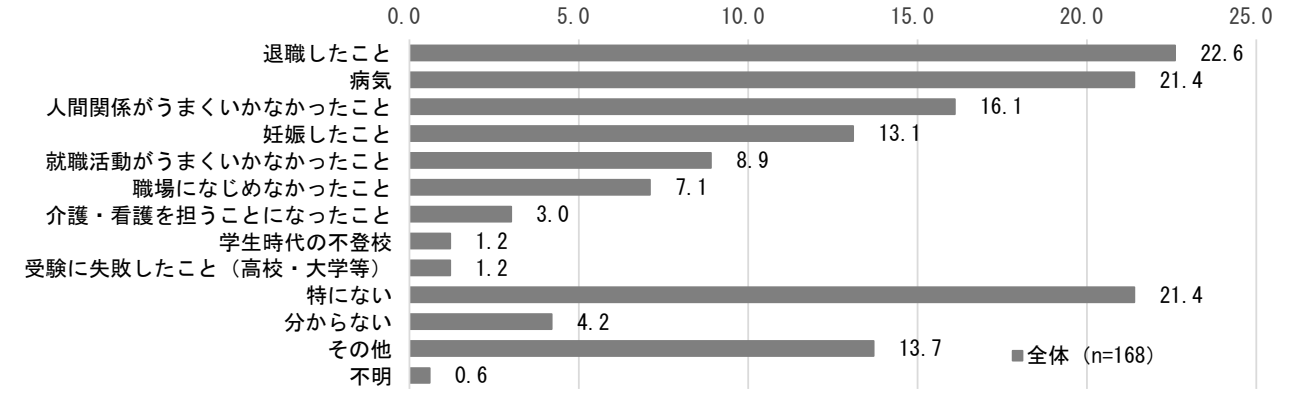
現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員は「特にない」、専業主婦・専業主夫は「退職したこと」と「妊娠したこと」が同率、無職は「退職したこと」の割合が最も高くなっています。

性別でみると男性は「特にない」の割合が最も高く32.7%、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」が、20.0%となっています。女性は「退職したこと」の割合が最も高く26.9%、次いで「病気」が25.0%となっています。

年齢でみると、34～39歳は「妊娠したこと」と「退職したこと」が同率(22.9%)、40～44歳は「人間関係がうまくいかなかったこと」(22.2%)、45～49歳は「病気」(27.4%)が最も高くなっています。

結婚状況でみると、既婚は「特にない」(23.7%)、離別または死別は「病気」(50.0%)、未婚は「人間関係がうまくいかなかったこと」(30.8%)の割合が最も高くなっています。

問26 現在の状態になったきっかけ



	合計	学生時代の不登校	受験に失敗したこと (高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	特にない	分からない	その他	不明
支援対象者	不安定な就業状態 (不本意非正規) にある方	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	長期にわたり無業の状態にある方	19	10.5	5.3	31.6	21.1	57.9	36.8	21.1	10.5	5.3	-	5.3	-
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	5.0	2.5	20.0	17.5	30.0	32.5	10.0	25.0	2.5	7.5	5.0	7.5
ふだんの外出頻度	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する	95	2.1	1.1	11.6	4.2	14.7	17.9	11.6	20.0	4.2	25.3	3.2	15.8
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	59	-	1.7	6.8	11.9	15.3	30.5	16.9	27.1	1.7	13.6	3.4	10.2
	自宅からは出るが、家からは出ない	10	-	-	-	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0	20.0
	自宅からほとんど出ない	4	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-
一番下の子ども	乳児・就学前の幼児	24	-	-	4.2	-	-	8.3	54.2	12.5	-	8.3	4.2	25.0
	小学生	20	-	-	-	5.0	10.0	20.0	25.0	20.0	10.0	35.0	-	10.0
	中学生以上の学生	27	-	-	-	7.4	7.4	29.6	7.4	25.9	-	18.5	14.8	14.8
	その他	15	-	-	6.7	6.7	6.7	26.7	13.3	26.7	-	13.3	6.7	20.0

問 2 6 現在の状態になったきっかけ

	合計	学生時代の 不登校	受験に失敗 したこと (高校・大 学等)	就職活動が うまくいか なかったこ と	職場になじ めなかった こと	人間関係が うまくいか なかったこ と	病気	妊娠したこ と	退職したこ と	介護・看護 を担うこと になったこ と	特にない	分らない	その他	不明	
現在の就業形態	正規の職員・従業員	29	-	-	3.4	3.4	13.8	6.9	3.4	-	-	51.7	6.9	13.8	-
	非正規の職員・従業員	11	-	-	9.1	-	-	-	18.2	9.1	-	-	-	9.1	9.1
	会社・団体等の役員	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	会社等の経営者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主、家庭内職	11	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	36.4	9.1	45.5	-
	自家営業の手伝い (家族従業員)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	専業主婦・専業主夫	55	-	-	-	7.3	7.3	25.5	29.1	29.1	3.6	14.5	5.5	12.7	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	56	3.6	3.6	23.2	12.5	33.9	33.9	3.6	37.5	5.4	1.8	1.8	7.1	-
性別	男性	55	3.6	1.8	18.2	7.3	20.0	14.5	-	14.5	3.6	32.7	3.6	10.9	-
	女性	108	-	0.9	3.7	6.5	14.8	25.0	19.4	26.9	2.8	15.7	4.6	15.7	0.9
	どちらとも言えない	5	-	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	48	4.2	2.1	14.6	6.3	14.6	16.7	22.9	22.9	2.1	18.8	2.1	12.5	-
	40～44歳	45	-	-	8.9	6.7	22.2	15.6	6.7	17.8	6.7	20.0	11.1	15.6	-
	45～49歳	73	-	1.4	5.5	8.2	13.7	27.4	9.6	26.0	1.4	24.7	1.4	13.7	1.4
最終学歴	中学校卒業	9	-	-	-	-	11.1	55.6	-	22.2	11.1	22.2	-	-	-
	高校卒業	60	-	-	6.7	11.7	13.3	16.7	8.3	28.3	3.3	21.7	8.3	10.0	-
	専門学校卒業	29	3.4	-	13.8	3.4	17.2	10.3	13.8	20.7	3.4	24.1	3.4	13.8	3.4
	短大・高専卒業	30	-	-	-	6.7	16.7	30.0	26.7	20.0	3.3	13.3	-	20.0	-
	四年制大学卒業	31	-	3.2	12.9	6.5	19.4	22.6	12.9	19.4	-	25.8	3.2	12.9	-
	大学院修了	8	12.5	12.5	37.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	25.0	-	25.0	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
結婚状況	既婚	93	-	1.1	4.3	5.4	6.5	18.3	21.5	21.5	2.2	23.7	5.4	17.2	-
	離別または死別	10	-	-	-	-	10.0	50.0	20.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-
	未婚	65	3.1	1.5	16.9	10.8	30.8	21.5	-	24.6	4.6	20.0	1.5	9.2	1.5
子ども	いる	87	-	-	2.3	4.6	5.7	21.8	25.3	20.7	2.3	18.4	6.9	17.2	-
	いない	80	2.5	2.5	16.3	10.0	27.5	21.3	-	25.0	3.8	25.0	1.3	8.8	1.3
家計の負担者	あなた自身	40	-	-	10.0	7.5	10.0	12.5	-	10.0	2.5	40.0	5.0	15.0	2.5
	親	43	4.7	2.3	23.3	7.0	34.9	18.6	-	30.2	4.7	16.3	2.3	11.6	-
	配偶者	70	-	1.4	1.4	4.3	7.1	18.6	28.6	24.3	2.9	17.1	5.7	15.7	-
	兄弟姉妹	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-
	子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	生活保護などの受給	3	-	-	-	33.3	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
	その他	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-
介護	している	19	-	-	5.3	10.5	21.1	15.8	10.5	47.4	15.8	10.5	5.3	10.5	-
	していない	149	1.3	1.3	9.4	6.7	15.4	22.1	13.4	19.5	1.3	22.8	4.0	14.1	0.7
居住地域	北勢地域	85	2.4	2.4	10.6	9.4	21.2	17.6	12.9	22.4	2.4	23.5	4.7	17.6	1.2
	伊賀地域	12	-	-	-	-	-	33.3	8.3	16.7	8.3	33.3	8.3	-	-
	中南勢地域	50	-	-	10.0	4.0	12.0	24.0	16.0	18.0	2.0	16.0	4.0	12.0	-
	伊勢志摩地域	17	-	-	5.9	5.9	17.6	17.6	11.8	35.3	5.9	23.5	-	5.9	-
	東紀州地域	3	-	-	-	33.3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-

病名（2件以上記載があったもの）の内訳

病名	件数
うつ病	12
精神疾患、精神病、精神的なもの	4
統合失調症	2
パニック障害	2

すべての方を対象

【現在の状態について関係機関に相談したいと思うか】

問27 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(〇は1つだけ)

現在の状態について関係機関に相談したいと思うかは「思わない」の割合が最も高く63.7%、次いで「少し思う」が15.5%となっています。「非常に思う」、「思う」、「少し思う」の割合を合計した『思う』の割合は35.1%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「思う」の割合が最も高く31.6%となっています。また、『思う』の割合が73.8%となっており、全体、無職より20ポイント以上高くなっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は「思わない」の割合が最も高く42.5%となっているものの、『思う』の割合が57.5%と半数以上となっています。

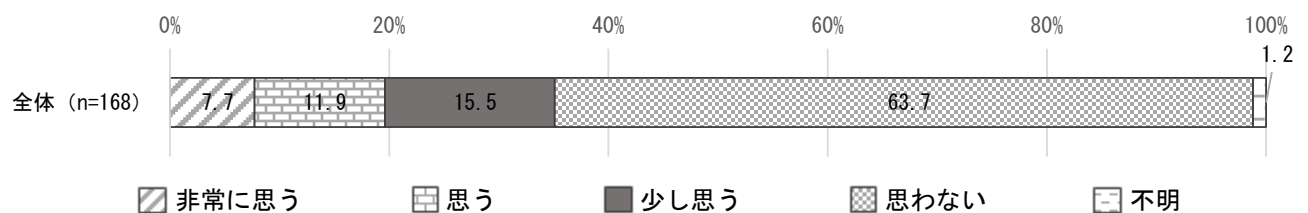
ふだんの外出頻度でみると、近所のコンビニなどには出かける方は『思う』の割合が50.8%となっており、近所のコンビニなどには出かける方以外の外出頻度の方より20ポイント以上高くなっています。

現在の状態になってからどのくらい経つかでみると3年～5年未満は『思う』の割合が56.3%となっており、「思わない」より高くなっています。一方、10年以上は「思わない」が75.0%となっています。

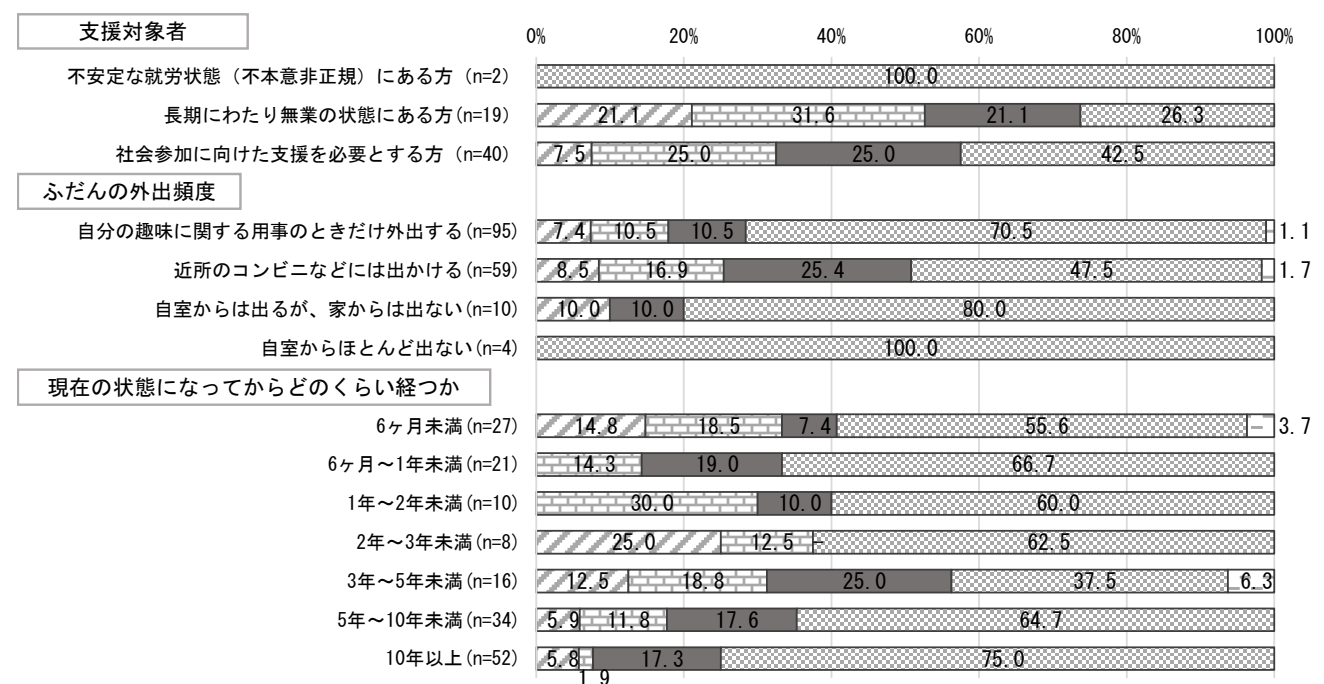
現在の就業形態でみると、無職は『思う』の割合が48.2%、専業主婦・専業主夫は32.7%、正規の職員・従業員は31.0%となっています。

居住地域でみると、北勢地域、伊賀地域は『思う』の割合が40%以上となっており、中南勢地域、伊勢志摩地域より10ポイント以上高くなっています。

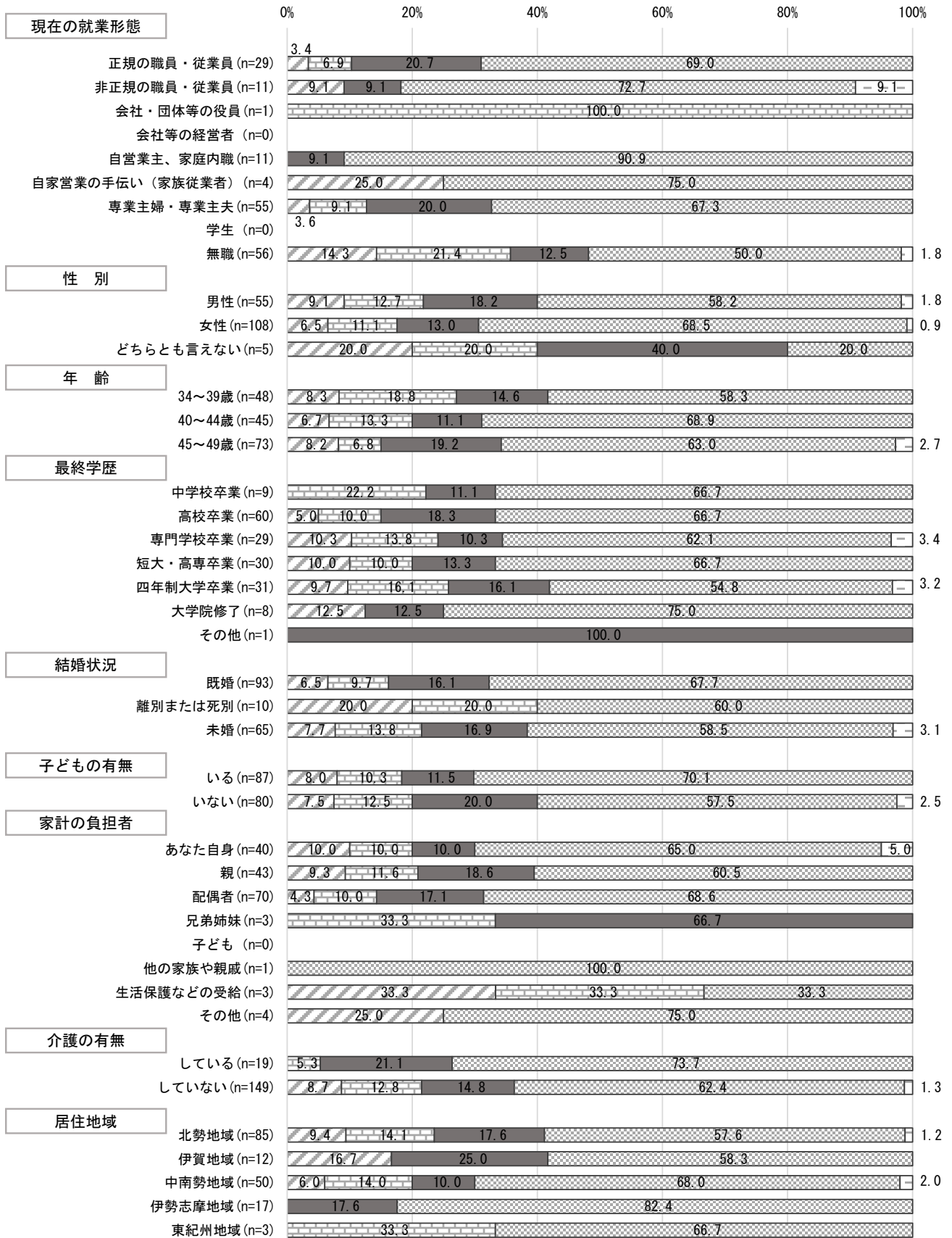
問27 現在の状態について関係機関に相談したいと思うか



問27 現在の状態について関係機関に相談したいと思うか



問 2 7 現在の状態について関係機関に相談したいと思うか



すべての方を対象

【どのような機関なら、相談したいと思うか】

問28 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

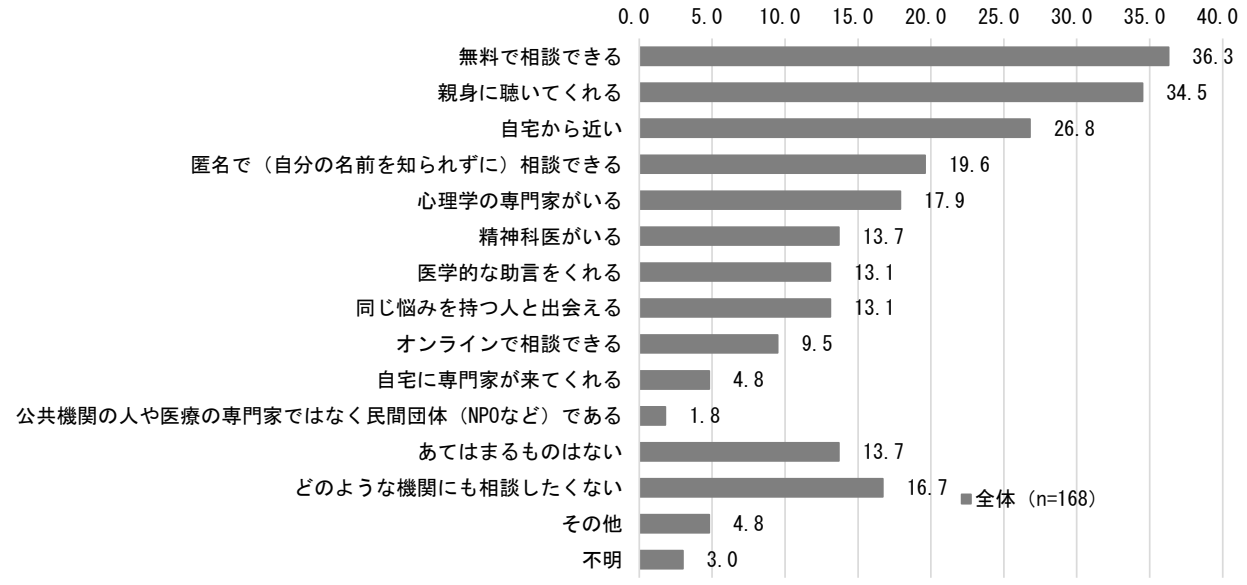
どのような機関なら相談したいと思うかは、「無料で相談できる」の割合が最も高く36.3%、次いで「親身に聴いてくれる」が34.5%、「自宅から近い」が26.8%となっています。

支援対象者でみると、長期にわたり無業の状態にある方は「無料で相談できる」と「自宅から近い」が同率で最も高く57.9%となっており、いずれも全体より20ポイント以上高くなっています。また、「心理学の専門家がいる」、「精神科医がいる」、「オンラインで相談できる」もそれぞれ全体より20ポイント以上高くなっています。

関係機関に相談したいかで見ると、非常に思うと回答した方は「親身に聴いてくれる」(92.3%)、思うと回答した方は「無料で相談できる」(70.0%)、少し思うと回答した方は「親身に聴いてくれる」と「無料で相談できる」が同率(46.2%)、思わないと回答した方は「どのような機関にも相談したくない」(26.2%)の割合が最も高くなっています。

性別でみると、女性は「無料で相談できる」(43.5%)、「親身に聴いてくれる」(38.9%)、「自宅から近い」(30.6%)の割合が男性より10ポイント以上高くなっています。

問28 どのような機関なら、相談したいと思うか



対象者	現在の状態	相談したいか	相談したいと思う機関															
			合計	親身に聴いてくれる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家がいる	精神科医がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	無料で相談できる	匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	公共機関の人や医療の専門家ではなく民間団体(NPOなど)である	自宅に専門家が来てくれる	自宅から近い	オンラインで相談できる	あてはまるものはない	どのような機関にも相談したくない	その他	不明
支援対象者	不安定な就労状態(不本意非正規)にある方	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
	長期にわたり無業の状態にある方	19	52.6	26.3	47.4	36.8	21.1	57.9	26.3	10.5	5.3	57.9	31.6	-	5.3	-	-	
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	37.5	12.5	25.0	15.0	12.5	37.5	22.5	5.0	2.5	32.5	12.5	2.5	22.5	2.5	2.5	
関係機関に相談したくない	非常に思う	13	92.3	46.2	53.8	61.5	23.1	76.9	23.1	7.7	23.1	53.8	30.8	-	-	-	-	
	思う	20	65.0	25.0	50.0	35.0	30.0	70.0	35.0	10.0	5.0	50.0	10.0	5.0	-	5.0	-	
	少し思う	26	46.2	15.4	23.1	23.1	19.2	46.2	26.9	-	-	38.5	7.7	3.8	-	-	-	
	思わない	107	18.7	6.5	6.5	1.9	7.5	22.4	14.0	-	2.8	15.9	7.5	19.6	26.2	6.5	3.7	

問 2 8 どのような機関なら、相談したいと思うか

		合計	親身に聞いてくれる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家がいます	精神科医がいます	同じ悩みを持つ人と出会える	無料で相談できる	匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる	公共機関の人や医療の専門家ではなく、民間団体（NPOなど）である	自宅に専門家が来てくれる	自宅から近い	オンラインで相談できる	あてはまるものはない	どのような機関にも相談したくない	その他	不明	
現在の就業形態	正規の職員・従業員	29	13.8	3.4	20.7	13.8	13.8	17.2	6.9	-	-	10.3	3.4	31.0	20.7	3.4	-	
	非正規の職員・従業員	11	18.2	-	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-	9.1	-	18.2	27.3	-	18.2	
	会社・団体等の役員	1	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	会社等の経営者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主・家庭内職	11	18.2	-	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	-	-	-	9.1	18.2	27.3	27.3	-	-
	自家営業の手伝い（家族従業員）	4	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	専業主婦・専業主夫	55	40.0	9.1	9.1	7.3	12.7	40.0	25.5	1.8	5.5	36.4	9.1	12.7	18.2	5.5	1.8	
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	56	46.4	26.8	28.6	21.4	12.5	50.0	26.8	3.6	5.4	33.9	14.3	3.6	10.7	-	3.6	
	性別	男性	55	25.5	10.9	18.2	10.9	10.9	21.8	14.5	1.8	3.6	16.4	9.1	16.4	20.0	1.8	1.8
女性		108	38.9	13.9	17.6	14.8	14.8	43.5	22.2	1.9	5.6	30.6	10.2	13.0	14.8	6.5	3.7	
どちらとも言えない		5	40.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-	-	60.0	-	-	20.0	-	-	
年齢	34～39歳	48	33.3	12.5	22.9	20.8	20.8	35.4	29.2	4.2	8.3	29.2	8.3	16.7	14.6	2.1	6.3	
	40～44歳	45	28.9	8.9	17.8	11.1	4.4	37.8	11.1	-	2.2	20.0	8.9	8.9	20.0	8.9	-	
	45～49歳	73	37.0	15.1	15.1	11.0	12.3	35.6	16.4	1.4	4.1	30.1	11.0	15.1	16.4	4.1	2.7	
最終学歴	中学校卒業	9	44.4	33.3	33.3	11.1	-	33.3	33.3	-	11.1	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	-	
	高校卒業	60	31.7	8.3	15.0	10.0	15.0	33.3	15.0	-	-	28.3	6.7	11.7	21.7	6.7	3.3	
	専門学校卒業	29	37.9	10.3	20.7	10.3	17.2	41.4	34.5	3.4	3.4	27.6	10.3	10.3	17.2	3.4	3.4	
	短大・高専卒業	30	36.7	20.0	13.3	16.7	13.3	33.3	13.3	-	6.7	23.3	13.3	16.7	10.0	3.3	6.7	
	四年制大学卒業	31	29.0	16.1	19.4	22.6	9.7	41.9	12.9	3.2	9.7	25.8	3.2	16.1	12.9	3.2	-	
	大学院修了	8	37.5	-	12.5	-	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	-	
	その他	1	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
結婚状況	既婚	93	36.6	7.5	14.0	10.8	14.0	35.5	20.4	1.1	5.4	29.0	8.6	16.1	18.3	6.5	2.2	
	離別または死別	10	50.0	50.0	40.0	20.0	10.0	70.0	30.0	-	10.0	30.0	10.0	10.0	-	10.0	-	
	未婚	65	29.2	15.4	20.0	16.9	12.3	32.3	16.9	3.1	3.1	23.1	10.8	10.8	16.9	1.5	4.6	
子ども	いる	87	35.6	12.6	17.2	12.6	13.8	37.9	20.7	1.1	6.9	26.4	9.2	16.1	18.4	6.9	1.1	
	いない	80	32.5	13.8	18.8	15.0	11.3	33.8	17.5	2.5	2.5	26.3	10.0	11.3	15.0	2.5	5.0	
家計の負担者	あなた自身	40	27.5	12.5	17.5	12.5	7.5	25.0	12.5	-	2.5	20.0	7.5	22.5	20.0	2.5	2.5	
	親	43	32.6	16.3	18.6	14.0	16.3	37.2	20.9	4.7	2.3	25.6	14.0	7.0	16.3	2.3	4.7	
	配偶者	70	40.0	8.6	12.9	7.1	12.9	41.4	24.3	1.4	7.1	35.7	8.6	14.3	14.3	5.7	2.9	
	兄弟姉妹	3	33.3	-	33.3	66.7	33.3	100.0	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	
	子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	他の家族や親戚	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	生活保護などの受給	3	33.3	33.3	66.7	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	
	その他	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	
介護	している	19	5.3	5.3	10.5	15.8	-	26.3	10.5	-	-	15.8	10.5	31.6	26.3	10.5	-	
	していない	149	38.3	14.1	18.8	13.4	14.8	37.6	20.8	2.0	5.4	28.2	9.4	11.4	15.4	4.0	3.4	
居住地域	北勢地域	85	31.8	11.8	18.8	17.6	17.6	36.5	22.4	2.4	7.1	30.6	10.6	11.8	18.8	1.2	4.7	
	伊賀地域	12	25.0	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	8.3	16.7	16.7	25.0	8.3	-	
	中南勢地域	50	36.0	16.0	16.0	6.0	8.0	38.0	18.0	2.0	4.0	24.0	6.0	14.0	14.0	12.0	2.0	
	伊勢志摩地域	17	41.2	11.8	11.8	5.9	5.9	23.5	11.8	-	-	17.6	5.9	17.6	11.8	-	-	
	東紀州地域	3	66.7	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	

すべての方を対象

【現在利用しているSNSや動画共有サービス】
 問29 あなたが、現在利用しているSNSや動画共有サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

現在利用しているSNSは「LINE」の割合が最も高く87.7%、次いで「Instagram」が34.8%、「Facebook」が23.9%となっています。また、動画共有サービスは「YouTube」の割合が最も高く62.8%、次いで「TikTok」が4.5%、「ニコニコ動画」が3.2%となっています。

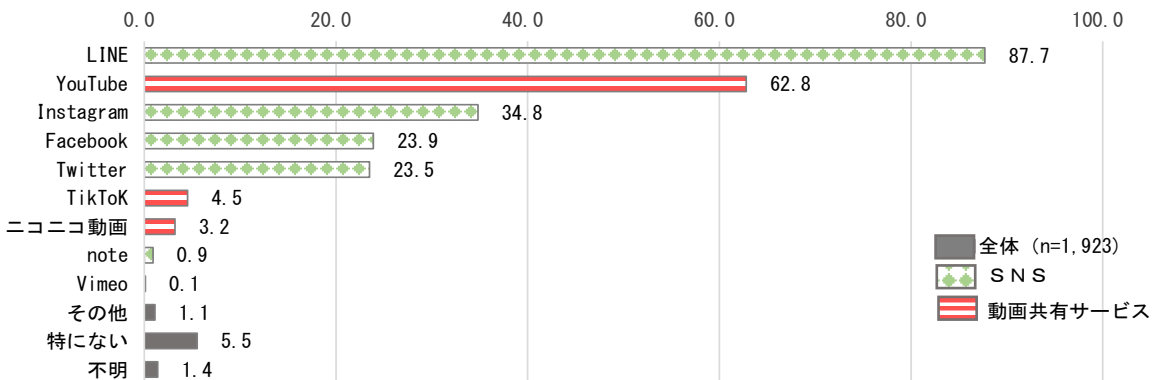
支援対象者でみると、社会参加に向けた支援を必要とする方はすべてのSNSの項目で全体より低くなっており、長期にわたり無業の状態にある方も「Twitter」を除くすべてのSNSの項目で全体より低くなっています。特に「LINE」の割合が全体より37.7ポイント低くなっています。また「特にない」の割合が20%以上となっており、全体より10ポイント以上高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は、「Twitter」が42.3%となっており、全体より18.8ポイント高くなっています。不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方いずれも「LINE」の割合が全体より10ポイント以上低くなっています。

最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したかで見ると、会話する人ほど「LINE」、「Instagram」、「Facebook」の割合が高く、「Twitter」が低くなっています。

現在の就業形態別で見ると、無職は「LINE」の割合が58.3%となっており、無職以外の就業形態より20ポイント以上低くなっています。

性別で見ると、女性は「Instagram」の割合が43.1%となっており、男性より18.4ポイント高くなっています。また、男性は「YouTube」が73.0%となっており、女性より16.5ポイント以上高くなっています。

問29 現在利用しているSNSや動画共有サービス



	合計	SNS					動画共有サービス				その他	特にない	不明	
		LINE	Twitter	Instagram	Facebook	note	TikTok	YouTube	ニコニコ動画	Vimeo				
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	68.2	29.5	27.3	27.3	-	4.5	50.0	13.6	2.3	-	9.1	-	
	長期にわたり無業の状態にある方	50.0	42.3	19.2	7.7	-	3.8	65.4	11.5	-	-	23.1	-	
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	50.0	22.5	15.0	5.0	-	2.5	55.0	7.5	-	-	22.5	-
家族以外の人と会話したか	よく会話した	1191	92.0	22.7	37.4	26.1	0.7	5.0	64.6	2.7	0.1	1.1	3.9	0.2
	ときどき会話した	580	85.9	24.7	33.1	22.8	1.4	4.3	61.4	3.1	-	1.2	7.2	0.2
	ほとんど会話しなかった	111	73.0	28.8	26.1	11.7	1.8	0.9	64.9	8.1	-	0.9	12.6	-
	まったく会話しなかった	16	56.3	37.5	18.8	12.5	-	-	62.5	6.3	-	-	12.5	6.3
ふだんの外出頻度	仕事や学校で平日は毎日外出する	1405	90.7	23.3	35.9	25.1	1.2	4.3	65.7	3.1	0.1	1.2	4.6	0.1
	仕事や学校で週に3日~4日外出する	197	89.3	24.9	34.5	18.8	-	5.1	60.9	3.6	-	1.0	4.6	-
	遊び等で頻繁に外出する	35	91.4	34.3	34.3	34.3	-	11.4	68.6	8.6	-	-	2.9	-
	人付き合いのためにときどき外出する	87	88.5	18.4	37.9	24.1	-	3.4	57.5	2.3	-	-	5.7	-
	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する	95	72.6	32.6	33.7	28.4	1.1	7.4	58.9	4.2	-	1.1	10.5	1.1
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	59	69.5	22.0	23.7	10.2	-	1.7	42.4	1.7	-	1.7	22.0	1.7
	自室からは出るが、家からは出ない	10	70.0	20.0	20.0	20.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
自室からほとんど出ない	4	75.0	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0	-	-	-	-	

問 2 9 現在利用している SNS や動画共有サービス

	合計	SNS					動画共有サービス					その他	特にない	不明	
		LINE	Twitter	Instagram	Facebook	note	TikTok	YouTube	ニコニコ動画	Vimeo					
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	89.7	24.0	33.8	25.5	0.7	4.0	67.4	3.1	-	1.2	4.7	0.8	
	非正規の職員・従業員	444	88.3	21.8	39.0	20.7	1.4	5.4	56.5	2.7	0.2	0.9	3.6	3.2	
	会社・団体等の役員	19	84.2	31.6	63.2	47.4	5.3	10.5	63.2	10.5	-	-	-	-	
	会社等の経営者	25	84.0	-	20.0	24.0	-	-	48.0	4.0	-	-	12.0	-	
	自営業主、家庭内職	90	83.3	31.1	34.4	37.8	3.3	5.6	65.6	2.2	-	-	7.8	-	
	自家営業の手伝い（家族従業者）	38	97.4	23.7	44.7	23.7	-	7.9	71.1	10.5	-	-	-	-	
	専業主婦・専業主夫	136	88.2	19.9	36.8	19.1	-	2.9	50.7	0.7	-	1.5	9.6	-	
	学生	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	84	58.3	27.4	16.7	9.5	-	4.8	54.8	6.0	-	2.4	19.0	3.6	
	性別	男性	818	83.9	25.2	24.7	25.1	1.2	4.2	73.0	5.0	-	0.7	6.6	0.4
女性		1,061	92.6	22.6	43.1	23.5	0.8	4.9	56.5	1.8	0.1	1.3	4.2	0.3	
どちらとも言えない		22	72.7	22.7	45.5	22.7	-	-	50.0	4.5	-	4.5	22.7	-	
年齢	34～39歳	513	90.3	28.1	39.8	25.9	1.2	6.2	71.0	4.7	0.2	1.0	4.7	0.6	
	40～44歳	559	89.6	25.0	36.9	26.5	1.1	4.8	66.0	3.4	-	1.6	4.7	-	
	45～49歳	826	86.9	20.1	31.4	21.5	0.7	3.3	57.1	2.2	-	0.8	6.5	0.4	
最終学歴	中学校卒業	74	83.8	23.0	35.1	17.6	-	5.4	66.2	4.1	-	1.4	10.8	-	
	高校卒業	660	86.4	22.9	34.2	20.6	0.2	5.8	63.3	2.4	-	0.9	7.3	0.3	
	専門学校卒業	273	92.7	27.5	45.8	27.1	1.5	5.5	67.8	5.1	-	1.5	2.6	0.4	
	短大・高専卒業	297	92.6	19.2	36.7	20.9	0.7	5.7	54.5	2.0	-	1.7	5.1	-	
	四年制大学卒業	527	89.6	25.2	31.5	28.7	2.1	2.3	66.4	3.8	0.2	0.8	3.8	0.6	
	大学院修了	67	79.1	28.4	26.9	34.3	-	-	62.7	3.0	-	1.5	7.5	-	
	その他	5	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	20.0	20.0	
結婚状況	既婚	1,319	92.3	20.4	35.3	24.7	0.8	4.5	61.9	1.7	-	0.9	3.5	1.1	
	離別または死別	156	91.0	23.7	40.4	26.9	0.6	6.4	60.9	1.3	-	1.9	4.5	1.3	
	未婚	437	73.5	33.2	32.0	20.1	1.6	3.7	66.4	8.2	0.2	1.4	11.4	1.8	
子ども	いる	1,311	93.1	20.4	35.5	25.2	0.7	4.7	61.9	1.8	-	1.1	2.8	1.3	
	いない	594	76.3	30.6	33.8	21.2	1.5	4.0	65.0	6.2	0.2	1.2	11.1	1.2	
家計の負担者	あなた自身	853	88.0	25.3	30.0	27.2	0.8	4.5	69.1	2.9	-	1.2	4.6	1.1	
	親	289	74.0	33.9	37.4	19.7	1.7	4.5	66.4	9.7	-	1.0	11.4	1.7	
	配偶者	705	93.8	18.3	41.3	22.3	0.6	4.4	54.5	0.9	-	1.0	3.3	1.4	
	兄弟姉妹	8	87.5	25.0	12.5	25.0	-	-	62.5	12.5	12.5	-	12.5	-	
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	他の家族や親戚	2	100.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	
	生活保護などの受給	4	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0	50.0	-	
	その他	9	66.7	33.3	11.1	22.2	-	11.1	66.7	-	-	-	11.1	-	
介護	している	146	85.6	27.4	34.9	22.6	1.4	2.1	59.6	2.7	-	1.4	7.5	2.1	
	していない	1,764	88.2	23.3	35.0	24.0	0.9	4.6	63.1	3.2	0.1	1.1	5.2	1.2	
居住地域	北勢地域	952	87.8	25.0	35.4	23.6	4.6	0.9	62.4	3.0	-	1.5	5	1.2	
	伊賀地域	157	86.0	24.2	31.2	21.7	5.1	1.3	65.6	3.2	-	1.3	6.4	0	
	中南勢地域	540	88.1	20.4	34.1	24.1	4.4	0.6	63.0	3.3	0.2	0.6	5.6	1.3	
	伊勢志摩地域	215	87.4	25.6	38.6	26.0	3.3	1.9	60.9	3.7	-	0.5	6	3.3	
	東紀州地域	46	93.5	19.6	32.6	23.9	4.3	-	69.6	2.2	-	2.2	4.3	0	

すべての方を対象

【相談・カウンセリングを利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-A あなたが、相談・カウンセリングを利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

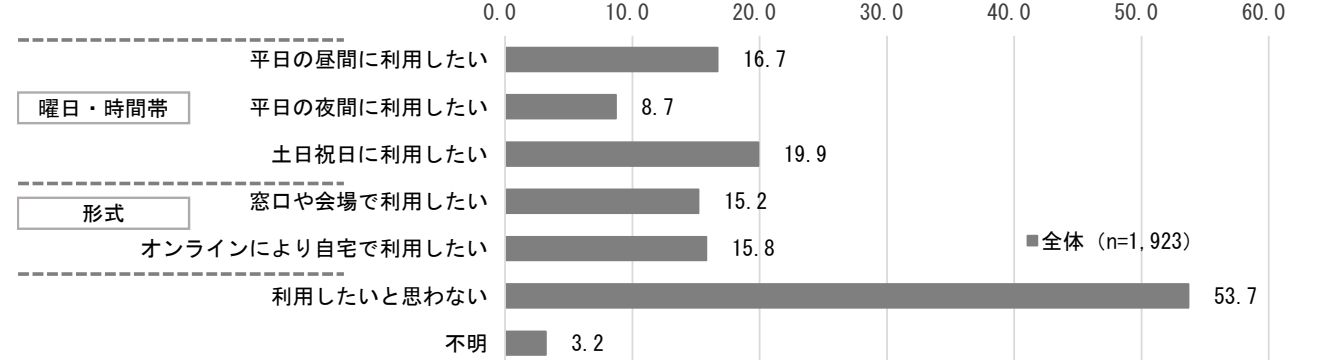
相談・カウンセリングには「利用したいと思わない」の割合が最も高く 53.7%となっています。利用したい方で見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く 19.9%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が 15.8%となっています。

支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が 36.4%で最も高く、形式では「窓口や会場で利用したい」が 36.4%、「オンラインにより自宅で利用したい」が 27.3%となっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が 65.4%、社会参加に向けた支援を必要とする方は 45.0%となっています。また、形式では、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方いずれも「窓口や会場で利用したい」の割合が「オンラインにより自宅で利用したい」よりそれぞれ高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した方は、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 76.9%、形式では「窓口や会場で利用したい」、「オンラインにより自宅で利用したい」が同率で 61.5%となっています。また、思うと回答した方も曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 70.0%、形式では「窓口や会場で利用したい」が 45.0%となっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員と会社・団体等の役員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」、これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっています（会社等の経営者は「平日の夜間に利用したい」と同率）。また、形式では、非正規の職員・従業員、専業主婦・専業主夫、無職は「窓口や会場で利用したい」の割合が「オンラインにより自宅で利用したい」より高くなっています（会社・団体等の役員は同率）。

問30-A 相談・カウンセリングを利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	18.2	20.5	36.4	36.4	27.3	31.8	4.5
	長期にわたり無業の状態にある方	26	65.4	3.8	15.4	38.5	19.2	19.2	7.7
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	45.0	2.5	10.0	25.0	12.5	40.0	7.5
相談に関係する状態について	非常に思う	13	76.9	7.7	38.5	61.5	61.5	-	-
	思う	20	70.0	5.0	15.0	45.0	15.0	10.0	5.0
	少し思う	26	50.0	7.7	23.1	23.1	19.2	19.2	-
	思わない	107	22.4	0.9	7.5	9.3	7.5	62.6	5.6

問30-A 相談・カウンセリングを利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	8.7	10.4	23.5	13.0	15.4	57.6	2.3
	非正規の職員・従業員	444	19.4	7.4	18.7	16.4	14.6	53.4	5.0
	会社・団体等の役員	19	10.5	15.8	31.6	26.3	26.3	36.8	5.3
	会社等の経営者	25	16.0	16.0	12.0	8.0	20.0	56.0	-
	自営業主、家庭内職	90	23.3	10.0	16.7	11.1	18.9	46.7	2.2
	自家営業の手伝い（家族従業員）	38	26.3	2.6	5.3	13.2	15.8	55.3	2.6
	専業主婦・専業主夫	136	44.9	2.2	7.4	22.8	16.2	43.4	1.5
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	47.6	3.6	11.9	29.8	20.2	31.0	8.3
性別	男性	818	10.4	9.8	22.2	12.5	13.9	57.9	2.3
	女性	1,061	21.7	8.1	18.7	17.5	17.5	51.6	1.9
	どちらとも言えない	22	27.3	4.5	9.1	22.7	13.6	40.9	9.1
年齢	34～39歳	513	16.6	10.9	23.2	15.6	17.2	51.1	2.7
	40～44歳	559	17.0	9.7	19.1	15.7	18.4	53.7	1.8
	45～49歳	826	16.9	6.9	18.6	15.1	13.6	56.5	2.1
最終学歴	中学校卒業	74	18.9	4.1	9.5	6.8	10.8	62.2	5.4
	高校卒業	660	16.7	5.8	16.4	13.9	11.4	59.4	2.1
	専門学校卒業	273	22.3	7.7	19.8	17.9	17.6	46.9	3.7
	短大・高専卒業	297	18.5	10.1	22.6	18.5	16.5	51.2	1.0
	四年制大学卒業	527	13.7	12.3	22.8	16.1	19.5	53.3	1.7
	大学院修了	67	11.9	14.9	35.8	9.0	29.9	46.3	1.5
	その他	5	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	17.0	8.1	18.0	14.1	15.2	56.0	2.5
	離別または死別	156	17.9	9.0	19.9	16.0	18.6	53.8	2.6
	未婚	437	15.8	10.5	25.9	18.8	16.7	46.2	5.0
子ども	いる	1,311	17.3	8.5	17.4	14.2	15.0	55.9	2.4
	いない	594	15.2	9.4	25.4	17.8	17.7	49.0	4.2
家計の負担者	あなた自身	853	10.6	10.1	21.0	13.2	15.6	58.0	2.0
	親	289	18.7	10.4	25.6	19.7	17.6	42.6	6.6
	配偶者	705	23.0	6.4	16.7	15.9	15.5	53.0	2.6
	兄弟姉妹	8	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	生活保護などの受給	4	25.0	-	-	25.0	25.0	50.0	-
	その他	9	22.2	-	11.1	11.1	22.2	55.6	11.1
介護	している	146	21.2	4.1	20.5	19.2	21.9	47.9	2.1
	していない	1,764	16.3	9.1	19.8	15.0	15.2	54.1	3.2
居住地域	北勢地域	952	17.6	8.8	19.3	15.3	15.3	54.4	2.4
	伊賀地域	157	11.5	12.7	24.8	14.6	17.2	53.5	3.8
	中南勢地域	540	18.5	7.2	20.2	17.0	16.3	50.6	3.3
	伊勢志摩地域	215	13.5	8.4	19.5	12.1	14.9	55.3	5.6
	東紀州地域	46	13.0	13.0	15.2	13.0	19.6	60.9	-

すべての方を対象

【適職診断を利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-B あなたが、適職診断を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

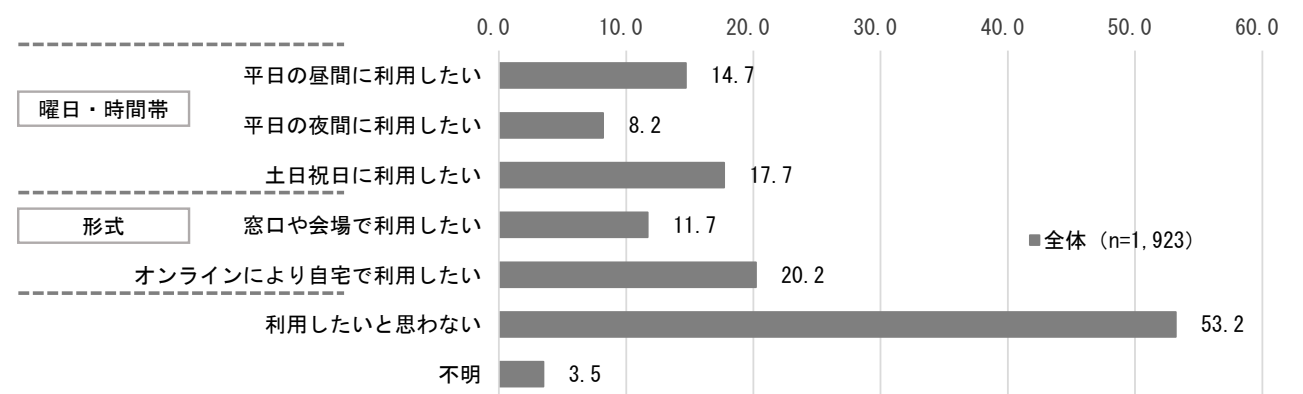
適職診断は「利用したいと思わない」の割合が最も高く 53.2%となっています。利用したい方を見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く 17.7%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が 20.2%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が 36.4%で最も高く、形式では「窓口や会場で利用したい」が 31.8%、「オンラインにより自宅で利用したい」が 29.5%となっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く 57.7%、社会参加に向けた支援を必要とする方も 52.5%となっています。また、形式では、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が「窓口や会場で利用したい」より高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかでみると、非常に思うと回答した人は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 76.9%、形式では「窓口や会場で利用したい」と「オンラインにより自宅で利用したい」が同率で 53.8%となっています。また、思う、少し思うと回答した方も曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 50%以上となっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員、会社・団体等の役員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっており、特に専業主婦・専業主夫、無職は 40%以上となっています（会社・団体等の役員は「平日の夜間に利用したい」と同率）。

問30-B 適職診断を利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	22.7	22.7	36.4	31.8	29.5	25.0	2.3
	長期にわたり無業の状態にある方	26	57.7	7.7	15.4	26.9	30.8	19.2	3.8
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	52.5	2.5	7.5	22.5	25.0	25.0	5.0
相談したい関係状態に関し	非常に思う	13	76.9	7.7	23.1	53.8	53.8	-	-
	思う	20	55.0	10.0	5.0	20.0	20.0	20.0	-
	少し思う	26	50.0	7.7	19.2	26.9	15.4	26.9	-
	思わない	107	21.5	0.9	3.7	6.5	11.2	59.8	8.4

問30-B 適職診断を利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	7.1	9.7	21.3	10.0	19.5	57.2	2.9
	非正規の職員・従業員	444	17.3	6.8	18.2	12.8	21.8	50.5	4.3
	会社・団体等の役員	19	5.3	15.8	15.8	10.5	42.1	42.1	5.3
	会社等の経営者	25	16.0	12.0	4.0	16.0	12.0	60.0	-
	自営業主、家庭内職	90	20.0	6.7	12.2	5.6	18.9	55.6	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業者)	38	21.1	-	-	23.7	10.5	60.5	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	41.9	2.9	5.1	16.2	20.6	44.9	2.2
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	44.0	7.1	9.5	21.4	25.0	27.4	8.3
性別	男性	818	9.3	9.4	19.9	11.1	16.0	58.2	3.1
	女性	1,061	18.7	7.4	16.4	12.1	23.9	50.9	2.0
	どちらとも言えない	22	36.4	9.1	13.6	27.3	18.2	27.3	9.1
年齢	34~39歳	513	14.8	10.3	20.1	11.9	22.2	51.5	1.9
	40~44歳	559	15.4	9.7	18.6	11.8	22.9	50.8	2.1
	45~49歳	826	14.5	6.1	16.1	11.9	17.8	57.1	3.0
最終学歴	中学校卒業	74	16.2	12.2	10.8	9.5	13.5	50.0	10.8
	高校卒業	660	14.8	6.2	15.6	12.4	15.2	57.0	2.1
	専門学校卒業	273	19.4	6.2	15.8	14.3	19.4	50.9	2.9
	短大・高専卒業	297	15.5	8.1	19.9	12.1	24.2	50.2	1.7
	四年制大学卒業	527	12.7	10.8	20.9	10.8	25.8	53.3	1.9
	大学院修了	67	7.5	13.4	23.9	3.0	26.9	58.2	4.5
	その他	5	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	14.9	7.8	15.8	10.9	19.3	56.3	2.5
	離別または死別	156	16.0	8.3	16.0	13.5	21.2	53.2	3.8
	未婚	437	13.7	9.4	24.3	13.5	23.1	43.7	6.2
子ども	いる	1,311	15.1	8.2	15.3	11.2	19.5	55.9	2.7
	いない	594	13.5	8.2	23.2	12.8	22.2	47.5	4.7
家計の負担者	あなた自身	853	9.7	9.3	18.4	10.4	18.1	58.9	2.7
	親	289	16.3	10.0	25.3	14.2	25.3	39.1	6.9
	配偶者	705	20.0	6.4	14.5	12.1	21.4	52.1	2.6
	兄弟姉妹	8	37.5	12.5	12.5	12.5	-	50.0	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-
	生活保護などの受給	4	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-
	その他	9	22.2	-	11.1	11.1	22.2	55.6	11.1
介護	している	146	18.5	4.8	15.1	14.4	25.3	49.3	4.1
	していない	1,764	14.4	8.4	18.0	11.5	19.9	53.5	3.3
居住地域	北勢地域	952	15.2	7.7	17.2	12.8	20.0	54.6	2.8
	伊賀地域	157	10.8	8.9	23.6	10.2	22.9	51.6	3.2
	中南勢地域	540	15.6	8.9	17.4	10.9	20.6	51.9	3.7
	伊勢志摩地域	215	15.3	9.3	17.2	9.8	19.1	49.3	6.5
	東紀州地域	46	6.5	4.3	15.2	13.0	21.7	58.7	-

すべての方を対象

【コミュニケーション力向上講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式】
 問30-C あなたが、コミュニケーション力向上講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

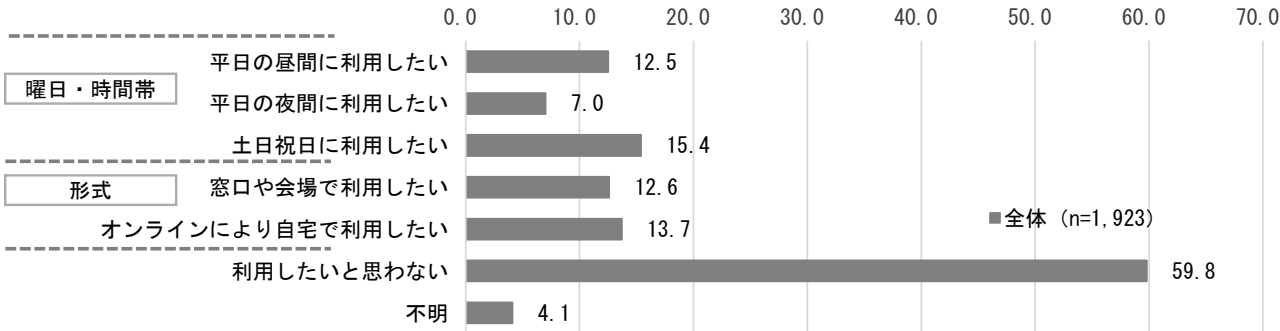
コミュニケーション力向上講座は「利用したいと思わない」の割合が最も高く59.8%となっています。利用したい人でみると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く15.4%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が13.7%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が25.0%で最も高くなっています。一方、長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く50.0%、社会参加に向けた支援を必要とする方も35.0%となっています。また、形式では、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも「窓口や会場で利用したい」の割合が「オンラインにより自宅で利用したい」よりそれぞれ高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかでみると、非常に思うと回答した方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が61.5%と最も高く、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」が53.8%「窓口や会場で利用したい」も46.2%となっています。また、思うと回答した人も曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が35.0%、形式では「窓口や会場で利用したい」が25.0%となっています。

現在の就業形態でみると、正規の職員・従業員、会社・団体等の役員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっており、特に専業主婦・専業主夫、無職は30%以上となっています（会社・団体等の役員は「平日の夜間に利用したい」と「平日の昼間に利用したい」と同率。会社等の経営者は「平日の夜間に利用したい」と同率）。

問30-C コミュニケーション力向上講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	6.8	15.9	25.0	25.0	15.9	54.5	4.5
	長期にわたり無業の状態にある方	26	50.0	7.7	11.5	30.8	19.2	38.5	3.8
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	35.0	2.5	5.0	17.5	10.0	55.0	7.5
相談したい関係機関について	非常に思う	13	61.5	7.7	23.1	46.2	53.8	7.7	7.7
	思う	20	35.0	5.0	5.0	25.0	5.0	45.0	5.0
	少し思う	26	23.1	7.7	3.8	11.5	3.8	69.2	-
	思わない	107	19.6	0.9	2.8	4.7	9.3	70.1	5.6

問30-C コミュニケーション力向上講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	6.6	8.7	20.0	11.7	13.4	60.9	3.4
	非正規の職員・従業員	444	14.0	5.2	13.3	13.5	14.0	61.3	4.7
	会社・団体等の役員	19	15.8	15.8	15.8	26.3	21.1	42.1	5.3
	会社等の経営者	25	12.0	12.0	8.0	16.0	20.0	56.0	-
	自営業主、家庭内職	90	17.8	6.7	11.1	8.9	15.6	57.8	4.4
	自家営業の手伝い（家族従業員）	38	28.9	2.6	-	21.1	13.2	55.3	7.9
	専業主婦・専業主夫	136	33.1	1.5	3.7	12.5	11.8	59.6	1.5
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	32.1	3.6	4.8	17.9	11.9	48.8	10.7
性別	男性	818	7.3	8.3	17.4	12.2	11.9	63.1	3.3
	女性	1,061	16.3	6.0	14.4	13.0	15.6	58.6	2.7
	どちらとも言えない	22	36.4	9.1	9.1	22.7	-	40.9	9.1
年齢	34～39歳	513	11.3	8.4	18.5	15.0	16.4	56.9	3.1
	40～44歳	559	14.5	8.8	15.2	12.9	16.1	57.1	3.6
	45～49歳	826	12.2	5.1	14.0	11.4	10.8	64.6	2.7
最終学歴	中学校卒業	74	14.9	6.8	6.8	9.5	6.8	60.8	10.8
	高校卒業	660	11.4	4.4	13.2	11.2	11.1	64.8	2.9
	専門学校卒業	273	15.8	6.6	15.8	15.4	13.2	56.0	3.3
	短大・高専卒業	297	16.5	7.7	16.8	15.2	13.5	58.2	2.4
	四年制大学卒業	527	11.2	9.7	17.6	12.3	18.0	59.0	2.3
	大学院修了	67	4.5	11.9	25.4	11.9	20.9	55.2	4.5
	その他	5	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	13.1	6.4	14.1	11.4	14.8	61.0	3.0
	離別または死別	156	16.0	9.0	14.1	12.2	15.4	59.6	5.1
	未婚	437	9.8	7.8	20.4	16.7	9.8	55.8	6.6
子ども	いる	1,311	13.8	7.0	13.3	11.4	14.6	60.7	3.4
	いない	594	9.8	6.9	20.4	15.5	11.6	57.9	4.9
家計の負担者	あなた自身	853	8.0	8.9	17.1	11.7	12.7	62.4	3.3
	親	289	13.1	7.6	21.1	18.7	11.1	51.9	6.9
	配偶者	705	18.2	4.5	11.9	11.6	16.3	59.1	3.0
	兄弟姉妹	8	25.0	12.5	12.5	12.5	-	62.5	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-
	生活保護などの受給	4	-	-	-	-	25.0	75.0	-
	その他	9	11.1	-	-	11.1	11.1	77.8	11.1
介護	している	146	15.8	4.1	12.3	13.0	13.7	63.0	2.7
	していない	1,764	12.3	7.1	15.8	12.7	13.7	59.5	4.0
居住地域	北勢地域	952	12.0	6.6	16.4	13.0	13.4	61	3.2
	伊賀地域	157	10.2	8.9	19.7	14.6	17.8	55.4	3.8
	中南勢地域	540	14.6	6.3	14.8	12.6	13.0	58.7	4.3
	伊勢志摩地域	215	12.1	7.9	10.7	9.8	14.4	57.7	7.9
	東紀州地域	46	13.0	10.9	15.2	15.2	10.9	65.2	0

すべての方を対象

【資格取得訓練講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-D あなたが、資格取得訓練講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

資格取得訓練講座は「利用したいと思わない」の割合が最も高く51.1%となっています。利用したい方で見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く20.2%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が17.6%となっています。

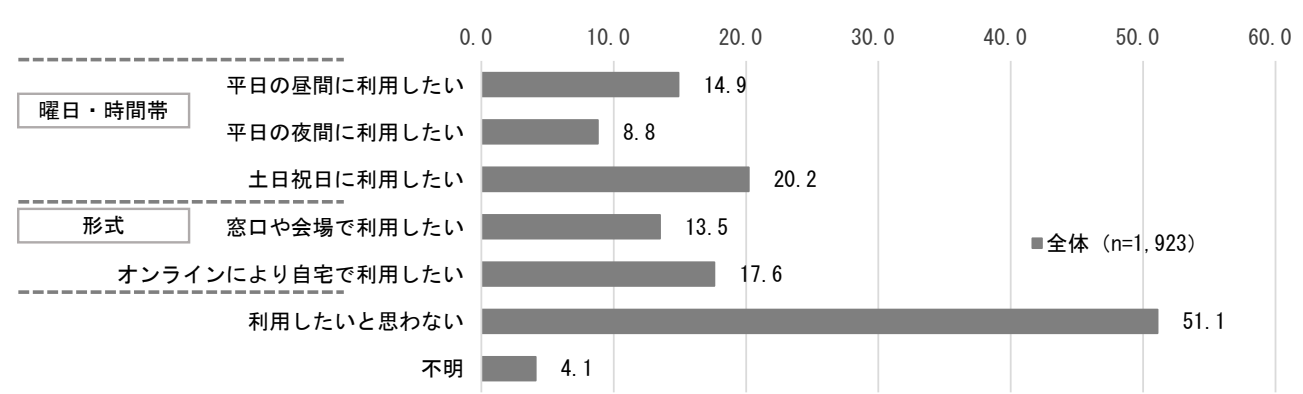
支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が36.4%で最も高く、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」が29.5%、「窓口や会場で利用したい」が22.7%となっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く38.5%、社会参加に向けた支援を必要とする方も32.5%となっています。また、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに形式では「窓口や会場で利用したい」の割合が「オンラインにより自宅で利用したい」より高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した人は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が61.5%、形式では「窓口や会場で利用したい」、「オンラインにより自宅で利用したい」ともに30%以上となっています。また、少し思うと回答した方も、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が38.5%、形式では「窓口や会場で利用したい」が34.6%となっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」、会社・団体等の役員、会社等の経営者は「平日の夜間に利用したい」が最も高くなっています。これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっており、特に専業主婦・専業主夫、無職は30%以上となっています（会社・団体等の役員は「平日の昼間に利用したい」と同率）。

希望する資格取得講座としては、パソコン関連のスキルや簿記、医療事務などが多くみられた。

問30-D 資格取得訓練講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式



	合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
		平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	15.9	22.7	36.4	22.7	29.5	31.8	4.5
	長期にわたり無業の状態にある方	38.5	15.4	15.4	30.8	19.2	34.6	7.7
	社会参加に向けた支援を必要とする方	32.5	5.0	10.0	25.0	12.5	45.0	10.0
相談したい関係機関について	非常に思う	61.5	7.7	30.8	38.5	30.8	7.7	15.4
	思う	25.0	5.0	5.0	15.0	10.0	45.0	10.0
	少し思う	38.5	7.7	11.5	34.6	15.4	34.6	3.8
	思わない	20.6	2.8	6.5	8.4	12.1	60.7	5.6

問30-D 資格取得訓練講座を利用しやすい曜日・時間帯・形式

	合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明	
		平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい			
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	7.4	10.5	23.8	12.2	17.5	53.6	3.5
	非正規の職員・従業員	444	18.9	6.3	20.3	13.7	17.6	51.1	4.5
	会社・団体等の役員	19	15.8	15.8	10.5	26.3	21.1	42.1	5.3
	会社等の経営者	25	20.0	28.0	20.0	20.0	28.0	36.0	-
	自営業主、家庭内職	90	22.2	7.8	17.8	11.1	21.1	44.4	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業員)	38	28.9	5.3	-	21.1	15.8	50.0	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	37.5	1.5	5.9	16.9	13.2	49.3	2.9
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	34.5	8.3	10.7	17.9	19.0	38.1	13.1
性別	男性	818	9.4	9.3	20.2	12.7	14.3	56.0	3.7
	女性	1,061	19.2	8.8	20.5	14.4	20.7	48.4	2.5
	どちらとも言えない	22	22.7	4.5	18.2	13.6	9.1	50.0	9.1
年齢	34～39歳	513	14.6	9.9	23.2	14.8	20.1	48.7	2.9
	40～44歳	559	17.9	11.4	21.1	14.3	19.3	46.9	3.4
	45～49歳	826	13.3	6.7	18.0	12.6	15.5	56.7	3.0
最終学歴	中学校卒業	74	17.6	6.8	14.9	9.5	9.5	48.6	10.8
	高校卒業	660	14.1	6.8	18.9	11.8	13.5	56.4	2.3
	専門学校卒業	273	18.7	5.9	19.0	15.4	18.3	46.5	4.0
	短大・高専卒業	297	17.2	10.1	20.9	16.8	19.5	47.8	2.4
	四年制大学卒業	527	13.5	12.0	21.8	14.0	22.6	51.0	3.0
	大学院修了	67	9.0	16.4	31.3	10.4	23.9	52.2	3.0
	その他	5	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	15.2	7.8	18.3	12.3	18.0	53.6	2.9
	離別または死別	156	18.6	12.8	24.4	13.5	22.4	42.9	3.8
	未婚	437	12.6	10.5	24.7	17.6	14.6	46.5	7.6
子ども	いる	1,311	15.5	8.2	18.5	12.8	18.1	52.3	3.1
	いない	594	13.1	10.3	24.2	15.2	16.7	49.0	5.9
家計の負担者	あなた自身	853	8.9	10.3	21.2	12.5	16.3	55.2	3.2
	親	289	16.3	11.4	26.0	18.3	17.0	40.1	8.7
	配偶者	705	21.6	6.2	17.2	13.3	20.0	50.8	2.6
	兄弟姉妹	8	25.0	12.5	25.0	12.5	-	50.0	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	生活保護などの受給	4	25.0	-	-	-	-	75.0	-
	その他	9	-	11.1	33.3	-	11.1	44.4	22.2
介護	している	146	19.2	5.5	15.8	18.5	19.9	50.7	4.1
	していない	1,764	14.6	9.1	20.7	13.2	17.5	51.1	4.0
居住地	北勢地域	952	15.7	8.2	20.6	14.7	16.9	51.6	3.6
	伊賀地域	157	10.2	11.5	24.2	13.4	18.5	51	3.2
	中南勢地域	540	15.2	8.9	19.4	12.0	19.6	51.3	3.7
	伊勢志摩地域	215	15.3	8.8	18.1	12.1	15.8	48.8	7.4
	東紀州地域	46	10.9	13.0	19.6	17.4	13.0	50	4.3

【希望する資格取得講座（5件以上記載があったものを抜粋）】

名称（4件以上を記載）	件数	分類
1 バンコンスキル	37	PC・IT・コンピューター
2 簿記	22	会計・金融・財務・経理
3 医療事務	21	医療・衛生・保険
4 ファイナンシャルプランナー	17	経営・労務管理
5 英語	16	語学
6 電気工事士	14	電気・工業・設備
7 CAD	8	PC・IT・コンピューター

名称（4件以上を記載）	件数	分類
8 社会保険労務士	8	経営・労務管理
9 行政書士	8	法律・法務
10 宅地建物取引士	7	不動産（事務系）
11 ケアマネ	6	介護・福祉・心理
12 カウンセラー	6	介護・福祉・心理
13 危険物取扱	5	電気・工業・設備

※希望する資格取得講座の詳細については問32ページに記載

すべての方を対象

【職場体験・職場見学を利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-E あなたが、職場体験・職場見学を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

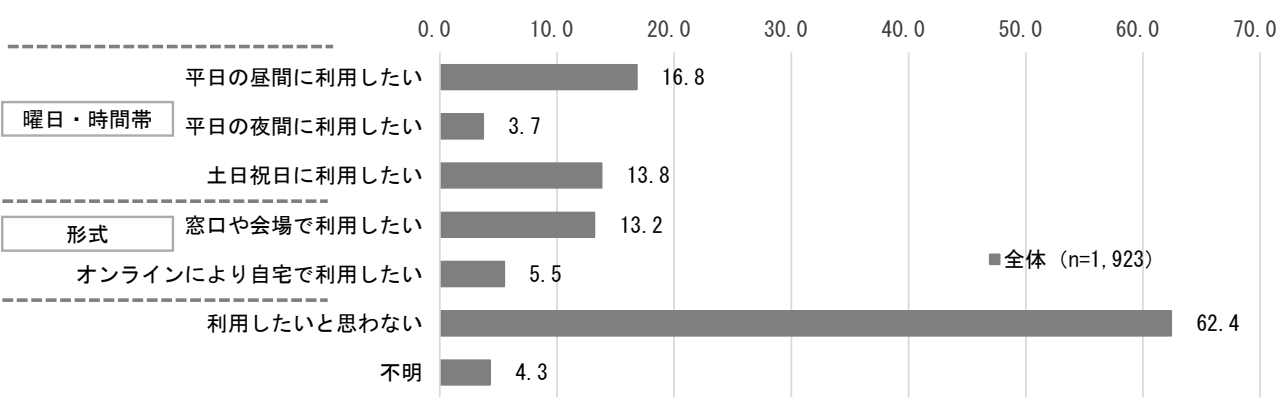
職場体験・職場見学は「利用したいと思わない」の割合が最も高く62.4%となっています。利用したい人で見ると、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く16.8%、形式では「窓口や会場で利用したい」の割合が13.2%となっています。

支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が27.3%で最も高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く50.0%、社会参加に向けた支援を必要とする方も40.0%となっています。また、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも形式では「窓口や会場で利用したい」の割合が「オンラインにより自宅で利用したい」より高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した人は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が84.6%、形式では「窓口や会場で利用したい」、が61.5%となっています。また、少し思うと回答した人は、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が46.2%、形式では「窓口や会場で利用したい」が34.6%となっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。正規の職員・従業員以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっており、特に専業主婦・専業主夫、無職は30%以上となっています。

問30-E 職場体験・職場見学を利用しやすい曜日・時間帯・形式



	合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明	
		平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい			
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	15.9	6.8	27.3	18.2	15.9	40.9	6.8
	長期にわたり無業の状態にある方	26	50.0	7.7	11.5	30.8	15.4	26.9	7.7
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	40.0	2.5	5.0	22.5	5.0	40.0	12.5
相談した関係機関について	非常に思う	13	84.6	7.7	23.1	61.5	23.1	7.7	-
	思う	20	35.0	5.0	-	20.0	10.0	35.0	10.0
	少し思う	26	46.2	3.8	3.8	34.6	3.8	34.6	3.8
	思わない	107	20.6	1.9	2.8	8.4	1.9	65.4	7.5

問30-E 職場体験・職場見学を利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	9.1	3.8	16.6	11.9	4.5	67.8	3.4
	非正規の職員・従業員	444	23.0	3.2	12.8	13.1	7.2	57.9	5.0
	会社・団体等の役員	19	26.3	10.5	-	15.8	5.3	57.9	5.3
	会社等の経営者	25	24.0	16.0	4.0	12.0	8.0	60.0	-
	自営業主、家庭内職	90	15.6	3.3	14.4	7.8	6.7	62.2	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業員)	38	26.3	-	-	15.8	-	65.8	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	38.2	0.7	6.6	19.1	5.9	50.7	3.7
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	41.7	6.0	7.1	25.0	8.3	38.1	13.1
性別	男性	818	10.9	4.9	14.9	12.1	5.0	66.1	3.9
	女性	1,061	21.5	2.7	13.1	13.9	6.0	61.2	2.6
	どちらとも言えない	22	31.8	9.1	18.2	27.3	-	40.9	9.1
年齢	34～39歳	513	18.1	4.9	17.7	15.2	7.2	59.1	2.9
	40～44歳	559	16.8	4.3	15.2	13.8	6.8	60.8	3.2
	45～49歳	826	16.5	2.7	10.9	11.9	3.6	66.9	3.5
最終学歴	中学校卒業	74	17.6	6.8	12.2	10.8	1.4	55.4	12.2
	高校卒業	660	17.3	2.3	12.6	11.7	3.9	66.1	2.7
	専門学校卒業	273	20.5	3.3	15.4	14.3	5.5	56.0	3.3
	短大・高专卒業	297	20.2	3.0	15.5	15.8	5.1	59.3	2.4
	四年制大学卒業	527	14.0	5.1	13.1	14.2	7.6	65.8	3.0
	大学院修了	67	9.0	9.0	22.4	7.5	11.9	67.2	4.5
	その他	5	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	17.5	3.5	12.2	12.3	5.3	64.4	3.1
	離別または死別	156	16.0	4.5	14.7	11.5	8.3	64.1	3.8
	未婚	437	15.3	4.1	18.5	16.7	4.8	55.6	7.6
子ども	いる	1,311	18.0	3.4	12.4	12.1	5.9	63.8	3.3
	いない	594	14.1	4.4	17.0	15.5	4.7	59.8	5.7
家計の負担者	あなた自身	853	10.2	5.0	14.7	11.4	5.9	67.6	3.2
	親	289	18.7	4.5	19.0	17.0	4.2	51.9	8.7
	配偶者	705	23.5	1.7	10.9	13.8	5.4	61.3	3.1
	兄弟姉妹	8	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	生活保護などの受給	4	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-
	その他	9	22.2	-	-	22.2	11.1	66.7	11.1
介護	している	146	20.5	3.4	10.3	11.6	6.2	63.7	4.8
	していない	1,764	16.7	3.7	14.2	13.4	5.4	62.2	4.1
居住地域	北勢地域	952	17.3	3.0	14.5	13.4	6.0	62.8	3.6
	伊賀地域	157	16.6	5.1	12.7	15.3	7.0	61.8	3.2
	中南勢地域	540	18.5	4.8	13.9	13.7	4.8	59.8	4.4
	伊勢志摩地域	215	13.5	2.8	11.2	9.3	4.2	66	7
	東紀州地域	46	8.7	4.3	15.2	13.0	4.3	67.4	4.3

すべての方を対象

【応募書類の添削・模擬面接を利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-F あなたが、応募書類の添削・模擬面接を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

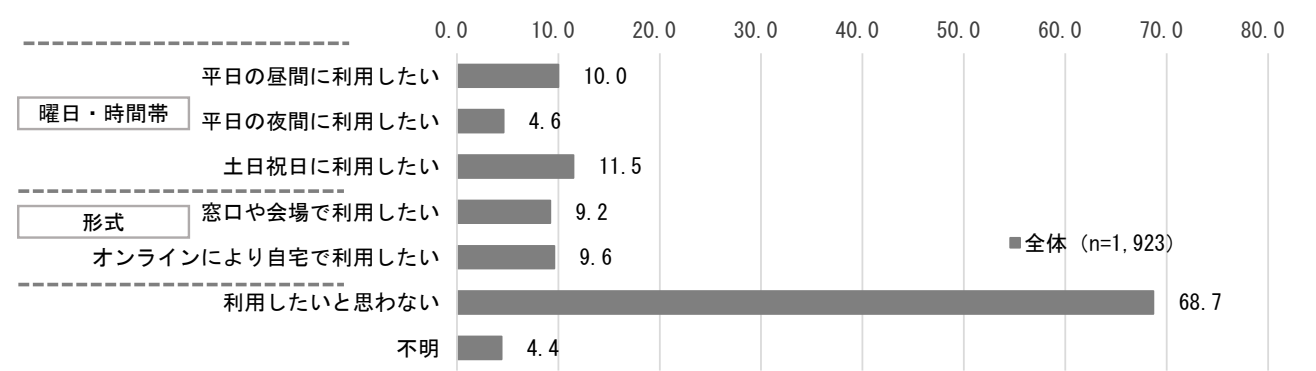
応募書類の添削・模擬面接は「利用したいと思わない」の割合が最も高く 68.7%となっています。利用したい方で見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く 11.5%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が 9.6%となっています。

支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が 27.3%で最も高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く 46.2%、社会参加に向けた支援を必要とする方も 32.5%となっています。また、形式では、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方は「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が「窓口や会場で利用したい」より高く、社会参加に向けた支援を必要とする方は「窓口や会場で利用したい」が「オンラインにより自宅で利用したい」より高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した人は、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 61.5%、形式では「窓口や会場で利用したい」、「オンラインにより自宅で利用したい」が同率で 38.5%となっています。また、思う、少し思うと回答した人は、曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が 25%以上、形式では「窓口や会場で利用したい」が「オンラインにより自宅で利用したい」より 10 ポイント以上高くなっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。正規の職員・従業員以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっており、特に会社等の経営者、専業主婦・専業主夫、無職は 20%以上となっています（会社・団体等の役員は「平日の夜間に利用したい」と「平日の昼間に利用したい」と同率。自営業主・家庭内職は「土日祝日に利用したい」と同率）。

問30-F 応募書類の添削・模擬面接を利用しやすい曜日・時間帯・形式



	合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明	
		平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい			
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	6.8	15.9	27.3	18.2	22.7	45.5	9.1
	長期にわたり無業の状態にある方	26	46.2	7.7	11.5	23.1	26.9	34.6	3.8
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	32.5	2.5	7.5	20.0	17.5	42.5	10.0
相談に関したい関係と関係について	非常に思う	13	61.5	7.7	23.1	38.5	38.5	-	7.7
	思う	20	25.0	10.0	5.0	25.0	5.0	40.0	10.0
	少し思う	26	30.8	3.8	3.8	19.2	-	57.7	3.8
	思わない	107	15.0	0.9	1.9	4.7	9.3	71.0	6.5

問30-F 応募書類の添削、模擬面接を利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	4.6	5.3	13.4	8.7	8.9	72.6	3.5
	非正規の職員・従業員	444	12.2	3.6	11.7	8.6	9.9	66.4	5.6
	会社・団体等の役員	19	10.5	10.5	10.5	15.8	10.5	57.9	5.3
	会社等の経営者	25	20.0	8.0	4.0	4.0	8.0	68.0	-
	自営業主、家庭内職	90	12.2	3.3	12.2	4.4	14.4	67.8	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業員)	38	18.4	2.6	-	10.5	13.2	68.4	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	27.2	2.2	3.7	11.8	8.1	64.7	3.7
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	29.8	6.0	7.1	19.0	14.3	42.9	11.9
性別	男性	818	6.5	4.9	11.7	9.0	8.2	72.1	3.8
	女性	1,061	12.5	4.3	11.4	9.0	10.9	68.0	3.0
	どちらとも言えない	22	27.3	13.6	18.2	27.3	9.1	40.9	9.1
年齢	34～39歳	513	11.1	5.5	15.0	11.9	13.3	64.5	3.1
	40～44歳	559	10.2	5.2	11.3	9.3	10.6	67.4	3.6
	45～49歳	826	9.3	3.9	9.8	7.6	7.0	73.8	3.5
最終学歴	中学校卒業	74	8.1	5.4	5.4	5.4	6.8	68.9	13.5
	高校卒業	660	10.8	2.9	10.9	8.5	7.1	71.5	2.9
	専門学校卒業	273	10.6	4.0	11.7	9.5	9.2	67.4	3.7
	短大・高専卒業	297	11.8	5.1	13.5	9.8	10.8	68.0	2.0
	四年制大学卒業	527	8.5	6.3	11.2	9.9	12.1	69.6	3.4
	大学院修了	67	7.5	10.4	17.9	10.4	17.9	65.7	3.0
	その他	5	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	10.8	4.2	9.9	8.3	8.9	71.0	3.3
	離別または死別	156	9.0	5.8	14.7	9.0	13.5	67.9	4.5
	未婚	437	8.0	5.7	15.1	11.9	10.5	62.5	7.3
子ども	いる	1,311	11.0	4.3	10.2	7.9	9.1	70.7	3.6
	いない	594	7.7	5.4	14.1	11.8	10.9	65.2	5.6
家計の負担者	あなた自身	853	6.3	5.2	11.5	8.7	9.6	72.9	3.3
	親	289	10.4	6.2	16.6	13.5	11.4	57.1	9.0
	配偶者	705	14.5	3.3	9.6	8.1	8.8	68.9	3.1
	兄弟姉妹	8	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	50.0	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	生活保護などの受給	4	-	-	-	-	25.0	75.0	-
	その他	9	22.2	-	-	11.1	11.1	66.7	11.1
介護	している	146	13.0	4.1	6.8	11.0	10.3	69.9	4.8
	していない	1,764	9.8	4.7	11.9	9.0	9.6	68.7	4.3
居住地域	北勢地域	952	10.3	4.2	11.0	9.2	8.3	70.6	3.7
	伊賀地域	157	10.8	8.3	12.7	8.9	14.0	63.1	3.8
	中南勢地域	540	10.6	5.0	12.4	9.4	11.1	67	4.4
	伊勢志摩地域	215	7.9	3.7	10.7	8.4	8.8	67.4	7.9
	東紀州地域	46	6.5	2.2	10.9	8.7	8.7	76.1	2.2

すべての方を対象

【求人企業の紹介・マッチングを利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-G あなたが、求人企業の紹介・マッチングを利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

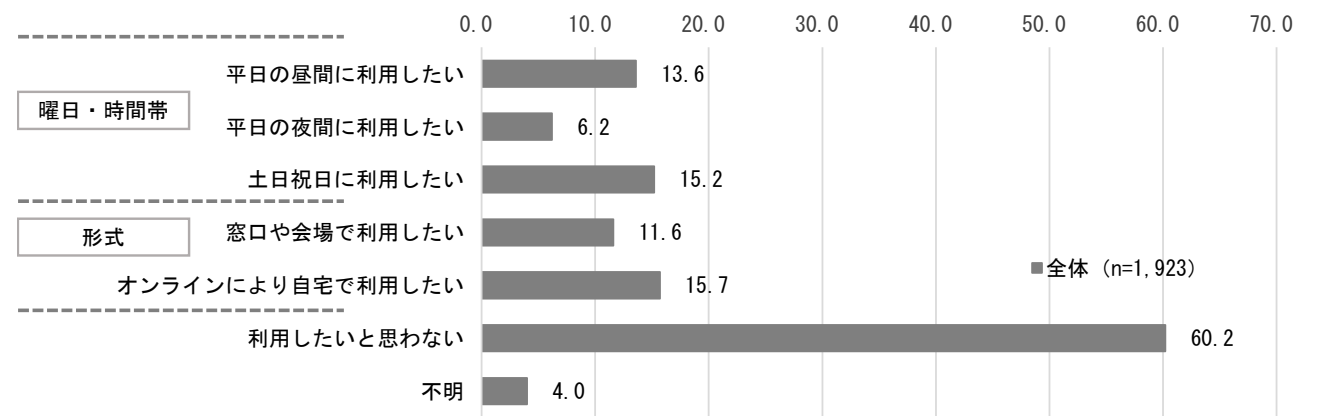
求人の紹介、マッチングは「利用したいと思わない」の割合が最も高く60.2%となっています。利用したい人で見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く15.2%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が15.7%となっています。

支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が38.6%で最も高く、次いで「平日の夜間に利用したい」が20.5%となっています。また、形式では「窓口や会場で利用したい」、「オンラインにより自宅で利用したい」が同率で31.8%となっています。長期にわたり無業の状態にある方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く50.0%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が34.6%となっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が最も高く42.5%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」が25.0%となっています。また、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方ともに「窓口や会場で利用したい」も20%以上となっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が76.9%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」が61.5%、「窓口や会場で利用したい」が46.2%となっています。また、思うと回答した方も曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」が55.0%、少し思うと回答した人も30.8%となっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっています。特に無職は「平日の昼間に利用したい」が40.5%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」が28.6%となっています。

問30-G 求人企業の紹介・マッチングを利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	15.9	20.5	38.6	31.8	31.8	29.5	4.5
	長期にわたり無業の状態にある方	26	50.0	7.7	11.5	26.9	34.6	30.8	3.8
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	42.5	2.5	7.5	20.0	25.0	32.5	10.0
相談したい関係機関について	非常に思う	13	76.9	7.7	23.1	46.2	61.5	-	-
	思う	20	55.0	5.0	5.0	20.0	20.0	25.0	5.0
	少し思う	26	30.8	3.8	11.5	19.2	11.5	46.2	3.8
	思わない	107	16.8	1.9	4.7	6.5	14.0	64.5	6.5

問30-G 求人企業の紹介、マッチングを利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	7.0	7.0	17.2	9.9	13.7	66.0	3.1
	非正規の職員・従業員	444	17.1	6.5	17.6	14.2	17.3	53.6	4.5
	会社・団体等の役員	19	15.8	10.5	5.3	10.5	15.8	57.9	5.3
	会社等の経営者	25	16.0	4.0	12.0	8.0	16.0	60.0	-
	自営業主・家庭内職	90	14.4	5.6	11.1	5.6	15.6	63.3	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業者)	38	21.1	2.6	-	15.8	13.2	65.8	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	34.6	0.7	5.1	14.7	19.9	52.2	3.7
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	40.5	6.0	9.5	21.4	28.6	29.8	13.1
性別	男性	818	9.7	6.4	15.4	11.6	11.7	65.0	3.3
	女性	1,061	16.7	6.0	15.3	11.5	18.9	58.1	2.6
	どちらとも言えない	22	27.3	13.6	22.7	27.3	22.7	36.4	9.1
年齢	34～39歳	513	14.2	6.4	18.5	12.9	17.7	59.3	2.5
	40～44歳	559	15.0	7.7	16.8	10.7	20.9	55.3	3.0
	45～49歳	826	12.7	5.2	12.6	11.7	11.4	65.4	3.3
最終学歴	中学校卒業	74	13.5	6.8	9.5	9.5	9.5	59.5	10.8
	高校卒業	660	13.0	4.8	13.0	10.0	10.5	65.9	2.4
	専門学校卒業	273	17.6	5.1	15.4	11.7	20.1	55.3	2.6
	短大・高専卒業	297	14.5	6.1	16.5	12.8	17.5	57.6	3.0
	四年制大学卒業	527	12.9	7.6	16.7	14.0	19.0	60.3	2.7
	大学院修了	67	9.0	14.9	28.4	7.5	26.9	55.2	4.5
	その他	5	20.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	14.2	5.6	13.3	10.3	14.6	63.5	2.8
	離別または死別	156	12.2	6.4	17.9	10.3	20.5	56.4	5.1
	未婚	437	12.6	8.0	20.4	16.0	17.8	51.7	6.9
子ども	いる	1,311	14.6	5.8	13.7	10.4	14.9	62.2	3.3
	いない	594	10.9	7.1	18.5	14.5	17.8	56.4	5.1
家計の負担者	あなた自身	853	8.9	6.9	15.7	10.2	13.8	65.9	3.0
	親	289	14.9	8.0	20.1	17.6	18.7	47.8	8.0
	配偶者	705	18.9	4.8	13.2	11.1	16.9	58.9	2.7
	兄弟姉妹	8	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	50.0	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0
	生活保護などの受給	4	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	その他	9	11.1	-	-	11.1	11.1	77.8	11.1
介護	している	146	14.4	6.2	13.0	11.6	18.5	56.2	6.2
	していない	1,764	13.6	6.2	15.5	11.6	15.6	60.5	3.7
居住地	北勢地域	952	14.2	5.8	15.3	12.1	15.2	61	3
	伊賀地域	157	10.2	7.6	15.9	9.6	16.6	63.1	3.8
	中南勢地域	540	14.8	7.2	14.8	11.3	17.8	58.1	4.3
	伊勢志摩地域	215	12.1	5.1	14.9	11.2	14.4	58.6	7.4
	東紀州地域	46	8.7	4.3	17.4	13.0	8.7	65.2	2.2

すべての方を対象

【合同企業説明会を利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-H あなたが、合同企業説明会を利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

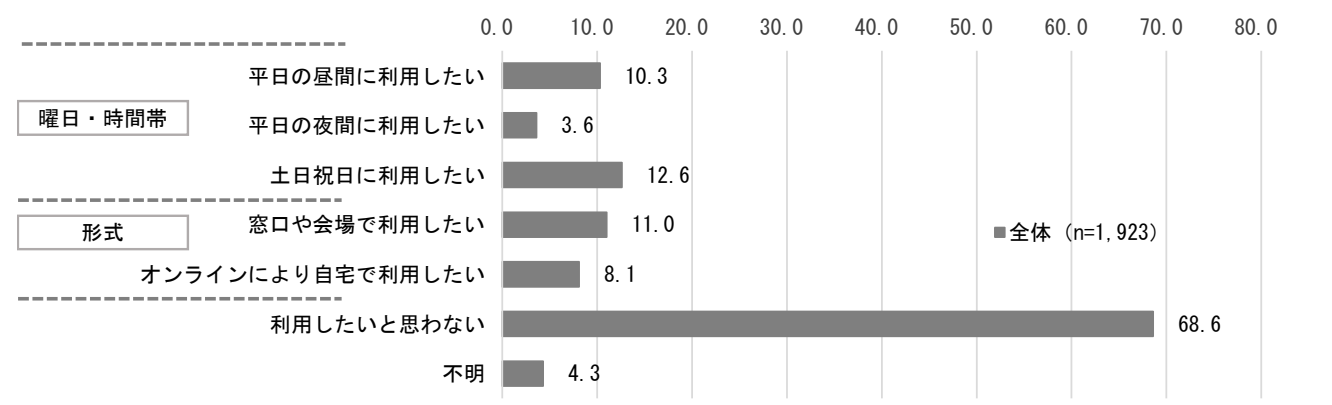
合同企業説明会は「利用したいと思わない」の割合が最も高く 68.6%となっています。利用したい方で見ると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が最も高く 12.6%、形式では「窓口や会場で利用したい」の割合が 11.0%となっています。

支援対象者で見ると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方はともに「平日の昼間に利用したい」が最も高くなっています。また、形式では不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けた支援を必要とする方のいずれも「窓口や会場で利用したい」の割合が 20%以上となっており、「オンラインにより自宅で利用したい」より高くなっています。

現在の状態について、関係機関に相談したいと思うかで見ると、非常に思うと回答した方は曜日・時間帯では「平日の昼間に利用したい」の割合が 61.5%で最も高くなっています。また、形式では「窓口や会場で利用したい」が 38.5%、「オンラインにより自宅で利用したい」が 30.8%となっています。

現在の就業形態で見ると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員は曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」が最も高くなっています。これら以外の就業形態では「平日の昼間に利用したい」が最も高くなり、特に自家営業の手伝い（家族従業者）、専業主婦・専業主夫、無職は 20%以上となっています。

問30-H 合同企業説明会を利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	11.4	9.1	18.2	25.0	13.6	50.0	6.8
	長期にわたり無業の状態にある方	26	26.9	7.7	3.8	26.9	11.5	50.0	7.7
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	20.0	2.5	2.5	22.5	5.0	55.0	12.5
相談したい関係機関について	非常に思う	13	61.5	15.4	15.4	38.5	30.8	15.4	7.7
	思う	20	15.0	-	5.0	15.0	5.0	55.0	10.0
	少し思う	26	19.2	3.8	3.8	19.2	3.8	61.5	3.8
	思わない	107	11.2	0.9	1.9	7.5	4.7	73.8	7.5

問30-H 合同企業説明会を利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	6.3	3.8	15.9	10.4	7.5	71.2	3.1
	非正規の職員・従業員	444	12.2	3.4	12.4	10.4	9.7	65.8	5.2
	会社・団体等の役員	19	15.8	10.5	-	15.8	10.5	63.2	5.3
	会社等の経営者	25	12.0	8.0	8.0	12.0	4.0	68.0	-
	自営業主、家庭内職	90	12.2	3.3	10.0	6.7	11.1	70.0	3.3
	自家営業の手伝い(家族従業員)	38	23.7	5.3	-	18.4	7.9	63.2	5.3
	専業主婦・専業主夫	136	22.1	-	2.2	12.5	5.9	70.6	4.4
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	22.6	4.8	4.8	19.0	8.3	51.2	14.3
性別	男性	818	8.4	4.2	13.9	11.4	6.6	70.0	3.5
	女性	1,061	11.7	3.2	11.7	10.7	9.3	69.3	2.9
	どちらとも言えない	22	27.3	4.5	22.7	22.7	9.1	45.5	9.1
年齢	34～39歳	513	10.7	4.3	15.4	13.5	9.7	66.5	2.9
	40～44歳	559	11.3	5.0	14.3	12.0	10.0	65.5	3.2
	45～49歳	826	9.8	2.3	10.2	9.1	5.9	73.6	3.5
最終学歴	中学校卒業	74	9.5	5.4	6.8	8.1	5.4	68.9	10.8
	高校卒業	660	10.0	2.3	10.2	9.2	5.9	73.0	2.6
	専門学校卒業	273	12.1	3.3	13.2	13.2	7.7	66.3	3.7
	短大・高専卒業	297	12.8	4.0	14.5	11.8	9.8	66.3	2.7
	四年制大学卒業	527	9.3	4.2	14.2	12.5	9.9	68.7	3.0
	大学院修了	67	9.0	10.4	22.4	9.0	14.9	65.7	4.5
	その他	5	-	-	40.0	20.0	-	40.0	20.0
結婚状況	既婚	1,319	10.3	3.0	11.0	9.8	7.7	71.7	3.1
	離別または死別	156	11.5	5.8	16.0	10.9	12.8	63.5	4.5
	未婚	437	10.1	4.6	16.7	14.6	7.8	61.1	7.3
子ども	いる	1,311	10.8	3.4	11.3	9.8	7.9	70.9	3.4
	いない	594	8.9	3.9	15.7	13.3	8.6	64.5	5.7
家計の負担者	あなた自身	853	7.4	4.1	14.1	9.7	8.0	71.9	3.0
	親	289	11.4	5.2	16.6	16.3	8.7	56.4	8.7
	配偶者	705	13.0	2.0	9.6	9.9	8.1	70.5	3.1
	兄弟姉妹	8	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	62.5	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	生活保護などの受給	4	25.0	-	-	-	-	75.0	-
	その他	9	22.2	-	-	22.2	11.1	66.7	11.1
介護	している	146	11.0	4.1	10.3	13.7	8.2	67.8	5.5
	していない	1,764	10.3	3.6	12.9	10.8	8.1	68.7	4.0
居住地域	北勢地域	952	11.0	3.0	12.6	11.7	7.7	69.3	3.5
	伊賀地域	157	8.9	3.8	12.1	12.1	9.6	68.8	3.2
	中南勢地域	540	9.4	4.6	13.0	9.4	8.9	68.3	4.6
	伊勢志摩地域	215	11.2	3.3	12.1	10.7	7.9	65.1	7.4
	東紀州地域	46	8.7	4.3	15.2	10.9	4.3	73.9	2.2

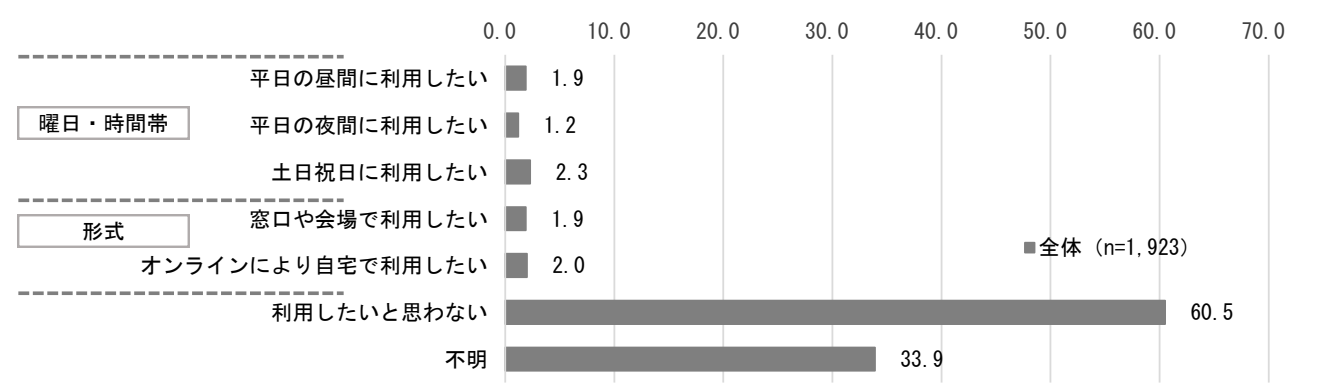
すべての方を対象

【その他の就労支援メニューを利用しやすい曜日・時間帯・形式】

問30-I あなたが、その他の就労支援メニューを利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

その他の就労支援メニューでは「利用したいと思わない」の割合が最も高く60.5%となっています。利用したい人でみると、曜日・時間帯では「土日祝日に利用したい」の割合が2.3%、形式では「オンラインにより自宅で利用したい」の割合が2.0%となっています。

問30-I その他の就労支援メニューを利用しやすい曜日・時間帯・形式



		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	6.8	4.5	4.5	6.8	4.5	36.4	50.0
	長期にわたり無業の状態にある方	26	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	53.8	26.9
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	2.5	2.5	5.0	5.0	7.5	50.0	42.5
相談状況	非常に思う	13	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	38.5	23.1
	思う	20	-	-	5.0	5.0	10.0	45.0	45.0
	少し思う	26	3.8	3.8	-	3.8	3.8	50.0	38.5
	思わない	107	2.8	0.9	-	-	1.9	60.7	34.6

【希望する支援内容】

内容	件数
就職・転職にかかる相談・支援	3
英語を学ぶ機会	2
経済を学ぶ機会	1
保育に携わる機会	1
パソコン利用の支援	1
病気（精神病）の克服	1
同じ目標を持つ人との情報交換の機会	1
資格の試験対策の支援	1

問30-I その他の就労支援メニューを利用しやすい曜日・時間帯・形式

		合計	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
			平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	1.1	1.3	2.5	2.1	2.0	64.6	30.3
	非正規の職員・従業員	444	2.5	0.7	2.5	1.1	1.6	56.5	37.6
	会社・団体等の役員	19	-	10.5	-	5.3	5.3	63.2	26.3
	会社等の経営者	25	-	-	-	4.0	4.0	64.0	32.0
	自営業主・家庭内職	90	2.2	1.1	3.3	1.1	3.3	66.7	23.3
	自家営業の手伝い(家族従業員)	38	2.6	-	-	2.6	-	47.4	50.0
	専業主婦・専業主夫	136	2.9	-	-	1.5	0.7	49.3	47.1
	学生	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無職	84	7.1	3.6	3.6	3.6	6.0	46.4	41.7
性別	男性	818	1.5	1.8	3.2	2.7	2.2	67.8	26.0
	女性	1,061	2.3	0.8	1.7	1.3	2.0	56.0	38.5
	どちらとも言えない	22	4.5	-	-	-	-	54.5	40.9
年齢	34～39歳	513	2.3	1.4	2.9	2.3	2.5	61.0	32.4
	40～44歳	559	2.5	1.8	2.3	2.1	1.6	58.7	35.1
	45～49歳	826	1.3	0.7	1.9	1.5	2.1	63.1	32.1
最終学歴	中学校卒業	74	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	51.4	44.6
	高校卒業	660	2.3	0.8	2.0	1.7	2.0	62.4	31.7
	専門学校卒業	273	1.8	0.4	2.2	1.5	1.8	58.6	36.6
	短大・高専卒業	297	1.3	1.0	1.7	1.0	1.3	55.6	39.7
	四年制大学卒業	527	1.7	1.9	2.5	2.7	2.5	63.6	30.2
	大学院修了	67	3.0	4.5	7.5	4.5	4.5	76.1	14.9
	その他	5	-	-	20.0	-	-	20.0	60.0
結婚状況	既婚	1,319	1.8	0.8	1.8	1.5	1.4	63.1	32.0
	離別または死別	156	3.2	1.3	3.8	3.2	5.1	54.5	37.8
	未婚	437	1.8	2.5	3.2	2.5	2.7	54.9	37.8
子ども	いる	1,311	1.9	0.8	2.0	1.5	1.9	62.0	32.7
	いない	594	2.0	2.0	3.0	2.7	2.4	57.9	35.4
家計の負担者	あなた自身	853	1.4	1.4	2.8	2.0	2.5	67.8	26.5
	親	289	3.1	2.8	3.8	3.1	3.5	52.6	38.4
	配偶者	705	2.1	0.3	1.1	1.3	1.1	57.3	38.2
	兄弟姉妹	8	12.5	-	-	-	-	62.5	25.0
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	生活保護などの受給	4	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	その他	9	-	-	-	-	-	66.7	33.3
介護	している	146	2.7	1.4	0.7	2.1	2.1	54.8	40.4
	していない	1,764	1.9	1.2	2.4	1.9	2.0	61.1	33.1
居住地域	北勢地域	952	2.4	1.2	2.9	2.1	1.9	62.5	31.2
	伊賀地域	157	0.6	1.9	2.5	1.9	2.5	57.3	36.3
	中南勢地域	540	1.5	0.9	1.5	1.9	2.0	59.4	35.7
	伊勢志摩地域	215	1.9	1.4	0.5	0.5	1.9	55.3	40.5
	東紀州地域	46	2.2	2.2	6.5	4.3	4.3	67.4	23.9

すべての方を対象

【将来の生活も含めて、今不安に思っていること】
 問3 1 あなたが、将来の生活も含めて、今不安に思っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

将来の生活も含めて、今不安に思っていることは「今後の収入や資産の見通し」の割合が最も高く60.1%、次いで「親の健康・介護」が51.8%、「自分の健康」が44.9%となっています。

支援対象者でみると、不安定な就労状態（不本意非正規）にある方は、「現在の収入や資産」の割合が75.0%で最も高く、次いで「今後の収入や資産の見通し」が72.7%となっています。また、「現在の収入や資産」、「解雇・リストラ」、「職場の人間関係」、「結婚」、「就職・転職」が全体や非正規の職員・従業員より10ポイント以上高くなっています。長期にわたり無業の状態にある方は「今後の収入や資産の見通し」が最も高く73.1%となっています。また「現在の収入や資産」「就職・転職」、「職場の人間関係」が全体より20ポイント以上高くなっています。社会参加に向けた支援を必要とする方は「今後の収入や資産の見通し」が最も高く75.0%、次いで「親の健康・介護」が62.5%となっています。

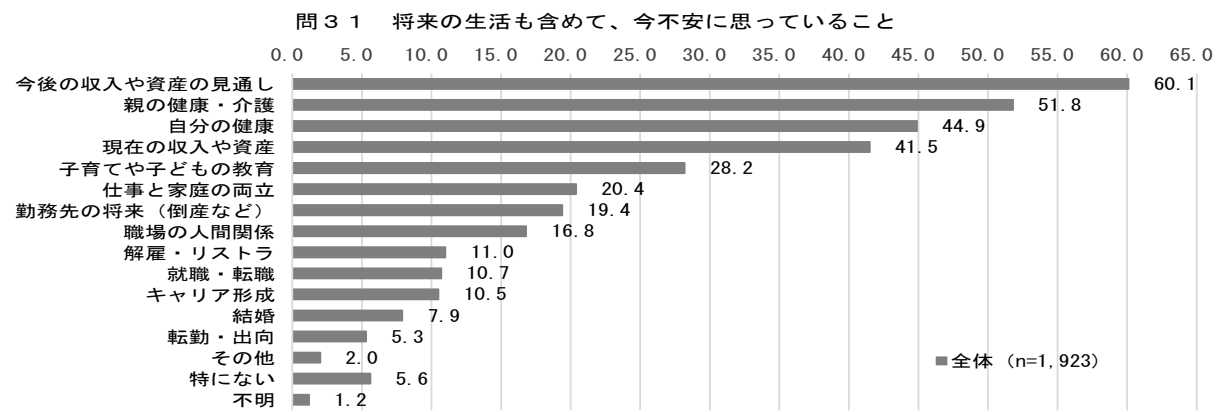
一番下の子どもでみると、いずれも「今後の収入や資産の見通し」の割合が最も高く、次いで乳児・就学前の幼児は「子育てや子どもの教育」、小学生以上の学生は「親の健康・介護」となっています。

現在の就業形態でみると、いずれも「今後の収入や資産の見通し」の割合が最も高く、特に会社・団体等の役員、自家営業の手伝い（家族従業者）は70%以上となっており、これら以外の就業形態より10ポイント以上高くなっています。また、専業主婦・専業主夫は「子育てや子どもの教育」の割合が53.7%となっており、専業主婦・専業主夫以外の就業形態より20ポイント以上高くなっています。

最終学歴でみると、学歴が上がるほど「現在の収入や資産」の割合が低くなる傾向にあり、「子育てや子どもの教育」が高くなる傾向があります。また、大学院修了は「キャリア形成」の割合が32.8%となっており、大学院修了以外の最終学歴より10ポイント以上高くなっています。

結婚状況でみると、未婚は「結婚」が30.9%となっており未婚以外の結婚状況より20ポイント以上高く、「子育てや子どもの教育」が20ポイント以上低くなっています。また、離別または死別は「就職・転職」が20.5%、未婚は18.3%となっており、既婚（6.9%）より10ポイント以上高くなっています。

居住地域でみると、いずれも「今後の収入や資産の見通し」の割合が最も高く、次いで東紀州地域は「現在の収入や資産」、東紀州地域以外の居住地域では「親の健康・介護」が高くなっています。



	合計	不安に思っていること																
		現在の収入や資産	今後の収入や資産の見通し	キャリア形成	転勤・出向	解雇・リストラ	勤務先の将来（倒産など）	就職・転職	職場の人間関係	結婚	子育てや子どもの教育	仕事と家庭の両立	自分の健康	親の健康・介護	その他	特になし	不明	
支援対象者	不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	75.0	72.7	20.5	2.3	34.1	22.7	27.3	29.5	27.3	6.8	15.9	47.7	59.1	2.3	2.3	-
	長期にわたり無業の状態にある方	26	69.2	73.1	15.4	3.8	11.5	7.7	53.8	38.5	26.9	7.7	7.7	57.7	42.3	-	3.8	-
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	55.0	75.0	12.5	2.5	7.5	2.5	37.5	27.5	12.5	22.5	22.5	55.0	62.5	2.5	-	-
一番下の子ども	乳児・就学前の幼児	334	41.0	59.9	11.7	6.6	7.5	20.1	10.5	14.7	0.3	59.0	39.8	44.3	47.3	0.3	2.7	0.6
	小学生	404	36.6	57.2	13.1	6.4	9.9	19.1	9.2	16.1	0.5	47.8	25.0	44.6	49.0	1.7	7.9	2.0
	中学生以上の学生	431	40.6	59.9	7.0	3.0	9.0	16.7	6.0	14.4	0.7	30.2	13.9	46.2	52.7	1.9	5.6	0.9
	その他	141	40.4	61.0	3.5	2.1	12.8	11.3	11.3	15.6	2.1	3.5	9.2	56.7	52.5	2.8	6.4	0.7

問 3 1 将来の生活も含めて、今不安に思っていること

	合計	現在の収入や資産	今後の収入や資産の見通し	キャリア形成	転勤・出向	解雇・リストラ	勤務先の将来(倒産など)	就職・転職	職場の間関係	結婚	子育てや子どもの教育	仕事と家庭の両立	自分の健康	親の健康・介護	その他	特になし	不明	
現在の就業形態	正規の職員・従業員	1,072	40.9	58.9	12.9	8.4	11.9	25.7	8.5	19.0	9.5	25.7	20.3	45.1	52.7	1.6	5.5	0.7
	非正規の職員・従業員	444	46.6	63.3	7.4	1.6	16.2	12.8	12.8	15.5	5.6	32.9	22.1	43.9	54.3	2.3	5.0	3.2
	会社・団体等の役員	19	36.8	78.9	5.3	-	-	57.9	-	21.1	5.3	15.8	15.8	36.8	68.4	5.3	5.3	-
	会社等の経営者	25	28.0	60.0	4.0	-	-	32.0	-	8.0	20.0	8.0	4.0	28.0	32.0	4.0	4.0	-
	自営業主、家庭内職	90	48.9	61.1	8.9	1.1	-	7.8	5.6	3.3	5.6	21.1	13.3	45.6	42.2	5.6	5.6	-
	自営業の手伝い(家族従業者)	38	34.2	73.7	2.6	-	-	15.8	2.6	2.6	-	31.6	13.2	39.5	44.7	5.3	7.9	-
	専業主婦・専業主夫	136	25.7	55.9	3.7	0.7	1.5	2.9	8.8	8.8	-	53.7	30.1	53.7	51.5	1.5	6.6	-
	学生	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	84	45.2	57.1	15.5	2.4	6.0	2.4	44.0	29.8	14.3	8.3	11.9	44.0	45.2	1.2	7.1	2.4
性別	男性	818	43.9	60.0	12.7	9.7	13.3	26.7	8.9	19.3	10.1	21.0	15.5	40.7	45.0	2.1	6.6	0.2
	女性	1,061	40.3	61.2	9.0	2.1	9.4	14.2	12.3	15.1	6.1	34.2	24.6	48.8	58.0	1.9	4.9	0.3
	どちらとも言えない	22	45.5	63.6	9.1	-	9.1	22.7	9.1	22.7	9.1	31.8	13.6	59.1	50.0	4.5	4.5	-
年齢	34～39歳	513	46.8	62.4	14.0	7.4	9.4	20.5	15.0	17.9	14.8	37.2	30.4	43.1	46.0	1.2	5.1	0.2
	40～44歳	559	43.8	61.7	12.2	5.2	12.0	23.3	11.3	17.0	7.0	28.6	20.6	41.7	53.5	1.4	5.2	0.4
	45～49歳	826	37.8	58.8	7.4	4.0	11.6	16.8	7.9	16.3	4.4	23.1	14.6	49.4	55.4	2.9	6.3	0.2
最終学歴	中学校卒業	74	48.6	67.6	8.1	2.7	4.1	14.9	10.8	13.5	9.5	18.9	13.5	40.5	37.8	1.4	5.4	-
	高校卒業	660	46.5	58.8	7.0	4.1	13.3	19.7	10.3	17.0	6.4	19.8	15.0	41.1	45.8	2.0	7.4	0.5
	専門学校卒業	273	46.2	67.0	5.1	3.3	11.0	21.2	12.5	15.8	8.4	31.1	24.5	52.7	55.3	0.7	3.3	0.4
	短大・高専卒業	297	34.7	57.9	9.8	3.4	10.1	16.8	10.4	13.1	4.4	37.4	21.5	51.5	58.2	2.4	6.1	-
	四年制大学卒業	527	38.7	61.1	15.7	8.5	9.1	20.5	10.6	20.1	10.6	32.8	25.6	44.0	57.3	2.8	4.4	-
	大学院修了	67	28.4	55.2	32.8	10.4	16.4	23.9	11.9	17.9	16.4	38.8	23.9	47.8	58.2	-	6.0	-
	その他	5	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0
結婚状況	既婚	1,319	38.6	58.6	10.1	5.2	8.5	18.0	6.9	15.0	0.2	37.2	23.6	46.3	50.0	1.8	6.0	1.0
	離別または死別	156	49.4	71.8	9.0	1.3	17.9	16.7	20.5	17.3	7.7	23.7	18.6	48.7	53.8	1.9	3.8	1.3
	未婚	437	47.4	60.6	11.9	6.9	15.8	24.9	18.3	22.0	30.9	3.2	11.9	40.0	57.4	2.3	5.0	1.8
子ども	いる	1,311	39.5	59.1	9.7	4.9	9.3	17.7	8.7	15.1	0.7	40.0	23.4	46.3	50.1	1.5	5.6	1.1
	いない	594	46.1	62.8	12.1	6.2	14.6	23.1	14.8	20.2	23.6	2.9	14.1	42.9	56.6	2.7	5.6	1.2
家計の負担者	あなた自身	853	40.7	61.1	13.1	8.7	13.1	25.0	8.1	17.2	7.5	24.9	17.9	45.6	49.0	1.8	5.6	0.9
	親	289	54.0	64.7	10.7	5.5	17.6	23.9	22.5	24.2	28.4	5.5	14.9	39.1	59.9	1.7	4.2	1.7
	配偶者	705	36.6	57.6	6.7	1.0	6.0	11.5	8.1	12.3	-	42.3	25.8	46.2	53.8	2.3	5.8	1.4
	兄弟姉妹	8	50.0	62.5	25.0	-	-	-	37.5	50.0	12.5	-	-	62.5	25.0	12.5	-	-
	子ども	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の家族や親戚	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	生活保護などの受給	4	50.0	100.0	-	-	25.0	25.0	75.0	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0	-	-	-
	その他	9	44.4	22.2	-	11.1	-	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	55.6	66.7	-	-	-
介護	している	146	43.8	60.3	12.3	4.1	14.4	24.7	6.8	16.4	6.2	24.7	21.2	53.4	71.2	1.4	2.7	2.1
	していない	1,764	41.2	60.1	10.3	5.4	10.6	19.0	10.9	16.8	8.0	28.6	20.4	44.3	50.4	2.0	5.8	1.1
居住地域	北勢地域	952	40.7	61.3	11.6	5.9	11.3	20.5	10.5	15.8	8.1	28.4	20.0	43.4	52.3	1.8	5.8	1.2
	伊賀地域	157	47.1	57.3	11.5	3.8	9.6	17.8	10.2	13.4	5.7	24.8	17.8	42.0	49.7	2.5	7.0	-
	中南勢地域	540	39.3	58.9	9.4	4.8	10.7	17.6	10.4	20.0	6.1	30.0	22.2	48.9	54.3	1.9	6.1	1.1
	伊勢志摩地域	215	44.2	59.1	6.5	6.0	11.2	21.9	11.6	14.0	10.7	27.9	19.5	46.0	48.4	2.3	1.9	2.8
	東紀州地域	46	52.2	67.4	13.0	-	6.5	15.2	13.0	26.1	15.2	23.9	23.9	43.5	43.5	2.2	6.5	-

【就職氷河期世代への支援に関する意見】

問3 2 就職氷河期世代への支援に関して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

就職氷河期世代への支援に関して、270人（327件）のご意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

当事者支援について

内容	件数	一部抜粋
具体的な支援内容について	適職につなげるための支援	27 就業支援の強化。適性を判断したうえで就職先の紹介。
	資格取得、キャリアアップの支援	27 就職に有効な資格取得の支援・補助。キャリアアップ、スキルアップに向けた支援。
	非正規の職員・従業員への支援	17 非正規の職員・従業員の待遇の改善。正規職員・従業員と非正規職員・従業員の格差の是正。
	減税や現金給付など生活を支える支援	9 減税。一時金の支給。
	両立しやすい環境づくりの支援	12 両立しやすい環境になると良い。子育て支援サービスの充実。介護離職にも目を向けてほしい。
支援全般について	対象者を絞った支援	5 ターゲットを絞った支援が必要。年代が幅広く状況も異なるのでニーズにあわせた支援が必要。
	支援の周知	10 どのような支援があるか情報提供してほしい。積極的に発信してほしい。支援策を知らない。
	就職氷河期世代枠の採用に向けた取組	5 公務員等における就職氷河期世代対象の募集枠が小さく支援につながっていない。
	支援は必要、良いことである	31 積極的な支援をお願いしたい。支援してもらえることは嬉しい。早急な対策を求める。
	支援は必要ない	12 本人次第であり、支援は必要ない。仕事を過ぎている。
	支援が遅い、今更である	23 対策が遅すぎる。せめて20年前にするべき。今の年齢では今更感しかない。
社会全体の課題として考える必要性	3 少子化などの要因になっており、社会全体の課題として考えるべき。	
子どもや他の世代への支援の必要性	5 支援が必要なのは就職氷河期世代だけではない。子どもたちの就職支援に注力してほしい。	

企業への働きかけについて

内容	件数	一部抜粋
具体的な支援について	年齢制限や就職氷河期枠の設置	16 年齢制限の緩和。就職氷河期世代枠等中途採用の支援拡充。
	人手が足りない職種での採用の検討	8 人手不足の職種への支援。人手不足の企業の情報発信の機会拡充の支援。
	働き方の多様性の検討	2 副業を認めてほしい。
	就業体験機会の提供	2 就業体験制度。
働きかけ全般について	企業への理解促進、働きかけの必要性	10 受入企業側への周知。企業の景気回復に向けた支援。

現状の生活等について

内容	件数	一部抜粋
現状の生活について	今後の生活が不安である	20 将来生活していくことができるか不安、年金がもらえるのか、貯蓄が少なく不安
	キャリア、賃金格差がある	21 キャリアが上がりにくい。就職したが給与が低いままである。働いている人にも支援が必要

その他

内容	件数	一部抜粋
その他	就職氷河期と認識していない	10 自身が就職氷河期世代と認識していなかった
	アンケートの活用について	7 アンケートを活かしてほしい。内容が偏っているのではないかと。
	学卒時の就職状況について	16 当時の就職活動は非常に厳しかった。当時相談できる場や支援があると良かった。
	その他	29

【問30-D 希望する資格取得講座】（詳細）

分類	件数	対象資格・回答
1 PC・IT・コンピューター	64	パソコン関係、CAD、MOS、IT系、プログラミング、PC関連、ITパスポート、WEBクリエイター能力認定試験、タイピング技能検定、ウェブ解析士、ウェブデザイナー、情報処理系資格、HP制作、
2 電気・工業・設備	35	電気工事士、危険物取扱、電験（2種、3種）、有機溶剤作業主任者、ボイラー技士、技術士、ボイラー溶接士、消防設備士、電気通信主任技術者、電気工事施工管理技士、給水装置工事主任技術者、エックス線作業主任者
3 医療・衛生・保険	31	医療事務、登録販売者、鍼灸師、薬剤師、看護師、医療環境管理士、調剤薬局事務
4 経営・労務管理	32	ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士、中小企業診断士、MBA、衛生管理者
5 介護・福祉・心理	28	ケアマネジャー（介護支援専門員）、介護福祉士、福祉住環境コーディネーター、心理カウンセラー、社会福祉士、サービス管理責任者、タクティールケア、ソーシャルワーカー、児童管理発達支援管理責任者
6 会計・金融・財務・経理	26	日本商工会議所簿記検定、財務、建設業経理士、税理士、公認会計士
7 語学	20	英語（英会話、英検、TOEIC）、要約筆記通訳、実用フランス語技能検定1級
8 法律・法務	14	行政書士、ビジネス実務法務検定、年金アドバイザー、相続アドバイザー、司法書士、知的財産管理技能士
9 運転・機械免許	13	大型特殊免許、クレーン、玉掛け、船舶免許、フォークリフト、大型自動車運転免許
10 建築・土木・環境・設計	9	建築施工管理技士、建築士、土木施工管理技士、管工事施工管理技士
11 教育・保育・指導	8	保育士小・中学校教諭、司書、キャリアコンサルタント
12 生活・教養	8	筆ペン、着付け、書道、手話通訳士、話し方講座、ファシリテーター
13 オフィス等デザイン	9	インテリアコーディネーター、POP作成、カラーコーディネーター、整理収納アドバイザー、住宅コーディネーター、
14 不動産（事務系）	8	宅地建物取引士、不動産系の資格
15 旅行・流通	7	運行管理者、通関士、物流技術管理士、販売士
16 食品・栄養・調理	7	管理栄養士、食関係、調理師、パンシェルジュ
17 機械作業	4	機会保全技能士、整備士、建設機械等、機械加工技能士
18 その他	17	気象予報士、フォレストナー、農業、技術系、エステ、リラクゼーション、士業など独立できる資格、マッサージ、経営学・経済学に関する知識、ネイル、人を救助する資格、動物系、アロマセラピー、国家資格全般、ヨガインストラクター、トリマー

【属性】

問33 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男性	818	42.5
2	女性	1,061	55.2
3	どちらとも言えない	22	1.1
	不明	22	1.1
	合計	1,923	100

問34 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	34～39歳	513	26.7
2	40～44歳	559	29.1
3	45～49歳	826	43.0
	不明	25	1.3
	合計	1,923	100

問35 あなたの最終学歴をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	中学校卒業	74	3.8
2	高校卒業	660	34.3
3	専門学校卒業	273	14.2
4	短期大学・高等専門学校卒業	297	15.4
5	四年制大学卒業	527	27.4
6	大学院修了	67	3.5
7	その他	5	0.3
	不明	20	1.0
	合計	1,923	100

問36 あなたのお住いの地域をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	北勢地域	952	49.5
2	伊賀地域	157	8.2
3	中南勢地域	540	28.1
4	伊勢志摩地域	215	11.2
5	東紀州地域	46	2.4
	不明	13	0.7
	合計	1,923	100

問37 あなたは結婚していますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	既婚	1,319	68.6
2	離別または死別	156	8.1
3	未婚	437	22.7
	不明	11	0.6
	合計	1,923	100

問38 あなたは、お子さん（年齢は問いません）がいらっしゃるでしょうか。（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いる	1,311	68.2
2	いない	594	30.9
	不明	18	0.9
	合計	1,923	100

問39 あなたの一番下のお子さんは、現在次のどれに当てはまりますか。（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	割合
1	乳児・就学前の幼児	334	25.5
2	小学生	404	30.8
3	中学生以上の学生	431	32.9
4	その他	141	10.8
	不明	1	0.1
	合計	1,311	100

問40 あなたと一緒に暮らしている家族をすべてお答えください。（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	割合
1	配偶者（事実婚を含む）	1,289	67.0
2	子ども	1,199	62.4
3	あなたの親	557	29.0
4	配偶者の親	115	6.0
5	あなた又は配偶者の兄弟姉妹	82	4.3
6	あなた又は配偶者の祖父母	37	1.9
7	その他	14	0.7
8	同居している家族はいない	110	5.7
	不明	17	0.9
	合計	1,923	100

問41 あなたの家の家計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が福祉いる場合は、もっとも多くの家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれる人をお答えください。（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	割合
1	あなた自身	853	44.4
2	親	289	15.0
3	配偶者	705	36.7
4	兄弟姉妹	8	0.4
5	子ども	0	0.0
6	他の家族や親戚	2	0.1
7	生活保護などを受けている	4	0.2
8	その他	9	0.5
	不明	53	2.8
	合計	1,923	100

問42 あなたは介護をしていますか。（○は1つだけ）※自宅外にいる家族の介護も含めてお答えください。

No.	カテゴリ	件数	割合
1	している	146	7.6
2	していない	1,764	91.7
	不明	13	0.7
	合計	1,923	100

Ⅲ 支援対象者別の調査結果

本項目では、支援対象者の方に着目して、詳細に分析を行った。

なお、支援対象者とは、①不安定な就労状態（不本意非正規）にある方、②「長期にわたり無業の状態にある方」、③社会参加に向けた支援を必要とする方を指す。本調査における各支援対象者の定義は下記のとおりである。

名称	本調査における定義	該当者割合(数)
①不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	現在非正規雇用で働いており、かつ、現在の雇用形態に就いている理由を「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答した方	2.3% (44人)
②長期にわたり無業の状態にある方	現在働いていない方のうち就業意向があり働いていない期間が6か月以上で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない方	1.4% (26人)
③社会参加に向けた支援を必要とする方	<p>下記のとおり回答した方^{*1}</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「Q24 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。」について、下記の5～8に当てはまる者</p> <p>5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する</p> <p>6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける</p> <p>7. 自室からは出るが、家からは出ない</p> <p>8. 自室からほとんど出ない</p> <p>かつ</p> <p>「Q25 現在の状態となって、どのくらい経ちますか。」について、6か月以上と回答した者</p> <p>であって、次の3種類のいずれにも該当しない者。</p> <p>① 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「病気（）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者</p> <p>② 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、</p> <p>① 「妊娠したこと」を選択した者、</p> <p>② 「介護・看護を担うことになったこと」を選択した者</p> <p>③ 「その他（）」を選択し、（）に出産・育児をしている旨を記入した者</p> <p>「Q1 あなたの現在の就労形態は何ですか。」で、「専業主婦・専業主夫」と回答した者</p> <p>又は</p> <p>「Q22 あなたが、ふだんご自宅にいるときによくしていることは何ですか。」で、「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」と回答した者</p> <p>のいずれかで、かつ、</p> <p>「Q23 あなたは最近6ヶ月間に、家族以外の人と会話をしましたか。」で、「よく会話をした」又は「ときどき会話をした」を選択した者</p> <p>③ 「Q26 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（）」を選択し、（）に自宅で仕事をしている旨を記入した者、</p> <p>「Q1 あなたの現在の就労形態は何ですか。」で、「正規の職員・従業員」、「非正規の職員・従業員」、「会社・団体等の役員」、「会社等の経営者」、「自営業主・フリーランス、家庭内の賃仕事」又は「自家営業の手伝い」と回答した者</p> <p>又は</p> <p>「Q22 あなたが、ふだんご自宅にいるときによくしていることは何ですか。」で、「仕事をする」と回答した者</p> </div>	2.1% (40人)

*1：内閣府「生活状況に関する調査」における定義と同一

なお、同調査における③の該当者割合は1.45%（47人）

①不安定な就労状態（不本意非正規）にある方についての集計・分析

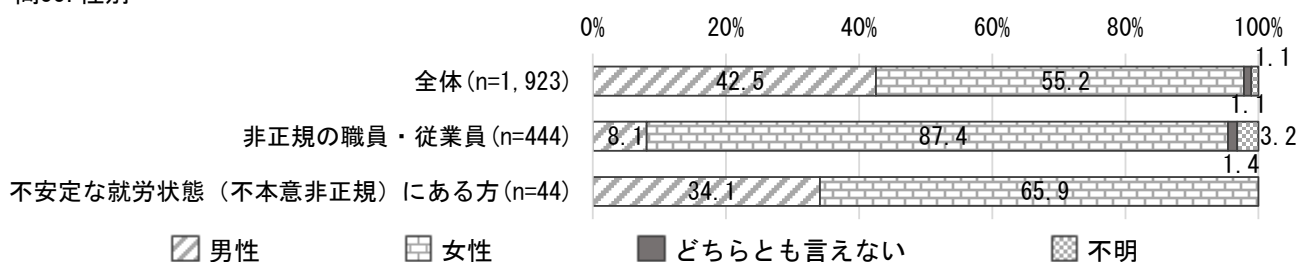
要旨

- ・女性の割合が高い。女性は年齢が高くなるほど「既婚」の割合が高いが、男性は年齢に関わらず「未婚」が高い。未婚の場合、家計を負担している人は「親」の割合が高いが、年齢が高くなるほど「あなた自身」の割合が増加する。
- ・学卒時に最初に就いた仕事の就業形態は、年齢が若いほど「非正規の職員・従業員」の割合が高い。男性は学卒時に最初に就いた仕事の就業期間が「1年未満」の割合が42.9%、「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』では78.6%を占める。
- ・転職回数が多く、転職時にも正規の職員・従業員以外で従事した割合が高い傾向にある。
- ・「適職診断」、「求人企業の紹介・マッチング」、「資格取得訓練講座」など、就職に直結する具体的な支援を求める声が多い。
- ・将来の生活も含めて、今不安に思っていることは、資産や収入に関することが70%以上となっており、他は、「解雇・リストラ」、「就職・転職」等の雇用関係と「結婚」の割合が高い。

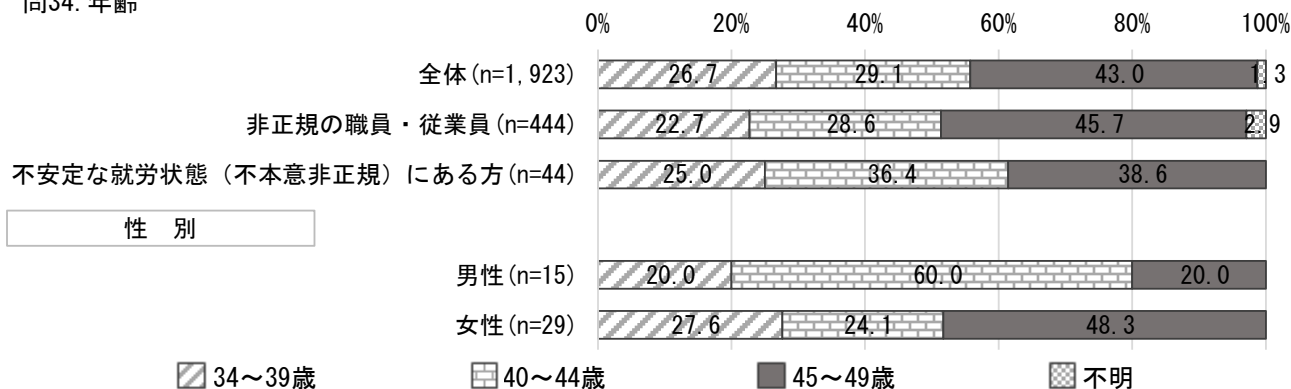
属性：

- ・性別では、「女性」が65.9%、「男性」が34.1%となっている。男性は「40～44歳」が60.0%、女性は「45～49歳」が48.3%で最も高くなっている。
- ・結婚状況では、男性は年齢に関わらず「未婚」の割合が高いが、女性は年齢が高いほど「既婚」が高い。
- ・同居している家族では、未婚は「あなたの親」が91.7%を占める。
- ・最も家計を負担している人では、既婚は年齢に関わらず「配偶者」が高いが、未婚の場合34歳～44歳は「親」、45歳～49歳は「あなた自身」が高くなる。

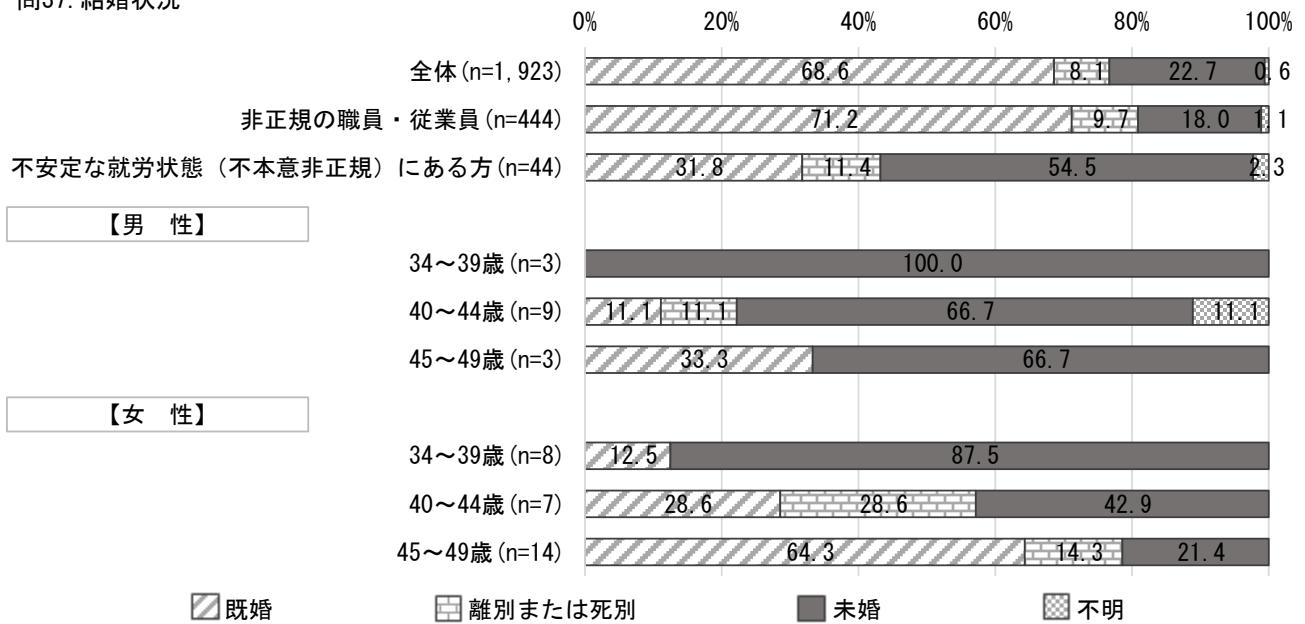
問33. 性別



問34. 年齢



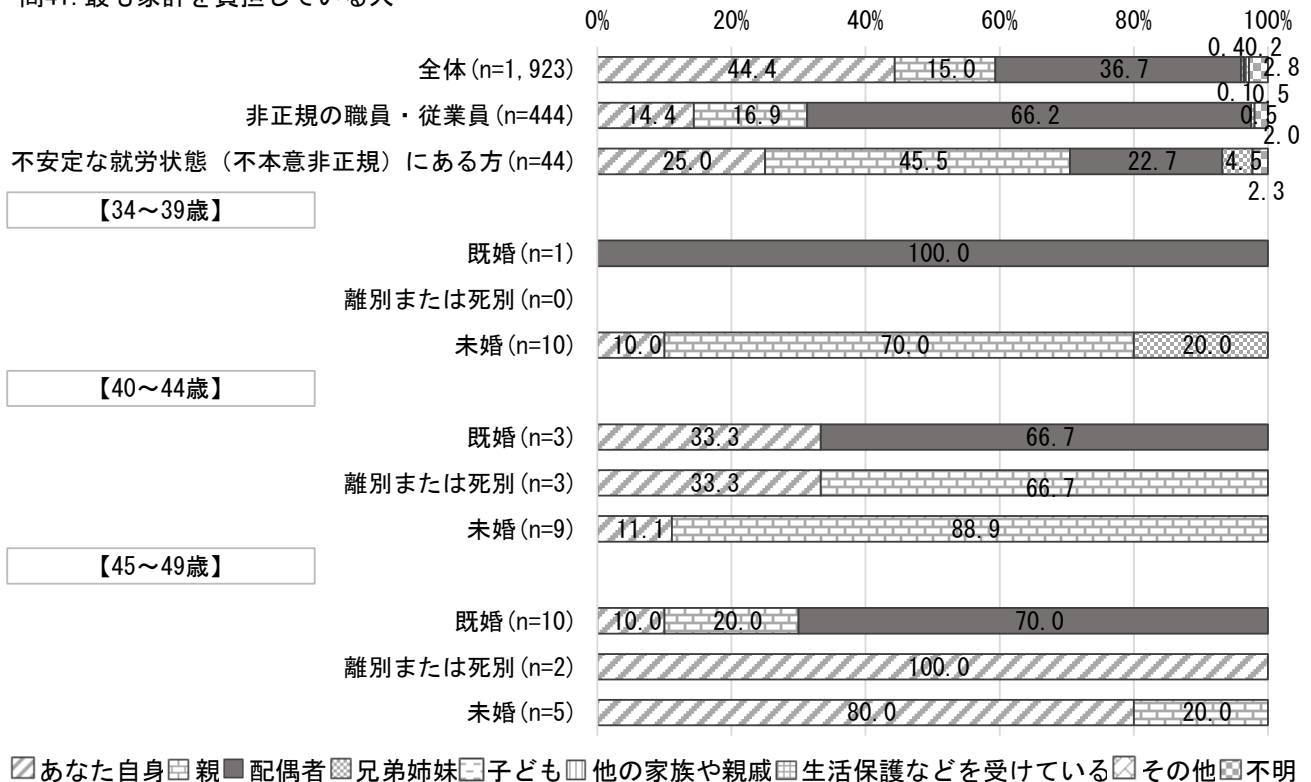
問37. 結婚状況



問40. 同居している家族

	合計	配偶者 (事実婚を含む)	子ども	あなたの親	配偶者の親	あなた又は配偶者の兄弟姉妹	あなた又は配偶者の祖父母	その他	同居している家族はいない	不明
全体	1923	67.0	62.4	29.0	6.0	4.3	1.9	0.7	5.7	0.9
非正規の職員・従業員	444	68.9	68.2	26.4	9.7	4.5	1.4	0.9	2.9	1.1
不安定な就労状態 (不本意非正規) にある方	44	29.5	29.5	63.6	2.3	9.1	2.3	-	6.8	2.3
結婚状況	既婚	14	92.9	78.6	14.3	7.1	-	-	-	-
	離別または死別	5	-	40.0	80.0	-	-	-	20.0	-
	未婚	24	-	-	91.7	-	16.7	4.2	-	8.3

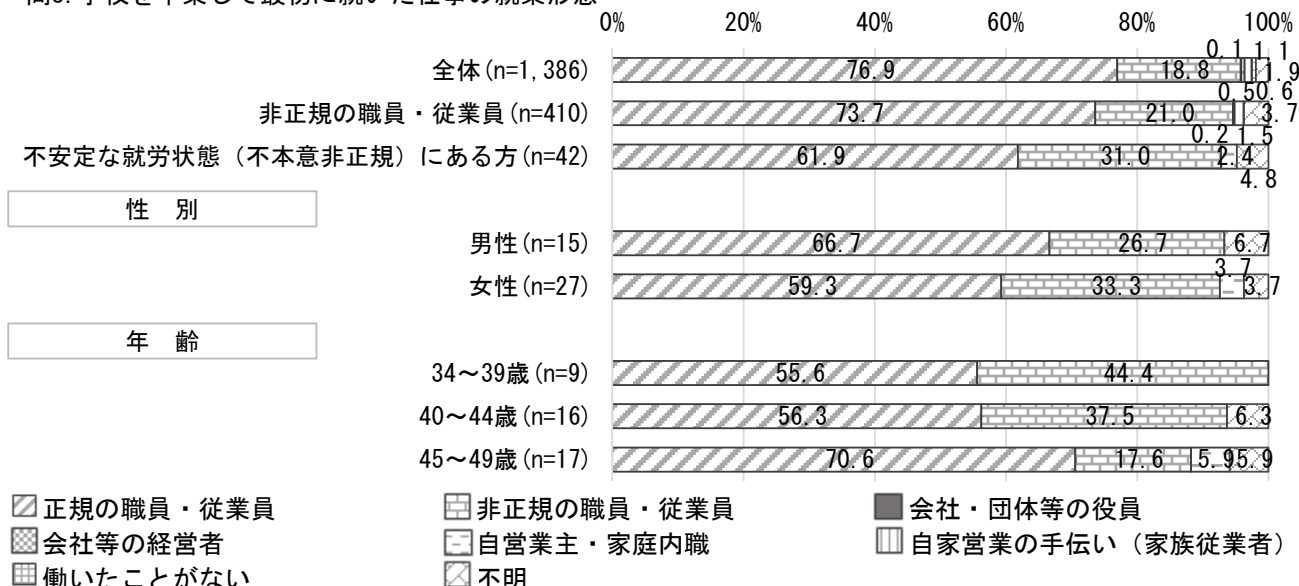
問41. 最も家計を負担している人



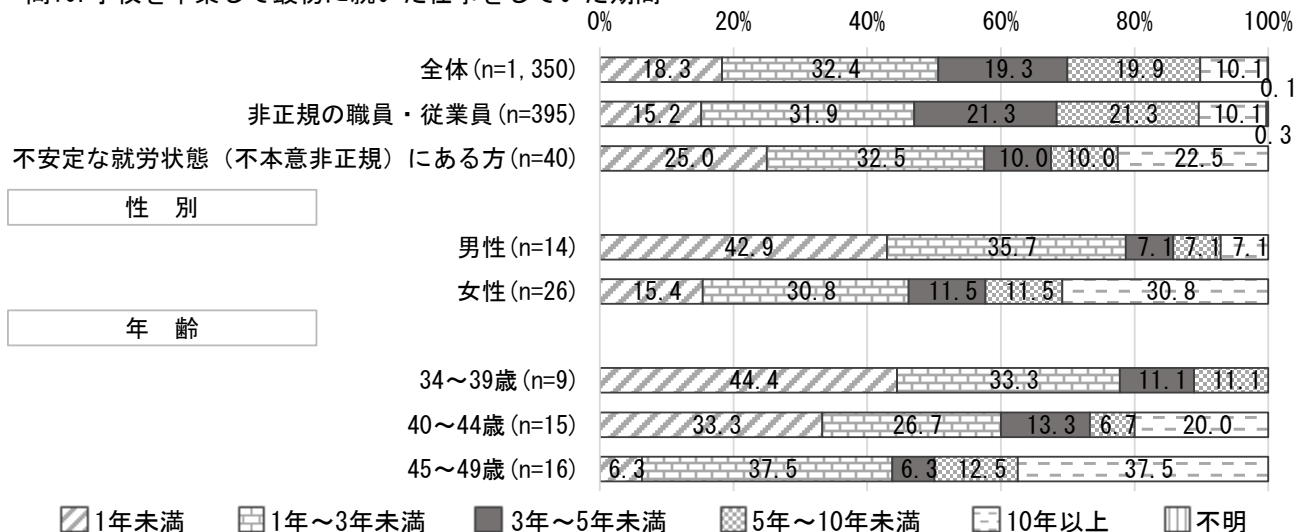
学卒時からの就業経験：

- ・ 学校を卒業して最初に就いた仕事の実業形態は「正規の職員・従業員」の割合が61.9%、「非正規の職員・従業員」が31.0%となっている。34～44歳は「正規の職員・従業員」の割合が50%台と低いが、45～49歳は70.6%となっている。
- ・ 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間は、男性は「1年未満」の割合が42.9%、「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』は78.6%となっている。女性は『3年未満』が46.2%だが、「10年以上」も30.8%となっている。
- ・ 経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）は「6つ以上」の割合が35.0%と最も高く、全体、非正規の職員・従業員と比較すると10ポイント以上高い。また、経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）のうち、「正規の職員・従業員」の仕事の数は、半数以下である割合が高い。
- ・ 希望する職種は「事務職」、「製造・生産工程職」の割合が高い。男性は「専門的・技術的職業」も高い。

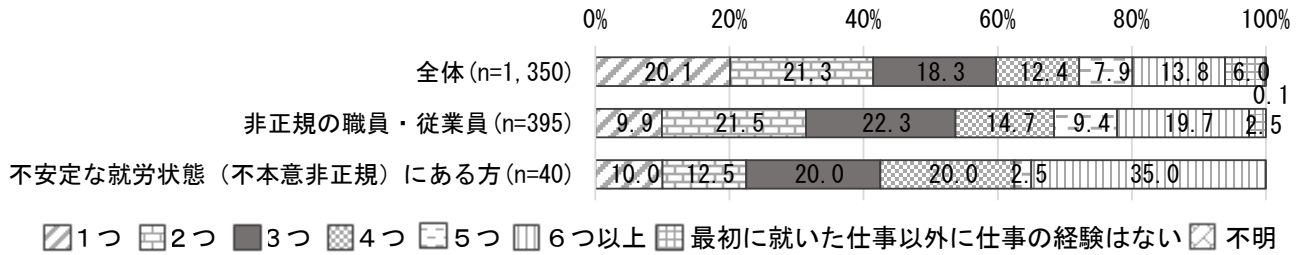
問8. 学校を卒業して最初に就いた仕事の実業形態



問10. 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間

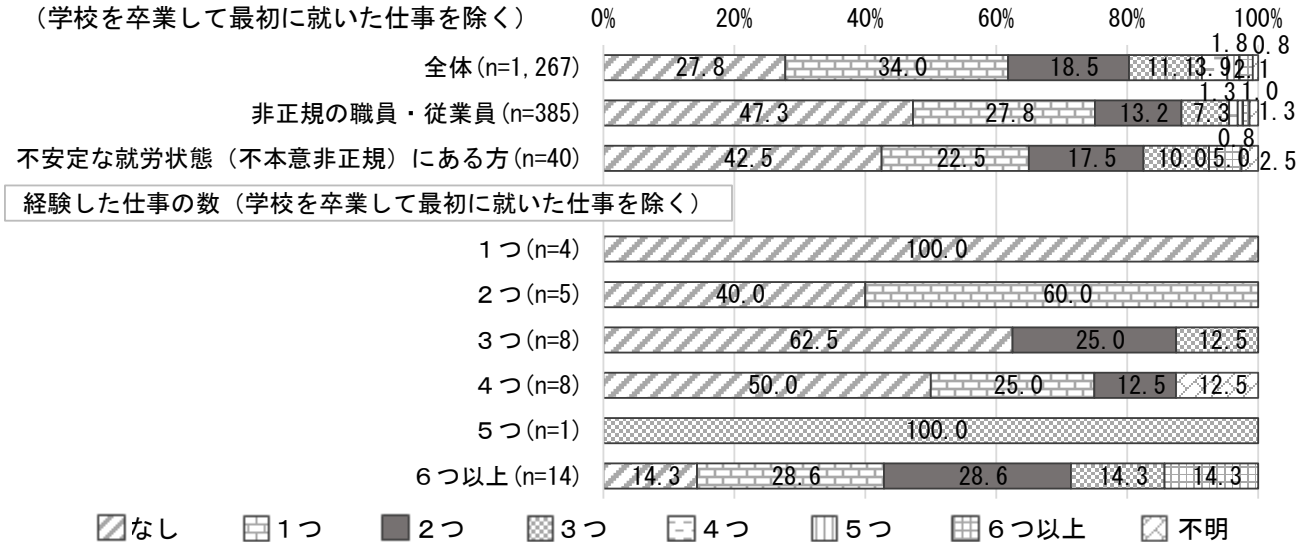


問11. 経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



問12. 経験した正規の職員・従業員の仕事の数

（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）



問 17. 希望する職種

		合計	製造・生産工程職	建設・採掘職	輸送・機械運転職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他（保安職など）	職種にこだわりのない	わからない	不明
非正規の職員・従業員		202	15.3	1.5	2.0	7.9	18.8	23.3	2.0	35.1	1.0	4.0	14.4	6.9	0.5
不安定な就労状態（不本意非正規）にある方		40	30.0	-	5.0	2.5	12.5	15.0	5.0	47.5	-	5.0	7.5	5.0	2.5
性別	男性	14	35.7	-	7.1	-	-	28.6	14.3	50.0	-	7.1	7.1	-	-
	女性	26	26.9	-	3.8	3.8	19.2	7.7	-	46.2	-	3.8	7.7	7.7	3.8

必要な支援：

- ・相談窓口やセミナーなどの利用意向は「適職診断」、「求人企業の紹介・マッチング」、「相談・カウンセリング」、「資格取得訓練講座」の順で高くなっており、総じて土日祝日の利用意向が高い。

問 30. 相談窓口やセミナーなどを利用しやすい曜日・時間帯・形式

	曜日・時間帯			形式			利用したいと思わない	不明
	平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい			
A. 相談・カウンセリング	18.2	20.5	36.4	36.4	27.3	31.8	4.5	
B. 適職診断	22.7	22.7	36.4	31.8	29.5	25.0	2.3	
C. コミュニケーション力向上講座	6.8	15.9	25.0	25.0	15.9	54.5	4.5	
D. 資格取得訓練講座	15.9	22.7	36.4	22.7	29.5	31.8	4.5	
E. 職場体験・職場見学	15.9	6.8	27.3	18.2	15.9	40.9	6.8	
F. 応募書類の添削、模擬面接	6.8	15.9	27.3	18.2	22.7	45.5	9.1	
G. 求人企業の紹介・マッチング	15.9	20.5	38.6	31.8	31.8	29.5	4.5	
H. 合同企業説明会	11.4	9.1	18.2	25.0	13.6	50.0	6.8	

日頃の過ごし方：

- ・現在利用しているSNSは、いずれの属性においても「LINE」の割合が最も高い（男性は「Twitter」と同率）。また、女性は「LINE」の割合が89.7%で、男性より63.0ポイント高い。動画共有サービスは、いずれの属性においても「YouTube」が最も高い。男性は「YouTube」の割合が66.7%で、女性より25.3ポイント高い。

問 29. 現在利用しているSNSや動画共有サービス

	合計	SNS					動画共有サービス				その他	特にない	不明
		LINE	Twitter	Instagram	Facebook	note	TikTok	YouTube	ニコニコ動画	Vimeo			
全体	1,923	87.7	23.5	34.8	23.9	0.9	4.5	62.8	3.2	0.1	1.1	5.5	1.4
非正規の職員・従業員	444	88.3	21.8	39.0	20.7	1.4	5.4	56.5	2.7	0.2	0.9	3.6	3.2
不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	68.2	29.5	27.3	27.3	-	4.5	50.0	13.6	2.3	-	9.1	-
性別	男性	15	26.7	26.7	20.0	13.3	-	66.7	6.7	-	-	20.0	-
	女性	29	89.7	31.0	31.0	34.5	-	41.4	17.2	3.4	-	3.4	-
年齢	34～39歳	11	63.6	18.2	45.5	27.3	-	9.1	54.5	9.1	9.1	-	18.2
	40～44歳	16	56.3	37.5	25.0	18.8	-	6.3	62.5	25.0	-	-	12.5
	45～49歳	17	82.4	29.4	17.6	35.3	-	-	35.3	5.9	-	-	-
結婚状況	既婚	14	92.9	14.3	21.4	35.7	-	-	14.3	-	-	-	-
	離別または死別	5	100.0	40.0	60.0	40.0	-	20.0	40.0	20.0	-	-	-
	未婚	24	50.0	33.3	25.0	16.7	-	4.2	70.8	20.8	4.2	-	16.7

不安に思っていること：

- ・将来の生活も含めて、今不安に思っていることは「現在の収入や資産」、「今後の収入や資産の見通し」が高く、70%以上となっている。全体や非正規の職員・従業員と比較すると、「現在の収入や資産」、「結婚」、「就職・転職」、「職場の人間関係」、「解雇・リストラ」、「キャリア形成」の割合が10ポイント以上高い。年齢で見ると、年齢が高くなるほど「現在の収入や資産」、「今後の収入や資産の見通し」、「解雇・リストラ」、若くなるほど「就職・転職」、「結婚」の割合が高くなっている。

問 31. 将来の生活も含めて、今不安に思っていること

	合計	現在の収入や資産	今後の収入や資産の見通し	キャリア形成	転職・転出	解雇・リストラ	勤務先の将来（倒産など）	就職・転職	職場の人間関係	結婚	子育てや子どもの教育	仕事と家庭の両立	自分の健康	親の健康・介護	その他	特にない	不明
非正規の職員・従業員	444	46.6	63.3	7.4	1.6	16.2	12.8	12.8	15.5	5.6	32.9	22.1	43.9	54.3	2.3	5.0	3.2
不安定な就労状態（不本意非正規）にある方	44	75.0	72.7	20.5	2.3	34.1	22.7	27.3	29.5	27.3	6.8	15.9	47.7	59.1	2.3	2.3	-
性別	男性	15	73.3	60.0	33.3	6.7	26.7	33.3	40.0	33.3	-	20.0	40.0	60.0	-	6.7	-
	女性	29	75.9	79.3	13.8	-	37.9	17.2	20.7	27.6	24.1	10.3	13.8	51.7	58.6	3.4	-
年齢	34～39歳	11	54.5	63.6	36.4	-	18.2	9.1	45.5	27.3	45.5	-	18.2	54.5	63.6	9.1	9.1
	40～44歳	16	81.3	68.8	31.3	6.3	31.3	37.5	31.3	37.5	25.0	-	18.8	43.8	68.8	-	-
	45～49歳	17	82.4	82.4	-	-	47.1	17.6	11.8	23.5	17.6	17.6	11.8	47.1	47.1	-	-
結婚状況	既婚	14	78.6	85.7	14.3	-	35.7	21.4	21.4	42.9	-	21.4	28.6	28.6	50.0	-	-
	離別または死別	5	80.0	80.0	20.0	-	80.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	80.0	80.0	-	-
	未婚	24	70.8	62.5	20.8	4.2	20.8	20.8	29.2	20.8	45.8	-	12.5	54.2	58.3	4.2	4.2

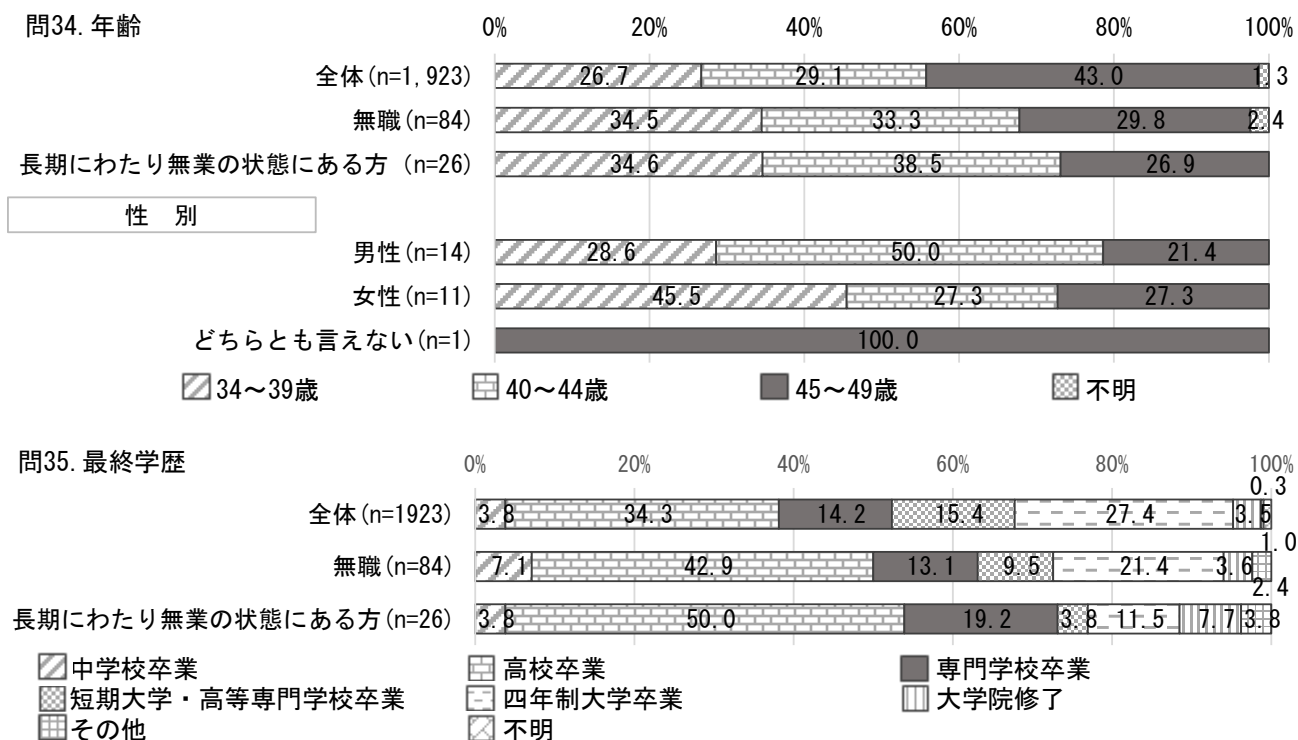
②長期にわたり無業の状態にある方についての集計・分析

要旨

- ・ 男性の割合がやや高い。女性は男性より 30 歳代の割合が高い。最も家計を負担している人は「親」が最も高いが、年齢が高くなるほど「あなた自身」の割合が増加する。
- ・ 学卒時に最初に就いた仕事の就業形態は「非正規の職員・従業員」が 53.8%となっている。学卒時に最初に就いた仕事の就業期間は「1年未満」の割合が半数以上で「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』が 75.0%を占める。
- ・ 現在働いていない理由は「人間関係に不安があるため」、「病気・けがのため」の割合が高い。
- ・ 就労意向では、30歳代女性を除き正規の職員・従業員を希望する割合が半数以上となっている。
- ・ 現在の状態になってからの期間は「5年～10年未満」と「10年以上」を合計した『5年以上』が 52.7%となっている。きっかけは「人間関係がうまくいかなかったこと」、「就職活動がうまくいかなかったこと」が高く、特に 30歳代で高い。
- ・ 関係機関への相談意向は、「非常に思う」と「思う」と「少し思う」を合計した『思う』が 73.8%と高い。関係機関に希望することは、無料や近距離・オンラインであることのほか、心理学や精神科医などの医学面の要望の割合が高い。
- ・ セミナーや相談窓口は全般的に利用意向が高く、特に「相談・カウンセリング」、「適職診断」が高い。
- ・ 将来の生活も含めて、今不安に思っていることは、資産や収入に関するもののほか、「就職・転職」、「職場の人間関係」等の雇用関係や「結婚」が高くなっている。

属性：

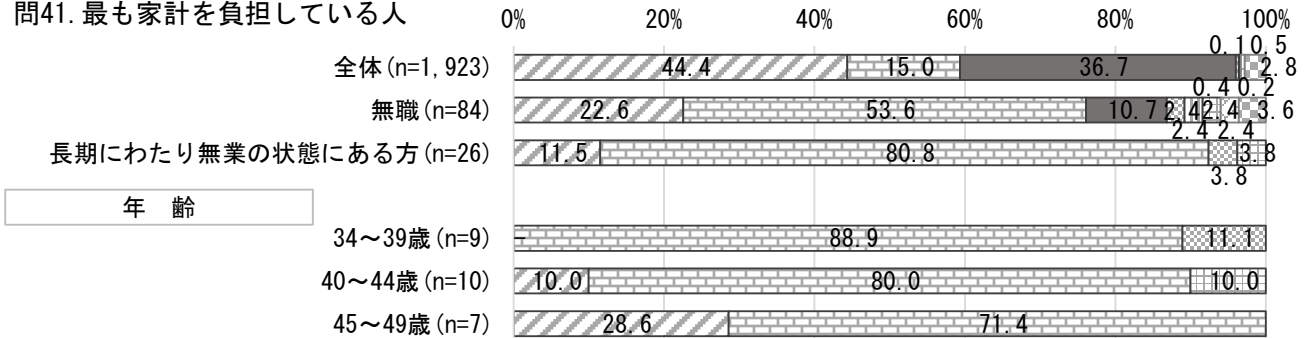
- ・ 性別では、「男性」の割合がやや高い。女性は 34 歳～39 歳の割合が最も高い。
- ・ 最終学歴では、全体、無職に比べて「高校卒業」の割合が高く、「四年制大学卒業」が低い。
- ・ 同居している家族、最も家計を負担している人はいずれも「親」の割合が 80%以上となっている。最も家計を負担している人は、年齢が高くなるほど「親」が低く「あなた自身」が高い。



問 40. 同居している家族

	合計	配偶者（事実婚を含む）	子ども	あなたの親	配偶者の親	あなた又は配偶者の兄弟姉妹	あなた又は配偶者の祖父母	その他	同居している家族はいない	不明
全体	1,923	67.0	62.4	29.0	6.0	4.3	1.9	0.7	5.7	0.9
無職	84	15.5	19.0	66.7	2.4	10.7	3.6	-	11.9	-
長期にわたり無業の状態にある方	26	-	3.8	80.8	-	15.4	3.8	-	15.4	-
年齢	34～39歳	9	-	88.9	-	22.2	-	-	11.1	-
	40～44歳	10	-	70.0	-	10.0	10.0	-	30.0	-
	45～49歳	7	-	85.7	-	14.3	-	-	-	-

問41. 最も家計を負担している人

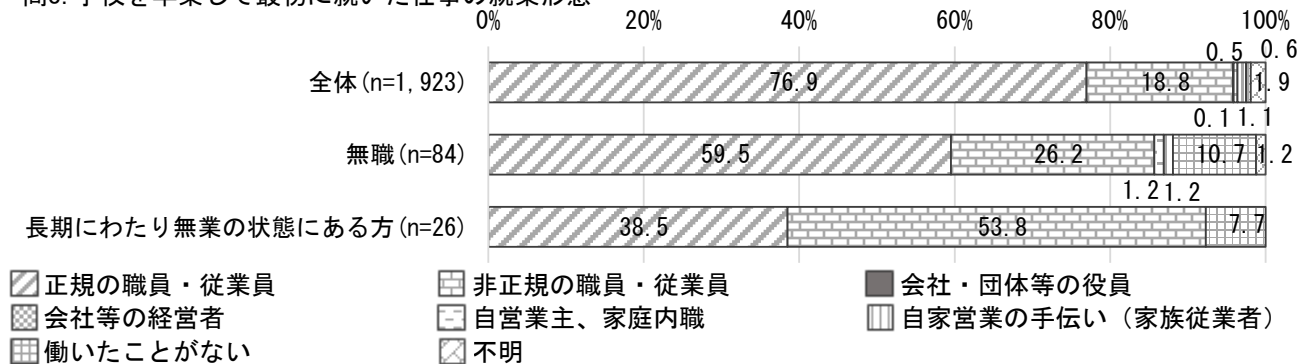


あなた自身
 親
 配偶者
 兄弟姉妹
 子ども
 他の家族や親戚
 生活保護などを受けている
 その他
 不明

学卒時からの就業経験：

- ・ 学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態は「非正規の職員・従業員」の割合が 53.8% となっており、「正規の職員・従業員」(38.5%) より高い。
- ・ 学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由は「職場の人間関係が良くなかったため」が最も高く、次いで「一時的についた仕事だったため」、「自分に向かない仕事だったため」となっている。
- ・ 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間は「1年未満」の割合が 58.3% で最も高く、「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』では 75.0% となっている。「1年未満」の割合が性別では男性が 53.8%、女性で 70.0% となっており、年齢別では 45歳～49歳で 71.4%、34～39歳でも 62.5% と高い。
- ・ 経験した仕事の数（学校を卒業して最初に就いた仕事を除く）は、「6つ以上」の割合が最も高い。男性は「最初に就いた仕事以外に仕事の経験はない」が 30.8% で最も高い。

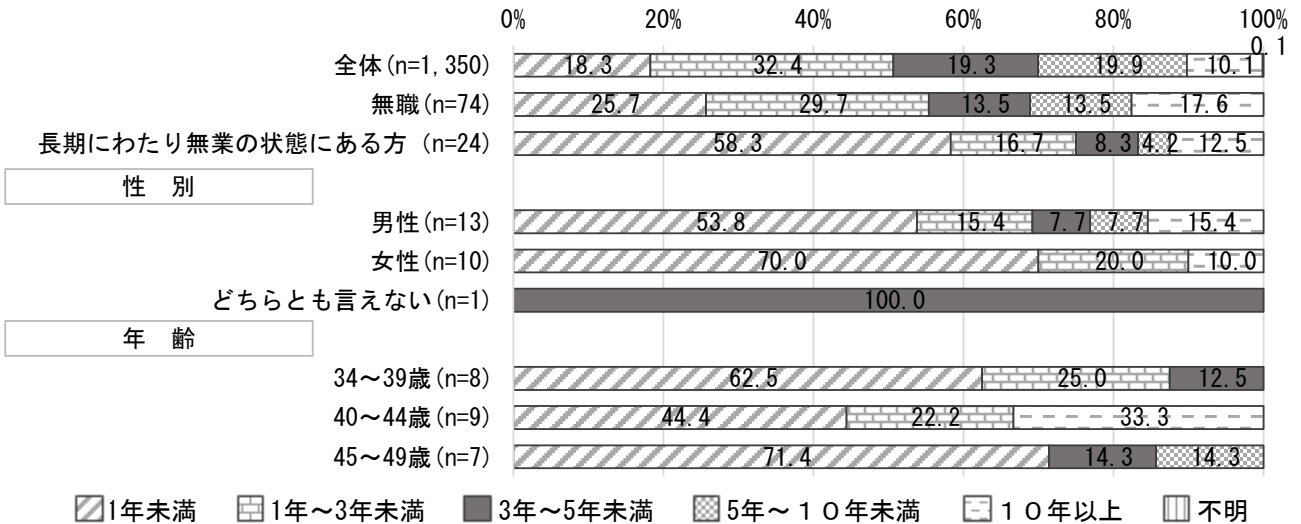
問8. 学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態



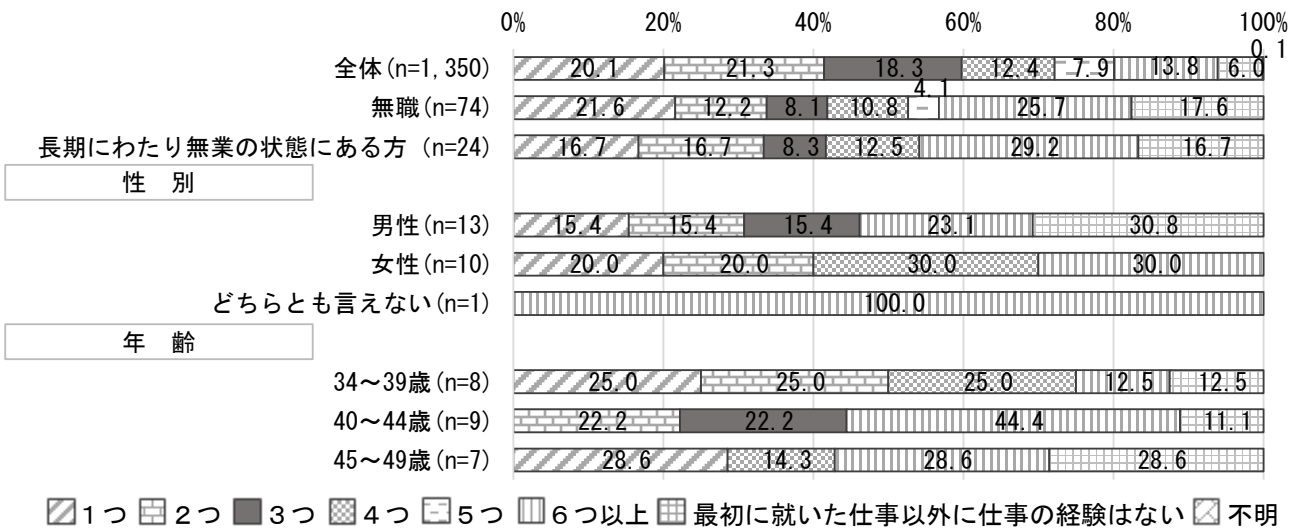
問 13. 学校を卒業して最初に就いた仕事を辞めた理由

	合計	会社倒産・事業所閉鎖のため	人員整理・退職勧奨のため	事業不振や先行き不安のため	雇用契約満了のため	結婚のため	出産、育児のため	介護、看護のため	病気、けがのため	自分に向かない仕事だったため	一時的に就いた仕事だったため	責任ある仕事がなかったため	ノルマや責任が重すぎたため	賃金などの条件が良くなかったため	職場の人間関係が悪くなったため	家業を継ぐ、または手伝うため	家族の転職、事業所移転のため	より良い条件の仕事が見つかったため	キャリアアップをはかるため	仕事以外にやりたいことが見つかったため	その他	不明
全体	1350	4.1	2.4	7.0	2.4	17.6	10.7	0.8	5.3	17.0	7.3	1.0	7.2	14.4	15.4	2.4	1.3	8.4	8.4	6.8	7.9	0.5
無職	74	9.5	2.7	9.5	1.4	10.8	2.7	-	10.8	18.9	13.5	-	12.2	8.1	29.7	1.4	-	8.1	5.4	4.1	6.8	1.4
長期にわたり無業の状態にある方	24	12.5	-	4.2	4.2	-	-	-	8.3	25.0	25.0	-	8.3	8.3	37.5	-	-	16.7	4.2	4.2	4.2	-

問10. 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間



問11. 経験した仕事の数 (学校を卒業して最初に就いた仕事を除く)



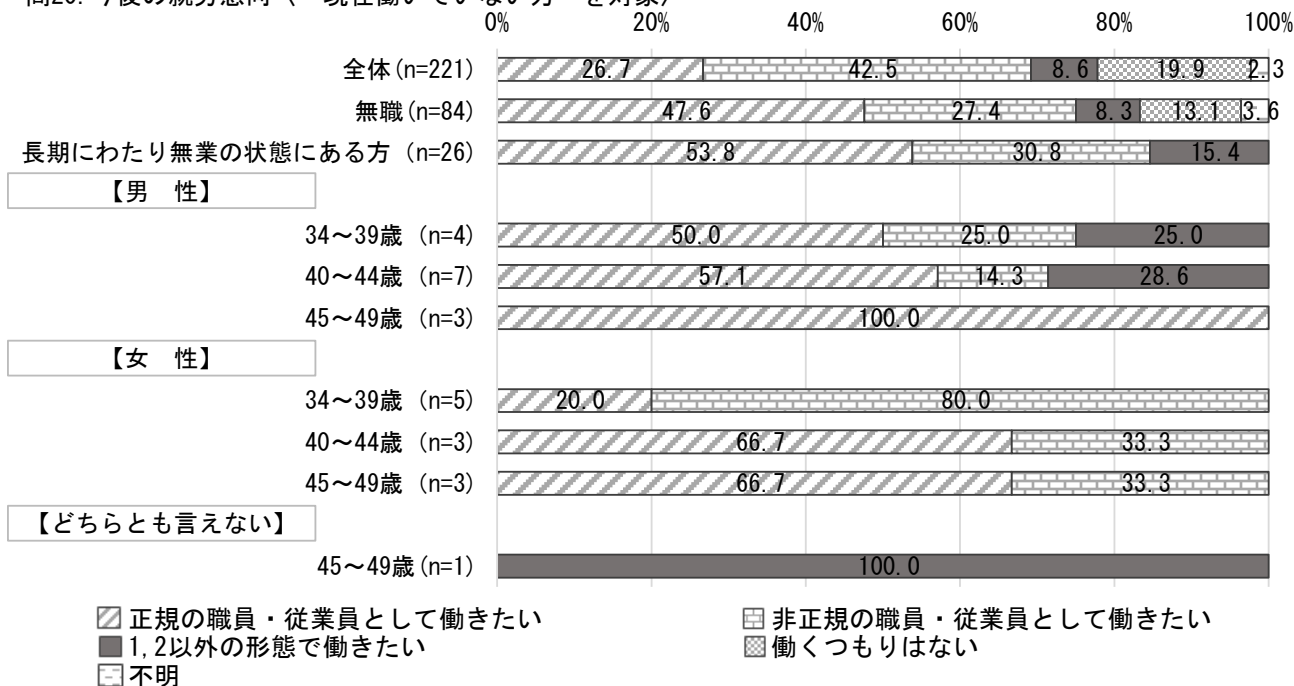
就労意向:

- ・ 現在働いていない理由は「人間関係に不安があるため」、「病気・けがのため」が高く40%以上となっている。また、女性は「仕事を探したが採用されなかったため」も高く、45.5%となっている。
- ・ 今後の就労意向は、男性の半数以上が「正規の職員・従業員として働きたい」を希望しており、年齢が高くなるほど高い傾向にある。女性は34歳~39歳は「非正規の職員・従業員として働きたい」、40~49歳は「正規の職員・従業員として働きたい」を希望する割合が高い。
- ・ 希望する職種は「事務職」が最も高く、次いで「わからない」が23.1%となっている。

問 19. 現在働いていない理由 〈“現在働いていない方” を対象〉

	合計	仕事を 探した が採用 されな かった ため	失業 した ため	転職や 開業 準備 のため に辞 めたり あ るため	希望 する 仕事 があ りそ うに ない ため	知識・ 能力 が不 十分 な ため	人間 関係 に不 安が ある ため	働く のが 嫌な ため	仕事 以外 にや りた いこ とあ るた め	出産・ 育児 のため	介護・ 看護 のため	病気・ けが のため	仕事 と家 事の 両立 が困 難な ため	家族 の理 解が 得ら れな いた ため	急い で仕 事に 就く 必要 がな い	その他	不明	
全体	221	10.0	5.0	3.2	15.4	17.2	19.0	4.5	5.9	28.1	7.2	20.8	23.5	2.3	14.9	8.1	1.4	
無職	84	23.8	10.7	7.1	19.0	23.8	27.4	8.3	7.1	6.0	7.1	33.3	7.1	1.2	9.5	10.7	2.4	
長期にわたり無業の状態にある方	26	30.8	-	3.8	23.1	34.6	46.2	7.7	7.7	-	7.7	42.3	-	-	3.8	11.5	-	
性別	男性	14	21.4	-	7.1	21.4	35.7	50.0	14.3	14.3	-	7.1	28.6	-	-	7.1	21.4	-
	女性	11	45.5	-	-	27.3	36.4	45.5	-	-	-	9.1	54.5	-	-	-	-	-
	どちらとも言えない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	9	55.6	-	-	22.2	55.6	66.7	-	11.1	-	-	55.6	-	-	11.1	11.1	-
	40～44歳	10	10.0	-	-	30.0	40.0	50.0	20.0	10.0	-	10.0	20.0	-	-	-	10.0	-
	45～49歳	7	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	57.1	-	-	-	-	14.3	-

問20. 今後の就労意向 〈“現在働いていない方” を対象〉



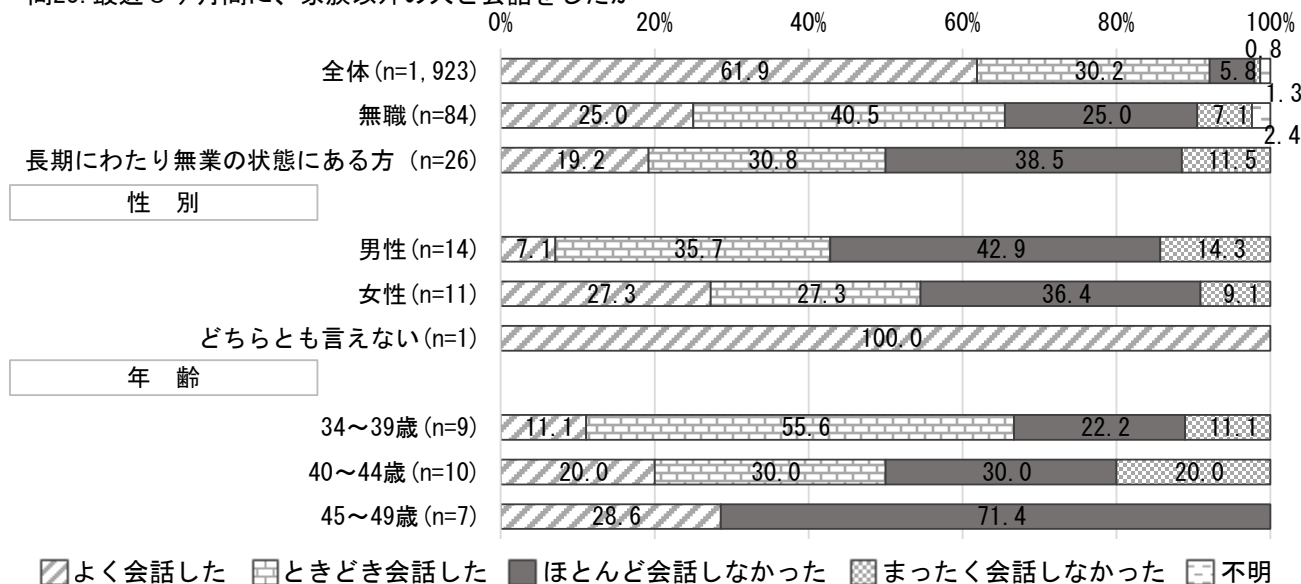
問 21. 希望する職種 〈“現在働いていない方” を対象〉

	合計	製造・生 産工程 職	建設・採 掘職	輸送・機 械運転 職	営業・販 売職	サービス 職業	専門的・ 技術的 職業	管理的職 業	事務職	農林漁業 職	その他 (保安職 など)	職種にこ だわりは ない	わから ない	不明	
全体	172	14.5	2.3	1.2	14.5	27.3	18.6	2.3	38.4	3.5	5.2	14.5	11.6	0.6	
無職	70	18.6	4.3	2.9	12.9	15.7	14.3	2.9	37.1	7.1	12.9	8.6	15.7	-	
長期にわたり無業の状態にある方	26	19.2	-	-	7.7	15.4	19.2	7.7	46.2	7.7	19.2	11.5	23.1	-	
性別	男性	14	14.3	-	-	7.1	28.6	28.6	14.3	50.0	7.1	21.4	21.4	14.3	-
	女性	11	27.3	-	-	9.1	-	9.1	-	45.5	9.1	18.2	-	27.3	-
	どちらとも言えない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
年齢	34～39歳	9	55.6	-	-	-	11.1	11.1	11.1	55.6	22.2	22.2	-	11.1	-
	40～44歳	10	-	-	-	10.0	20.0	10.0	-	40.0	-	10.0	20.0	20.0	-
	45～49歳	7	-	-	-	14.3	14.3	42.9	14.3	42.9	-	28.6	14.3	42.9	-

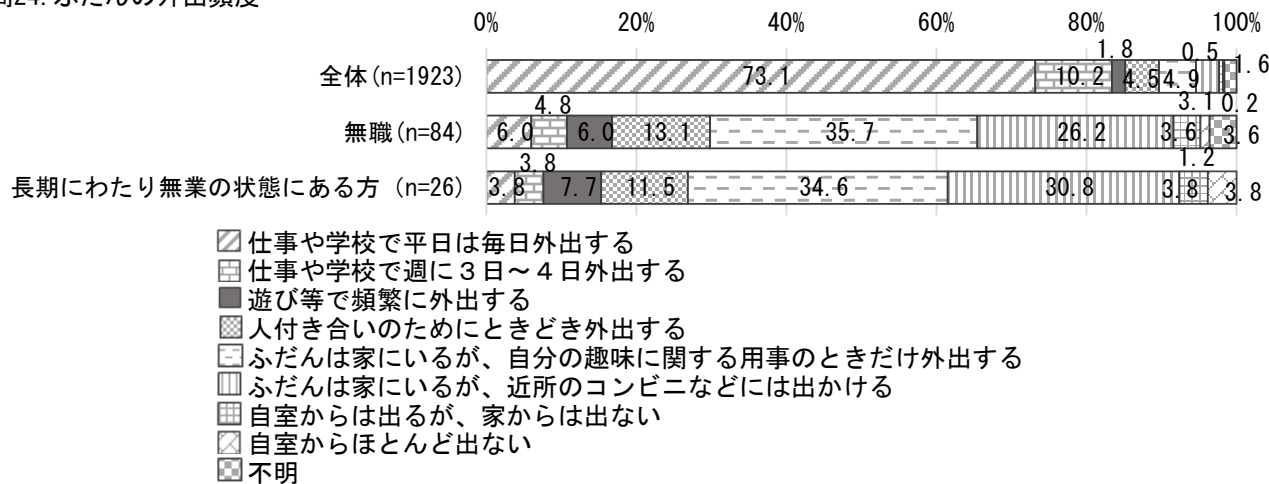
日頃の過ごし方：

- ・最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしたかは、「よく会話した」と「ときどき会話した」を合計した『会話した』と「ほとんど会話しなかった」と「まったく会話しなかった」を合計した『会話しなかった』の割合が同率（50.0%）となり、無職と比較すると『会話しなかった』の割合が17.9ポイント高い。また、年齢が高くなるほど『会話しなかった』の割合が高くなる。
- ・ふだんの外出頻度は、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」と「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の合計で65.4%となっている。
- ・現在利用しているSNSは、男女ともに「LINE」の割合が最も高い（男性は「Twitter」と同率）。また、女性は「LINE」、「Instagram」の割合が、男性より20ポイント以上高く、「Twitter」も18.8ポイント高い。年齢が高いほど「LINE」、「Instagram」の割合が高く、「Twitter」は低くなっている。動画共有サービスは、男性、女性ともに「YouTube」の割合が最も高くなっている。また、女性は「YouTube」の割合が81.8%で、男性より24.7ポイント高い。

問23. 最近6ヶ月間に、家族以外の人と会話をしたか



問24. ふだんの外出頻度



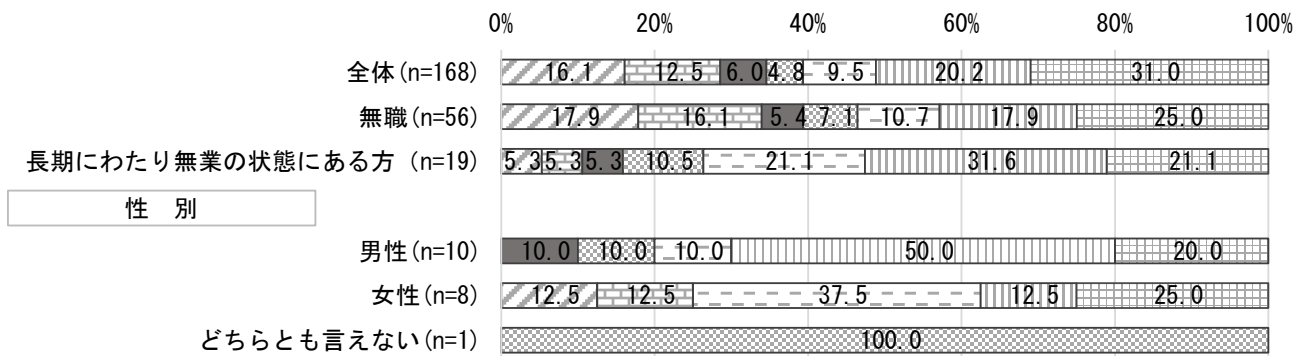
問 29. 現在利用している SNS や動画共有サービス

	合計	SNS					動画共有サービス				その他	特にない	不明	
		LINE	Twitter	Instagram	Facebook	note	TikTok	YouTube	ニコニコ動画	Vimeo				
全体	1,923	87.7	23.5	34.8	23.9	0.9	4.5	62.8	3.2	0.1	1.1	5.5	1.4	
無職	84	58.3	27.4	16.7	9.5	-	4.8	54.8	6.0	-	2.4	19.0	3.6	
長期にわたり無業の状態にある方	26	50.0	42.3	19.2	7.7	-	3.8	65.4	11.5	-	-	23.1	-	
性別	男性	14	35.7	35.7	7.1	-	-	7.1	57.1	14.3	-	-	28.6	-
	女性	11	63.6	54.5	27.3	9.1	-	-	81.8	9.1	-	-	18.2	-
	どちらとも言えない	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	9	44.4	66.7	11.1	11.1	-	-	66.7	22.2	-	-	22.2	-
	40～44歳	10	50.0	30.0	20.0	-	-	10.0	60.0	10.0	-	-	30.0	-
	45～49歳	7	57.1	28.6	28.6	14.3	-	-	71.4	-	-	-	14.3	-

現在の状態・相談意向・不安に思っていること

- ・現在の状態になってどのくらい経つかは「5年～10年未満」と「10年以上」を合計した『5年以上』が52.7%となっており、特に男性は70.0%となっている。
- ・現在の状態になったきっかけは「人間関係がうまくいかなかったこと」が57.9%となっており、全体より40ポイント以上、無職より20ポイント以上高い。「就職活動がうまくいかなかったこと」も31.6%と全体より20ポイント以上高い。どちらの選択肢も年齢が若くなるほど高く、特に「34歳～39歳」で高い。また、性別で見ると男性は女性と比べて「就職活動がうまくいかなかったこと」、女性は男性と比べて「病気」の割合が高くなっている。
- ・現在の状態について関係機関に相談したいと思うかは「非常に思う」と「思う」と「少し思う」を合計した『思う』が73.8%で、全体、無職より20ポイント以上高い。現在の状態になってどのくらい経つかで見ると、『5年以上』の方のみ「非常に思う」の回答がみられる。
- ・どのような機関なら、相談したいと思うかは「無料で相談できる」、「自宅から近い」が57.9%で最も高い。また、「無料で相談できる」、「自宅から近い」、「心理学の専門家がいる」、「精神科医がいる」、「オンラインで相談できる」の割合が全体より20ポイント以上高い。さらに性別では、どの選択肢においても女性が男性より高くなっている。
- ・相談窓口やセミナーなどの利用意向は、多くの項目で利用したい意向が高い。特に「相談・カウンセリング」、「適職診断」、「コミュニケーション力向上講座」、「職場体験・職場見学」、「求人企業の紹介・マッチング」は「平日の昼間に利用したい」の割合が50%以上となっている。
- ・将来の生活も含めて、今不安に思っていることは、「今後の収入や資産の見通し」が最も高く、次いで「現在の収入や資産」、「自分の健康」、「就職・転職」となっている。「就職・転職」が全体より43.1ポイント、「現在の収入や資産」、「職場の人間関係」も全体より20ポイント以上高くなっている。男性は女性より「今後の収入や資産の見通し」が、女性は男性より「就職・転職」、「職場の人間関係」「自分の健康」が20ポイント以上高い。年齢別では、年齢が高くなるほど「現在の収入や資産」、「今後の収入や資産の見通し」の割合が高くなっている。

問25. 現在の状態になってどのくらい経つか

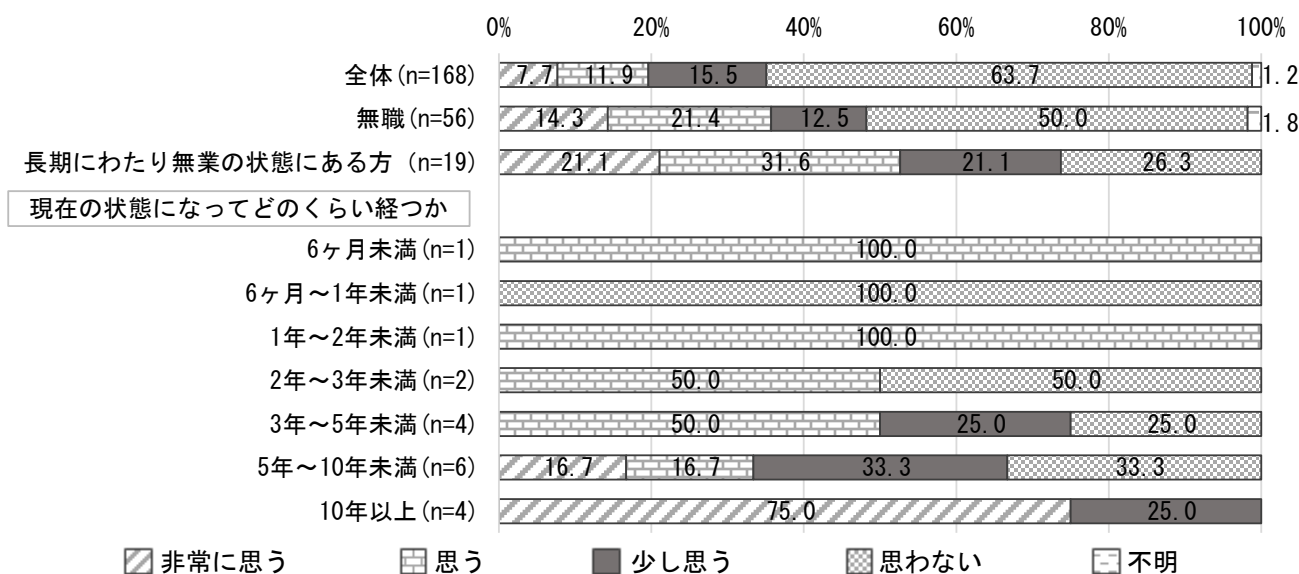


▨ 6ヶ月未満 ▩ 6ヶ月～1年未満 ■ 1年～2年未満 ▧ 2年～3年未満 □ 3年～5年未満 ▤ 5年～10年未満 ▦ 10年以上 □ 不明

問26. 現在の状態になったきっかけ

	合計	学生時代の不登校	受験に失敗したこと (高校・大学等)	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	特にない	分からない	その他	不明
全体	168	1.2	1.2	8.9	7.1	16.1	21.4	13.1	22.6	3.0	21.4	4.2	13.7	0.6
無職	56	3.6	3.6	23.2	12.5	33.9	33.9	3.6	37.5	5.4	1.8	1.8	7.1	-
長期にわたり無業の状態にある方	19	10.5	5.3	31.6	21.1	57.9	36.8	-	21.1	10.5	5.3	-	5.3	-
性別														
男性	10	20.0	10.0	40.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0	-	-	-
女性	8	-	-	25.0	25.0	62.5	50.0	-	25.0	12.5	-	-	12.5	-
どちらとも言えない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢														
34～39歳	7	28.6	14.3	57.1	28.6	71.4	28.6	-	28.6	-	-	-	-	-
40～44歳	7	-	-	14.3	14.3	57.1	14.3	-	28.6	28.6	14.3	-	-	-
45～49歳	5	-	-	20.0	20.0	40.0	80.0	-	-	-	-	-	20.0	-

問27. 現在の状態について関係機関に相談したいと思うか



▨ 非常に思う ▩ 思う ■ 少し思う ▧ 思わない □ 不明

問 28. どのような機関なら、相談したいと思うか

		合計	親身に聴いてくれる	医学的な言葉をくれる	心理学の専門家がいる	精神科医がいる	同じ悩みを持つ人と出える	無料で相談できる	匿名で（自分前を知られずに）相談できる	公共機関の人や医療の専門家ではなく、民間団体（NPOなど）である	自宅に専門家が来られる	自宅から近い	オンラインで相談できる	あてはまるものはない	どのような機関にも相談したくない	その他	不明
全体		168	34.5	13.1	17.9	13.7	13.1	36.3	19.6	1.8	4.8	26.8	9.5	13.7	16.7	4.8	3.0
無職		56	46.4	26.8	28.6	21.4	12.5	50.0	26.8	3.6	5.4	33.9	14.3	3.6	10.7	-	3.6
長期にわたり無業の状態にある方		19	52.6	26.3	47.4	36.8	21.1	57.9	26.3	10.5	5.3	57.9	31.6	-	5.3	-	-
性別	男性	10	50.0	10.0	40.0	10.0	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0	40.0	30.0	-	-	-	-
	女性	8	50.0	37.5	50.0	75.0	37.5	75.0	37.5	12.5	-	75.0	37.5	-	12.5	-	-
	どちらとも言えない	1	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	7	42.9	28.6	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	28.6	14.3	71.4	14.3	-	-	-	-
	40～44歳	7	42.9	-	42.9	28.6	-	42.9	-	-	-	42.9	42.9	-	14.3	-	-
	45～49歳	5	80.0	60.0	60.0	40.0	20.0	80.0	20.0	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-
現在の状態を関係機関に相談したいか	非常に思う	4	100.0	50.0	75.0	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	75.0	50.0	-	-	-	-
	思う	6	66.7	50.0	66.7	50.0	33.3	66.7	33.3	16.7	-	66.7	16.7	-	-	-	-
	少し思う	4	50.0	-	25.0	50.0	-	50.0	-	-	-	75.0	-	-	-	-	-
	思わない	5	-	-	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0	-	20.0	-	-
現在の状態になつてからの期間	6ヶ月未満	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	6ヶ月～1年未満	1	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	1年～2年未満	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	2年～3年未満	2	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	3年～5年未満	4	-	25.0	25.0	75.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-
	5年～10年未満	6	66.7	-	66.7	16.7	16.7	66.7	33.3	16.7	16.7	50.0	33.3	-	-	-	-
	10年以上	4	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	50.0	-	-	-	-

問 30. 相談窓口やセミナーなどを利用しやすい曜日・時間帯・形式

	曜日・時間帯			形式		利用したいと思わない	不明
	平日の昼間に利用したい	平日の夜間に利用したい	土日祝日に利用したい	窓口や会場で利用したい	オンラインにより自宅で利用したい		
A. 相談・カウンセリング	65.4	3.8	15.4	38.5	19.2	19.2	7.7
B. 適職診断	57.7	7.7	15.4	26.9	30.8	19.2	3.8
C. コミュニケーション力向上講座	50.0	7.7	11.5	30.8	19.2	38.5	3.8
D. 資格取得訓練講座	38.5	15.4	15.4	30.8	19.2	34.6	7.7
E. 職場体験・職場見学	50.0	7.7	11.5	30.8	15.4	26.9	7.7
F. 応募書類の添削・模擬面接	46.2	7.7	11.5	23.1	26.9	34.6	3.8
G. 求人企業の紹介・マッチング	50.0	7.7	11.5	26.9	34.6	30.8	3.8
H. 合同企業説明会	26.9	7.7	3.8	26.9	11.5	50.0	7.7

問 31. 将来の生活も含めて、今不安に思っていること

	合計	現在の収入や資産	今後の収入や資産の見通し	キャリア形成	転職・出向	解雇・リストラ	勤務先の将来（倒産など）	就職・転職	職場の人間関係	結婚	子育てや子どもの教育	仕事と家庭の両立	自分の健康	親の健康・介護	その他	特になし	不明	
全体	1,923	41.5	60.1	10.5	5.3	11.0	19.4	10.7	16.8	7.9	28.2	20.4	44.9	51.8	2.0	5.6	1.2	
無職	84	45.2	57.1	15.5	2.4	6.0	2.4	44.0	29.8	14.3	8.3	11.9	44.0	45.2	1.2	7.1	2.4	
長年にわたり無業の状態にある方	26	69.2	73.1	15.4	3.8	11.5	7.7	53.8	38.5	26.9	7.7	7.7	57.7	42.3	-	3.8	-	
性別	男性	14	71.4	85.7	14.3	-	14.3	7.1	42.9	28.6	21.4	7.1	7.1	42.9	35.7	-	7.1	-
	女性	11	63.6	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	63.6	54.5	36.4	9.1	9.1	72.7	45.5	-	-	-
	どちらとも言えない	1	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
年齢	34～39歳	9	44.4	55.6	22.2	11.1	22.2	22.2	44.4	44.4	33.3	-	11.1	66.7	44.4	-	11.1	-
	40～44歳	10	80.0	80.0	10.0	-	10.0	-	60.0	50.0	30.0	-	-	30.0	10.0	-	-	-
	45～49歳	7	85.7	85.7	14.3	-	-	-	57.1	14.3	14.3	28.6	14.3	85.7	85.7	-	-	-

③社会参加に向けた支援を必要とする方についての集計・分析

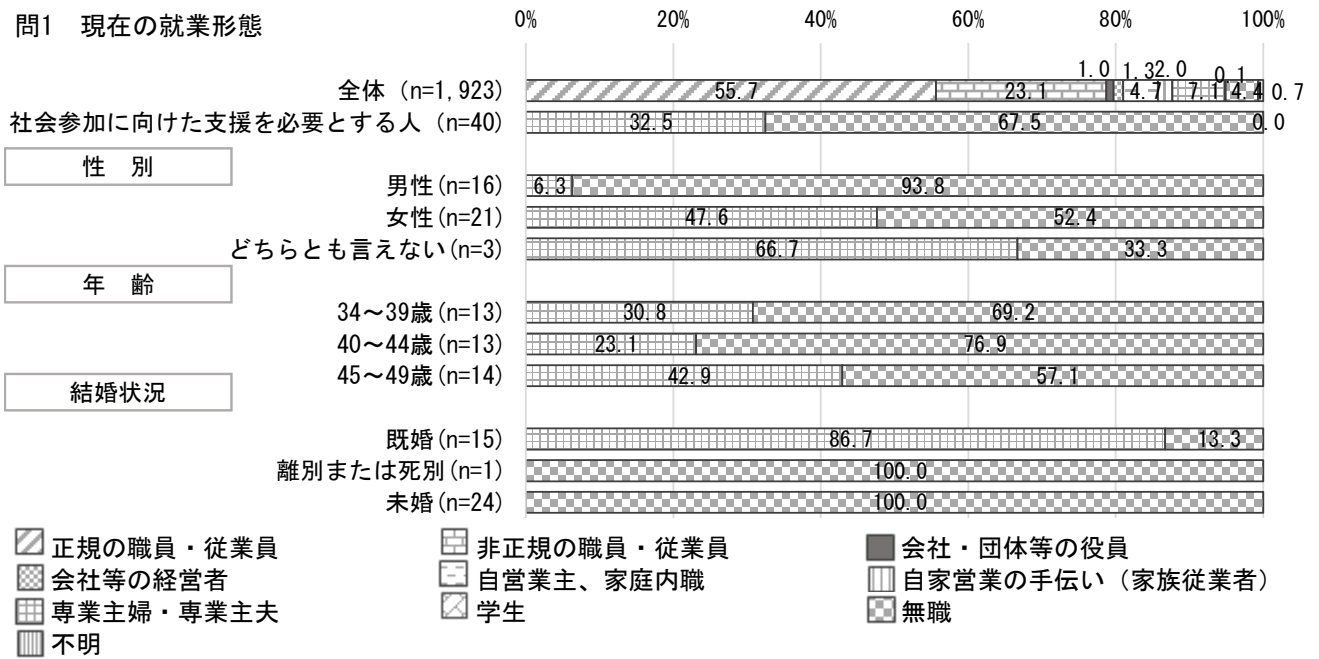
要旨

- ・就業形態では、「無職」が67.5%、「専業主婦・主夫」が32.5%となっている。性別では女性の割合が高い。男性は未婚の割合が高いが、女性は未婚と既婚が同程度である。
- ・学卒時に最初に就いた仕事の実業形態について、男性は「非正規の職員・従業員」の割合が「正規の職員・従業員」より高く、「働いたことがない」が25.0%となっている。
- ・現在働いていない理由は、「病気・けがのため」のほか、「人間関係に不安があるため」、「知識・能力に自信がないため」の割合が高い。就労意向で見ると、男性は若いほど正規の職員・従業員を希望する割合が高い。
- ・家族以外との会話は、全体や国と比較しても「よく会話した」と「ときどき会話した」を合計した『会話した』の割合が低く、特に女性は「ほとんど会話しなかった」が多い。
- ・現在の状態になってからの期間は5年以上の割合が52.5%となっている。きっかけは、男性が「就職活動がうまくいかなかったこと」、女性は「病気」の割合が高い。関係機関への相談意向については、「非常に思う」と「思う」と「少し思う」を合計した『相談したい』の割合が国より高く、男性では半数を超える。
- ・将来の生活も含めて、今不安に思っていることは、今後の収入や資産、親や自身の健康、就職・転職で高くなっている。

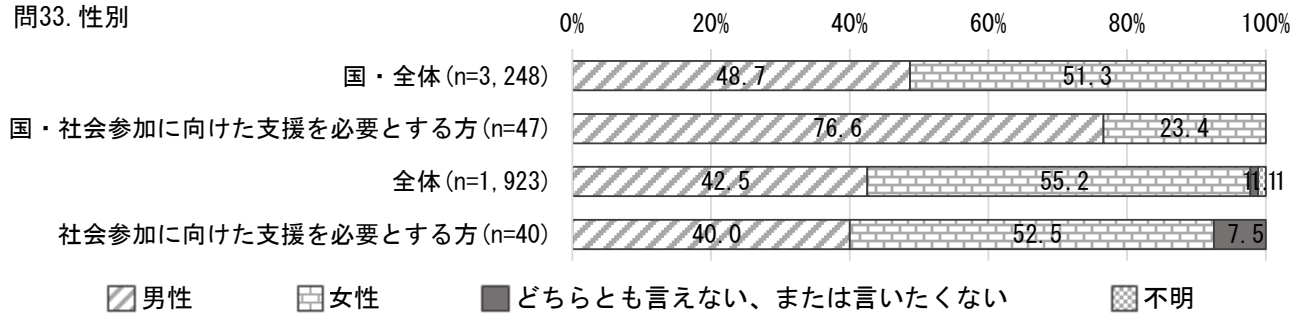
※比較対象とした国の調査は、内閣府「生活状況に関する調査」である。同調査は、対象年齢が40～64歳であることに注意が必要。

属性：

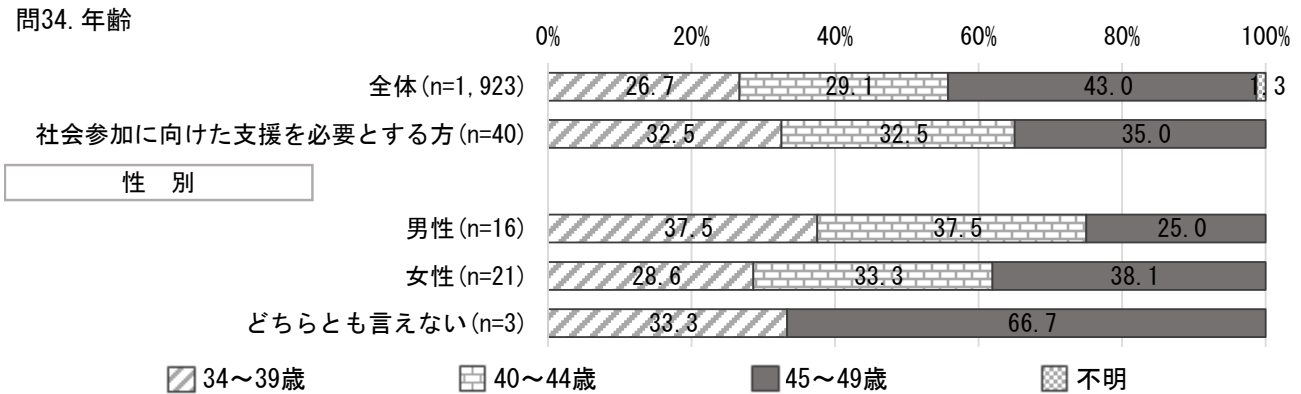
- ・現在の就業形態では、男性は「無職」の割合が最も高く93.8%、女性は「無職」(52.4%)の割合が「専業主婦・専業主夫」(47.6%)よりやや高くなっている。
- ・性別では、「女性」が52.5%となっており、国と比較すると29.1ポイント高い。
- ・最終学歴では、「高校卒業」が47.5%となっており、国、全体と比較すると10ポイント以上高い。
- ・結婚状況では、男性は「未婚」が87.5%と最も高い。女性は「既婚」が52.4%となっており「未婚」(47.6%)よりやや高い。
- ・同居している家族、最も家計を負担している人はいずれも、既婚は「配偶者」、未婚は「親」が最も高くなっている。



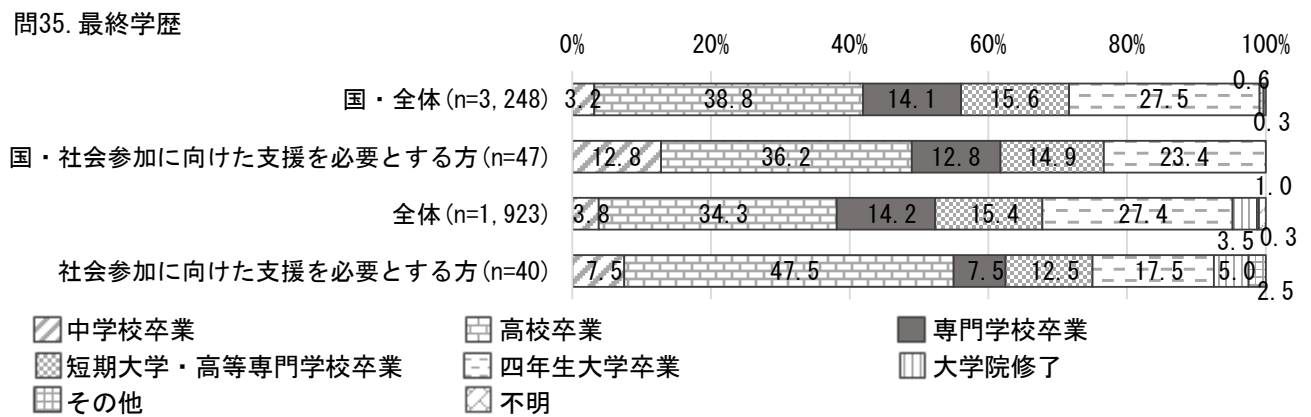
問33. 性別



問34. 年齢

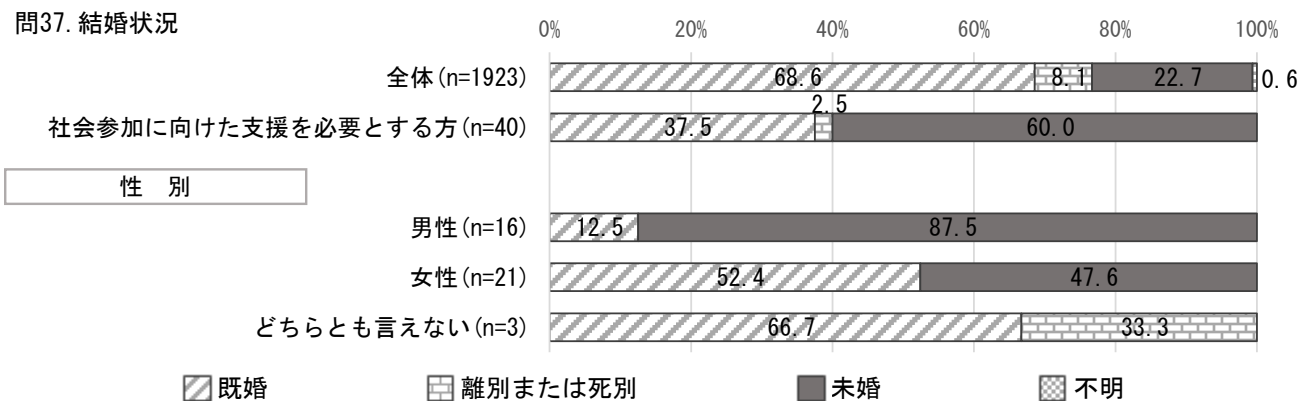


問35. 最終学歴



※国の調査は「大学・大学院」の選択肢のため、四年制大学卒業に大学院修了を含めている

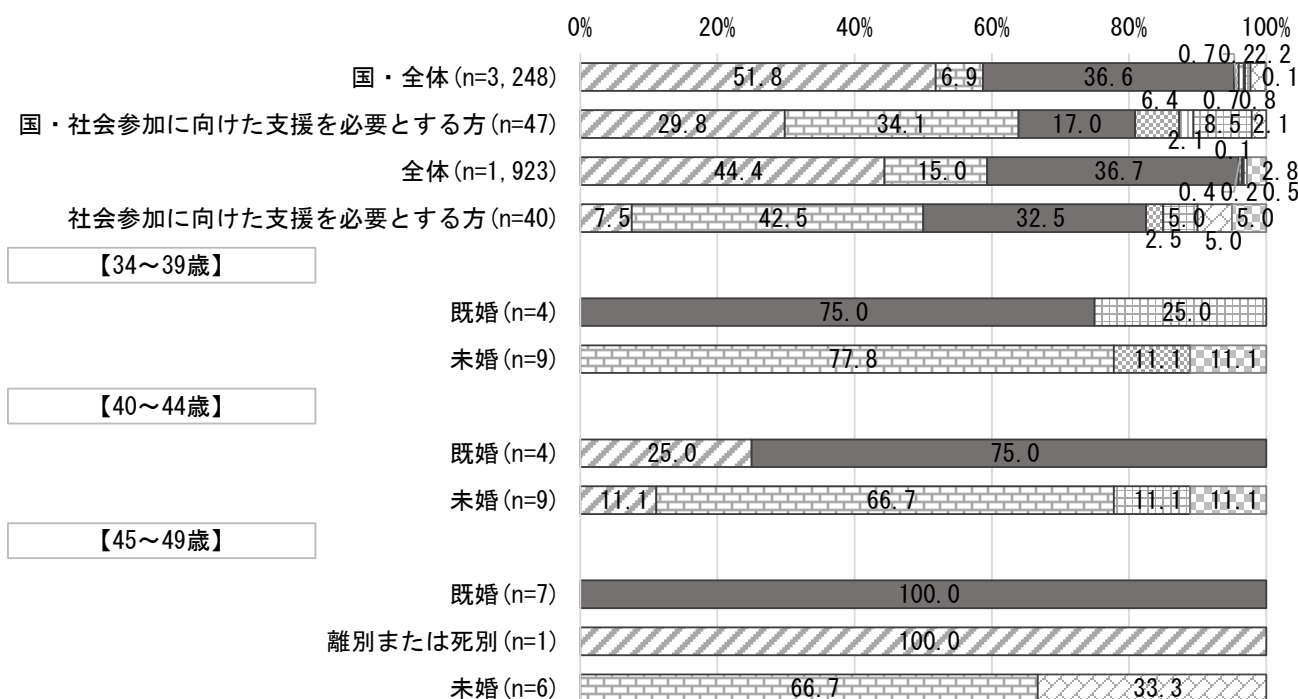
問37. 結婚状況



問 40. 同居している家族

		合計	配偶者（事実婚を含む）	子ども	あなたの親	配偶者の親	あなた又は配偶者の兄弟姉妹	あなた又は配偶者の祖父母	その他	同居している家族はいない	不明
県	全体	1,923	67.0	62.4	29.0	6.0	4.3	1.9	0.7	5.7	0.9
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	35.0	27.5	52.5	2.5	17.5	-	-	10.0	-
性別	男性	16	6.3	6.3	75.0	-	6.3	-	-	18.8	-
	女性	21	52.4	38.1	42.9	4.8	28.6	-	-	4.8	-
	どちらとも言えない	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-
年齢	34～39歳	13	30.8	23.1	69.2	7.7	23.1	-	-	-	-
	40～44歳	13	23.1	23.1	46.2	-	23.1	-	-	30.8	-
	45～49歳	14	50.0	35.7	42.9	-	7.1	-	-	-	-
結婚状況	既婚	15	93.3	66.7	-	6.7	-	-	-	6.7	-
	離別または死別	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	未婚	24	-	-	87.5	-	29.2	-	-	12.5	-

問41. 最も家計を負担している人



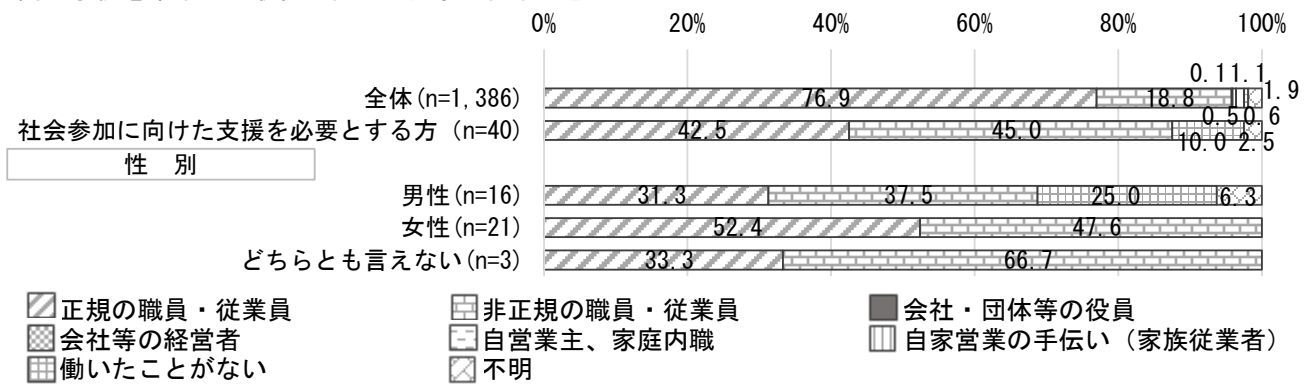
□あなた自身 ■親 ■配偶者 □兄弟姉妹 □子ども ■他の家族や親戚 ■生活保護などを受けている □その他 □不明

※国の調査の「父」「母」の選択肢を合算し「親」として集計。「年金などを受けている」は「その他」として集計。

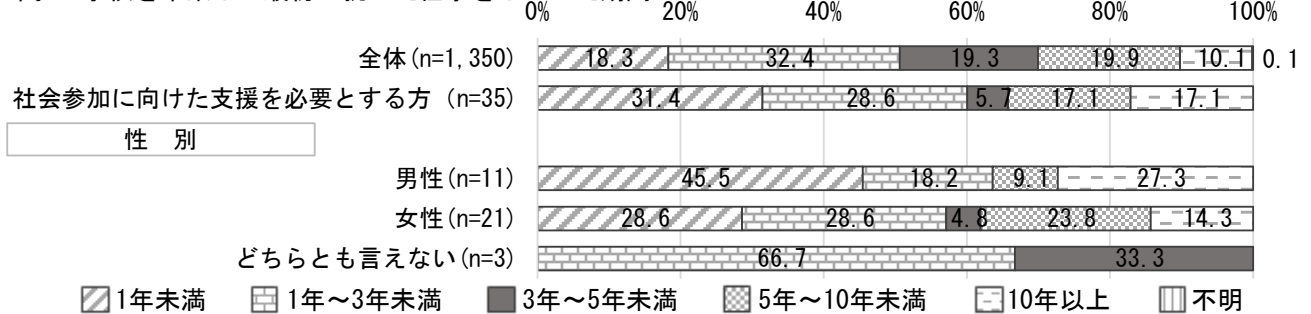
学卒時からの就業経験：

- ・学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態は「非正規の職員・従業員」の割合が45.0%、「正規の職員・従業員」が42.5%となっている。男性は「働いたことがない」が25.0%と高くなっている。
- ・学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間は、男性は「1年未満」が45.5%、「1年未満」と「1年～3年未満」を合計した『3年未満』では63.7%となっている。一方で「10年以上」の割合も27.3%と高い。

問8. 学校を卒業して最初に就いた仕事の就業形態



問10. 学校を卒業して最初に就いた仕事をしてきた期間



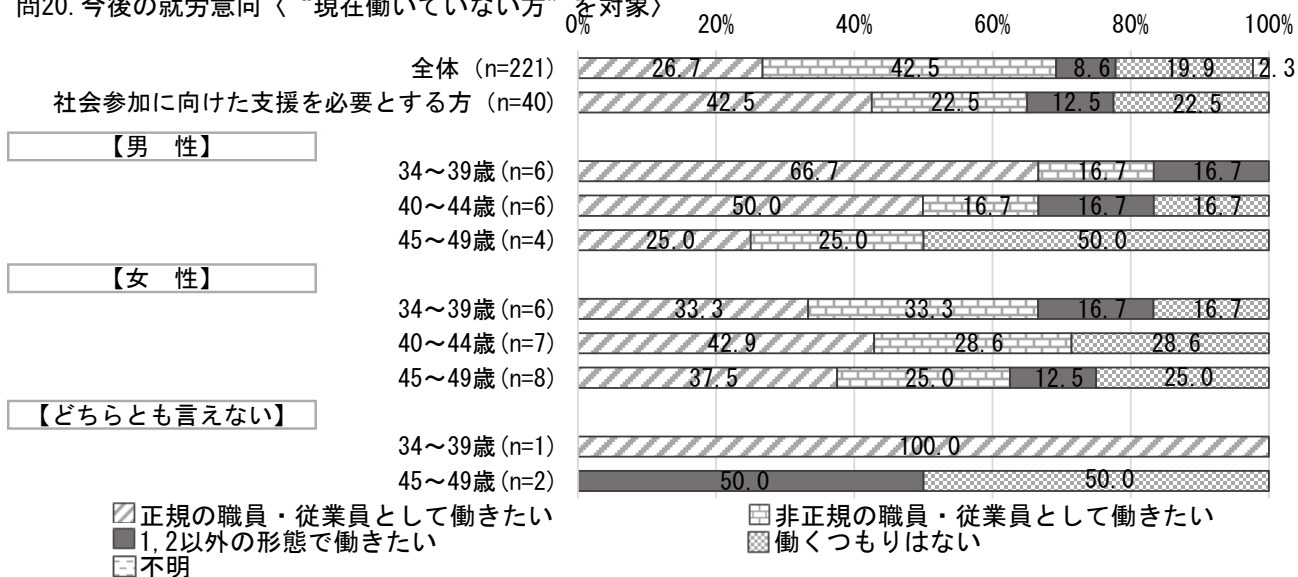
就労意向：

- ・ 現在働いていない理由は「人間関係に不安があるため」の割合が42.5%で最も高く、全体より23.5ポイント高い。また「病気・けがのため」(40.0%)も全体より19.2ポイント高い。男性は「仕事を探したが採用されなかったため」、女性は「出産・育児のため」、「仕事と家庭の両立が困難なため」が高く、男女差がみられる。
- ・ 今後の就労意向は「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が42.5%と最も高い。男性は年齢が若いほど「正規の職員・従業員として働きたい」の割合が高くなっている。
- ・ 希望する職種は、男性は「事務職」の割合が最も高く、次いで「サービス職業」となっており、いずれも女性より10ポイント以上高い。女性は「事務職」と「わからない」が同率で最も高くなっている。

問 19. 現在働いていない理由 〈“現在働いていない方”を対象〉

		合計	仕事を 探したが 採用され なかった ため	失業した ばかりで あるため	転職や 開業準備 のために 前職を辞 めたばかり のため	希望する 仕事があり そうにない ため	知識・能力に 自信がない ため	人間関係に 不安がある ため	働くのが 嫌なため	仕事以外に やりたいこと があるため	出産・育児 のため	介護・看護 のため	病気・けが のため	仕事と家事 の両立が 困難なため	家族の理解 が得られない ため	急いで 仕事に就く 必要がない	その他	不明
県	全体	221	10.0	5.0	3.2	15.4	17.2	19.0	4.5	5.9	28.1	7.2	20.8	23.5	2.3	14.9	8.1	1.4
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	20.0	2.5	2.5	22.5	35.0	42.5	10.0	7.5	15.0	-	40.0	17.5	-	2.5	12.5	-
性別	男性	16	37.5	6.3	6.3	25.0	37.5	43.8	25.0	18.8	-	-	31.3	-	-	-	18.8	-
	女性	21	9.5	-	-	23.8	33.3	47.6	-	-	23.8	-	47.6	28.6	-	-	9.5	-
	どちらとも言えない	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
年齢	34～39歳	13	38.5	-	-	15.4	46.2	46.2	7.7	7.7	30.8	-	46.2	7.7	-	7.7	7.7	-
	40～44歳	13	7.7	7.7	7.7	30.8	46.2	46.2	15.4	15.4	7.7	-	23.1	15.4	-	-	15.4	-
	45～49歳	14	14.3	-	-	21.4	14.3	35.7	7.1	-	7.1	-	50.0	28.6	-	-	14.3	-
現在の状態になつてどのくらい経つたか	6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6ヶ月～1年未満	7	42.9	14.3	14.3	42.9	42.9	71.4	-	-	14.3	-	14.3	28.6	-	-	28.6	-
	1年～2年未満	5	-	-	-	40.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-
	2年～3年未満	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
	3年～5年未満	5	-	-	-	-	40.0	20.0	20.0	-	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-
	5年～10年未満	12	25.0	-	-	16.7	33.3	33.3	8.3	16.7	25.0	-	33.3	8.3	-	8.3	8.3	-
	10年以上	9	22.2	-	-	22.2	44.4	55.6	22.2	11.1	-	-	55.6	11.1	-	-	11.1	-

問20. 今後の就労意向 〈“現在働いていない方”を対象〉



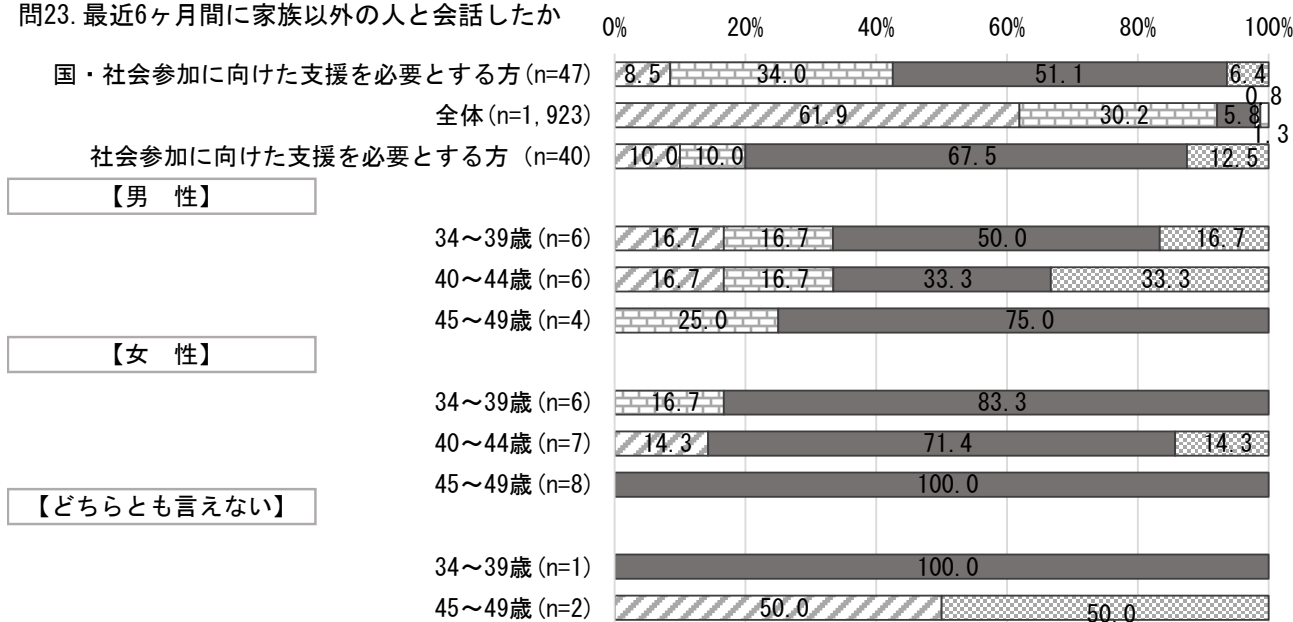
問 21. 希望する職種 〈“現在働いていない方”を対象〉

		合計	製造・生産 工程職	建設・探 掘職	輸送・機 械運転職	営業・販 売職	サービス 職業	専門的・ 技術的職 業	管理的職 業	事務職	農林漁業 職	その他 (保安職 など)	職種にこ だわりは ない	わからな い	不明
県	全体	172	14.5	2.3	1.2	14.5	27.3	18.6	2.3	38.4	3.5	5.2	14.5	11.6	0.6
	社会参加に向けた支援を必要とする方	31	25.8	3.2	-	6.5	19.4	16.1	6.5	41.9	12.9	12.9	9.7	25.8	-
性別	男性	13	30.8	7.7	-	7.7	30.8	23.1	15.4	53.8	15.4	23.1	7.7	7.7	-
	女性	16	25.0	-	-	6.3	12.5	12.5	-	37.5	12.5	6.3	6.3	37.5	-
	どちらとも言えない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	合計	21	25.0	-	-	6.3	12.5	12.5	-	37.5	12.5	6.3	6.3	37.5	-
年齢	34～39歳	12	41.7	8.3	-	-	8.3	16.7	8.3	41.7	33.3	16.7	25.0	-	-
	40～44歳	10	20.0	-	-	-	20.0	10.0	-	40.0	-	-	-	40.0	-
	45～49歳	9	11.1	-	-	22.2	33.3	22.2	11.1	44.4	-	22.2	-	44.4	-

日頃の過ごし方：

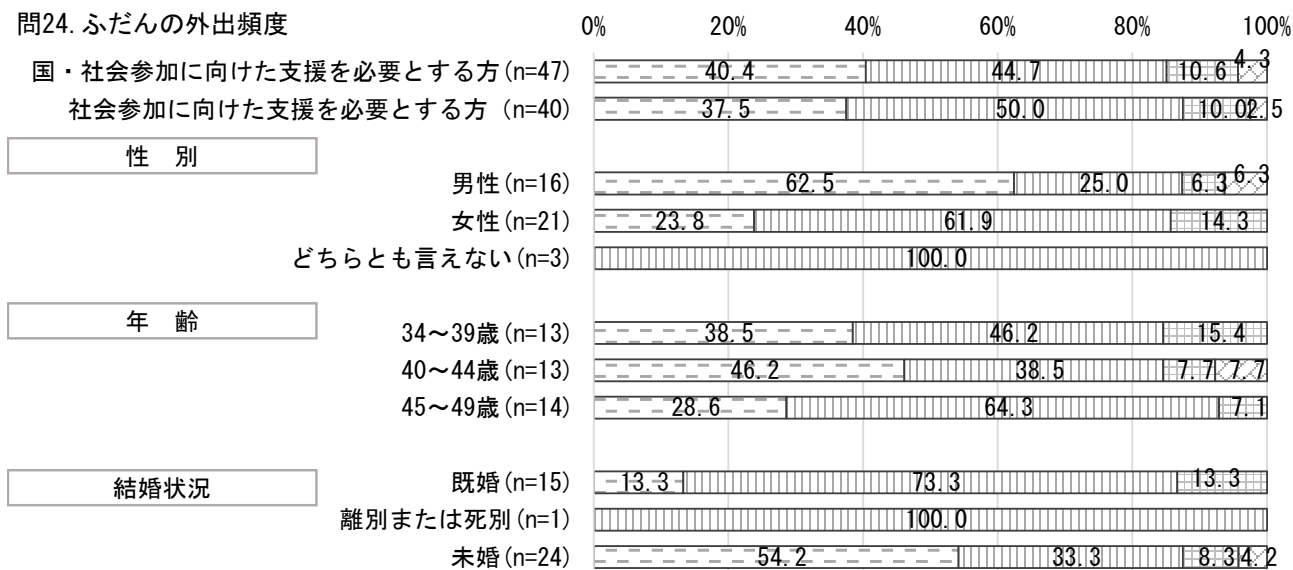
- ・最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したかは、「ほとんど会話しなかった」と「まったく会話しなかった」を合計した『会話しなかった』の割合が80.0%となっており、国より22.5ポイント高い。女性は年齢に関わらず「ほとんど会話しなかった」が高い。
- ・ふだんの外出頻度は、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の割合の合計で87.5%となっている。
- ・現在利用しているSNSは、男性は「Twitter」の割合が最も高く37.5%、次いで「LINE」となっている。女性は「LINE」の割合が最も高く、男性より35.4ポイント高くなっている。動画共有サービスは、いずれの属性も「YouTube」の割合が最も高くなっており、男性は女性(42.9%)より38.4ポイント高くなっている。

問23. 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したか



よく会話した
 ときどき会話した
 ほとんど会話しなかった
 まったく会話しなかった
 不明

問24. ふだんの外出頻度



ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
 自室からは出るが、家からは出ない
 自室からほとんど出ない
 不明

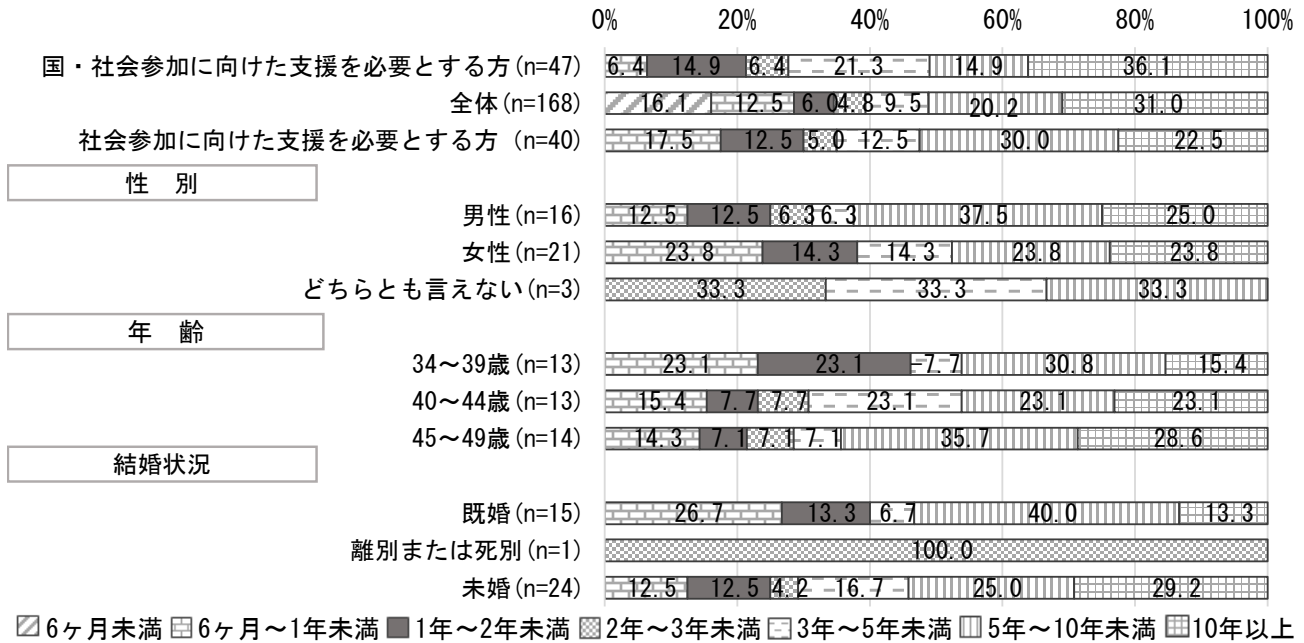
問 29. 現在利用している SNS や動画共有サービス

	合計	SNS					動画共有サービス				その他	特にない	不明	
		LINE	Twitter	Instagram	Facebook	note	TikTok	YouTube	ニコニコ動画	Vimeo				
全体	1,923	87.7	23.5	34.8	23.9	0.9	4.5	62.8	3.2	0.1	1.1	5.5	1.4	
県 社会参加に向けた支援 を必要とする方	40	50.0	22.5	15.0	5.0	-	2.5	55.0	7.5	-	-	22.5	-	
性別	男性	16	31.3	37.5	6.3	6.3	-	6.3	81.3	18.8	-	-	18.8	-
	女性	21	66.7	14.3	19.0	-	-	-	42.9	-	-	-	19.0	-
	どちらとも言えない	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-
年齢	34～39歳	13	46.2	38.5	7.7	-	-	-	53.8	15.4	-	-	23.1	-
	40～44歳	13	53.8	23.1	15.4	7.7	-	7.7	53.8	7.7	-	-	23.1	-
	45～49歳	14	50.0	7.1	21.4	7.1	-	-	57.1	-	-	-	21.4	-

現在の状態・相談意向・不安に思っていること：

- ・現在の状況になってどのくらい経つかは「5年～10年未満」と「10年以上」を合計した『5年以上』の割合が52.5%となっている。また、国と比べて「6ヶ月未満」と「6ヶ月～1年未満」を合計した『1年未満』の割合が11.1ポイント高くなっている。既婚は『1年未満』の割合が未婚より14.2ポイント高くなっている。
- ・現在の状態になったきっかけは、「病気」、「人間関係がうまくいかなかったこと」が高く、いずれも30%以上となっている。国と比較すると「就職活動がうまくいかなかったこと」、「病気」が10ポイント以上高く、「退職したこと」が低い。男性は「就職活動がうまくいかなかったこと」が43.8%で特に高くなっている。
- ・現在の状態について関係機関に相談したいと思うかは「非常に思う」と「思う」と「少し思う」を合計した『思う』の割合が57.5%で、全体や国と比較すると10ポイント以上高い。男性は『思う』の割合が62.6%となっており、女性より15.1ポイント高くなっている。最近6ヶ月間に家族以外の人と会話したかで見ると、ほとんど会話しなかった方、会話しなかった方は、『思う』の割合が50%を超えている。またふだんの外出頻度で見ると、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」方と「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」方は『思う』の割合が50%を超えている。
- ・どのような機関なら相談したいと思うかは、「無料で相談できる」、「親身に聴いてくれる」、「自宅から近い」が30%以上となっている。国と比較すると「自宅から近い」、「親身に聴いてくれる」、「心理学の専門家がいる」、「匿名で相談できる」の割合が10ポイント以上高い。
- ・将来の生活も含めて、今不安に思っていることは、「今後の収入や資産の見通し」(75.0%)、「親の健康・介護」(62.5%)、「現在の収入や資産」・「自分の健康」(55.0%)、「就職・転職」(37.5%)、「職場の人間関係」(27.5%)が高く、全体よりそれぞれ10ポイント以上高い。女性は「親の健康・介護」、「自分の健康」、「仕事と家庭の両立」、「子育てや子どもの教育」が男性より20ポイント以上高い。年齢が若いほど「今後の収入や資産の見通し」、「就職・転職」、「結婚」が高い傾向にあり、年齢が高いほど「現在の収入や資産」が高くなっている。

問25. 現在の状況になってどのくらい経つか



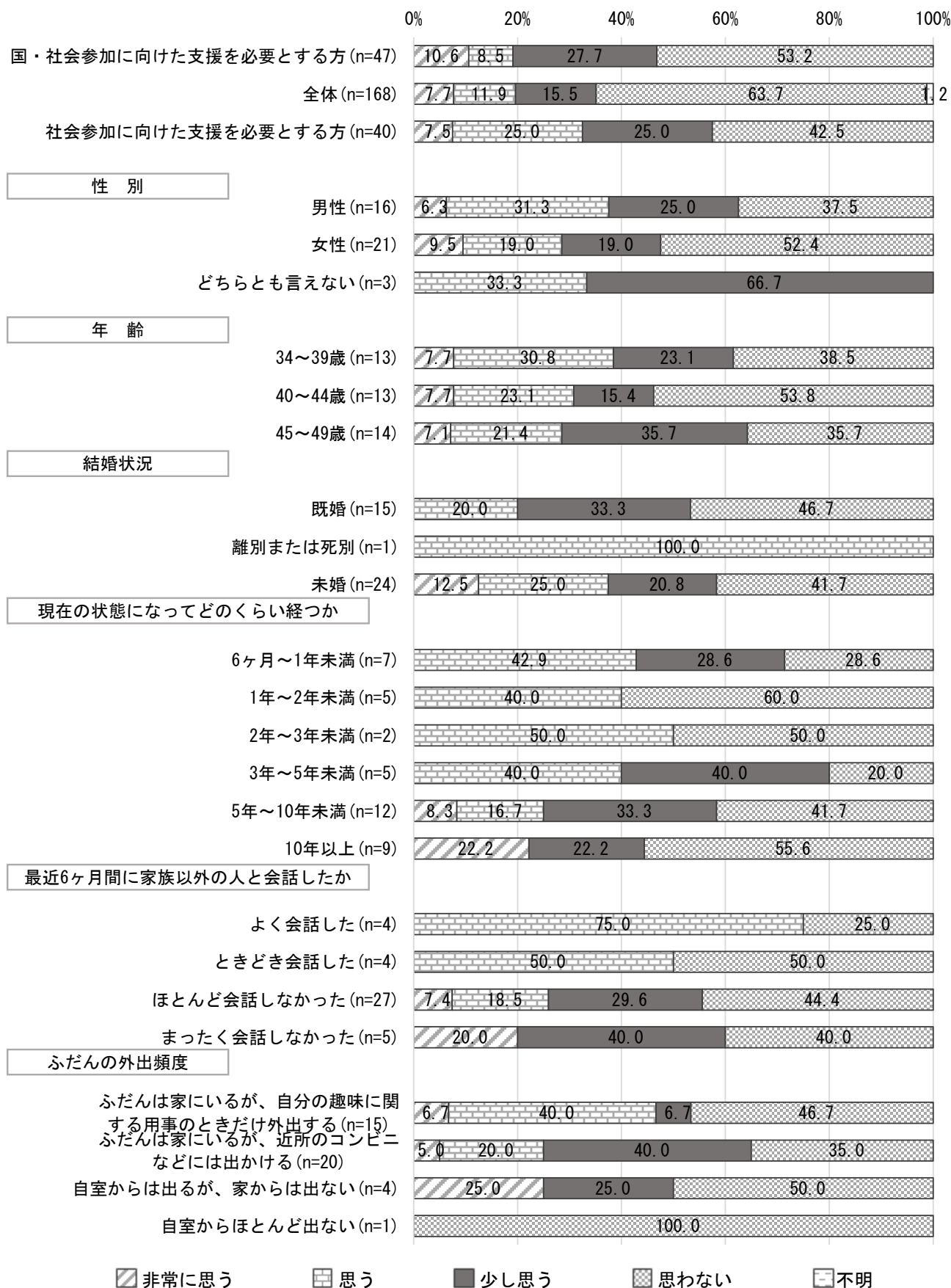
6ヶ月未満
 6ヶ月～1年未満
 1年～2年未満
 2年～3年未満
 3年～5年未満
 5年～10年未満
 10年以上

問 26. 現在の状態になったきっかけ

	合計	学生時代の不登校	受験に失敗したこと	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	特にない	分からない	その他	不明
国	47	8.5	2.1	6.4	19.1	21.3	21.3	2.1	36.2	-	8.5	6.4	14.9	-
県	168	1.2	1.2	8.9	7.1	16.1	21.4	13.1	22.6	3.0	21.4	4.2	13.7	0.6
	40	5.0	2.5	20.0	17.5	30.0	32.5	10.0	25.0	2.5	7.5	5.0	7.5	-
性別	16	12.5	6.3	43.8	12.5	31.3	25.0	-	25.0	-	12.5	-	6.3	-
	21	-	-	4.8	19.0	33.3	38.1	14.3	23.8	4.8	4.8	9.5	9.5	-
	3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
年齢	13	15.4	7.7	30.8	7.7	23.1	30.8	23.1	30.8	-	-	-	-	-
	13	-	-	23.1	23.1	30.8	15.4	7.7	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7	-
	14	-	-	7.1	21.4	35.7	50.0	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-
結婚状況	15	-	-	6.7	13.3	13.3	20.0	26.7	33.3	-	13.3	13.3	6.7	-
	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	24	8.3	4.2	29.2	20.8	41.7	37.5	-	20.8	4.2	4.2	-	8.3	-
現在の状態になってどのくらい経つか	7	-	-	28.6	-	-	-	-	42.9	-	14.3	14.3	14.3	-
	5	-	-	20.0	-	20.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	60.0	60.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-
	12	16.7	8.3	25.0	-	25.0	33.3	25.0	16.7	-	16.7	8.3	8.3	-
	9	-	-	22.2	44.4	44.4	44.4	-	11.1	11.1	-	-	11.1	-

※国の調査の「小学生の不登校」、「中学生の不登校」、「高校生の不登校」、「大学生の不登校」の選択肢を合算し「学生時代の不登校」として集計

問27. 現在の状態について関係機関に相談したいと思うか



問 28. どのような機関なら相談したいと思うか

		合計	親身に聴いてくれる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家がいる	精神科医がいる	同じ悩みを持つ人と出会う	無料で相談できる	匿名で（自分の名前を知らずに）相談できる	公共機関の人や医療の専門家ではなく、民間団体（NPOなど）である	自宅に専門家に来てくれる	自宅から近い	オンラインで相談できる	あてはまるものはない	どのような機関にも相談たくない	その他	不明
国	社会参加に向けた支援を必要とする方	47	19.1	8.5	8.5	17.0	4.3	29.8	10.6	2.1	4.3	8.5	-	29.8	23.4	-	-
県	全体	168	34.5	13.1	17.9	13.7	13.1	36.3	19.6	1.8	4.8	26.8	9.5	13.7	16.7	4.8	3.0
	社会参加に向けた支援を必要とする方	40	37.5	12.5	25.0	15.0	12.5	37.5	22.5	5.0	2.5	32.5	12.5	2.5	22.5	2.5	2.5
外出頻度	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	15	40.0	6.7	40.0	13.3	13.3	40.0	26.7	13.3	6.7	26.7	6.7	-	26.7	-	-
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	20	40.0	15.0	15.0	15.0	10.0	35.0	15.0	-	-	40.0	5.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	自室からは出るが、家からは出ない	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	25.0	50.0	-	50.0	-	-
	自室からほとんど出ない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
現在の状態になってからの期間	6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6ヶ月～1年未満	7	42.9	-	28.6	-	28.6	42.9	57.1	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-
	1年～2年未満	5	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-
	2年～3年未満	2	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	3年～5年未満	5	20.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0	-	-
	5年～10年未満	12	41.7	-	25.0	8.3	16.7	41.7	25.0	16.7	8.3	41.7	8.3	-	33.3	-	-
	10年以上	9	33.3	11.1	22.2	33.3	11.1	44.4	22.2	-	-	33.3	22.2	-	22.2	-	11.1
現在の状態を関係機	非常に思う	3	100.0	33.3	100.0	66.7	33.3	100.0	66.7	33.3	33.3	100.0	66.7	-	-	-	-
	思う	10	70.0	30.0	60.0	20.0	10.0	60.0	30.0	10.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	少し思う	10	50.0	-	10.0	10.0	20.0	40.0	20.0	-	-	50.0	10.0	-	-	-	-
	思わない	17	-	5.9	-	5.9	5.9	11.8	11.8	-	-	-	11.8	5.9	52.9	5.9	5.9

※国の調査は「オンラインで相談できる」の選択肢はない

問 31. 将来の生活も含めて、今不安に思っていること

		合計	現在の収入や資産	今後の収入や資産の見通し	キャリア形成	転勤・転居	解雇・リストラ	勤務先の将来（倒産など）	就職・転職	職場の人間関係	結婚	子育てや子どもの教育	仕事と家庭の両立	自分の健康	親の健康・介護	その他	特にない	不明
県	全体	1,923	41.5	60.1	10.5	5.3	11.0	19.4	10.7	16.8	7.9	28.2	20.4	44.9	51.8	2.0	5.6	1.2
性別	男性	16	56.3	75.0	18.8	6.3	18.8	6.3	43.8	25.0	12.5	-	6.3	37.5	50.0	-	-	-
	女性	21	57.1	76.2	9.5	-	-	-	33.3	33.3	14.3	38.1	33.3	66.7	71.4	4.8	-	-
年齢	34～39歳	13	38.5	84.6	15.4	-	15.4	7.7	46.2	30.8	30.8	30.8	23.1	61.5	76.9	-	-	-
	40～44歳	13	61.5	76.9	15.4	7.7	7.7	-	38.5	23.1	-	15.4	15.4	30.8	38.5	-	-	-
	45～49歳	14	64.3	64.3	7.1	-	-	-	28.6	28.6	7.1	21.4	28.6	71.4	71.4	7.1	-	-
現在の状態になってどのくらい経	6ヶ月未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6ヶ月～1年未満	7	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	-	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	42.9	71.4	14.3	-	-
	1年～2年未満	5	40.0	100.0	-	-	20.0	-	40.0	20.0	20.0	40.0	-	60.0	60.0	-	-	-
	2年～3年未満	2	100.0	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	3年～5年未満	5	60.0	80.0	-	-	-	-	60.0	60.0	20.0	-	-	60.0	20.0	-	-	-
	5年～10年未満	12	50.0	83.3	8.3	-	8.3	8.3	33.3	25.0	8.3	33.3	33.3	66.7	66.7	-	-	-
	10年以上	9	77.8	66.7	33.3	-	-	-	33.3	11.1	11.1	22.2	22.2	44.4	77.8	-	-	-

統計法に基づく統計調査

秘

就職氷河期世代の実態調査

ご協力をお願い

日頃から、県行政に格別のご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。三重県では、今年度から、就職氷河期世代(概ね平成5年から平成16年に学校卒業期を迎えた世代)の方々に対する就職等の支援を重点的に行っており、個人々々の実態やニーズに添った必要な支援を提供できるよう、日々取り組んでいます。

その一環として、県内の全市町村から、令和2年4月1日時点で満34歳以上49歳以下の方を無作為に5,500名選ばせていただき、アンケート調査へのご協力をお願いしています。

就職氷河期世代の方々の方々の生活状況やニーズを把握するためには、多くの回答が必要です。就職や社会参加に向け、今まさに課題に直面されている方はもちろん、あらゆる状況の皆さまにぜひともご回答いただきたいと思います。

なお、今回の調査で得られた結果はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しません。

ご多用のところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年10月

三重県知事 鈴木 英敬

■ご回答にあたって

- アンケートの所要時間は5分から10分程度です。
- インターネットまたは、紙(本紙)のいずれかでご回答ください。インターネットで回答される場合は、右のQRコードまたは、以下のURLから回答ページにアクセスしてください。

■本調査についてのお問合せ先

三重県 雇用経済部 雇用対策課 若者・女性雇用班
〒514-8570 津市広明町13番地
TEL 059-224-2465 FAX 059-224-2455

【ご記入に際してのお願い】

1. アンケートには、封筒のあて名の方が本人がご回答ください。
2. 選択肢の中からあらはまるものを選び、番号を○印で囲んでください。
3. 記入後は、無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、**令和2年11月2日(月)までに**ポストへお入れください。(切手は不要です)

※ インターネットでご回答いただいた場合は、調査票の返信は不要です。

4. この調査は、三重県が株式会社百五綜合研究所に委託して実施しています。

すべての方にお伺いします(問1～問2)

問1 あなたの現在の就業形態は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 正規の職員・従業員
- 2 非正規の職員・従業員
(パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託)
- 3 会社・団体等の役員(会社等の経営者を除く)
- 4 会社等の経営者
- 5 自営業主・フリーランス、家庭内の買仕事(内職) ※1
- 6 自営業の手伝い(家族従業員) ※2
- 7 専業主婦・専業主夫
- 8 学生 ※3
- 9 無職

■就業形態についての注記

- ※1 自営業主・フリーランスには、独立して自営で農林水産業をしている場合も含みます。
- ※2 自営業の手伝い(家族従業員)には、個人経営の事業所や農家で専業主手伝っている家族等が該当します。ただし、個人経営の事業所や農家で就業を手伝っている家族であっても、他の従業員等と同じく就業規則等で定められた労働条件が適用されている場合には、選択肢1～3のうち、実職に最も近いものを選択してください。
- ※3 学生には、アルバイトをしている方も含まれます。

問2 あなたは現在、副業がありますか、または複数の職業についていますか。(○は1つだけ)

- 1 はい ※問3以降の質問は、“主たる職業”についてご回答ください。
- 2 いいえ (副業はなく、ついている職業は1つだけ)

現在働いている方(問1で、1 正統の職員・従業員～6 自家営業の手伝いを選んだ方)にお伺いします。(問3～問7)

問3 あなたの勤務先の業種は何ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| 1 建設業 | 2 製造業 | 3 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 4 情報通信業 | 5 運輸業、郵便業 | 6 卸売・小売業 |
| 7 金融・保険業 | 8 不動産業、物品賃貸業 | 9 宿泊業、飲食サービス業 |
| 10 医療・福祉 | 11 教育・学習支援 | 12 サービス業 |
| 13 農業・林業、漁業 | 14 官公庁 | |
| 15 その他() | | |

問4 あなたの職種は何ですか。(○は1つだけ)

※別紙「職種の具体例」を参考に回答してください。

- | | | |
|---------------|----------|-------------|
| 1 製造・生産工程職 | 2 建設・採掘職 | 3 輸送・機械運転職 |
| 4 営業・販売職 | 5 サービス職 | 6 専門的・技術的職業 |
| 7 管理的職業 | 8 事務職 | 9 農林漁業職 |
| 10 その他(保安職など) | | |

問5 あなたの1年間の収入金額(ボーナスや臨時収入、副業等を含む税引き前の金額)をお答えください。

現在の仕事に就いて1年未満の方は、1年間の見込額をお答えください。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 50万円未満 | 2 50万円以上～100万円未満 |
| 3 100万円以上～150万円未満 | 4 150万円以上～200万円未満 |
| 5 200万円以上～250万円未満 | 6 250万円以上～300万円未満 |
| 7 300万円以上～400万円未満 | 8 400万円以上～500万円未満 |
| 9 500万円以上～600万円未満 | 10 600万円以上～700万円未満 |
| 11 700万円以上～800万円未満 | 12 800万円以上～900万円未満 |
| 13 900万円以上～1,000万円未満 | 14 1,000万円以上 |

問6 あなたは、現在の仕事にどの程度満足していますか。次のA～Iまでの項目について、それぞれあてはまる番号に○を付けてください。(○は各項目1つだけ)

	満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば満足していない	満足していない
A 仕事の内容・やりがい	1	2	3	4
B 賃金	1	2	3	4
C 人事評価制度	1	2	3	4
D 社員教育・研修制度	1	2	3	4
E 労働時間	1	2	3	4
F 休暇制度	1	2	3	4
G 仕事と生活(育児・介護、家事、地域活動、趣味等)の両立	1	2	3	4
H 福利厚生	1	2	3	4
I 全体として	1	2	3	4

問7 現在の仕事は、あなたが学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--|
| 1 はい | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 問1で、2 非正統の職員・従業員を選んだ方は、問14(8ページ)へ
 問1で、2 以外を選んだ方は、問22(10ページ)へ </div> |
| 2 いいえ | |

**離職・転職をしたことがある方および、
現在働いていない方にお伺いします。(問8～問13)**

問8 あなたが、学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事の就業形態は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 正規の職員・従業員
 - 2 非正規の職員・従業員
(パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託)
 - 3 会社・団体等の役員(会社等の経営者を除く)
 - 4 会社等の経営者
 - 5 自営業主・フリーランス、家庭内の賃仕事(内職)
 - 6 自家営業の手伝い(家族従業員)
 - 7 働いたことがない
- 問9へ** ➡

問9 あなたが、学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事の職種は何ですか。
(○は1つだけ)

※別紙「職種」の具体例を参考に回答してください。

- 1 製造・生産工程職
- 2 建設・採掘職
- 3 輸送・機械運転職
- 4 営業・販売職
- 5 サービス職
- 6 専門的・技術的職業
- 7 管理的職業
- 8 事務職
- 9 農林漁業職
- 10 その他(保安職など)

問10 あなたが、学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事をされていた期間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

- 1 1年未満
- 2 1年～3年未満
- 3 3年～5年未満
- 4 5年～10年未満
- 5 10年以上

問11 学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事以外で、あなたはいくつの仕事を経験しましたか。(○は1つだけ)

- 1 1つ
 - 2 2つ
 - 3 3つ
 - 4 4つ
 - 5 5つ
 - 6 6つ以上
 - 7 最初に就いた仕事以外に仕事の経験はない
- 問12へ** ➡

問12 学校を卒業(または中退)して最初に就いた仕事以外であなたが経験した仕事のうち、「正規の職員・従業員」の仕事の数はいくつですか。(○は1つだけ)

- 1 なし
- 2 1つ
- 3 2つ
- 4 3つ
- 5 4つ
- 6 5つ
- 7 6つ以上

問13 あなたが、学校を卒業(または中は)して最初に就いた仕事を辞めた理由は何か。(○はいくつでも)

- 1 会社倒産、事業所閉業のため
- 2 人員整理、退職勧奨のため
- 3 事業不振や先行き不安のため
- 4 雇用契約終了のため
- 5 結婚のため
- 6 出産、育児のため
- 7 介護、看護のため
- 8 病気、ケガのため
- 9 自分に向かない仕事だったため
- 10 一時的に就いた仕事だったため
- 11 責任ある仕事が任せられなかったため
- 12 ノルマや責任が重すぎたため
- 13 賃金などの条件が悪かったため
- 14 職場の人間関係が悪かったため
- 15 家業を継ぐ、または手伝うため
- 16 家族の転職、転勤、事業所の移転のため
- 17 より良い条件の仕事が見つかったため
- 18 キャリアアップをはかるため
- 19 仕事以外にやりたいことがみつかったため
- 20 その他()

■ 次ページ以降の質問については、以下の条件に応じて、該当するページへ移動願います。



現在、非正規の職員・従業員として働いている方(問1で、2を選んだ方)にお伺いします(問14~問17)

問14 あなたが、現在の就業形態について主な理由は何か。(○は1つだけ)

- 1 自分の都合の良い時間に働きたいため
- 2 家計の補助・学費等を得たいため
- 3 家事・育児・介護等と両立しやすいため
- 4 通勤時間が短いため
- 5 専門的な技能等を活かせるため
- 6 正規の職員・従業員の仕事がないため
- 7 その他()

問15 あなたは、正規の職員・従業員として働きたいと思いませんか。(○は1つだけ)

- 1 はい **問16へ**
- 2 いいえ **問22(10ページ)へ**

問16 あなたが、正規の職員・従業員として働きたい理由は何か。(○はいくつでも)

- 1 より多くの収入を得たいため
- 2 福利厚生が充実したところで働きたいため
- 3 労働条件や職場環境を改善したいため
- 4 雇用が安定しているため
- 5 正規の職員・従業員の消費がほしいため
- 6 キャリアを高めたいため
- 7 責任の大きい仕事をしたいため
- 8 自分の意欲や能力を活かしたいため
- 9 専門的な資格や技能を活かしたいため
- 10 新しいスキルを得たいため
- 11 家事・育児・介護などの制約がなくなったため
- 12 その他()

問17 あなたが、希望する職種は何か。(○はいくつでも)
※別紙「職種の具体例」を参考に回答してください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1 製造・生産工程職 | 2 建設・採掘職 | 3 輸送・機械運転職 |
| 4 営業・販売職 | 5 サービス職 | 6 専門的・技術的職業 |
| 7 管理的職業 | 8 事務職 | 9 農林漁業職 |
| 10 その他(保安職など) | 11 職種にこだわりはない | 12 わからない |

問22(10ページ)へ、お進みください

現在働いていない方(問1で、7 専業主婦・専業主夫、8 学生、9 無職を選んだ方)にお伺いします。(問18～問21)

問18 あなたが、前職を辞めてから現在までの期間はどのくらいですか。(○は1つだけ)
※問8で「7 働いたことがない」を選んだ方は回答不要です。問19からお答えください。

- 1 6ヶ月未満 2 6ヶ月～1年未満 3 1年～2年未満
- 4 2年～3年未満 5 3年～5年未満 6 5年～10年未満
- 7 10年以上

問19 現在、あなたが働いていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 仕事を探したが採用されなかったため 2 失業したばかりであるため
- 3 転職や開業準備のために前職を辞めたばかりであるため
- 4 希望する仕事がありそうにないため 5 知識・能力に自信がないため
- 6 人間関係に不安があるため 7 働くのが嫌なため
- 8 仕事以外にやりたいことがあるため 9 出産・育児のため
- 10 介護・看護のため 11 病気・けがのため
- 12 仕事と家事の両立が困難なため 13 家族の理解が得られないため
- 14 急いで仕事に就く必要がない 15 その他()

問20 あなたの今後の就労意向を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 正規の職員・従業員として働きたい
 - 2 非正規の職員・従業員として働きたい
 - 3 1、2以外の形態で働きたい(具体的に)
 - 4 働くつもりはない
- 問21へ
問22(次ページ)へ

問21 あなたが、希望する職種は何ですか。(○はいくつでも)

※別紙「職種の具体例」を参考に回答してください。

- 1 製造・生産工程職 2 建設・採掘職 3 輸送・機械運転職
- 4 営業・販売職 5 サービス職業 6 専門的・技術的職業
- 7 管理的職業 8 事務職 9 農林漁業職
- 10 その他(保安職など) 11 職種にこだわりはない 12 わからない

すべての方にお伺いします(問22～問43)

問22 あなたが、ふだんご自宅にいるときによくしていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 テレビを見る 2 ラジオを聴く 3 本を読む 4 新聞を読む
- 5 ゲームをする 6 勉強をする 7 仕事をする 8 家事をする
- 9 育児をする 10 介護・看護をする 11 インターネットをする
- 12 その他()

問23 あなたは最近6ヶ月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(○は1つだけ)

- 1 よく会話をした 2 ときどき会話をした
- 3 ほとんど会話をしなかった 4 まったく会話をしなかった

問24 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(○は1つだけ)

※コロナ禍での対応については、加味せずお答えください。
(例:コロナ禍での在宅勤務は、出社(外出)しているものとみなしてご回答ください)

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
 - 2 仕事や学校で週に3日～4日外出する
 - 3 遊び等で頻繁に外出する
 - 4 人付き合いのためにときどき外出する
 - 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する
 - 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
 - 7 自宅からは出るが、家からは出ない
 - 8 自宅からほとんど出ない
- 問29(12ページ)へ
問25へ

問25 現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つだけ)

- 1 6ヶ月未満 2 6ヶ月～1年未満 3 1年～2年未満
- 4 2年～3年未満 5 3年～5年未満 6 5年～10年未満
- 7 10年以上

問26 現在の状態になっただけは何か。(○はいくつでも)

- 1 学生時代の不登校
- 2 受験に失敗したこと(高校・大学等)
- 3 就職活動がうまくいかなかったこと
- 4 職場になじめなかったこと
- 5 人間関係がうまくいかなかったこと
- 6 病気()
- 7 妊娠したこと
- 8 退職したこと
- 9 介護・看護を担うことになったこと
- 10 特にない
- 11 わからない
- 12 その他()

問27 現在の状態について、関係機関に相談したいと思えますか。(○は1つだけ)

- 1 非常に思う
- 2 思う
- 3 少し思う
- 4 思わない

問28 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思えますか。(○はいくつでも)

- 1 親身に聞いてくれる
- 2 医学的な助言をくれる
- 3 心理学の専門家がいます
- 4 精神科医がいる
- 5 同じ悩みを持つ人と出会える
- 6 無料で相談できる
- 7 匿名で(自分の名前を知らずに)相談できる
- 8 公共機関の人や医療の専門家ではなく、民間団体(NPOなど)である
- 9 自宅に専門家が来てくれる
- 10 自宅から近い
- 11 オンラインで相談できる
- 12 あてはまるものはない
- 13 どのような機関にも相談したくない
- 14 その他()

問29 あなたが、現在利用しているSNSや動画共有サービスは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 LINE
- 2 Twitter
- 3 Instagram
- 4 Facebook
- 5 TikTok
- 6 note
- 7 YouTube
- 8 ニコニコ動画
- 9 Vimeo
- 10 その他()
- 11 特にない

問30 あなたが、相談窓口やセミナーなどを利用しやすい曜日・時間帯・形式についてお聞きします。次のA～Iまでの項目について、それぞれあてはまる番号に○を付けてください。(○は各項目いくつでも)

	曜日・時間帯				形式		利用したい理由
	平日の昼間に	平日の夜間に	土曜日の昼間に	土曜日の夜間に	オンラインにより	自身で利用したい	
A 相談・カウンセリング	1	2	3	4	5	6	
B 遠隔診断	1	2	3	4	5	6	
C コミュニケーション力向上講座	1	2	3	4	5	6	
D 資格取得訓練講座 (希望する資格)	1	2	3	4	5	6	
E 職場体験・職場見学	1	2	3	4	5	6	
F 応募書類の添削、模擬面接	1	2	3	4	5	6	
G 求人企業の紹介、マッチング	1	2	3	4	5	6	
H 合同企業説明会	1	2	3	4	5	6	
I その他()	1	2	3	4	5	6	

問31 あなたが、将来の生活も含めて、今不安に思っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 現在の収入や資産 | 2 今後の収入や資産の見通し |
| 3 キャリア形成 | 4 転勤・出向 |
| 5 解雇・リストラ | 6 勤務先の将来(倒産など) |
| 7 就職・転職 | 8 職場の人間関係 |
| 9 結婚 | 10 子育てや子どもの教育 |
| 11 仕事と家庭の両立 | 12 自分の健康 |
| 13 親の健康・介護 | 14 その他() |
| 15 特になし | |

問32 就職氷河期世代への支援に関して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

問33 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
| 3 どちらとも言えない、または答えたくない | |

問34 令和2年4月1日時点の、あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 34～39歳 | 2 40～44歳 | 3 45～49歳 |
|----------|----------|----------|

問35 あなたの最終学歴をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| 1 中学校卒業 | 2 高校卒業 | 3 専門学校卒業 |
| 4 短期大学・高等専門学校卒業 | 5 四年制大学卒業 | |
| 6 大学院修了 | 7 その他() | |

問36 あなたのお住まいの地域をお答えください。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 北勢地域
(四日市市、桑名市、鈴鹿市、龜山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、預野町、朝日町、川越町) |
| 2 伊賀地域
(名張市、伊賀市) |
| 3 中南勢地域
(津市、松阪市、多気町、明和町、大台町) |
| 4 伊勢志摩地域
(伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町) |
| 5 東紀州地域
(尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町) |

問37 あなたは結婚していますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------|
| 1 既婚(事実婚を含む) |
| 2 離別または死別 |
| 3 未婚 |

問38 あなたには、お子さん(年齢は問いません)がいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|---------------------|
| 1 いる | ➡ 問39へ |
| 2 いない | ➡ 問40(次ページ)へ |

問39 あなたの一番下のお子さんは、現在のどれに当てはまりますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------|
| 1 乳児・就学前の幼児 |
| 2 小学生 |
| 3 中学生以上の学生 |
| 4 その他 |

問40 あなたと一緒に暮らしている家族をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|---|--------------|
| 1 | 配偶者(事実婚を含む) | 2 | 子ども |
| 3 | あなたの親 | 4 | 配偶者の親 |
| 5 | あなた又は配偶者の兄弟姉妹 | 6 | あなた又は配偶者の祖父母 |
| 7 | その他() | 8 | 同居している家族はいない |

問41 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|---|--------------|---|---------|
| 1 | あなた自身 | 2 | 親 |
| 3 | 配偶者 | 4 | 兄弟姉妹 |
| 5 | 子ども | 6 | 他の家族や親戚 |
| 7 | 生活保護などを受けている | 8 | その他() |

問42 あなたは家族の介護をしていますか。(〇は1つだけ)

※自宅外にいる家族の介護も含めてお答えください。

- | | |
|---|-------|
| 1 | している |
| 2 | していない |

問43 今後の施策の参考とす目的で、この調査にお答えいただいた内容をより深くお聞きする個別ヒアリングを予定しています。ご協力いただける方は、下欄にお名前とお電話番号・電子メールアドレスをご記入願います。

★ヒアリングの実施方法は、電話や訪問、WEB面談等を予定しています。
★ヒアリング調査をお願いする方には、三重県が調査を委託している「株式会社百五総合研究所」からご連絡をさせていただきます。日程や実施方法を調整させていただきます。

★なお、様々な状況の方を対象にヒアリングをお願いするため、ご協力いただける旨のお返事をいただいた方すべてにヒアリングをお願いするわけではありません。あらかじめご了承ください。

<ご記入いただきました内容は、本調査でのご連絡のみ使用いたします>

お名前(ふりがな)	
ご連絡先(いずれかのみでも可)	電話番号: 電子メールアドレス:

※0(ゼロ)とO(オー)、1(イチ)と(Iイチ)と(Iイチ)などの文字の誤りなど、読み間違えやすい判別しにくい文字については、ふりがな等の補記をお願いします。

質問は以上で終わります。ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙を三つ折りのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**11月2日(月)までに**郵便ポストに投函してください。
(インターネットでご回答いただいた方は、調査票の返信は不要です。)ご回答いただいた内容については集計・分析のうえ、今後の施策を進めるための貴重な資料として活用させていただきます。

別紙

「職種の具体例」

職種	具体例
製造・生産工程職 原材料の加工や製品の組立、検査、修理など	<ul style="list-style-type: none"> 電子製品の組立 工作機械組立 加工機整備 廃入機立 石工 家具の塗装 自動車組立オペレーター CADオペレーター 自働車組立オペレーター
建設・採掘職 建設、電気工事作業、探掘作業など	<ul style="list-style-type: none"> 大工 電気設備工 探掘作業者 左官 管職 鉄筋組立(建設業)
輸送・陸揚運搬職 輸送機械や輸送装置の操作、充電・配電装置の操作、建設機械の運転など	<ul style="list-style-type: none"> トラック運転手 電車運転士 フォークリフト運転手 クレーン運転手 航空機操縦士 建設機械運転 ボイラーマン
営業・販売職 商品、不動産、有価証券、保険などの売買、あつせん、取次など	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストアの店員 商品仕入員 スパーのレジ カンパニスタンド給油 保険が交員 化粧品訪問販売員 不動産仲介人 DPE取次人 広告代理人 クリーニング取次人
サービス職業 家事・介護サービス、飲食物の調理、接客、娯楽など	<ul style="list-style-type: none"> ホームヘルパー 調理師 美容師 トリマー ウエイトレス 旅館の仲居 看護助手 エステティシャン レンタルショップ店員 ピラ配り人 気象研究員 土木技術者 システムアナリスト 看護師 保育士 検理士 記者 デザイナー
専門的・技術的職業 高度の専門性、技術、資格を必要とする医療、法律、教育、宗教、芸術など	<ul style="list-style-type: none"> 医師 建築士 歯医 小学校教育員 プロスポーツ選手
管理的職業 事業経営方針の決定など、専ら課以上の内部組織の経営、管理	<ul style="list-style-type: none"> 役員 市町村長 法人役員 工場経営者 運送店経営者 総務課長
事務職 文書、人事、会計に関する事務や集金などの外勤事務、事務用機器の操作など	<ul style="list-style-type: none"> 経理事務 図書館関係 業金人 クリーニング受付 図書貸出事務 有料道路料金取次員 検針員 秘書 医療事務 パソコン操作員 コールセンターオペレーター
農林漁業職 農作物の栽培・収穫、家畜飼育、材木の育成・伐採、水産動植物の捕獲・採取・養殖など	<ul style="list-style-type: none"> 稲作農耕 果物栽培 きゅう(豚) 務員 樹木職 漁師 水産資源作業 水族館養魚作業
その他(保安職など) 保安職、荷役、運搬、清掃など上記以外の仕事	<ul style="list-style-type: none"> 警察官 消防員 郵便配達員 警備員 建設現場誘導員 血洗い 自衛官 公園清掃作業員 引越作業員

就職氷河期世代の実態調査

令和3（2021）年3月
三重県 雇用経済部 雇用対策課

〒514-8570 津市広明町13番地
T e l : 0 5 9 - 2 2 4 - 2 4 6 5
F a x : 0 5 9 - 2 2 4 - 2 4 5 5

E - m a i : koyou@pref.mie.lg.jp